

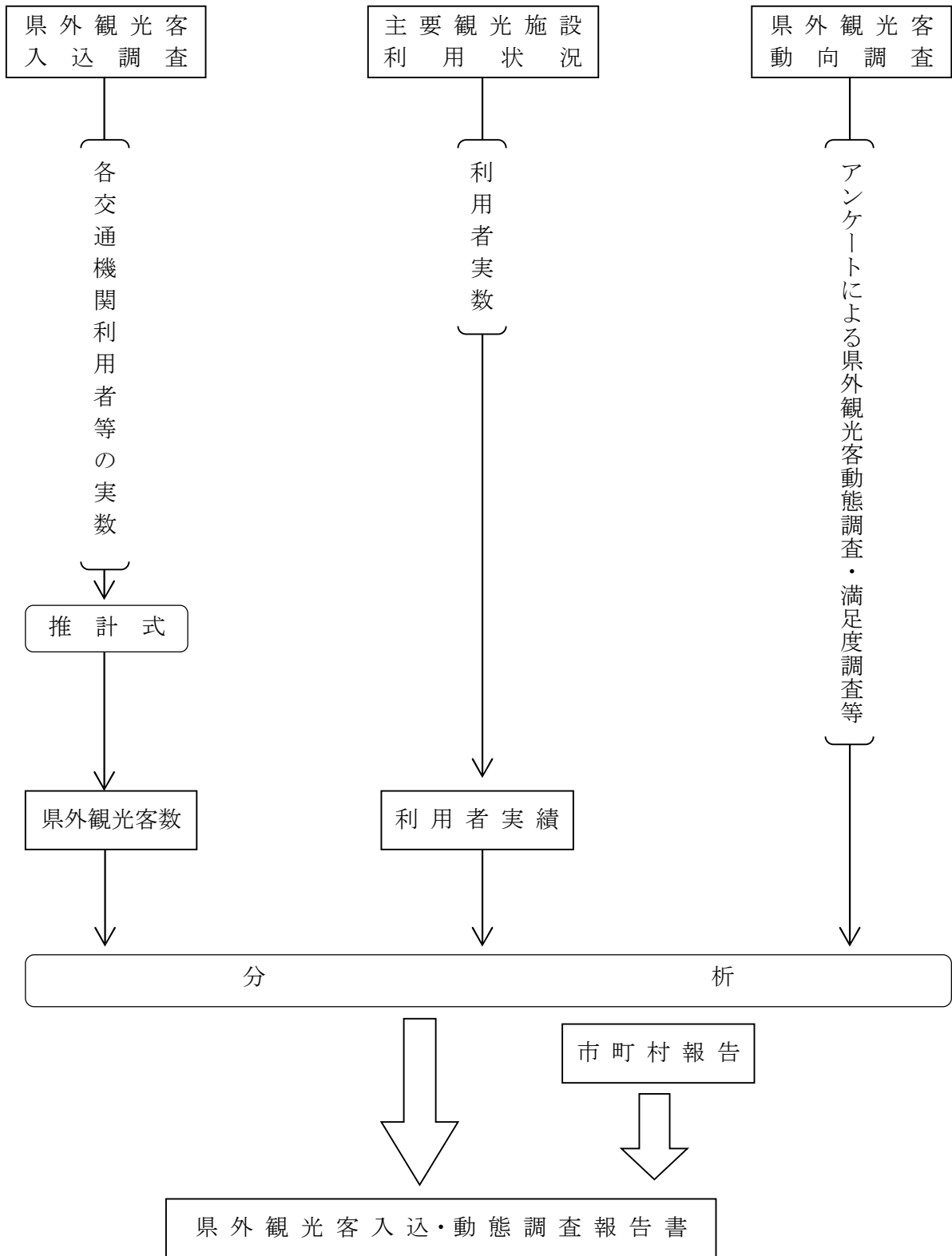
平成 3 0 年

県外観光客入込・動態調査報告書

令和元年 1 2 月

高知県観光振興部観光政策課

調査方法体系図



は じ め に

この調査は、県外観光客の動態を把握し、今後の観光行政に関する諸政策の基礎資料とするため、次の方法により行ったものである。

I 県外観光客入込調査

平成30年1月1日から12月31日までに本県に入り込んだ県外観光客数を交通機関等の調査資料に基づき推計した。

II 主要観光施設等利用状況

平成30年の主要観光施設等における県内・県外観光客の利用状況を、各施設からの報告に基づき取りまとめた。

III 県外観光客動態調査

県内の観光地を訪れた観光客を対象に、四季別に年4回、各調査地とも季節ごと100人に対し、直接聞き取り調査を実施した。

アンケート調査地（10ヵ所）

室戸岬、モネの庭、龍河洞、アンパンマンミュージアム、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川（佐田沈下橋等）、足摺岬

IV お客様の声アンケート

「お客様の声アンケートはがき」を県内143の観光施設等に設置して、観光客の満足度調査を実施した。

V おもてなしの宿アンケート

「おもてなしの宿アンケート」を県内40の宿泊施設に設置して、宿泊客の満足度調査を実施した。

VI プロスポーツキャンプ等調査

県内で行われたプロ野球の阪神タイガース、オリックス・バファローズ、埼玉西武ライオンズ、ハンファ・イーグルスのキャンプ、プロ野球プレシーズンマッチ、サッカーJリーグのアルビレックス新潟、カターレ富山、ブラウブリッツ秋田、カマタマーレ讃岐のキャンプ、プロゴルフトーナメントのカシオワールドオープン、ヨコハマタイヤPRGRレディースカップの観戦客を対象に、直接聞き取り調査を実施した。

VII 観光動態調査ルート分析

県外観光客動態調査のデータを基に、観光客の周遊ルートを分析した。

VIII 参考資料（市町村報告分のみ掲載）

平成30年に県内で実施されたイベント・祭りの入込数及びキャンプ場・海水浴場・市場・温泉施設の利用状況を、各市町村からの報告に基づき取りまとめた。

目 次

I 県外観光客入込調査

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 展望・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3 調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - 交通機関別入込状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ＜参考＞県外観光客の推移と主な出来事・・・・・・・・ 4

II 主要観光施設等利用状況

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (1) 観光施設等利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (2) 有料道路利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - (3) 有料駐車場利用状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 2 施設等利用実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - ＜参考＞四国3県の施設入込状況・・・・・・・・・・・・ 12

III 県外観光客動態調査

- 1 概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2 年代別入込割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 3 日帰り客と宿泊客割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 4 発地ブロック別入込割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
- 5 旅行日数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
- 6 旅行形態別旅行目的割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- 7 入込利用交通機関割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- 8 旅行形態割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- 9 宿泊施設割合・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
- 10 県内消費額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
 - ＜参考＞県外観光客1人当たりの県内消費額及び経済波及効果・・・・・・・・ 37

11	宿泊地域割合	41
12	調査地別割合（旅行目的割合）	43
	（旅行形態割合）	45
	（過去来県回数割合）	46
	（動機割合）	48
	<参考>委託事業者の所見	50
	高知県観光客アンケート調査票	56

IV お客様の声アンケート

	概要	60
1	「お客様の声」 回答者	61
2	「お客様の声」 満足度	65
	<参考>ご意見の抜粋	77

V おもてなしの宿アンケート

	概要	91
1	「おもてなしの宿」 回答者	92
2	「おもてなしの宿」 満足度	96
	<参考>ご意見の抜粋	100

VI プロスポーツキャンプ等調査

1	概要	108
2	年代	113
3	日帰り客と宿泊客	122
4	出発地	125
5	旅行形態	131
6	入込利用交通機関	135
7	県内消費額	137
8	県内客・県外客	141
9	立寄観光スポット	142

VII 観光動態調査ルート分析

1	はじめに	143
2	立寄市町村割合	144
2-1	発地別立寄市町村割合	146
2-2	年代別立寄市町村割合	148
2-3	旅行形態別立寄市町村割合	149
2-4	旅行目的別立寄市町村割合	150
3	周遊ルート分析	152
3-1	発地別周遊ルート	154
3-2	旅行形態別周遊ルート	168

VIII 参考資料（市町村報告分）

1	祭り・イベントの入込状況	179
2	道の駅・朝市・市場利用状況	181
3	キャンプ場・海水浴場利用状況	182
4	温泉施設利用状況	183

I 県外観光客入込調査

1 概要

- (1) 平成30年に高知県を訪れた県外観光客入込数は、4,412千人と推計され、対前年比100.14%、約6千人の増加となった。入込数は5年連続で400万人を超え、過去最高を記録した前年の水準を維持した。

この結果は、前年に引き続き「志国高知 幕末維新博」の開催を通じた歴史観光基盤の整備とプロモーションに官民協働で取り組んできたことに加え、新たな観光拠点の誕生や、7月に発生した豪雨の風評被害を防止するため行われた「ふっこう周遊割」などの取組によるものと考えられる。

- (2) 交通機関別入込数において、全体の8割以上を占める自動車による入込のうち、乗用車利用者は63.9%、観光バス利用者は21.0%である。乗用車利用者は対前年比99.6%で、10,041人の減少となる一方で、観光バス利用者は、対前年比104.0%で、35,982人増加した。

また、鉄道及び航空機の利用者もそれぞれ2.0%程度、合計5,520人増加した。

- (3) 観光施設の利用状況において、利用者数が最も多かったのは「『龍馬伝』幕末志士社中」で、利用者数は432,949人、前年比155.9%と増加率も高くなっている。

前年からの増加率が最も多かった施設は「高知県立坂本龍馬記念館」で、利用者数は169,504人、増加率は714.9%となっている。これは同施設が、平成29年4月から平成30年4月までリニューアルオープンのため休館していたことに加え、リニューアル後に「志国高知 幕末維新博」のメイン会場と位置づけられたことによると考えられる。

また、「『龍馬伝』幕末志士社中」と「高知県立坂本龍馬記念館」の2施設は、利用者数そのものが多い施設となっているが、前年からの増加率、増加数についての上位施設でもある。利用者数上位施設、前年からの増加率上位施設、前年からの増加数上位施設のうち5施設の中にも、「志国高知 幕末維新博」の会場が多数入ってきており、「志国高知 幕末維新博」の開催が利用者数の増加につながったと考えられる。

- (4) 県外観光客一人当たりの消費額（客船除く）は、25,233円であり、前年と比較して596円減少、対前年比97.7%となった。

内訳は、「飲食費」が199円増加、「交通費」が405円、「土産代」が175円、「宿泊費」が173円、「その他」が42円それぞれ減少となっている。

客船乗船客等による消費額を含めた県外観光客の総消費額は、110,436百万円であり、前年と比較して2,175百万円減少、対前年比98.1%となった。

2 展 望

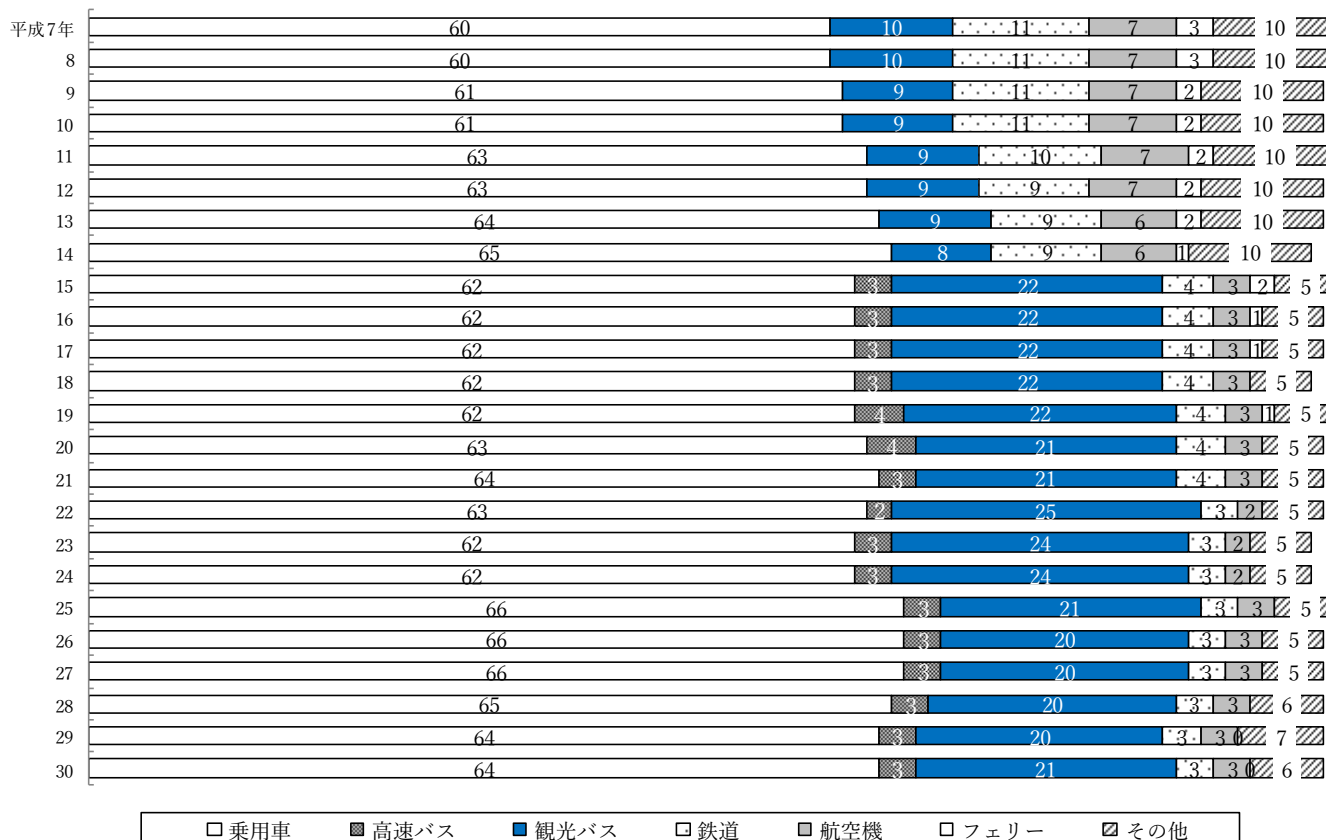
平成 31 年は、2 年間開催した「志国高知 幕末維新博」の勢いを引き継ぎ、「歴史」や「食」に次ぐ柱として「自然」や「体験」資源の磨き上げを行うため、2 月から「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」をスタートさせた。

これまでに磨き上げてきた「歴史」や「食」と一体的に組み合わせた周遊コース（観光クラスター）の整備や、インバウンド観光の推進を通じて持続的な観光振興に繋げることとし、第 3 期産業振興計画の 4 年後（平成 31 年末）の目標で掲げた県外観光客入込数 435 万人の定常化と、観光総消費額 1,230 億円の達成に向けた取組を進めることとしている。

3 調査結果

・交通機関別入込状況

(図1-1) 交通機関別観光客占有率の推移 (%)



(表1-2) 交通機関別観光客の推移

単位：千人

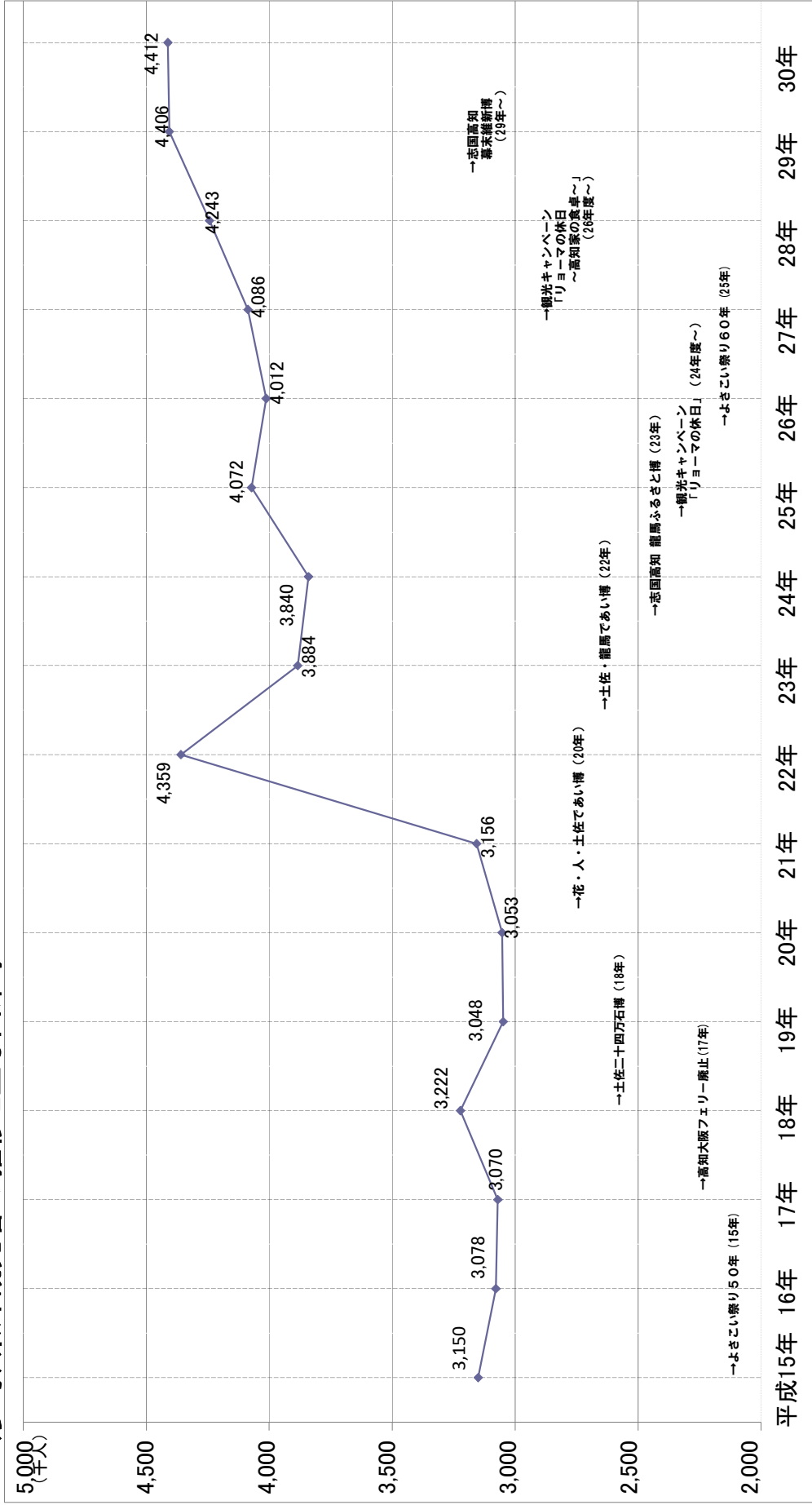
	乗用車	高速バス	観光バス	鉄道	航空機	フェリー	その他	合計
平成7年	2,908		486	541	332	134	484	4,885
8	3,038		499	568	339	128	503	5,075
9	3,143		487	576	347	124	515	5,192
10	3,115		450	553	347	117	504	5,086
11	3,138		425	475	345	96	492	4,971
12	3,169		430	462	349	112	497	5,019
13	3,222		434	457	328	109	500	5,050
14	3,380		434	451	319	67	512	5,163
15	1,944	92	688	138	82	56	150	3,150
16	1,906	101	673	132	95	25	146	3,078
17	1,898	104	670	135	93	24	146	3,070
18	1,998	111	706	135	102	16	154	3,222
19	1,885	108	666	133	95	16	145	3,048
20	1,914	111	642	135	91	15	145	3,053
21	2,012	103	674	122	81	14	150	3,156
22	2,737	108	1,080	120	93	13	208	4,359
23	2,412	110	947	120	96	12	186	3,884
24	2,481	112	827	121	102	11	186	3,840
25	2,670	115	839	123	109	11	205	4,072
26	2,642	114	816	122	112	10	197	4,012
27	2,715	118	806	126	112	10	201	4,086
28	2,756	115	856	129	117	10	261	4,243
29	2,830	114	892	130	122	9	309	4,406
30	2,820	112	927	133	125	7	288	4,412

※平成15年分より推計手法を見直している。

平成14年以前は高速バス利用は「その他」に計上していた。

平成23年から「その他」に航空機チャーター便と客船を加えている。

(参考) 県外観光客の推移と主な出来事



Ⅱ 主要観光施設等利用状況

1 概要

(1) 観光施設等利用状況（県内・県外利用者合計）

県内主要観光施設（66施設）の年間総利用者数は、3,176千人、対前年比 104.3%
約130千人の増（平成29年3,046千人）となっている。

<利用者数上位施設>

	施設名称	平成30年	平成29年	前年差	前年比
①	「龍馬伝」幕末志士社中	432,949	277,789	155,160	155.9%
②	高知城懐徳館	283,280	307,623	-24,343	92.1%
③	高知県立坂本龍馬記念館	169,504	23,710	145,794	714.9%
④	高知県立のいち動物公園	166,504	163,967	2,537	101.5%
⑤	高知県立美術館	145,052	232,430	-87,378	62.4%
参考	桂浜公園駐車場 単位:台数	185,103	198,165	-13,062	93.4%

※桂浜公園駐車場は、駐車台数で集計しているため、順位付けはしていません。

<利用者数の前年からの増加率上位施設>

	施設名称	平成30年	平成29年	前年差	前年比
①	高知県立坂本龍馬記念館	169,504	23,710	145,794	714.9%
②	大原富枝文学館	4,197	1,279	2,918	328.1%
③	四万十市立郷土資料館	7,445	3,417	4,028	217.9%
④	「龍馬伝」幕末志士社中	432,949	277,789	155,160	155.9%
⑤	ジョン万次郎資料館	16,594	11,620	4,974	142.8%

※④以外の施設については、休館等により入込がない期間を含んだ比較となっています。

<利用者数の前年からの増加数上位施設>

	施設名称	平成30年	平成29年	前年差	前年比
①	「龍馬伝」幕末志士社中	432,949	277,789	155,160	155.9%
②	高知県立坂本龍馬記念館	169,504	23,710	145,794	714.9%
③	創造広場「アクトランド」	100,418	71,894	28,524	139.7%
④	室戸ジオパークセンター	85,669	69,278	16,391	123.7%
⑤	高知県立牧野植物園	144,444	134,352	10,092	107.5%

(2) 有料道路利用状況

高知自動車道の通行台数は、約8,939千台、対前年比99.0%、約92千台の減となった。
（自動二輪車～特大車のすべてを含む。県内6か所のICから出た車の台数の合計）

(3) 有料駐車場利用状況

	施設名称	平成30年	平成29年	前年差	前年比
①	高知公園駐車場（県外バス）	3,696	3,864	-168	95.7%
②	龍河洞（県外バス）	307	340	-33	90.3%
③	桂浜公園駐車場（全車）	185,103	198,165	-13,062	93.4%

平成30年 月別交通機関利用実績

名 称	月	1		2		3		4		5	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
JR(土讃線)	月計	83,215	92.7	78,419	99.2	110,848	108.3	94,060	93.6	88,439	99.4
	累計	83,215	92.7	161,634	95.8	272,482	100.5	366,542	98.6	454,981	98.8
航空機	月計	54,069	101.7	57,141	101.5	64,788	101.7	56,929	107.1	61,939	101.1
	累計	54,069	101.7	111,210	101.6	175,998	101.6	232,927	102.9	294,866	102.5
宿毛フェリー	月計	1,764	95.0	1,432	113.0	2,079	99.5	2,095	537.2	2,555	194.9
	累計	1,764	95.0	3,196	102.3	5,275	101.2	7,370	131.5	9,925	143.5
計	月計	139,048	96.1	136,992	100.3	177,715	105.7	153,084	99.4	152,933	101.0
	累計	139,048	96.1	276,040	98.1	453,755	100.9	606,839	100.6	759,772	100.6

平成30年 月別ゴルフ場利用実績

名 称	月	1		2		3		4		5	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
黒潮	月計	5,649	86.3	6,033	92.4	8,300	95.1	8,337	97.7	8,585	93.8
カントリークラブ	累計	5,649	86.3	11,682	89.4	19,982	91.7	28,319	93.4	36,904	93.5
土佐	月計	5,389	87.5	5,174	93.8	5,602	96.5	6,836	105.3	7,216	82.8
カントリークラブ	累計	5,389	87.5	10,563	90.5	16,165	92.5	23,001	95.9	30,217	92.4
錦山	月計	2,497	82.5	1,974	76.1	4,275	105.2	3,768	100.7	3,685	91.1
カントリークラブ	累計	2,497	82.5	4,471	79.6	8,746	90.3	12,514	93.2	16,199	92.7
パンフィック	月計	2,674	99.4	2,341	90.6	3,075	106.5	3,153	107.5	3,410	98.6
ゴルフクラブ	累計	2,674	99.4	5,015	95.1	8,090	99.1	11,243	101.3	14,653	100.7
高知	月計	2,484	105.8	1,830	93.6	2,557	81.0	2,886	106.5	3,221	96.8
ゴルフクラブ	累計	2,484	105.8	4,314	100.3	6,871	92.1	9,757	95.9	12,978	96.1
グリーンフィール	月計	2,867	110.5	2,402	109.4	3,861	135.3	4,719	140.1	4,634	104.3
ゴルフクラブ	累計	2,867	110.5	5,269	110.0	9,130	119.5	13,849	125.8	18,483	119.6
土佐ユートピア	月計	2,685	104.7	2,226	105.4	2,837	101.9	3,085	100.9	2,974	91.0
カントリークラブ	累計	2,685	104.7	4,911	105.0	7,748	103.9	10,833	103.0	13,807	100.2
土佐山田	月計	3,401	99.1	2,881	91.1	4,560	105.8	4,570	108.4	4,857	97.3
ゴルフ倶楽部	累計	3,401	99.1	6,282	95.3	10,842	99.4	15,412	101.9	20,269	100.8
四万十	月計	2,031	108.1	1,530	95.6	1,969	96.9	2,478	118.1	2,124	88.3
カントリークラブ	累計	2,031	108.1	3,561	102.4	5,530	100.4	8,008	105.2	10,132	101.2
スカイヒル	月計	1,113	99.8	971	107.5	1,633	127.7	1,258	95.6	1,244	64.3
ゴルフクラブ	累計	1,113	99.8	2,084	103.3	3,717	112.7	4,975	107.8	6,219	95.0
スカイベイ	月計	2,401	83.5	1,980	89.1	2,476	95.4	2,217	87.7	2,763	88.5
ゴルフクラブ	累計	2,401	83.5	4,381	85.9	6,857	89.1	9,074	88.8	11,837	88.7
計	月計	33,191	94.2	29,342	93.5	41,145	101.6	43,307	105.6	44,713	91.5
	累計	33,191	94.2	62,533	93.9	103,678	96.8	146,985	99.3	191,698	97.3

平成30年 月別有料道路利用実績

名 称	月	1		2		3		4		5		
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比	
高知自動車道	大豊インター	月計	39,567	94.2	40,285	101.3	49,553	104.3	49,284	108.1	49,685	94.8
		累計	39,567	94.2	79,852	97.7	129,405	100.1	178,689	102.2	228,374	100.5
	南国インター	月計	114,919	98.4	104,542	96.8	135,797	101.1	126,085	103.1	133,765	98.1
		累計	114,919	98.4	219,461	97.6	355,258	98.9	481,343	100.0	615,108	99.6
	高知インター	月計	222,513	99.4	197,235	96.9	249,806	98.4	234,463	100.6	248,963	96.9
		累計	222,513	99.4	419,748	98.2	669,554	98.3	904,017	98.9	1,152,980	98.5
	伊野インター	月計	101,099	99.8	92,139	98.7	116,510	102.7	108,089	104.6	110,825	97.9
		累計	101,099	99.8	193,238	99.3	309,748	100.5	417,837	101.6	528,662	100.8
	土佐インター	月計	61,430	101.4	55,195	98.7	67,280	101.2	62,888	100.7	68,696	99.3
		累計	61,430	101.4	116,625	100.1	183,905	100.5	246,793	100.6	315,489	100.3
	須崎東インター	月計	152,020	99.1	134,848	98.3	171,965	100.2	163,179	104.9	171,004	92.3
		累計	152,020	99.1	286,868	98.7	458,833	99.3	622,012	100.7	793,016	98.8
	計	月計	691,548	99.1	624,244	97.9	790,911	100.5	743,988	103.0	782,938	96.3
		累計	691,548	99.1	1,315,792	98.5	2,106,703	99.2	2,850,691	100.2	3,633,629	99.3

平成30年 月別駐車場利用実績

名 称	月	1		2		3		4		5	
			前年比		前年比		前年比		前年比		前年比
高知公園駐車場 (県外バス)	月計	159	112.0	289	116.5	503	158.7	319	100.9	303	75.9
	累計	159	112.0	448	114.9	951	134.5	1,270	124.1	1,573	110.6
龍洞河駐車場 (県外バス)	月計	14	127.3	32	266.7	36	180.0	23	88.5	27	103.8
	累計	14	127.3	46	200.0	82	190.7	105	152.2	132	138.9
桂浜駐車場 (全 車)	月計	11,045	99.2	9,001	88.1	17,552	92.6	18,233	107.4	21,376	81.7
	累計	11,045	99.2	20,046	93.9	37,598	93.3	55,831	97.5	77,207	92.6
計	月計	11,218	99.4	9,322	89.0	18,091	93.8	18,575	107.3	21,706	81.7
	累計	11,218	99.4	20,540	94.4	38,631	94.1	57,206	98.0	78,912	92.9

<参考>

四国3県の施設等入込状況

単位：千人

県	施設等名称	年	平成30年	平成29年	対前年比 (%)
徳島県	渦の道		497	529	94.0%
	あすたむらんど		434	448	96.9%
	吉野川ハイウェイオアシス		865	964	89.7%
	祖谷のかずら橋		342	365	93.7%
香川県	栗林公園		718	745	96.4%
	屋島		489	461	106.1%
	琴平		2,262	2,616	86.5%
	小豆島		1,066	1,094	97.4%
愛媛県	松山城ロープウェイリフト		1,283	1,313	97.7%
	道後温泉本館及び別館		1,163	1,103	105.4%
	とべ動物園		454	467	97.2%
	マイントピア別子		650	660	98.5%
	愛媛県総合科学博物館		228	195	116.9%

出典：
 平成30年「徳島県観光入込客数調査」
 平成30年「香川県観光客動態調査報告」
 平成30年「観光客数とその消費額 愛媛県」

Ⅲ 県外観光客動態調査

1 概要

● はじめに

本調査は、観光施策の基礎資料とすることを目的に、高知県内の観光地10地区で四季別にアンケート調査を実施し、結果をとりまとめたものである。

調査精度の均一化を図るため、調査員による対面聞き取り方式のアンケート調査を実施。時間帯も10時から17時頃まで偏りがないように調整しながら調査している。あわせて1グループに1名(1回答)を徹底した。

なお、暦年調査のため、四季別データは冬春夏秋の順で表示した。

● 調査場所(10ヶ所)

室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬

● 調査時期

- ・冬季:平成30年1月2日～平成30年2月11日
- ・春季:平成30年6月2日～平成30年6月24日
- ・夏季:平成30年7月14日～平成30年8月18日
- ・秋季:平成30年10月7日～平成30年11月17日

※1日で十分なサンプル数を得ることができなかった冬季のモネの庭、高知城、春季の桂浜、夏季のアンパンマンミュージアム、秋季の土佐和紙工芸村、アンパンマンミュージアムでは2日間調査を行っている。

● 調査結果の概要

「1泊2日」が過去4年を通じて最大。県内旅行日数は横ばいの2.0日。

日帰り客と宿泊客の割合(P17:表3-1)は、「1泊2日」の割合が平成26年度以降の調査で最大となる42.8%となったが、県内旅行の平均日数(P24:図5-1)は前年から横ばいの2.0日となった。

発地ブロック別では、「四国」「中国」「近畿」の近隣3ブロックは横ばい、「関東」は0.2日減少などとなっているほか、北陸・新潟(0.5日増加)や東北(0.3日増加)などでは増加している。

「四国」「近畿」の入込が増加。「中国」は減少傾向。

発地ブロック別入込割合(P20:表4-1)は、「四国」と「近畿」の割合が平成26年度以降の調査で最大となったことが目立った。「関東」は前年比2.1ポイント減少したものの、前年同様に3番目に入込が多いブロックとなった。「中国」は平成27年度からの減少傾向が続き、平成26年度以降の調査で最小となった。

「家族」旅行が67.5%。少人数旅行の増加傾向が続く。

旅行形態割合(P29:表8-1)は、「家族」の割合が前年比で0.6ポイント増加の67.5%を占め、「1人」「友人知人」も増加。同行者数割合(P30:表8-2)は、「1人」「2～3人」が増加した一方で、「4～5人」以上の区分は減少となった。

県内平均消費額は、596円減少の25,233円で減少傾向が続く。

県内平均消費額(P35:図10-1)は、前年比で596円減少の25,233円となり、減少傾向が続く。四季別(P38:表10-2)でみると、冬季が前年比で1,604円増加したものの、特に低調となった夏季と秋季が年間平均をより押し下げた。

費目ごとの変動(P35:図10-1 参考①)は、「飲食費」が前年比で199円増加した一方、「交通費」が405円、「土産代」が175円、「宿泊費」が173円、入場料等を含む「その他」が42円と、それぞれ減少となった。

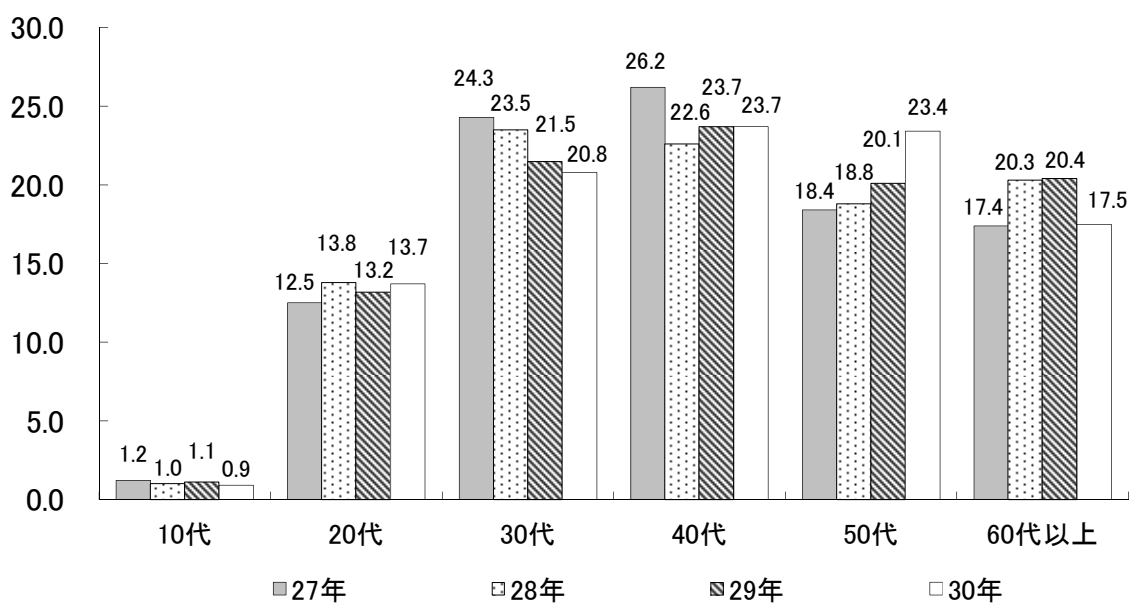
2 年代別入込割合

(表 2-1) 年代別旅行者割合(上段:件 下段:%) [H27~30年]

	27年 (n=2,940)	28年 (n=2,976)	29年 (n=2,696)	30年 (n=2,657)	対前年比 30年/29年
	10代	35 1.2	31 1.0	29 1.1	
20代	367 12.5	412 13.8	356 13.2	363 13.7	103.8%
30代	715 24.3	698 23.5	581 21.5	552 20.8	96.7%
40代	771 26.2	674 22.6	638 23.7	629 23.7	100.0%
50代	541 18.4	558 18.8	541 20.1	623 23.4	116.4%
60代以上	511 17.4	603 20.3	551 20.4	466 17.5	85.8%

※nは、その年の調査対象となった県外観光客の総数

(図 2-2) 年代別旅行者割合(%) [H27~30年]



(表 2-1 参考①) 年代別性別旅行者割合(上段:件 下段:%) [H28~30年]

	平成28年 (n=2,976)		平成29年 (n=2,696)		平成30年 (n=2,657)	
	男	女	男	女	男	女
10代	20	11	17	12	14	10
	64.5	35.5	58.6	41.4	58.3	41.7
20代	219	193	196	160	189	174
	53.2	46.8	55.1	44.9	52.1	47.9
30代	395	303	317	264	305	247
	56.6	43.4	54.6	45.4	55.2	44.8
40代	401	273	393	245	401	228
	59.5	40.5	61.6	38.4	63.7	36.3
50代	354	204	339	202	431	192
	63.4	36.6	62.7	37.3	69.2	30.8
60代以上	399	204	358	193	322	144
	66.2	33.8	65.0	35.0	69.1	30.9
計	1,788	1,188	1,620	1,076	1,662	995
	60.1	39.9	60.1	39.9	62.5	37.5

年代別旅行者割合をみると、40代が23.7%と最も多く、次いで50代が23.4%、30代が20.8%と続いている。前年と比べ20代と50代が増加し、40代が横ばい、その他の年代が減少している。

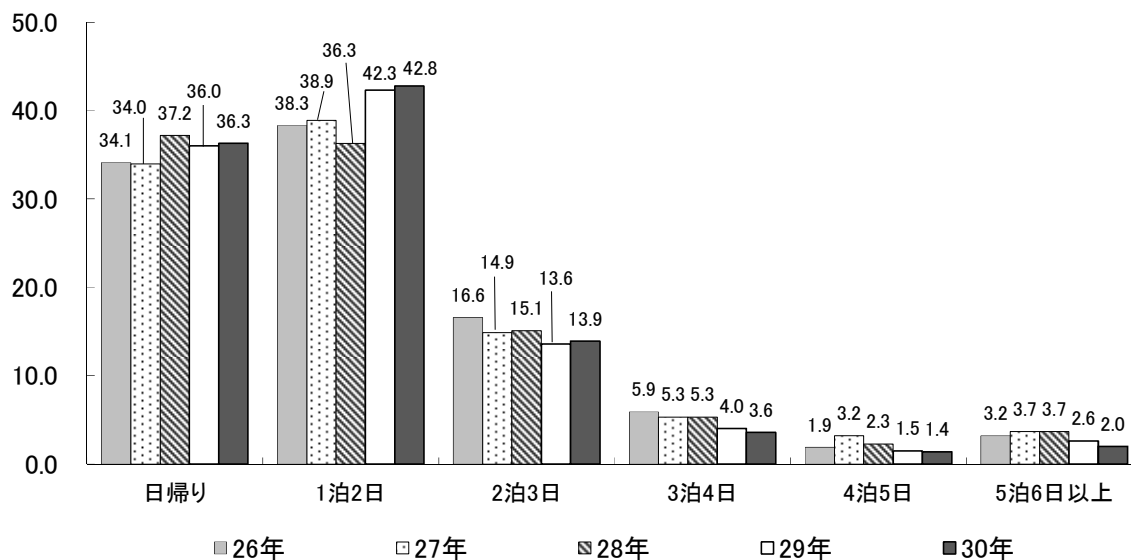
男女比は、男性が62.5%、女性が37.5%となっており、全ての年代で男性の割合が、女性の割合を上回っている。

3 日帰り客と宿泊客割合

(表 3-1) 年次別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [H26~30年]

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
26年 (n=2,883)	984 34.1	1,104 38.3	478 16.6	169 5.9	54 1.9	94 3.2
27年 (n=2,940)	1,000 34.0	1,143 38.9	438 14.9	157 5.3	95 3.2	107 3.7
28年 (n=2,976)	1,106 37.2	1,079 36.3	449 15.1	157 5.3	67 2.3	118 3.7
29年 (n=2,696)	971 36.0	1,141 42.3	367 13.6	107 4.0	41 1.5	69 2.6
30年 (n=2,657)	964 36.3	1,138 42.8	370 13.9	97 3.6	36 1.4	52 2.0

(図 3-2) 年次別日帰り客・宿泊客割合(%) [H26~30年]



日帰り客と宿泊客の割合をみると、「1泊2日」が 42.8%と最も多く、次いで「日帰り」が 36.3%、「2泊3日」が 13.9%と続いている。

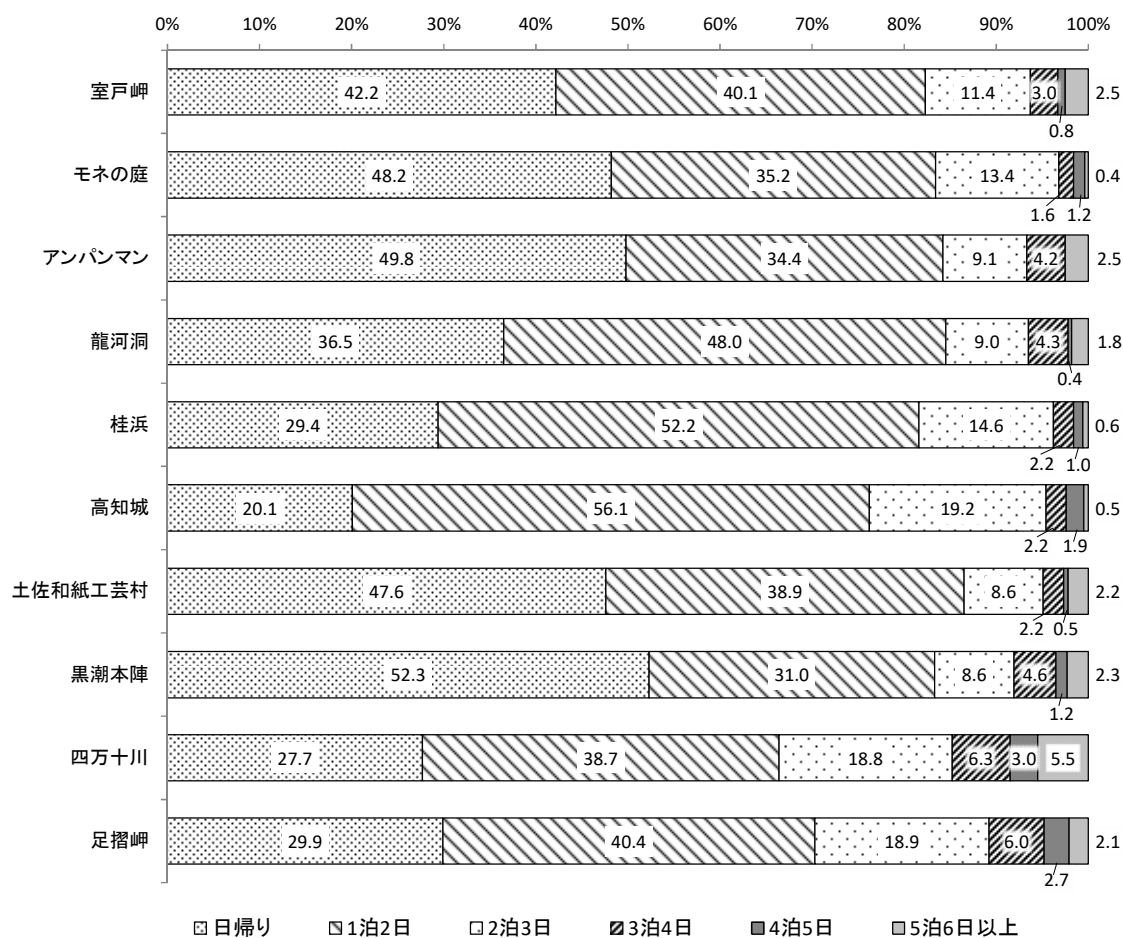
前年と比べ「2泊3日」以下の短い旅行日程が合計 1.1 ポイント増加しており、「3泊4日」以上の長い旅行日程が減少している。平成 26 年度の調査から通してみると、「1泊2日」の割合は過去最大、「3泊4日」以上の旅行日程はすべて過去最小となっている。

(表 3-3) 四季別日帰り客・宿泊客割合(上段:件 下段:%) [H29 年、30 年]

		日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊6日以上
冬	29年	187	234	64	25	8	28
		34.2	42.9	11.7	4.6	1.5	5.1
	30年	181	240	79	26	11	23
		32.3	42.9	14.1	4.6	2.0	4.1
春	29年	295	242	71	23	9	9
		45.5	37.3	10.9	3.5	1.4	1.4
	30年	289	279	77	18	4	6
		42.9	41.5	11.4	2.7	0.6	0.9
夏	29年	232	338	116	35	18	22
		30.5	44.4	15.2	4.6	2.4	2.9
	30年	239	300	122	36	16	15
		32.8	41.2	16.8	4.9	2.2	2.1
秋	29年	257	327	116	24	6	10
		34.7	44.2	15.7	3.2	0.8	1.4
	30年	255	319	92	17	5	8
		36.6	45.8	13.2	2.5	0.7	1.2

四季別データを前年と比べると、冬季は「2泊3日」が 2.4 ポイント増加し、「日帰り」が 1.9 ポイント減少となっている。春季は「1泊2日」が 4.2 ポイント増加し、「日帰り」が 2.6 ポイント減少している。夏季は「日帰り」が 2.3 ポイント増加し、「1泊2日」が 3.2 ポイント減少している。秋季は「日帰り」が 1.9 ポイント増加し、「2泊3日」が 2.5 ポイント減少となっている。

(図 3-4) 調査地別日帰り客・宿泊客割合(%) [H30 年]



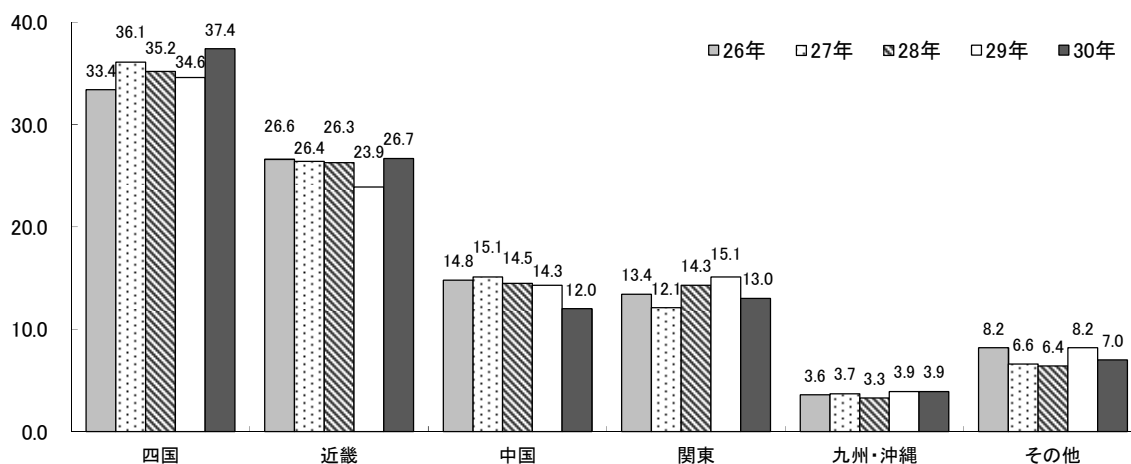
日帰り客と宿泊客の割合を調査地別にみると、「日帰り」の割合は黒潮本陣が 52.3%と最も多く、次いでアンパンマンミュージアムが 49.8%、モネの庭が 48.2%と続いている。また、「1泊2日」は高知城が 56.1%と最も多く、次いで桂浜が 52.2%、龍河洞が 48.0%と続いている。そのほか、「2泊3日」は高知城が 19.2%、「3泊4日」は四万十川が 6.3%、「4泊5日」は四万十川が 3.0%、「5泊6日以上」は四万十川が 5.5%と、それぞれ最も多くなっている。

4 発地ブロック別入込割合

(表 4-1) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [H26~30年]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	その他
26年 (n=2,883)	962 33.4	766 26.6	428 14.8	387 13.4	105 3.6	235 8.2
27年 (n=2,940)	1,060 36.1	777 26.4	444 15.1	357 12.1	108 3.7	194 6.6
28年 (n=2,976)	1,047 35.2	782 26.3	432 14.5	426 14.3	98 3.3	191 6.4
29年 (n=2,696)	932 34.6	645 23.9	386 14.3	407 15.1	104 3.9	222 8.2
30年 (n=2,657)	995 37.4	710 26.7	318 12.0	345 13.0	103 3.9	186 7.0

(図 4-2) 発地ブロック別入込割合(%) [H26~30年]



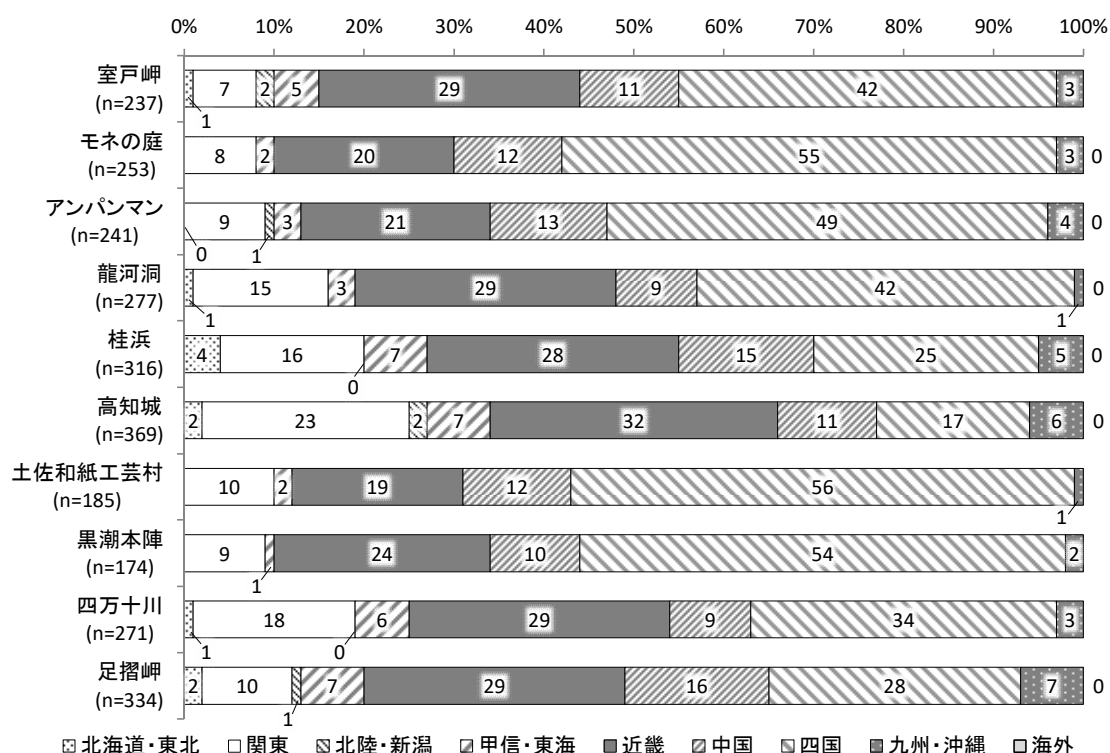
発地ブロック別入込割合をみると、四国が37.4%と最も多く、次いで近畿が26.7%、関東が13.0%と続いている。

前年と比べると、四国と近畿がそれぞれ2.8ポイント増加しており、中国が2.3ポイント、関東が2.1ポイント、その他が1.2ポイントと、それぞれ減少している。平成26年度の調査から通してみると、四国と近畿の割合は過去最大となっており、その一方で中国は過去最小となっている。

(表 4-1 参考①) 発地ブロック別入込割合(上段:件 下段:%) [H26~30年 全地区データ]

	四国	近畿	中国	関東	九州・沖縄	甲信・東海	北陸・新潟	東北	北海道	海外
26年 (n=2,883)	962 33.4	766 26.6	428 14.8	387 13.4	105 3.6	168 5.8	20 0.7	22 0.8	19 0.7	6 0.2
27年 (n=2,940)	1,060 36.1	777 26.4	444 15.1	357 12.1	108 3.7	130 4.4	32 1.1	15 0.5	11 0.4	6 0.2
28年 (n=2,976)	1,047 35.2	782 26.3	432 14.5	426 14.3	98 3.3	127 4.3	28 0.9	15 0.5	10 0.3	11 0.4
29年 (n=2,696)	932 34.6	645 23.9	386 14.3	407 15.1	104 3.9	152 5.6	15 0.6	21 0.8	11 0.4	23 0.8
30年 (n=2,657)	995 37.4	710 26.7	318 12.0	345 13.0	103 3.9	123 4.6	20 0.8	20 0.8	17 0.6	6 0.2

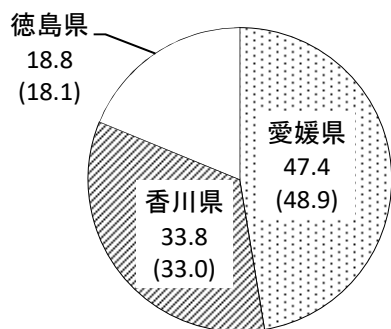
(表 4-1 参考②) 調査地別発地ブロック別入込割合(%) [H30年]



調査地別に発地ブロック別入込割合をみると(P21:表 4-1 参考②、P23:表 4-1 参考③)、桂浜と足摺岬は近畿・四国、高知城は近畿・関東、その他の7地点は四国・近畿の順で多くなっている。

四国・中国・近畿の近隣3ブロック合計で占める割合は、黒潮本陣が 88%と最も多く、次いでモネの庭と土佐和紙工芸村が 87%、アンパンマンミュージアムが 83%と続いている。また、関東・近畿ブロックの合計は、高知城が 55%と最も多く、次いで四万十川が 47%、龍河洞と桂浜が 44%と続いている。

(図 4-3) ブロック別・四国(%)

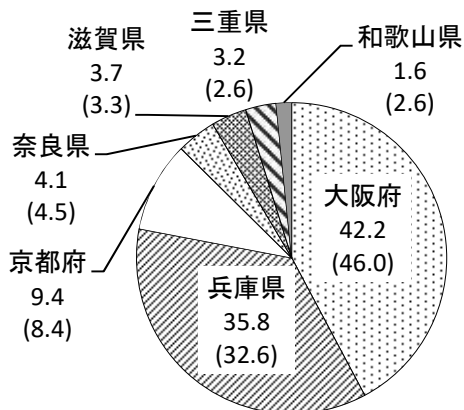


()内の数値は 29 年

前年と比べ、香川が 0.8 ポイント、徳島が 0.7 ポイント増加しており、愛媛が 1.5 ポイント減少となっている。

愛媛は全体の入込割合で1位、また土佐和紙工芸村など5つの調査地において入込割合の1位となっている。香川は全体の2位、モネの庭と龍河洞で1位となっている。徳島は全体の5位、室戸岬で1位となっている(P23:表 4-1 参考③)。

(図 4-4) ブロック別・近畿(%)

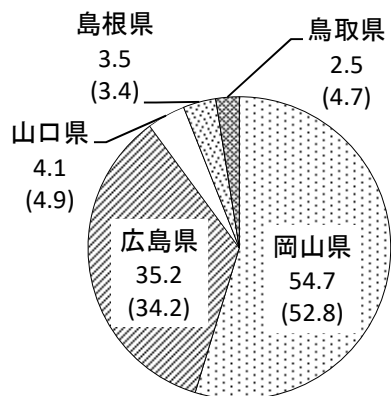


()内の数値は 29 年

前年と比べ、兵庫が 3.2 ポイント、京都が 1.0 ポイント、三重が 0.6 ポイント、滋賀が 0.4 ポイント増加しており、大阪が 3.8 ポイント、和歌山が 1.0 ポイント、奈良が 0.4 ポイント減少となっている。大阪と兵庫で 78.0%と、近畿ブロックの4分の3を占めている。

大阪は全体の入込割合で3位、桂浜と高知城で1位となっており、兵庫は全体の4位となっている(P23:表 4-1 参考③)。

(図 4-5) ブロック別・中国(%)



()内の数値は 29 年

前年と比べ、岡山が 1.9 ポイント、広島が 1.0 ポイント、島根が 0.1 ポイント増加しており、鳥取が 2.2 ポイント、山口が 0.8 ポイント減少となっている。岡山と広島の2県で 89.9%と、中国ブロックの大半を占めている。

岡山は全体の入込割合で6位、広島は全体の8位となっている(P23:表 4-1 参考③)。

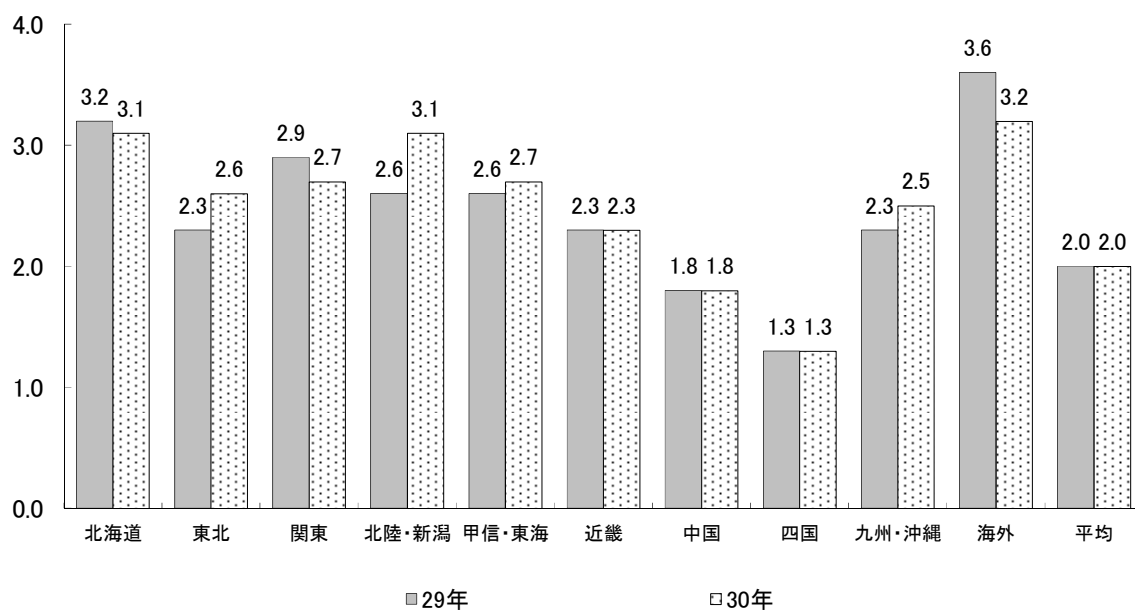
(表 4-1 参考③) 調査地別発地都道府県入込割合(件) [H30 年]

		室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬	全体	順位
県外合計		237	253	241	277	316	369	185	174	271	334	2,657	-
北海道・東北	北海道	0	0	1	3	6	3	0	0	0	4	17	
	青森県	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	
	岩手県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	宮城県	1	0	0	0	2	2	0	0	1	2	8	
	秋田県	0	0	0	0	1	2	0	0	1	0	4	
	山形県	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
	福島県	0	0	0	0	2	0	0	0	1	1	4	
北海道・東北計		3	0	1	3	12	7	0	0	3	8	37	-
関東	茨城県	0	0	0	1	2	5	1	0	0	2	11	
	栃木県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	
	群馬県	1	0	1	0	1	2	0	0	1	0	6	
	埼玉県	3	3	6	4	6	14	1	0	5	3	45	
	千葉県	3	1	2	5	5	12	0	0	6	4	38	
	東京都	7	13	6	24	28	34	13	12	23	11	171	7
	神奈川県	3	4	6	6	7	16	3	3	13	11	72	9
関東計		17	21	21	40	49	83	18	15	48	33	345	-
北陸・新潟	新潟県	1	0	0	0	1	4	0	0	0	1	7	
	富山県	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3	
	石川県	1	0	0	0	0	2	0	0	0	3	6	
	福井県	2	0	1	0	0	0	0	0	1	0	4	
北陸・新潟計		5	0	2	0	1	6	0	0	1	5	20	-
甲信・東海	山梨県	0	0	0	0	1	2	0	1	0	0	4	
	長野県	0	2	0	1	1	4	0	0	1	2	11	
	岐阜県	2	0	0	4	4	5	0	0	1	3	19	
	静岡県	3	0	2	0	3	4	1	0	2	2	17	
	愛知県	6	2	5	4	12	11	2	1	13	16	72	9
甲信・東海計		11	4	7	9	21	26	3	2	17	23	123	-
近畿	三重県	2	1	6	1	3	6	0	1	1	2	23	
	滋賀県	3	1	2	4	3	4	2	0	2	5	26	
	京都府	5	5	5	12	9	10	3	2	7	9	67	11
	大阪府	29	20	14	34	37	54	12	24	39	37	300	3
	兵庫県	26	17	18	24	31	39	19	14	26	40	254	4
	奈良県	2	5	2	4	5	6	0	1	2	2	29	
	和歌山県	2	2	3	1	2	0	0	0	0	1	11	
近畿計		69	51	50	80	90	119	36	42	77	96	710	-
中国	鳥取県	0	1	1	1	2	0	2	1	0	0	8	
	島根県	2	0	3	1	3	1	0	0	0	1	11	
	岡山県	16	20	15	12	27	29	13	7	11	24	174	6
	広島県	7	9	9	9	16	11	7	10	13	21	112	8
	山口県	1	0	4	1	0	1	0	0	0	6	13	
中国計		26	30	32	24	48	42	22	18	24	52	318	-
四国	徳島県	37	33	16	32	10	14	7	15	8	15	187	5
	香川県	27	56	38	47	34	28	22	32	23	29	336	2
	愛媛県	36	49	64	37	35	21	74	46	61	49	472	1
四国計		100	138	118	116	79	63	103	93	92	93	995	-
九州・沖縄	福岡県	3	5	3	2	10	8	2	2	3	14	52	
	佐賀県	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	6	
	長崎県	0	0	0	0	1	1	0	0	1	1	4	
	熊本県	1	1	0	0	1	2	0	0	1	0	6	
	大分県	0	0	1	0	2	4	1	0	2	3	13	
	宮崎県	2	0	3	1	0	2	0	0	0	2	10	
	鹿児島県	0	2	2	0	0	3	0	1	1	2	11	
沖縄県	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1		
九州・沖縄計		6	8	9	4	15	22	3	4	9	23	103	-
海外		0	1	1	1	1	1	0	0	0	1	6	-
高知県		163	147	159	123	84	31	215	226	129	66	1,343	-

5 旅行日数

5.1 発地ブロック別県内旅行日数

(図 5-1) 発地ブロック別県内旅行日数(日) [H29 年、30 年]



県内旅行日数の平均は、前年と比べ横ばいの 2.0 日となっている。

発地ブロック別にみると、北海道と北陸・新潟が 3.1 日で最も多く、次いで関東と甲信・東海が 2.7 日、東北が 2.6 日と続いている。前年と比べ、東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄で増加しており、北海道、関東で減少、近畿、中国、四国は横ばいとなっている。

5.2 年代別旅行日数

(表 5-2) 年代別県内旅行日数〔※加重平均〕(日)〔H26～30年〕

	26年	27年	28年	29年	30年
10代	2.9	2.7	2.2	2.1	2.2
20代	2.1	2.1	2.1	2.0	2.1
30代	2.1	2.2	2.1	2.0	2.0
40代	2.2	2.3	2.2	2.0	2.0
50代	2.1	2.0	2.1	1.9	1.9
60代以上	2.0	2.2	2.1	2.1	1.9
全体	2.1	2.2	2.1	2.0	2.0

年代別の県内旅行日数は、10代が2.2日で最も多く、次いで20代が2.1日、30代と40代が2.0日、50代と60代以上が1.9日と続いている。

前年と比べ、10代と20代は増加、30代から50代は横ばい、60代以上で減少となっている。平成26年度の調査から通してみると、60代以上で過去最小となっている。

※加重平均: 平均値を算出する際に、量の大小を反映させる方法

6 旅行形態別旅行目的割合

(表 6-1) 旅行形態別旅行目的割合(%) [H28～30 年]

		自然見物 ・町歩き	休養・慰安	イベント	アウトドア	スポーツ	食べ物	神仏 霊場巡り	買い物	名所旧跡 観光施設	なんとなく	帰省・仕事	その他
1人	28年	21.4	2.1	3.6	2.9	1.6	6.3	6.5	0.8	11.5	17.7	22.7	2.9
	29年	21.7	2.7	2.7	3.3	0.6	8.2	6.9	0.8	13.7	13.7	23.0	2.7
	30年	16.5	1.4	2.5	2.5	1.1	4.6	6.3	1.1	14.0	18.4	29.1	2.5
家族	28年	19.8	4.6	2.6	3.2	0.6	15.5	3.4	2.1	28.2	3.0	15.8	1.2
	29年	24.3	3.4	1.7	2.9	0.9	16.5	4.2	1.9	27.2	4.9	10.6	1.5
	30年	21.3	4.7	0.7	2.9	0.3	16.9	3.4	2.0	27.9	6.5	11.5	1.9
友人 知人	28年	23.9	2.2	4.6	6.1	0.9	28.2	1.5	0.9	17.4	8.2	5.0	1.1
	29年	19.5	3.3	2.6	5.6	0.7	28.8	2.8	0.9	18.4	10.5	5.1	1.8
	30年	19.5	3.9	1.4	4.4	0.2	28.0	2.1	0.9	22.5	11.1	4.6	1.4
団体	28年	18.7	20.8	2.1	4.2	4.2	14.6	0.0	0.0	20.8	2.1	10.4	2.1
	29年	7.4	29.6	1.8	3.7	0.0	13.0	3.7	0.0	9.3	3.7	13.0	14.8
	30年	26.5	29.4	0.0	0.0	2.9	11.8	0.0	0.0	23.6	2.9	0.0	2.9
その他	28年	16.7	4.2	6.2	2.1	6.2	25.0	2.1	2.1	4.2	6.2	10.4	14.6
	29年	20.9	2.3	0.0	2.3	0.0	14.0	7.0	2.3	9.3	16.3	16.3	9.3
	30年	6.1	6.1	0.0	0.0	0.0	15.2	0.0	0.0	18.1	6.1	30.3	18.1
全体	28年	20.5	4.2	3.1	3.6	0.9	16.4	3.5	1.7	23.9	5.8	14.8	1.6
	29年	22.8	3.8	1.9	3.4	0.8	17.3	4.3	1.6	23.3	7.2	11.5	2.1
	30年	20.2	4.5	1.1	3.0	0.4	16.9	3.5	1.7	24.9	8.8	12.9	2.1

旅行目的の全体割合をみると、「名所旧跡・観光施設」が前年から1.6ポイント増加の24.9%と最も多く、次いで「自然見物・町歩き」が2.6ポイント減少の20.2%、「食べ物」が0.4ポイント減少の16.9%と続いている。

旅行形態別に旅行目的を前年と比べると、“一人旅”では、「帰省・仕事」が6.1ポイント増加、「自然見物・町歩き」が5.2ポイント減少となっている。“家族旅行”では、「なんとなく(ドライブを含む)」が1.6ポイント増加、「自然見物・町歩き」が3.0ポイント減少となり、“友人・知人との旅行”では、「名所旧跡・観光施設」が4.1ポイント増加、「イベント」「アウトドア」がそれぞれ1.2ポイント減少、“団体”では、「自然見物・町歩き」が19.1ポイント、「名所旧跡・観光施設」が14.3ポイント増加、「帰省・仕事」が13.0ポイント減少となっている。

平成28年度の調査から通してみると、「名所旧跡・観光施設」「なんとなく(ドライブを含む)」などは過去最大、「自然見物・町歩き」「イベント」などは過去最小となっている。

7 入込利用交通機関割合

(表 7-1) 入込利用交通機関別割合(上段:件 下段:%) [H26~30年]

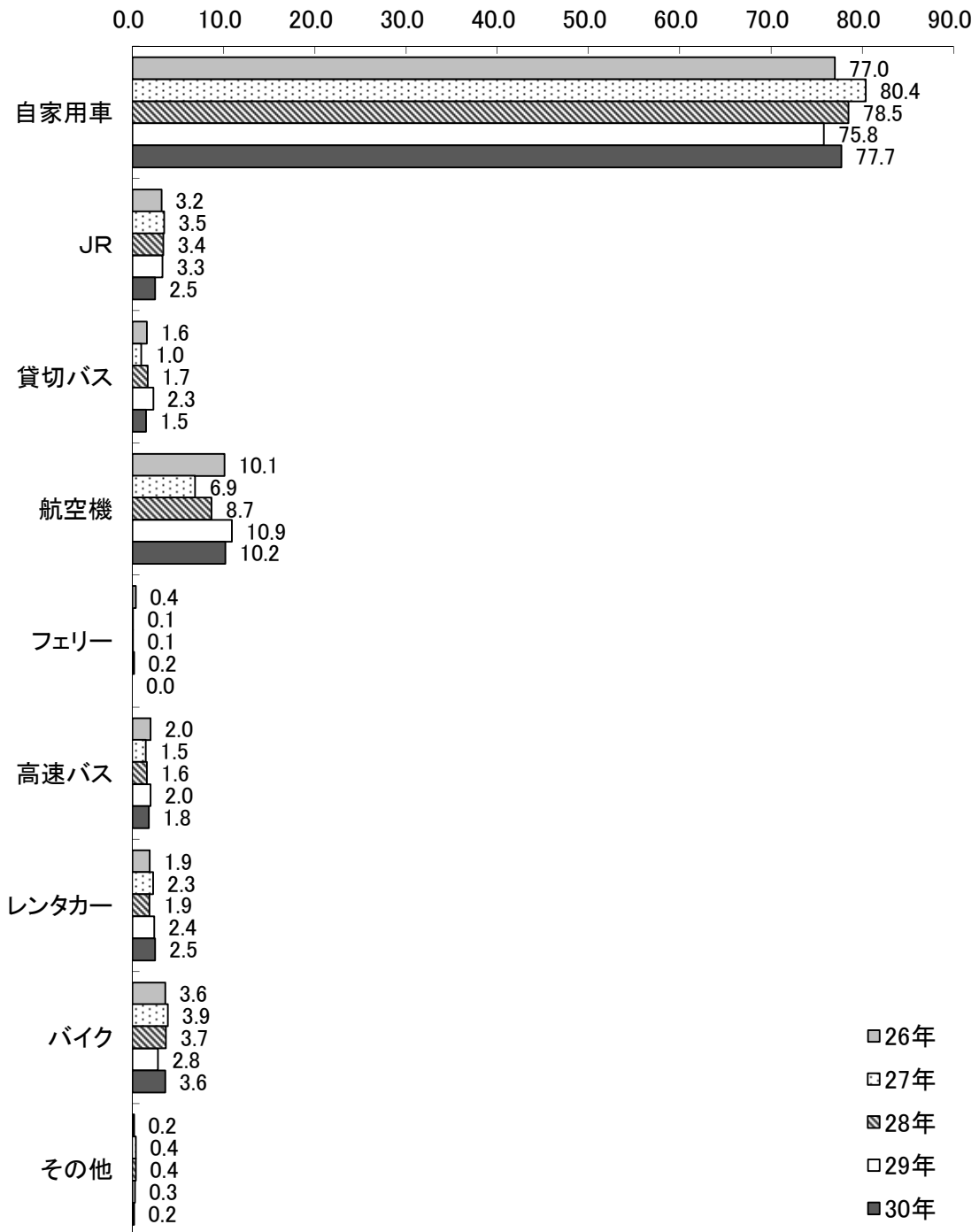
	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他
26年	2,220	94	46	291	12	57	54	103	6
(n=2,883)	77.0	3.2	1.6	10.1	0.4	2.0	1.9	3.6	0.2
27年	2,364	104	28	201	3	45	67	115	13
(n=2,940)	80.4	3.5	1.0	6.9	0.1	1.5	2.3	3.9	0.4
28年	2,337	99	49	260	3	48	57	110	13
(n=2,976)	78.5	3.4	1.7	8.7	0.1	1.6	1.9	3.7	0.4
29年	2,044	90	61	294	4	54	65	75	9
(n=2,696)	75.8	3.3	2.3	10.9	0.2	2.0	2.4	2.8	0.3
30年	2,064	65	40	270	0	49	67	97	5
(n=2,657)	77.7	2.5	1.5	10.2	0.0	1.8	2.5	3.6	0.2

※高知県と県外を結ぶフェリー(宿毛フェリー)は、平成30年10月より運航休止している。

入込利用交通機関は、「自家用車」が前年から1.9ポイント増加の77.7%で最も多く、次いで「航空機」が0.7ポイント減少の10.2%、「バイク」が0.8ポイント増加の3.6%と続いている。

平成26年度の調査から通してみると、「レンタカー」は過去最大、「JR」は過去最小となっている。

(図 7-2) 入込利用交通機関別割合(%) [H26~30年]



8 旅行形態割合

(表 8-1) 年代別旅行形態割合(%) [H29 年、30 年]

		1人	家族	友人知人	団体	その他
10 代	29年 (n=29)	6.9	62.1	31.0	0.0	0.0
	30年 (n=24)	0.0	79.1	16.7	0.0	4.2
20 代	29年 (n=356)	16.0	37.4	40.2	2.2	4.2
	30年 (n=363)	14.9	35.6	45.7	1.9	1.9
30 代	29年 (n=581)	9.3	66.3	21.5	1.2	1.7
	30年 (n=552)	11.1	69.5	17.6	0.5	1.3
40 代	29年 (n=638)	14.4	72.4	10.8	1.9	0.5
	30年 (n=629)	14.6	73.0	11.0	0.8	0.6
50 代	29年 (n=541)	14.2	76.9	5.4	2.2	1.3
	30年 (n=623)	15.9	73.2	8.3	1.3	1.3
60代以上	29年 (n=551)	15.1	70.8	10.0	2.7	1.4
	30年 (n=466)	12.5	74.4	9.4	2.4	1.3
全 体	29年 (n=2,696)	13.5	66.9	16.0	2.0	1.6
	30年 (n=2,657)	13.7	67.5	16.3	1.3	1.2

旅行形態割合をみると、「家族」が 67.5% で最も多く、次いで「友人知人」が 16.3%、「1人」が 13.7%、「団体」が 1.3%、「その他」が 1.2% と続いている。

前年と比べ、「家族」が 0.6 ポイント、「友人知人」が 0.3 ポイント、「1人」が 0.2 ポイントと、それぞれ増加しており、「団体」が 0.7 ポイント、「その他」が 0.4 ポイントと、それぞれ減少となっている。

年代別に旅行形態をみると、20 代をのぞく全ての年代で「家族」が最も多く、20 代は「友人知人」が最も多くなっている。

(表 8-2) 年代別同行者数割合(%) [H29 年、30 年]

		1人	2~3人	4~5人	6~10人	11人以上
10 代	29年 (n=29)	6.9	34.5	41.4	17.2	0.0
	30年 (n=24)	0.0	70.8	25.0	4.2	0.0
20 代	29年 (n=356)	16.0	67.1	11.5	3.7	1.7
	30年 (n=363)	14.9	64.7	15.7	3.0	1.7
30 代	29年 (n=581)	9.3	60.4	24.9	4.0	1.4
	30年 (n=552)	11.1	63.2	21.9	3.8	0.0
40 代	29年 (n=638)	14.4	57.9	21.6	4.2	1.9
	30年 (n=629)	14.6	59.1	22.1	3.2	1.0
50 代	29年 (n=541)	14.2	69.0	13.3	2.2	1.3
	30年 (n=623)	15.9	64.2	14.1	4.8	1.0
60代以上	29年 (n=551)	15.1	62.8	14.1	5.6	2.4
	30年 (n=466)	12.5	67.4	12.0	5.1	3.0
全 体	29年 (n=2,696)	13.5	62.6	18.1	4.1	1.7
	30年 (n=2,657)	13.7	63.5	17.6	4.0	1.2

同行者数割合をみると、「2~3人」が63.5%で最も多く、次いで「4~5人」が17.6%、「1人」が13.7%、「6~10人」が4.0%、「11人以上」が1.2%と続いている。

前年と比べ、「2~3人」が0.9ポイント、「1人」が0.2ポイントと、それぞれ増加しており、「4~5人」と「11人以上」が0.5ポイント、「6~10人」が0.1ポイント、それぞれ減少となっている。

年代別にみると、全ての年代で「2~3人」が最も多くなっている。

(表 8-1、8-2 参考①) 年代別旅行形態・同行者数割合(件) [H30 年]

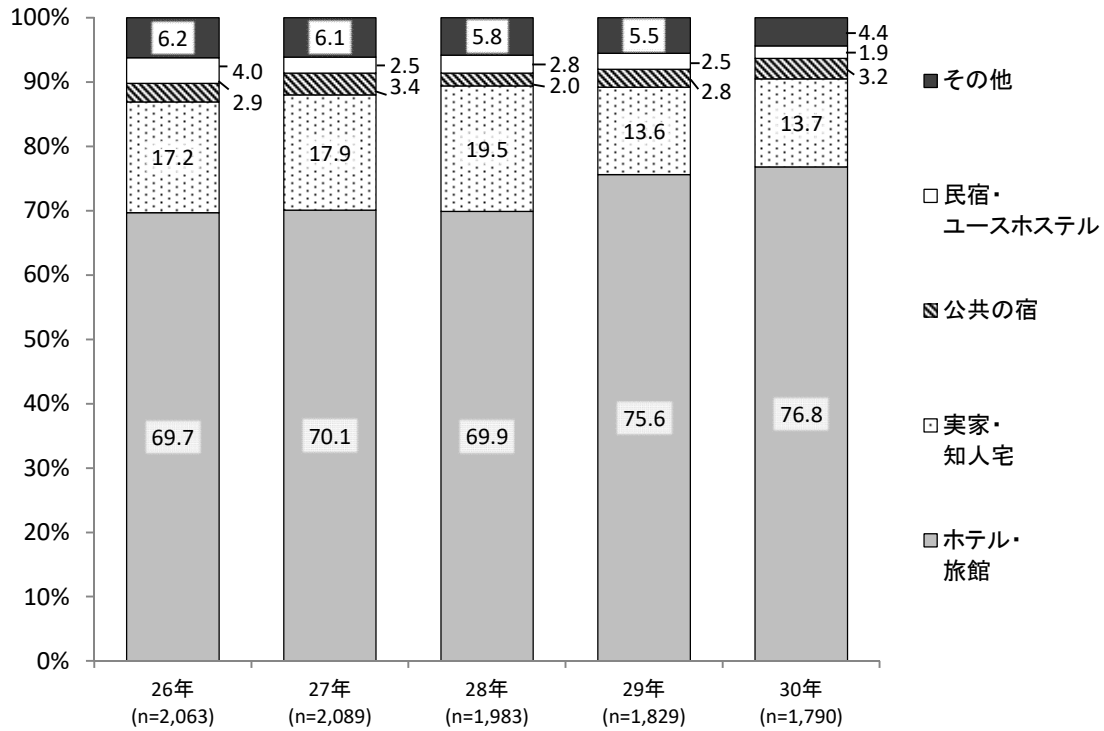
	1人	家族				友人知人				団体				その他				
		2～3人	4～5人	6～10人	11人以上	2～3人	4～5人	6～10人	11人以上	2～3人	4～5人	6～10人	11人以上	2～3人	4～5人	6～10人	11人以上	
10代		13	6			4											1	
20代	54	91	33	5		141	22	2	1				2	5	3	2	2	
30代	61	259	109	16		85	11	1					3		5	1	1	
40代	92	317	126	15	1	55	9	4	1				1	4		4		
50代	99	365	74	17		33	12	7					3	5	2	2	3	1
60代以上	58	289	47	11		24	8	10	2					11	1	1	3	1

年代別に旅行形態と同行者数の関係を見ると、10代と40代から60代以上は「2～3人の家族」が半数を超えて最も多くなっている。また、20代では「2～3人の友人知人」と「2～3人の家族」が多く、30代は「2～3人の家族」と「4～5人の家族」が多くなっている。

9 宿泊施設割合

9.1 年間

(図 9-1) 県内利用宿泊施設割合(%) [H26～30 年]



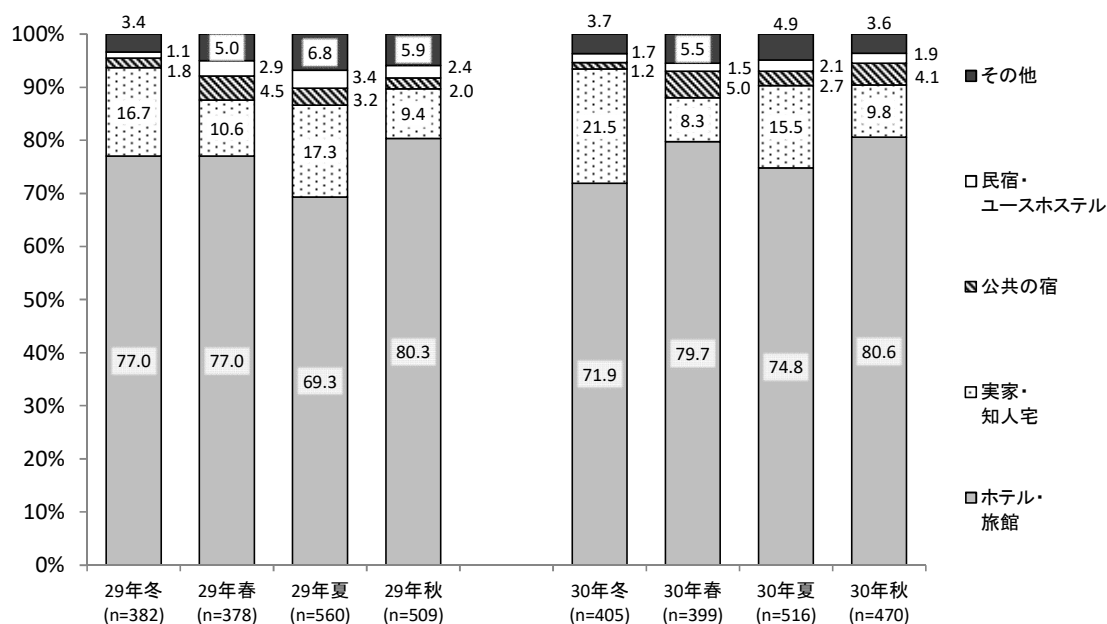
県内で利用された宿泊施設の割合は、「ホテル・旅館」が 76.8% で最も多く、次いで「実家・知人宅」が 13.7%、「その他」が 4.4%、「公共の宿」が 3.2%、「民宿・ユースホステル」が 1.9% と続いている。

前年と比べ、「ホテル・旅館」が 1.2 ポイント、「公共の宿」が 0.4 ポイント、「実家・知人宅」が 0.1 ポイントと、それぞれ増加し、「その他」が 1.1 ポイント、「民宿・ユースホステル」が 0.6 ポイントと、それぞれ減少している。

平成 26 年の調査から通してみると、「ホテル・旅館」は過去最大、「民宿・ユースホステル」と「その他」は過去最小となっている。

9.2 四季別

(図 9-2) 四季別県内利用宿泊施設割合(%) [H29 年、30 年]



四季別県内利用宿泊施設の割合をみると、「ホテル・旅館」の占める割合が年間を通じて最も多くなっている。

前年と比べると、冬季は「実家・知人宅」が 4.8 ポイント増加し、「ホテル・旅館」が 5.1 ポイント減少となっている。

春季は「ホテル・旅館」が 2.7 ポイント増加し、「実家・知人宅」が 2.3 ポイント、民宿・ユースホステル」が 1.4 ポイント減少となっている。

夏季は「ホテル・旅館」が 5.5 ポイント増加し、「その他」が 1.9 ポイント、「実家・知人宅」が 1.8 ポイント、「民宿・ユースホステル」が 1.3 ポイント減少となっている。

秋季は「公共の宿」が 2.1 ポイント増加し、「その他」が 2.3 ポイント減少となっている。

9.3 年代別宿泊施設割合

(表 9-3) 年代別県内利用宿泊施設割合(%) [H29 年、30 年]

		ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
10 代	29年 (n=22)	45.5	41.0	4.5	4.5	4.5
	30年 (n=18)	66.7	27.8	0.0	0.0	5.5
20 代	29年 (n=248)	75.0	14.9	1.6	2.0	6.5
	30年 (n=251)	74.9	15.1	2.8	1.6	5.6
30 代	29年 (n=398)	76.9	13.6	2.2	3.0	4.3
	30年 (n=379)	75.2	15.6	3.4	2.1	3.7
40 代	29年 (n=452)	77.0	11.1	3.3	2.4	6.2
	30年 (n=458)	77.5	12.4	3.1	2.0	5.0
50 代	29年 (n=362)	78.5	11.6	3.9	1.9	4.1
	30年 (n=402)	79.1	14.9	3.2	0.5	2.3
60代以上	29年 (n=347)	71.5	16.4	2.6	2.9	6.6
	30年 (n=282)	76.6	9.6	3.9	3.5	6.4

年代別利用宿泊施設割合をみると、全ての年代で「ホテル・旅館」が最も多くなっている。

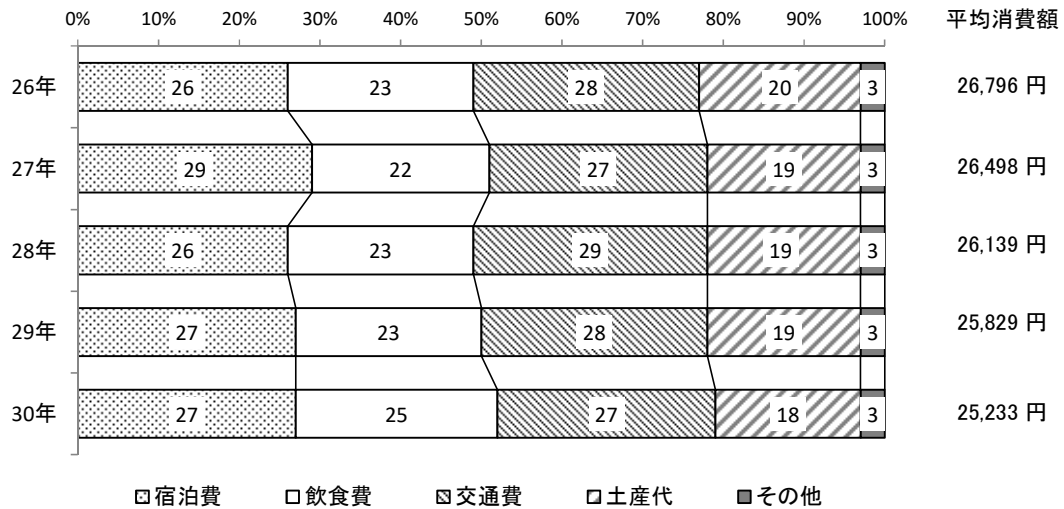
前年と比べると、10代と60代以上は「ホテル・旅館」が大きく増加し、「実家・知人宅」が大きく減少となっている。20代は「公共の宿」が増加し、「その他」が減少となり、30代は「実家・知人宅」などが増加し、「ホテル・旅館」などが減少となっている。40代と50代は「実家・知人宅」と「ホテル・旅館」が増加し、それ以外が減少となっている。

10 県内消費額

10.1 県内消費額費目別割合・平均消費額

10.1.1 年間

(図 10-1) 県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [H26~30年]



県内消費額の年間平均金額は、前年と比べ 596 円の減少の 25,233 円となっている。費目別で見ると、「宿泊費」と「交通費」が 27%と最も多く、次いで「飲食費」が 25%と続いている。

(図 10-1 参考①) 県内平均消費額費目別内訳(円) [H28~30年]

	宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他
28年	6,747	5,954	7,759	4,914	765
29年	6,922	6,003	7,266	4,815	823
30年	6,749	6,202	6,861	4,640	781

費目別の平均消費額を前年と比べると、「飲食費」が 199 円増加し、「交通費」が 405 円、「土産代」が 175 円、「宿泊費」が 173 円、「その他」が 42 円と、それぞれ減少となっている。

平成 28 年の調査から通してみると、「飲食費」は過去最大、「交通費」と「土産代」は過去最小となっている。

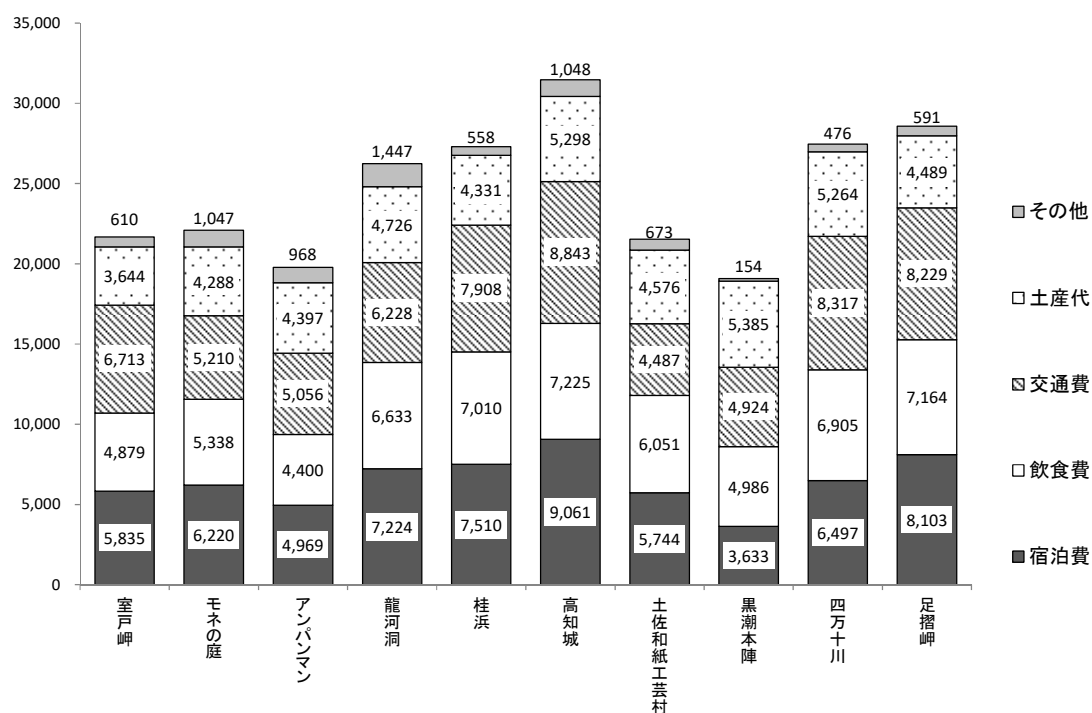
(図 10-1 参考②) 調査地別県内平均消費額(円) [H29 年、30 年]

	室戸岬	モネの庭	アンパンマン	龍河洞	桂浜	高知城	土佐和紙工芸村	黒潮本陣	四万十川	足摺岬
29年	27,485	25,474	17,648	26,556	26,635	28,386	22,073	22,017	28,869	30,527
30年	21,681	22,103	19,790	26,258	27,317	31,475	21,531	19,082	27,459	28,576
前年との差	▲ 5,804	▲ 3,371	2,142	▲ 298	682	3,089	▲ 542	▲ 2,935	▲ 1,410	▲ 1,951

調査地別の年間平均消費額をみると、「高知城」が 31,475 円で最も高く、次いで「足摺岬」が 28,576 円、「四万十川」が 27,459 円と続いており、「黒潮本陣」が 19,082 円で最も低くなっている。

前年と比べ、「高知城」が 3,089 円、「アンパンマンミュージアム」が 2,142 円の増加となっており、その一方で「室戸岬」が 5,804 円、「モネの庭」が 3,371 円の減少となっている。

(図 10-1 参考③) 調査地別県内平均消費額費目別内訳(円) [H30 年]



調査地別に費目別の平均消費額をみると、モネの庭、龍河洞、高知城では「宿泊費」が、土佐和紙工芸村では「飲食費」が、黒潮本陣では「土産代」が、その他の調査地では「交通費」が最も多くなっている。

(参考) 県外観光客1人当たりの県内消費額及び経済波及効果

	H30		H29		H28		H27	H26	H25	H24
県外観光客総数(人)	4,412,571		4,406,363		4,243,538		4,086,981	4,012,614	4,071,766	3,839,714
	客船以外	客船 (乗船客数)	客船以外	客船 (乗船客数)	客船以外	客船 (乗船客数)				
	(A) 4,331,658	80,913	(A) 4,302,503	103,860	4,182,105	61,433				
県外観光客一人当たり消費額 (円)	(B) 客船除く 25,233		(B) 客船除く 25,829		26,139		26,662	26,796	27,073	26,064
<内訳> 宿泊費	6,749		6,922		6,747		7,682	7,047	7,028	6,679
飲食費	6,202		6,003		5,954		5,827	6,253	5,923	5,858
交通費	6,861		7,266		7,759		7,153	7,383	7,608	7,315
土産	4,640		4,815		4,914		5,171	5,210	5,683	5,458
その他	781		823		765		829	903	831	754
県外観光客の総消費額(百万 円)	客船除く総消費額 (A) × (B) 109,301		客船除く総消費額 (A) × (B) 111,129		109,316		108,967	107,522	110,234	100,078
	客船乗船客等による消費額 1,135		客船乗船客等による消費 1,481		850					
客船除く生産誘発効果(百万円)	110,436		112,610		110,166					
客船の生産誘発効果(百万円)	167,419		170,151		169,550					
生産誘発効果(百万円)	1,309		1,877		1,211		165,436	163,263	167,434	152,004
生産誘発効果(百万円)	168,728		172,028		170,761					
生産誘発倍率(倍)	1.53		1.53		1.55		1.52	1.52	1.52	1.52

10.1.2 四季別

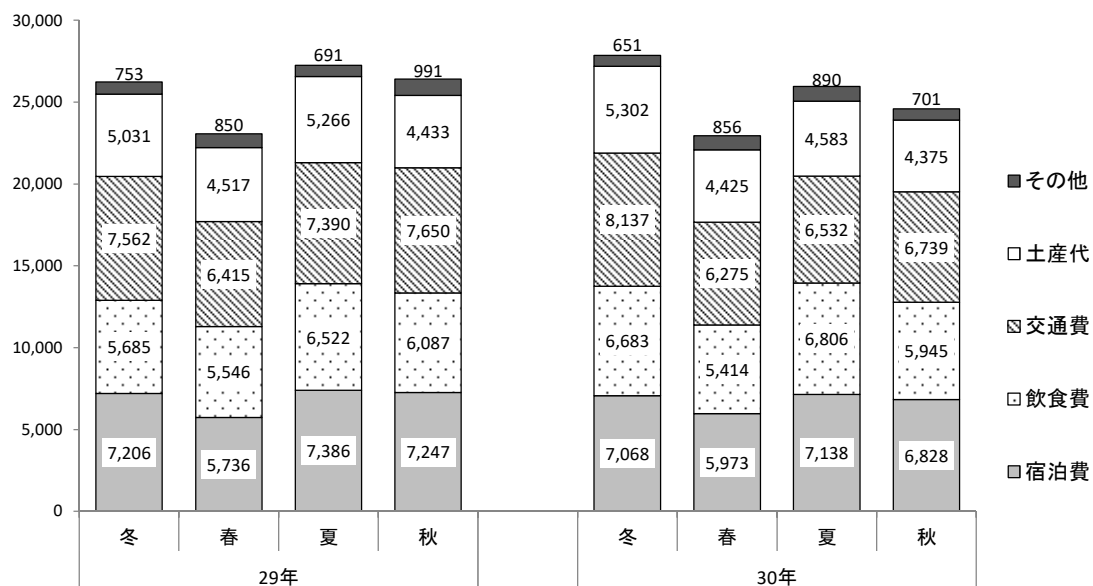
(表 10-2) 四季別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [H29 年、30 年]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均消費額	前年差
冬	29年	27	22	29	19	3	26,237円	1,604円
	30年	25	24	29	19	3	27,841円	
春	29年	25	24	28	19	4	23,064円	▲ 121円
	30年	26	24	27	19	4	22,943円	
夏	29年	27	24	27	19	3	27,255円	▲ 1,306円
	30年	28	26	25	18	3	25,949円	
秋	29年	27	23	29	17	4	26,408円	▲ 1,820円
	30年	28	24	27	18	3	24,588円	

四季別の平均消費額を前年と比べると、冬季が1,604円の増加となっており、秋季が1,820円、夏季が1,306円、春季が121円の減少となっている。

費目別の割合を前年と比べると、「宿泊費」は冬季をのぞく調査時期で増加、冬季が減少となっている。「飲食費」は春季をのぞく調査時期が増加、春季が横ばいとなっている。「交通費」は冬季が横ばい、その他の調査時期が減少となっている。「土産代」は秋季が増加、冬季と春季が横ばい、夏季が減少となっている。「その他」は秋季が減少、その他の調査時期が横ばいとなっている。

(図 10-3) 四季別県内平均消費額費目別内訳(円) [H29 年、30 年]



各費目について最も高くなった時季と平均消費額は、「宿泊費」が夏季の 7,138 円、「飲食費」が夏季の 6,806 円、「交通費」が冬季の 8,137 円、「土産代」が冬季の 5,302 円、「その他」が夏季の 890 円となっている。

前年と比べ、冬季は「飲食費」「交通費」「土産代」が、春季は「宿泊費」「その他」が、夏季は「飲食費」「その他」が、それぞれ増加となっており、秋季はすべての費目で減少となっている。

10.2 年代別費目割合・平均消費額

(表 10-4) 年代別県内消費額費目別割合(%)、同平均消費額(円) [H29 年、30 年]

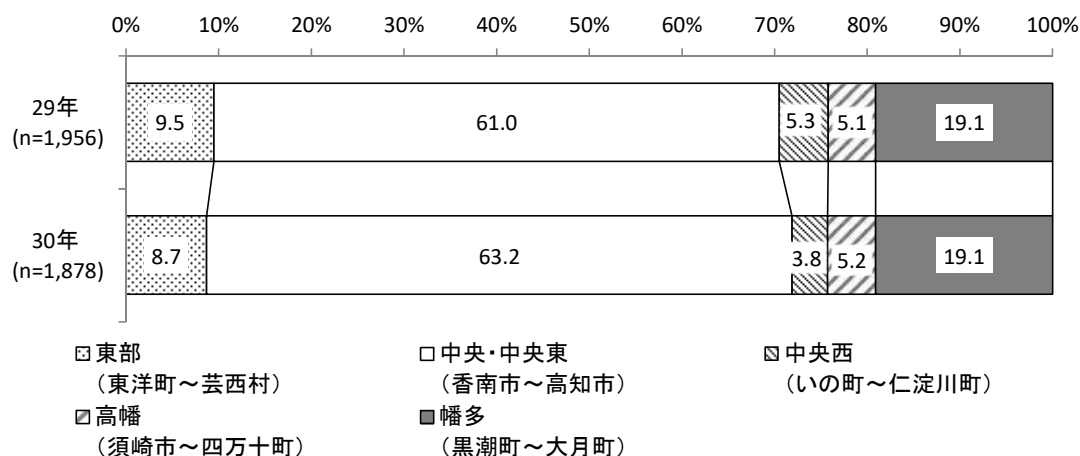
		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	平均金額	前年差
10 代	29年	27	24	24	21	4	22,486円	3,999円
	30年	18	28	31	20	3	26,485円	
20 代	29年	22	26	32	17	3	23,738円	▲ 107円
	30年	23	28	30	16	3	23,631円	
30 代	29年	27	23	28	18	4	24,477円	54円
	30年	27	25	27	18	3	24,531円	
40 代	29年	28	23	27	19	3	25,953円	491円
	30年	27	25	26	19	3	26,444円	
50 代	29年	28	22	28	20	2	26,226円	▲ 1,693円
	30年	27	25	26	19	3	24,533円	
60代以上	29年	27	23	27	19	4	28,287円	▲ 1,705円
	30年	29	21	28	19	3	26,582円	

年代別の平均消費額は、前年と比べると10代が3,999円、40代が491円、30代が54円の増加となっており、60代以上が1,705円、50代が1,693円、20代が107円の減少となっている。

費目別の割合を前年と比べると、「宿泊費」は20代、60代以上が増加、30代が横ばい、その他の年代が減少となっている。「飲食費」は60代以上をのぞく年代が増加、60代以上が減少となっている。「交通費」は10代と60代以上が増加、その他の年代が減少となっている。「土産代」は30代、40代、60代以上が横ばい、その他の年代が減少となっている。「その他」は50代が増加、20代と40代が横ばい、その他の年代が減少となっている。

11 宿泊地域割合

(図 11-1) 県内宿泊地域割合(%) [H29 年、30 年]



県内での宿泊地域をみると、「中央・中央東」が 63.2% で最も高く、次いで「幡多」が 19.1%、「東部」が 8.7%、「高幡」が 5.2%、「中央西」が 3.8% と続いている。

前年と比べ、「中央・中央東」が 2.2 ポイント、「高幡」が 0.1 ポイントの増加、「幡多」が横ばい、「中央西」が 1.5 ポイント、「東部」が 0.8 ポイントの減少となっている。

(表 11-2) 調査地別県内宿泊地域割合(%) [H30 年]

	東部	中央東	中央	中央西	高幡	幡多
室戸岬	34.7	6.4	41.1	4.0	4.0	9.8
モネの庭	35.1	4.7	51.4	0.7	2.0	6.1
アンパンマン	9.4	11.0	68.5	3.2	2.4	5.5
龍河洞	5.0	6.7	78.8	4.5	1.1	3.9
桂浜	2.6	3.4	81.5	2.2	3.9	6.4
高知城	3.5	2.9	86.2	1.3	1.0	5.1
土佐和紙工芸村	2.0	1.0	67.7	23.2	2.0	4.1
黒潮本陣	2.2	0.0	55.1	7.9	18.0	16.8
四万十川	1.4	1.4	33.6	1.4	15.2	47.0
足摺岬	2.4	3.0	30.1	2.7	6.4	55.4
全体	8.7	3.9	59.3	3.8	5.2	19.1

※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

調査地別に宿泊地域をみると(P41:表 11-2)、四万十川と足摺岬は「幡多」「中央」の順で、桂浜と高知城は「中央」「幡多」の順で、その他の調査地は「中央」と調査地がある地域の順で、それぞれ多くなっている。

(表 11-3)調査地別県内利用宿泊施設割合(%) [H30 年]

	ホテル・旅館	実家・知人宅	公共の宿	民宿・ユースホステル	その他
室戸岬	68.2	10.1	6.8	4.1	10.8
モネの庭	78.3	14.5	3.6	1.4	2.2
アンパンマン	76.8	16.0	4.0	2.4	0.8
龍河洞	86.1	11.7	1.1	0.0	1.1
桂浜	86.0	10.5	1.8	0.4	1.3
高知城	92.7	4.7	0.3	1.0	1.3
土佐和紙工芸村	69.9	11.6	12.6	1.0	4.9
黒潮本陣	56.7	26.8	12.3	2.1	2.1
四万十川	60.0	32.1	0.9	1.4	5.6
足摺岬	72.0	9.7	1.5	4.7	12.1
全体	76.8	13.7	3.2	1.9	4.4

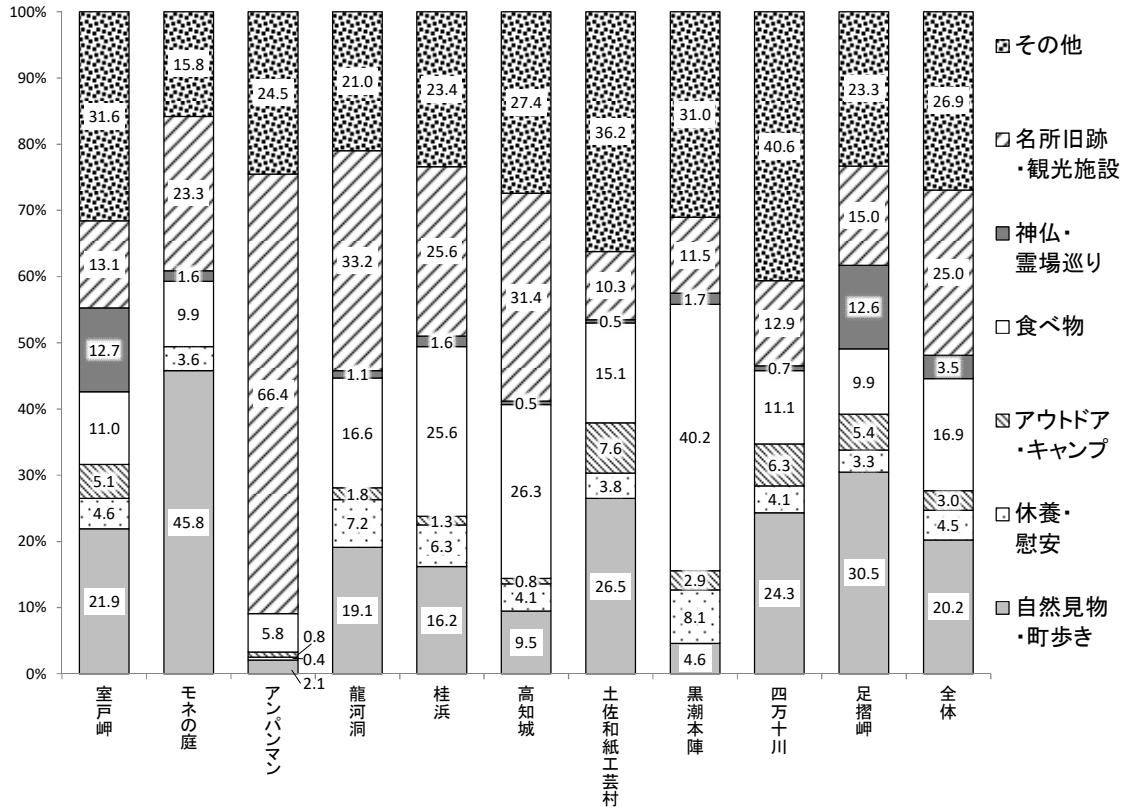
※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

調査地別に宿泊施設をみると、足摺岬と室戸岬は「ホテル・旅館」「その他」の順で、土佐和紙工芸村は「ホテル・旅館」「公共の宿」の順で、その他の調査地は「ホテル・旅館」「実家・知人宅」の順で、それぞれ多くなっている。

12 調査地別割合

12.1 旅行目的割合

(図 12-1) 調査地別旅行目的割合(%) [H30年]



(表 12-2) 調査地別旅行目的割合(%) [H30年]

	自然見物・町歩き	休養・慰安	アウトドア・キャンプ	食べ物	神仏・霊場巡り	名所旧跡・観光施設	その他
室戸岬	21.9	4.6	5.1	11.0	12.7	13.1	31.6
モネの庭	45.8	3.6	0.0	9.9	1.6	23.3	15.8
アンパンマン	2.1	0.4	0.8	5.8	0.0	66.4	24.5
龍河洞	19.1	7.2	1.8	16.6	1.1	33.2	21.0
桂浜	16.2	6.3	1.3	25.6	1.6	25.6	23.4
高知城	9.5	4.1	0.8	26.3	0.5	31.4	27.4
土佐和紙工芸村	26.5	3.8	7.6	15.1	0.5	10.3	36.2
黒潮本陣	4.6	8.1	2.9	40.2	1.7	11.5	31.0
四万十川	24.3	4.1	6.3	11.1	0.7	12.9	40.6
足摺岬	30.5	3.3	5.4	9.9	12.6	15.0	23.3
全体	20.2	4.5	3.0	16.9	3.5	25.0	26.9

※背景色＋太字は調査地ごとの上位2位まで。

調査地別の旅行目的をみると(P43:図 12-1、表 12-2)、「室戸岬」、「土佐和紙工芸村」、「四万十川」は“その他”が最も多く、次いで“自然見物・町歩き”が続いている。その他の内訳では、「室戸岬」と「土佐和紙工芸村」は“なんとなく(ドライブを含む)”が、「四万十川」は“帰省・知人訪問”が多くなっている。

「モネの庭」は“自然見物・町歩き”が45.8%と最も多く、次いで“名所旧跡・観光施設”が23.3%と続いている。

「アンパンマンミュージアム」「龍河洞」「高知城」は“名所旧跡・観光施設”が最も多く、次いで“その他”が続いている。その他の内訳では、“なんとなく(ドライブを含む)”と“帰省・知人訪問”が多くなっている。

「桂浜」は“食べ物”と“名所旧跡・観光施設”が25.6%と最も多くなっている。

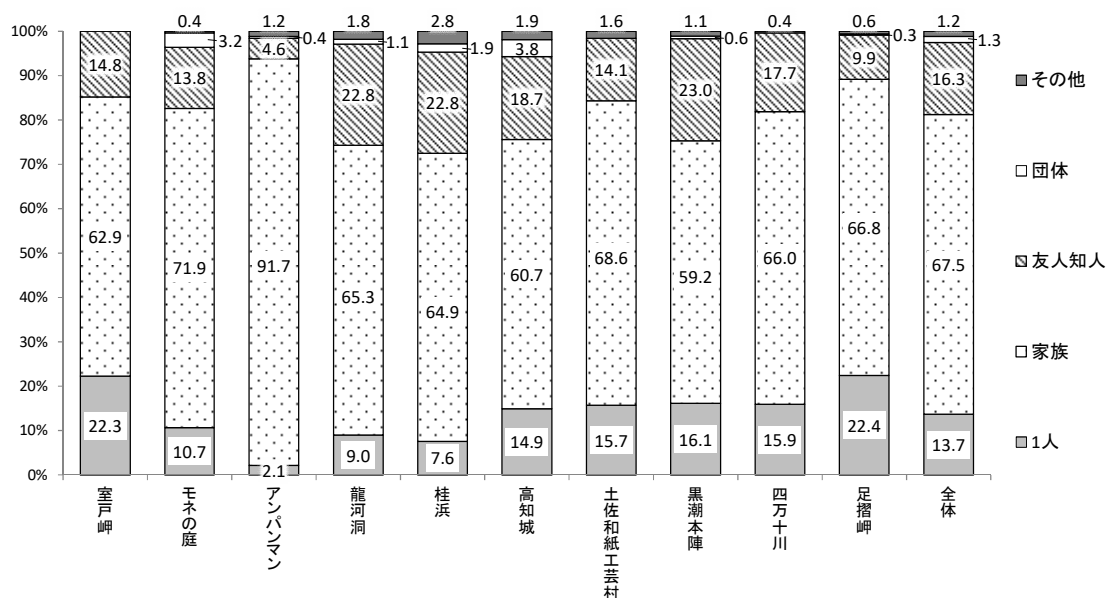
「黒潮本陣」は“食べ物”が40.2%と最も多く、次いで“その他”が31.0%と続いている。その他の内訳では、“帰省・知人訪問”、“なんとなく(ドライブを含む)”などが多くなっている。

「足摺岬」は“自然見物・町歩き”が30.5%と最も多く、次いで“その他”が23.3%と続いている。その他の内訳では、“帰省・知人訪問”と“なんとなく(ドライブを含む)”が多くなっている。

旅行目的別にみると、“自然見物・町歩き”は「モネの庭」「足摺岬」「土佐和紙工芸村」の順で、“休養・慰安”は「黒潮本陣」「龍河洞」「桂浜」の順で、“アウトドア・キャンプ”は「土佐和紙工芸村」「四万十川」「足摺岬」の順で、“食べ物”は「黒潮本陣」「高知城」「桂浜」の順で、“神仏・霊場巡り”は「室戸岬」「足摺岬」「黒潮本陣」の順で、“名所旧跡・観光施設”は「アンパンマンミュージアム」「龍河洞」「高知城」の順で、それぞれ多くなっている。

12.2 旅行形態割合

(図 12-3) 調査地別旅行形態割合(%) [H30年]

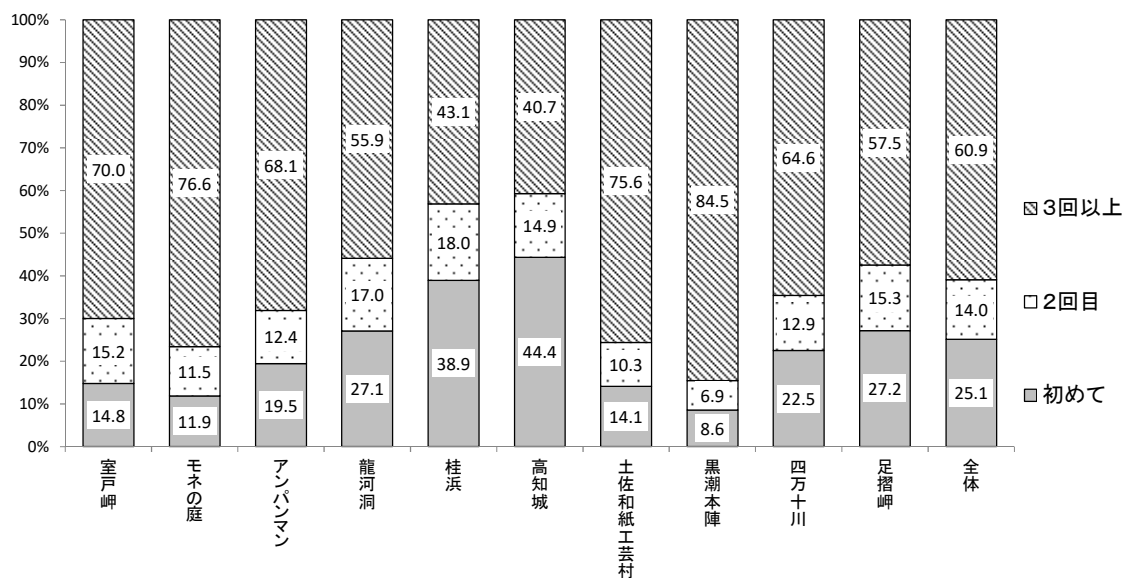


調査地別の旅行形態割合をみると、全ての調査地で「家族」が最も多く、次いで、足摺岬、室戸岬、土佐和紙工芸村は「1人」が、その他の調査地は「友人知人」が、それぞれ多くなっている。

旅行形態別にみると、「1人」は足摺岬、室戸岬、黒潮本陣の順で、「家族」はアンパンマンミュージアム、モネの庭、土佐和紙工芸村の順で、「友人知人」は黒潮本陣に次いで龍河洞と桂浜が、「団体」は高知城、モネの庭、桂浜の順で、それぞれ多くなっている。

12.3 過去来県回数割合

(図 12-4) 調査地別過去来県回数割合(%) [H30 年]



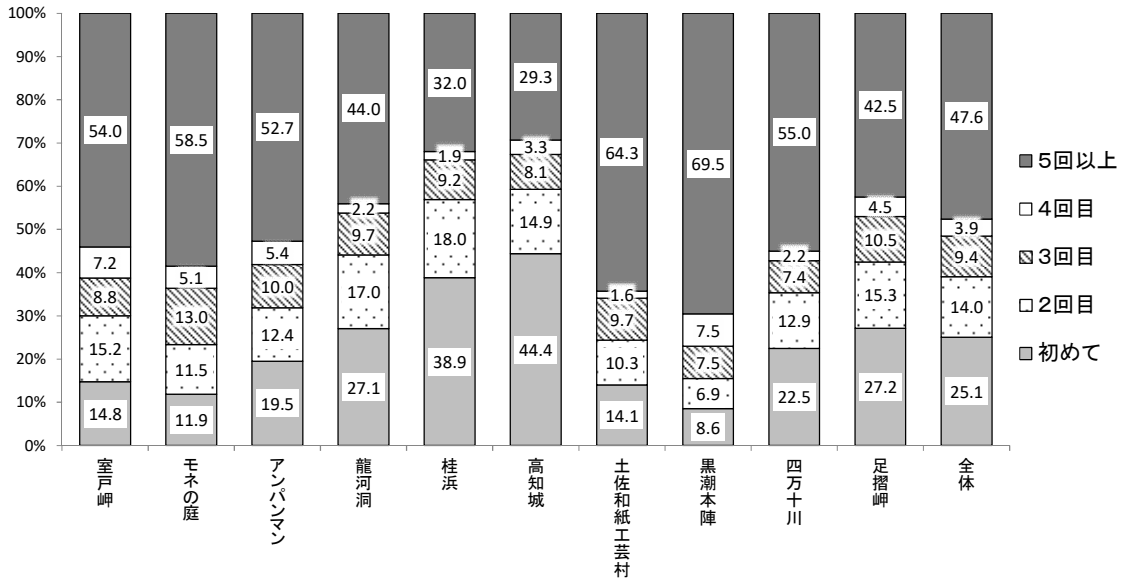
(図 12-4 参考①) 過去来県回数割合(%) [H27~30 年]

	初めて	2回目	3回以上
27 年	20.4	13.4	66.2
28 年	22.1	14.2	63.7
29 年	24.8	14.5	60.7
30 年	25.1	14.0	60.9

全体の過去来県回数は、「初めて」の旅行者が 25.1%、「2回目」が 14.0%、「3回以上」が 60.9%となっている。前年と比べ「初めて」が 0.3 ポイント、「3回以上」が 0.2 ポイント増加しており、「2回目」が 0.5 ポイント減少となっている。

来県回数別にみると、「初めて」は高知城、桂浜、足摺岬の順で、「2回目」は桂浜、龍河洞、足摺岬の順で、「3回以上」は黒潮本陣、モネの庭、土佐和紙工芸村の順で、それぞれ多くなっている。

(図 12-4 参考②) 調査地別過去来県回数割合(※詳細)(%) [H30年]



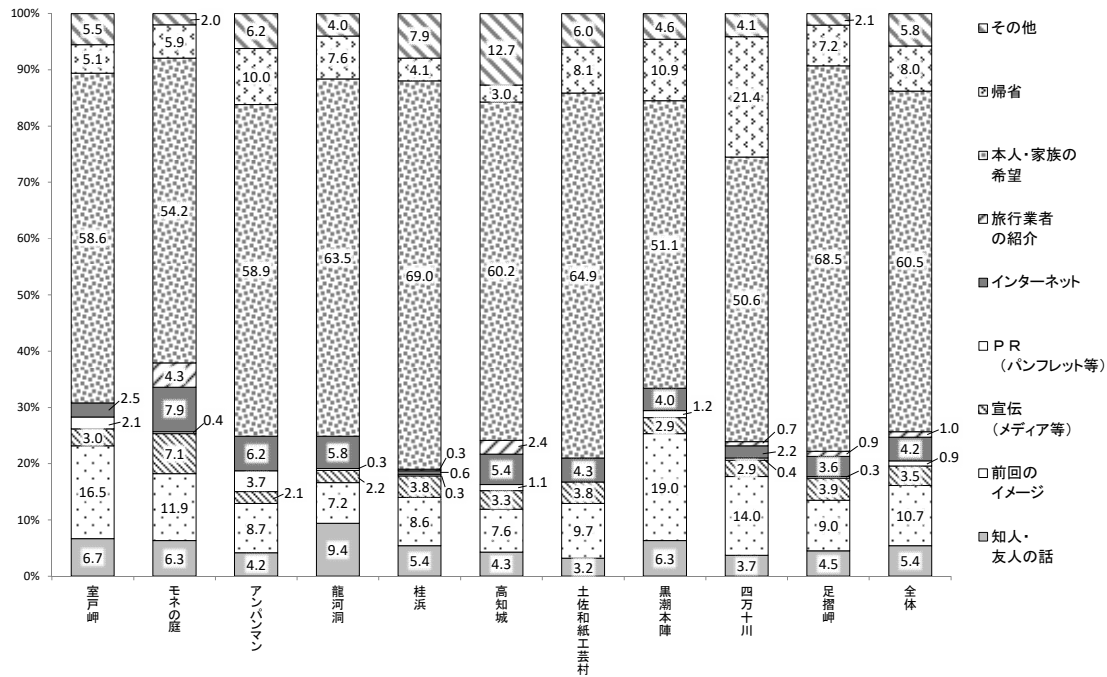
全体の過去来県回数は、「5回以上」が47.6%と最も多く、次いで「初めて」が25.1%、「2回目」が14.0%、「3回目」が9.4%、「4回目」が3.9%と続いている。

調査地別過去来県回数割合(P46 :図 12-4)で「3回以上」と回答があったものの内訳をみると、「初めて」は高知城、桂浜、足摺岬の順で、「2回目」は桂浜、龍河洞、足摺岬の順で、「3回目」はモネの庭、足摺岬、アンパンマンミュージアムの順で、「4回目」は黒潮本陣、室戸岬、アンパンマンミュージアムの順で、「5回以上」は黒潮本陣、土佐和紙工芸村、モネの庭の順で、それぞれ多くなっている。

※「3回以上」を細分化した調査は29年春より実施

12.4 動機割合

(図 12-5) 調査地別動機割合(%) [H30年]



(表 12-6) 調査地別動機割合(%) [H30年]

	知人・友人の話	前回のイメージ	宣伝(メディア等)	PR(パンフレット等)	インターネット	旅行業者の紹介	本人・家族の希望	帰省	その他
室戸岬	6.7	16.5	3.0	2.1	2.5	0.0	58.6	5.1	5.5
モネの庭	6.3	11.9	7.1	0.4	7.9	4.3	54.2	5.9	2.0
アンパンマン	4.2	8.7	2.1	3.7	6.2	0.0	58.9	10.0	6.2
龍河洞	9.4	7.2	2.2	0.3	5.8	0.0	63.5	7.6	4.0
桂浜	5.4	8.6	3.8	0.3	0.6	0.3	69.0	4.1	7.9
高知城	4.3	7.6	3.3	1.1	5.4	2.4	60.2	3.0	12.7
土佐和紙工芸村	3.2	9.7	3.8	0.0	4.3	0.0	64.9	8.1	6.0
黒潮本陣	6.3	19.0	2.9	1.2	4.0	0.0	51.1	10.9	4.6
四万十川	3.7	14.0	2.9	0.4	2.2	0.7	50.6	21.4	4.1
足摺岬	4.5	9.0	3.9	0.3	3.6	0.9	68.5	7.2	2.1
全体	5.4	10.7	3.5	0.9	4.2	1.0	60.5	8.0	5.8

※ 背景色+太字は動機ごとの上位2位まで。

全体の動機割合をみると、「本人・家族の希望」が60.5%と最も多く、次いで「前回のイメージ」が10.7%、「帰省」が8.0%、「その他」が5.8%と続いている。

動機別にみると、「知人・友人の話」は龍河洞と室戸岬が、「前回のイメージ」は黒潮本陣と室戸岬が、「宣伝(メディア等)」はモネの庭と足摺岬が、「PR(パンフレット等)」はアンパンマンミュージアムと室戸岬が、「インターネット」はモネの庭とアンパンマンミュージアムが、「旅行業者の紹介」はモネの庭と高知城が、「本人・家族の希望」は桂浜と足摺岬が、「帰省」は四万十川と黒潮本陣が、それぞれ多くなっている。

＜参考＞委託事業者の所見

平成30年に高知県を訪問した県外観光客入込数は、過去最高だった平成29年の約440万6千人を6千人上回る441万2千人となった。これは昨年に引き続き県内全域で開催され、二年間の会期中に会場を訪れた人が334万人に上った「志国高知 幕末維新博」の効果といえる。特にリニューアルした「高知県立坂本龍馬記念館」は年間約17万人の来館者があり、改めて坂本龍馬をはじめとする歴史文化の関心度の高さが浮き彫りとなった。

さらに、半年間で来館者が10万人を突破した「むろと廃校水族館」、アウトドア総合メーカーとして全国的な知名度を持つスノーピーク社が運営するキャンプ場「スノーピークおち仁淀川キャンプフィールド」、高知市中心部に開館した図書館等複合施設「オーテピア」など、新たな観光・文化施設も注目された一年となった。

このような現状のなかで、調査で得られた分析結果と旅行者の声などを参考に、県外旅行者の傾向、課題をみていく。

1. 旅行日数(2.0日)を延ばす可能性を探る

高知県には平成30年も多くの旅行者が訪れた。今年の特徴としては「1泊2日」の旅行者が県内旅行者全体の42.8%で、前年と比較して0.5ポイント増、「2泊3日」が0.3ポイント増となったものの、「日帰り」の0.3ポイント増に加え、「3泊4日」以上が減少したこともあり、平均旅行日数は2.0日と前年から増減がなかった。

また、過去5年間の推移をみると、「2泊3日」は16.6%から13.9%へ、「3泊4日」は5.9%から3.6%へと減少している(P17:表3-1年次別日帰り客・宿泊客割合)。

県内消費額を増加させる手段として最も有効なことは、県内旅行日数を延ばすことにあることから、平成31年からスタートする「リョーマの休日～自然&体験キャンペーン～」は試金石の一つになる。体験をすることで滞在時間を延ばし、飾らない土佐弁で話すガイドやインストラクターなど人と触れ合うことで、高知を好きになり、リピーターとなる可能性がある。

1泊2日と2泊3日の旅行者を比較すると、2泊3日の旅行者は1万4千円ほど多く消費していることが分かる(P51:表13-1)。

1泊2日の旅行者をいかに2泊3日にするかが課題の高知県にとって、ナイトタイムエコノミーの充実がその方策の一つとして挙げられる。

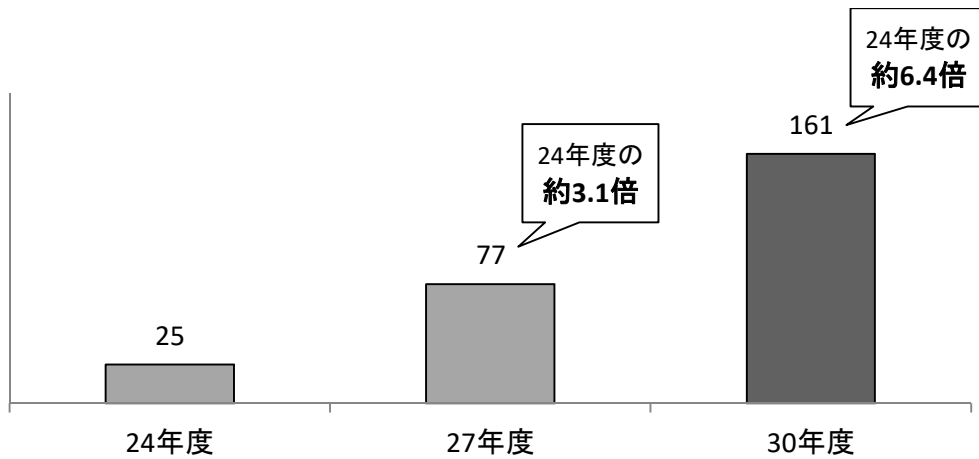
高知城とチームラボの特別企画をはじめ、「高知 光のフェスタ」では県内各所でイルミネーションやキャンドル、星空など「光」にまつわる様々な夜間イベントが開催され、観光統計調査の感想でも好意的な意見が多く寄せられた。また、高知の食文化の一つである「ひろめ市場」や居酒屋・屋台の楽しさもある。具体策の一例として、夜の8時から11時まで一年中、追手筋が決められた色(青や赤など)でライトアップされ、30分に一度レーザービームやデジタルアートなどによる空間演出があれば、幻想的な光景が話題を呼び、全国から注目されるのではないだろうか。

(表 13-1) 旅行日数別県内平均消費額(円)

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	総額	差額
28年	1泊2日	9,686	5,947	7,769	5,039	840	29,281	13,831
	2泊3日	14,264	9,032	12,043	6,830	943	43,112	
29年	1泊2日	9,463	6,350	7,828	5,230	798	29,669	13,904
	2泊3日	14,379	9,646	11,333	7,057	1,158	43,573	
30年	1泊2日	9,816	6,553	7,106	5,377	880	29,732	14,410
	2泊3日	14,276	9,818	12,295	6,690	1,063	44,142	

また、県内各所でカヌーやSUP、ラフティング等のアクティビティ、四万十川や仁淀川、柏島の遊覧船、土佐和紙や陶芸等の文化体験、町歩きガイドなど、ここ数年で体験メニューは飛躍的に充実してきた。これらも県外に向けた広報が課題となるが、旅行者の滞在時間を延ばすための施策として期待される。

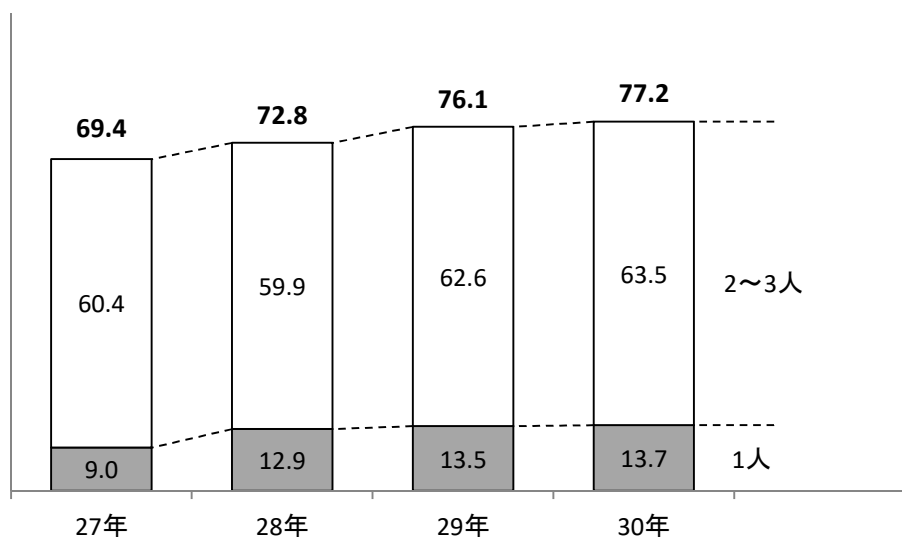
(図 13-2) 龍馬パスポート対象の体験プログラム数の推移



2. 個人、少人数旅行の対応が求められる

近年、全国的な旅行トレンドとなっている一人旅(平成27年9.0%、平成28年12.9%、平成29年13.5%、平成30年13.7%)と、家族または友人で2~3人といった少人数旅行(平成27年60.4%、平成28年59.9%、平成29年62.6%、平成30年63.5%)が増加傾向にあり、この2つのカテゴリで今年、旅行者の77.2%を占めている。少子化時代となり、三世代家族など大人数での旅行が減ってきたという傾向の中、個人旅行、少人数旅行に対応する着地型観光の充実が求められる。

(図13-3) 同行者数割合の推移(%)



また、宿泊施設・観光施設では、が求められそうだ。

気になる点として、満足度調査「お客様の声」アンケートでは、「旅行の満足度点数」が平成28年度86.0%、平成29年度85.9%、平成30年度85.0%と、高い水準を保ちながらも微減している。このため、時代に即した設備や話題性のある温泉整備といったハード面、接客のこれまで以上の充実やコンシェルジュ機能といったソフト面の強化など、官民挙げてさらなる満足度向上への取り組みが必要である。

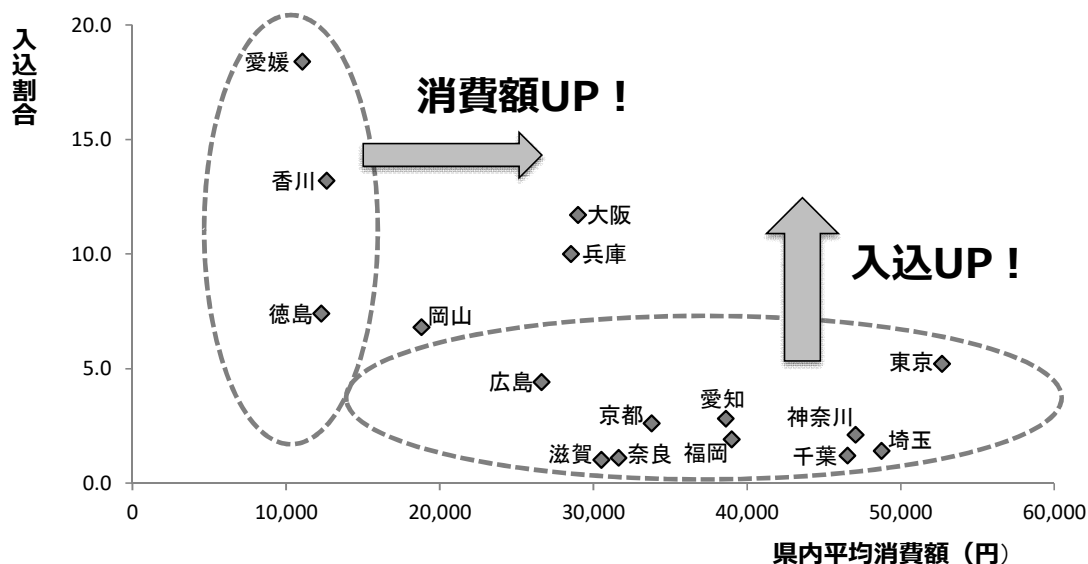
3. 県内消費額に関する分析

ここでは、県内消費額を多様な視点から集計・分析した結果を掲載し、その簡易な解説と考察をあわせて記載する。

都道府県別に今回調査の入込割合を縦軸、県内平均消費額を横軸にとった散布図が図 13-4 である。図中のプロット(点)が右に寄るほど県内平均消費額が高くなり、上に寄るほど入込割合が多くなる。

四国三県では消費額を増加させるため、主に周遊を促す取り組みや滞在時間を延ばす取り組みが、東京などの関東ブロック、大阪と兵庫以外の近畿ブロックなどでは入込割合を増加させるため、キャンペーンのPR等の誘致促進の取り組みが必要となる。

(図 13-4) 発地都道府県と県内平均消費額の散布図 [入込割合が 1.0%以上の都道府県]

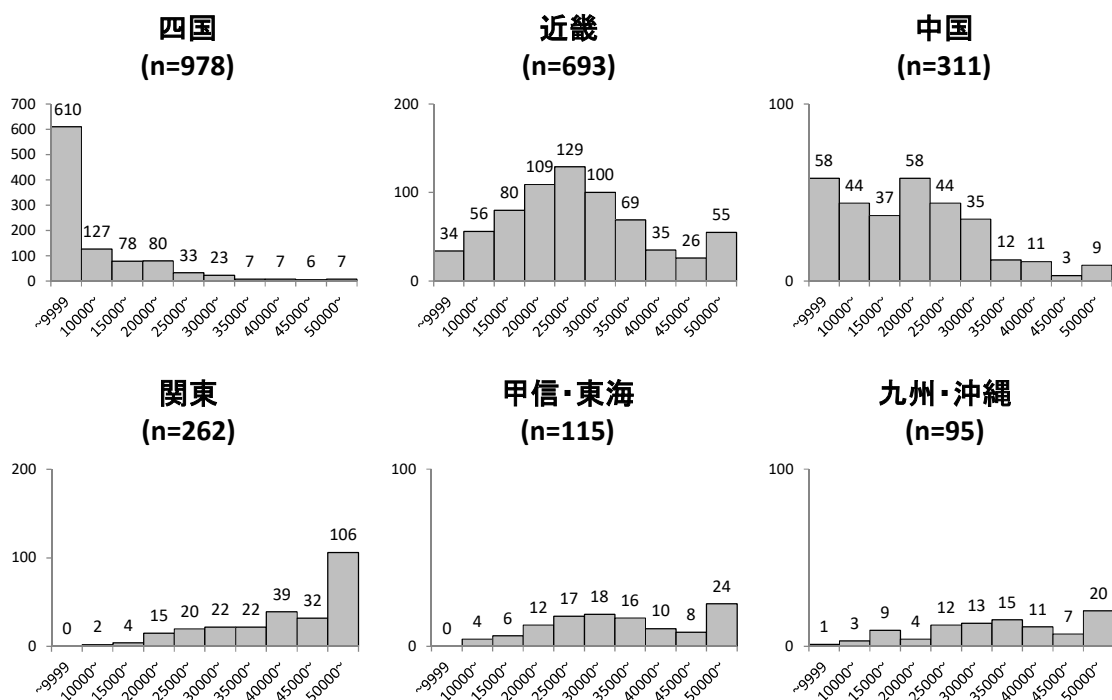


次に、旅行者ごとの県内消費額を発地ブロック別に整理したヒストグラムが図 13-5 (P54) である。最も低い区分を1万円未満、最も高い区分を5万円以上、その間の区分は5千円単位とした。

最も入込の多い四国は、1万円以下の区分で 62.4%を占めており、近畿は 25,000 円以上3万円未満がピークとなっており、関東は5万円以上が 40.5%と最も多いことが分かる。

なお、四国の1万円以下の 610 組の大半が日帰り旅行であるが、仮にこの旅行者層が一人当たり 2,000 円多く消費した場合、県外旅行者全体の平均消費額が約 488 円増加することになる。このことから、お土産をもう一品購入してもらい、いつもの食事を少しグレードアップしてもらい、目的地の付近にある観光施設へも足を伸ばしてもらおうといった地道な工夫や努力が、もう1泊してもらい取り組みに加えて、県内消費額を増加させるために欠かせないと考えられる。

(図 13-5) 県内消費額のヒストグラム [主な発地ブロック別に整理]



最後に、【大区分】県内外別・【中区分】日帰り宿泊別・【小区分】費目別県内平均消費額でとりまとめた直近5年の比較データ(P55:表 13-6)を記載し、そこからうかがえる消費動向の変化について述べる。

県外旅行者(海外・パック旅行等を除く)のうち日帰り客では、土産代が減少傾向にあり、近隣県から訪れるリピーター客の購買行動が弱まっている可能性がある。その一方で、宿泊客では、飲食費と入場料を含むその他が、最近2年間でやや持ち直した感があり、「志国高知 幕末維新博」等により周遊促進された効果が表れたのではないかと推察される。

また、本書で報告する県内消費額の算出に含まれない、県内旅行者(パック旅行等を除く)と県外旅行者(海外を除く)の消費額も参考までに記載する。県内旅行者のうち日帰り客では、そのほか復調の傾向が見られ、先述した周遊促進効果が推察される。

旅行代理店のフリープランを利用した旅行者では、現地小遣いの土産代と飲食費が、県外旅行者(海外・パック旅行等を除く)と比較して高水準にあり、宿泊費・交通費の出費を抑えられたことから、現地での消費行動が活発であることがうかがえる。添乗員付きパック旅行に参加した旅行者では、現地小遣いの大半を占める土産代が減少傾向にあることが分かる。

(表 13-6) 県内平均消費額の比較 [H30 年、過去 4 年間]

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	総額	N	
県外	日帰り	30年	0	2,641	3,683	2,329	549	9,202	946
		29年	0	2,453	3,696	2,768	531	9,448	944
		28年	0	2,680	4,004	3,003	604	10,291	1,072
		27年	0	2,644	3,948	2,915	579	10,086	978
		26年	0	2,744	3,632	3,047	606	10,029	960
	宿泊	30年	10,857	8,370	8,795	6,047	922	34,991	1,554
		29年	11,069	8,129	9,404	6,041	997	35,640	1,576
		28年	10,898	7,969	10,070	6,090	865	35,892	1,742
		27年	11,598	7,520	8,835	6,385	867	35,205	1,844
		26年	10,895	8,170	9,431	6,391	1,065	35,952	1,758
	全体	30年	6,749	6,202	6,861	4,640	780	25,232	2,500
		29年	6,922	6,003	7,266	4,815	823	25,829	2,520
		28年	6,747	5,954	7,759	4,914	765	26,139	2,814
		27年	7,578	5,830	7,141	5,182	767	26,498	2,822
26年		7,047	6,253	7,383	5,210	904	26,797	2,718	

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	総額	N	
県内	日帰り	30年	0	1,432	449	1,264	369	3,514	1,285
		29年	0	1,274	503	1,353	335	3,465	1,247
		28年	0	1,448	576	1,394	286	3,704	973
		27年	0	1,453	518	1,535	348	3,854	1,000
		26年	0	1,502	509	1,860	366	4,237	1,048
	宿泊	30年	7,462	4,105	1,724	3,164	221	16,676	55
		29年	7,635	4,850	1,447	2,524	570	17,026	50
		28年	7,575	4,913	1,514	2,969	416	17,387	48
		27年	6,547	4,645	1,051	3,778	217	16,238	58
		26年	8,411	4,095	1,063	2,674	500	16,743	66
	全体	30年	306	1,542	502	1,342	363	4,055	1,340
		29年	294	1,412	540	1,398	344	3,988	1,297
		28年	356	1,611	620	1,468	291	4,346	1,021
		27年	359	1,628	547	1,658	341	4,533	1,058
26年		498	1,656	542	1,908	373	4,977	1,114	

		宿泊費	飲食費	交通費	土産代	その他	総額	N	
(参考) 県外	旅行代理店の ツアー	30年	549	8,734	545	8,547	1,280	19,655	107
		29年	116	8,207	778	6,401	871	16,373	86
		28年	404	9,019	1,821	6,381	1,042	18,667	89
		27年	558	7,499	2,394	7,877	1,479	19,807	86
		26年	168	7,365	1,924	8,467	1,305	19,229	107
	バス乗員 付き	30年	0	3,686	0	5,273	206	9,165	44
		29年	149	2,811	0	6,701	64	9,725	67
		28年	161	3,490	165	5,369	75	9,260	62
		27年	38	1,846	1,231	7,250	156	10,521	26
		26年	0	3,423	185	7,740	293	11,641	52

高知県観光客アンケート調査票

Q1. あなたのお住まいはどこですか。国内にお住まいであれば都道府県名、海外であれば国名をご記入下さい。また、高知県内にお住まいの場合は市町村名をご記入下さい。

(都道府県名: _____)	海外の場合 (国名: _____)
高知県内の場合 → (市町村名 _____)	

Q2. あなたの性別、年齢を選んで下さい。※それぞれ1つだけ

性別 : 1. 男性 2. 女性
年齢 : 1. 10歳未満 2. 10歳代 3. 20歳代 4. 30歳代 5. 40歳代 6. 50歳代 7. 60歳代 8. 70歳代 9. 80歳以上

Q3. 今回の旅行は日帰りですか、宿泊ですか。※1つだけ

宿泊であれば、何泊か、そのうち県内では何泊するか、いくつの施設に宿泊するかをご記入下さい。また、県内ではどの地域の、どのような施設に何泊するかをご記入下さい。※いくつでも

1. 日帰り	2. 宿泊	宿泊した施設の数 ↓ 宿泊数 _____ 泊 → そのうち県内 _____ 泊 ⇒ 県内宿泊施設数 _____ 施設
--------	-------	--

＜県内宿泊施設＞

- | | |
|-----------------------------------|-------------------|
| 1. 実家や知人・親戚宅 () 泊 | 2. 旅館 () 泊 |
| 3. ホテル () 泊 | 4. ペンション・民宿 () 泊 |
| 5. 保養所・研修所 () 泊 | 6. キャンプ場 () 泊 |
| 7. (キャンプ場以外の) 車中泊・交通機関内での宿泊 () 泊 | |
| 8. 別荘・リゾートマンション () 泊 | 9. 会員制の宿泊施設 () 泊 |
| 10. ユースホステル・ライダーズイン () 泊 | 11. 公共の宿 () 泊 |
| 12. その他 () 泊 | |

＜県内宿泊場所＞

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 1. 東部地域 (東洋町～芸西村) () 泊 | 2. 中央東地域 (香南市～南国市) () 泊 |
| 3. 中央地域 (高知市) () 泊 | 4. 中央西地域 (いの町～仁淀川町) () 泊 |
| 5. 高幡地域 (須崎市～四万十町) () 泊 | 6. 幡多地域 (黒潮町～大月町) () 泊 |

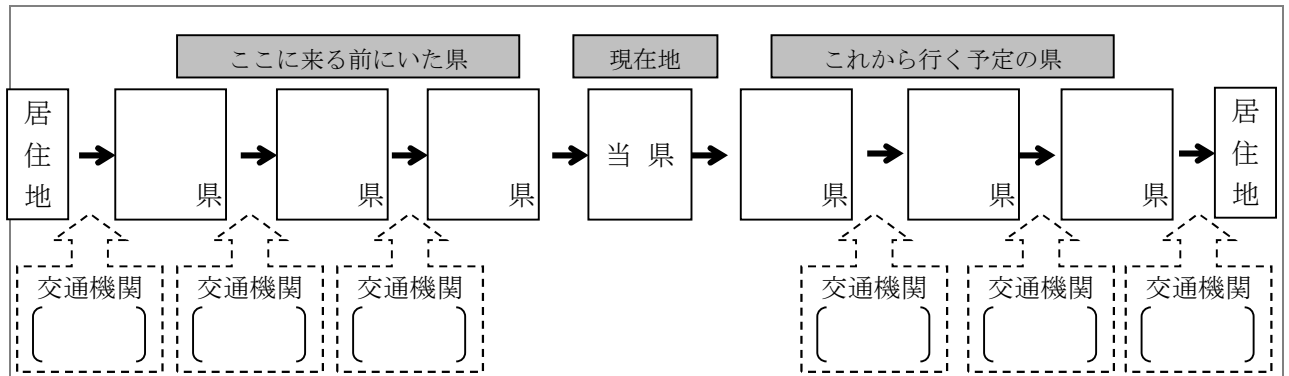
Q4. 今回のご旅行の主要な目的は何ですか。※1つだけ

1. ビジネス	2. 観光	
「2. 観光」を選んだ場合、今回のご旅行の主な目的を1つ教えてください。		
01 自然見物・町歩き	02 休養・慰安	03 祭り・イベント
04 登山・アウトドア・キャンプ	05 スポーツ (プロ野球キャンプ・観戦など)	
06 食べ物 (味覚・酒)	07 神仏・霊場巡り	08 買い物
09 名所旧跡・観光施設などの見学・行楽	10 なんとなく (ドライブ等含む)	
11 その他 ()		
3. 帰省・知人訪問		
4. (1～3のどれでもない) その他		

Q5. 今回のご旅行のきっかけを教えてください。

1. 知人・友人の話	2. 前回のイメージ	3. 宣伝 (TV・ラジオ・雑誌等)
4. PR (パンフレット・キャンペーン等)	5. インターネット (携帯電話含む)	
6. 旅行業者の紹介・ツアー参加	7. 来たかった・家族の希望	
8. 帰省	9. その他	

当県以外に立ち寄り都道府県がある場合はご記入下さい



【表】交通機関

- ① J R 新幹線 ② J R 在来線 ③ 私鉄・地下鉄 ④ モノレール ⑤ -1 貸切バス
 ⑤ -2 観光バス (MY遊バス等含む) ⑥ 高速バス ⑦ 市内バス・路線バス
 ⑧ 路面電車 ⑨ タクシー・ハイヤー ⑩ レンタカー ⑪ 自家用車、社用・公用車
 ⑫ 飛行機 ⑬ フェリー ⑭ バイク ⑮ その他

Q12. 今回の旅行で、使う費用（これから使う予定も含めて）を教えてください。

1人当たりの費用を、下欄の項目別にご記入下さい。

- ※ 交通費は高速料金やガソリン代や駐車場代を含め、県外・県内分を分けて記入
- ※ 今回の旅行がパック旅行である場合、費用が県内のみか、県外分を含むかを選択
- ※ ←表内の回答がグループ合計の場合にはチェック

	使用費用		使用費用	
①交通費	(県内分)	円	(県外分)	円
②宿泊費	(県内分)	円		
③土産代	(県内分)	円		
④飲食費	(県内分)	円		
⑤入場料	(県内分)	円		
⑥その他	(県内分)	円		
⑦パック料金				円
			↑ <input type="checkbox"/> 県内分のみ もしくは <input type="checkbox"/> 県外分含む	

Q13. ご意見・ご感想（他県と比べて良い点、悪い点等もお聞かせ下さい）

- ※ 冬期は特に、この季節に高知へ来られた理由、高知の魅力など（冬季対策の参考意見として）をお聞かせ下さい

※調査票コード

1. 観_共通_日

都道府県	調査地点ID	調査年月日	調査時刻	ID
			:	

- ・高知県では、観光博覧会「志国高知幕末維新博」に取り組んでいます。
- ・また、約700施設で特典が受けられる「龍馬パスポート」を発行しています。

Q1 高知県観光博覧会「志国高知幕末維新博」をご存知ですか。

- 1 出発前から知っていた 2 旅行中に知った 3 知らなかった

Q2 「龍馬パスポート」をご存知ですか。

- 1 出発前から知っていた 2 旅行中に知った 3 知らなかった。

Q3 「龍馬パスポート」をお持ちですか。(Q2で1または2と答えた方のみ。)

- 1 持っている。(パスポート種別：1 青 2 赤 3 ブロンズ 4 シルバー 5 ゴールド)
2 現在申請書にスタンプを集めている。
3 持っていない。

Q4 約2,000件の観光情報をスマホアプリに集約した「公式！こうち旅アプリ」をご存知ですか。

- 1 出発前から知っていた 2 旅行中に知った 3 知らなかった

- ・高知県では、豊かな自然を生かしたスポーツツーリズムを推進しており、特にサイクリング観光は、コースの設定等を行うなど、取り組みを進めています。

Q5 今回、主にサイクリングを目的に高知県に来ましたか。

- 1 はい 2 いいえ

Q6 今回の旅行でレンタサイクルを利用しますか(しましたか)。

- 1 はい 2 いいえ

- ・高知県では、観光客の満足度向上のため、「おもてなしトイレ」や「おもてなしタクシー」の取組を進めています。

Q7 「おもてなしトイレ」をご存知ですか。

- 1 知っている 2 知らなかった

Q8 「おもてなしトイレ」を利用したことがある方にお聞きします。

「おもてなしトイレ」の快適性について

- 1 大変良い 2 良い 3 ふつう 4 悪い 5 大変悪い

【理由】

Q9 「おもてなしタクシー」をご存知ですか。

- 1 知っている 2 知らなかった

Q10 「おもてなしタクシー」を利用したことがある方にお聞きします。

「おもてなしタクシー」の接客マナーについて

- 1 大変良い 2 良い 3 ふつう 4 悪い 5 大変悪い

【理由】

IVお客様の声アンケート

●概要

143件の観光施設等を訪問し、「お客様の声アンケートはがき」を配布・設置。

この報告書は平成30年3月～平成31年2月に返信された観光客からの声を集計したものである。

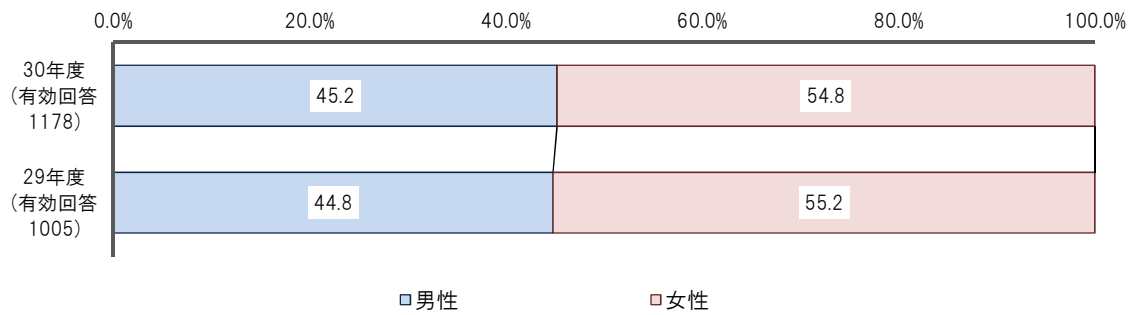
返信総数	30年度 1,194通	(春356件、夏278件、秋330件、冬230件)
	29年度 1,033通	(春319件、夏252件、秋256件、冬206件)

図中の構成比は、未回答を除いた有効回答数を母数として算出し、小数点2位を四捨五入しているため、択一設問の合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は構成比を合計すると100%以上になる場合がある。また、未回答の数はグラフには含まない。

1. 「お客様の声」回答者

1-1. 男女別割合

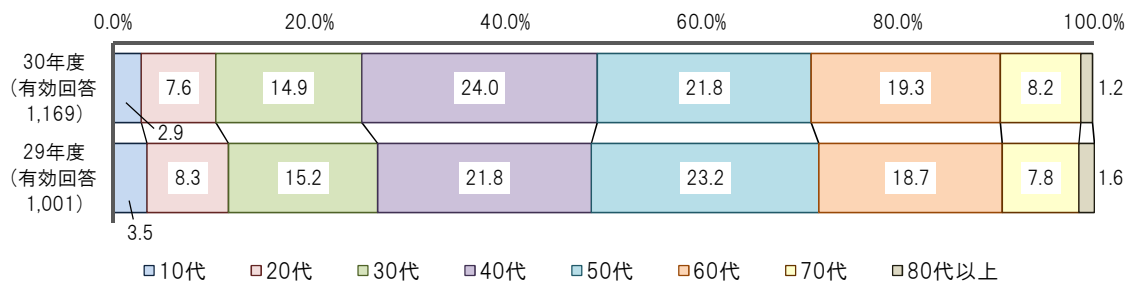
	男性	女性	未回答	合計
30年度	533	645	16	1,194
29年度	450	555	28	1,033



返信されたアンケートハガキの男女別割合は、男性 533 件 (45.2%)、女性 645 件 (54.8%) と女性の割合が多くなっている。

1-2. 年代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
30年度	34	89	174	281	255	226	96	14	25	1,194
29年度	35	83	152	218	232	187	78	16	32	1,033

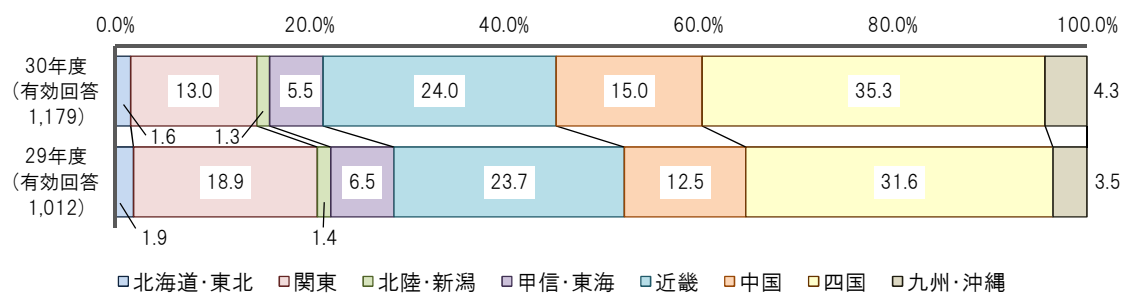


年代別割合は、40代が281件(24.0%)と最も多く、次いで50代が255件(21.8%)、60代が226件(19.3%)、30代が174件(14.9%)となっており、その他の年代は10%以下となっている。

前年と比べると、40代が2.2ポイント増加、50代が1.4ポイント減少などとなっている。

1-3. 出発地

	北海道・東北	関東	北陸・新潟	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	未回答	合計
30年度	19	153	15	65	283	177	416	51	15	1,194
29年度	19	191	14	66	240	127	320	35	21	1,033

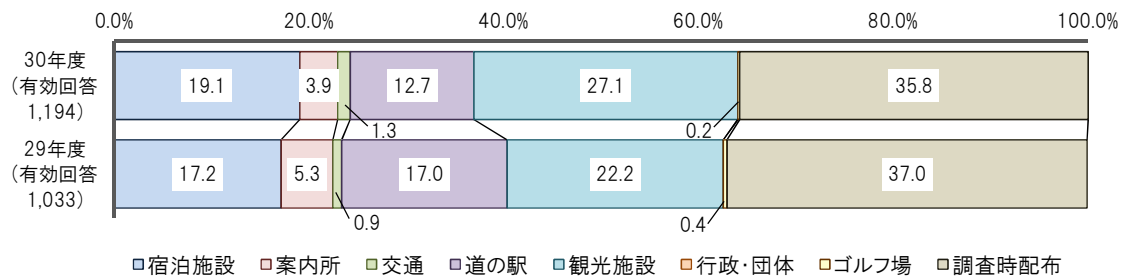


出発地ブロック割合は、四国が416件で(35.3%)と最も多く、次いで近畿が283件(24.0%)、中国が177件(15.0%)、関東が153件(13.0%)と続いており、その他の出発地ブロックは10%以下となっている。

前年と比べると、四国が3.7ポイント、中国が2.5ポイント増加、関東が5.9ポイント、甲信・東海が1.0ポイント減少などとなっている。

1-4. 返信されたハガキの設置箇所

	宿泊施設	案内所	交通	道の駅	観光施設	行政・団体	ゴルフ場	調査時配布	合計
30年度	228	46	15	152	323	0	2	428	1,194
29年度	178	55	9	176	229	0	4	382	1,033



返信されたハガキは、調査時配布が428件(35.8%)と最も多く、次いで観光施設が323件(27.1%)、宿泊施設が228件(19.1%)、道の駅が152件(12.7%)と続いており、その他の設置箇所からの返信は10%以下となっている。

前年と比べると、観光施設が4.9ポイント、宿泊施設が1.9ポイント増加、道の駅が4.3ポイント、調査時配布が1.2ポイント減少などとなっている。

2. 「お客様の声」満足度

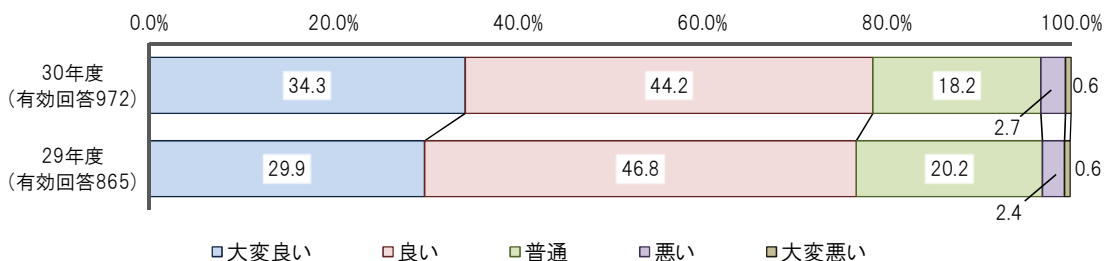
*平均点数について

大変満足=5、満足=4、やや満足=3、やや不満=2、不満=1 として算出している。

5点満点で点数が高いほど、満足度が高くなる。

2-1. 宿泊先の満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	333	430	177	26	6	222	1,194	4.09
29年度	259	405	175	21	5	168	1,033	4.03



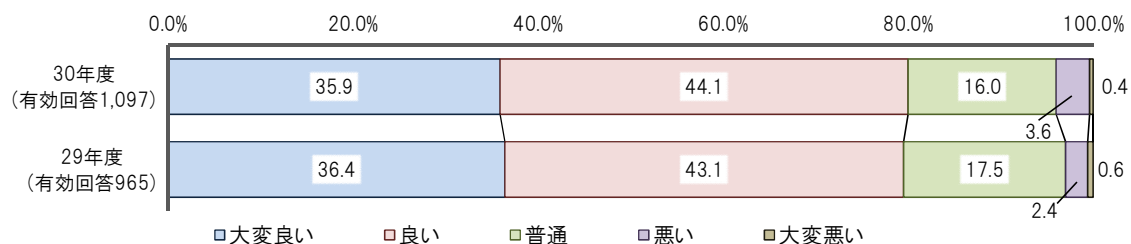
宿泊先の満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計763件(78.5%)、“普通”が177件(18.2%)、“悪い”と“大変悪い”が合計32件(3.3%)となっている。平均点は前年と比べ0.06ポイント増加の4.09点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「料理、食事、朝食が美味しかった」「対応が親切、丁寧だった」「清潔感がある、きれいだった」「温泉、お風呂が良かった」「価格が安い、リーズナブル」などの理由が多く挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「客室内の清掃不足」「接客対応が悪い」「臭いが気になった」などのご指摘が寄せられている。

2-2. 食事処・料理店の満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	394	484	175	40	4	97	1,194	4.12
29年度	351	416	169	23	6	68	1,033	4.12



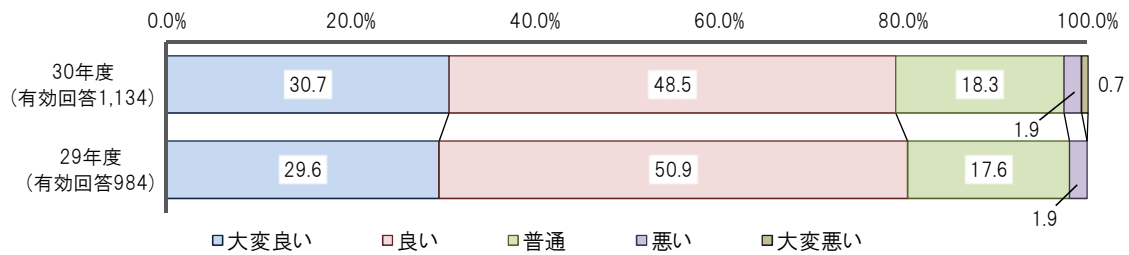
食事処・料理店の満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計878件(80.0%)、“普通”が175件(16.0%)、“悪い”と“大変悪い”が合計44件(4.0%)となっている。平均点は前年と増減なしの4.12点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「カツオ、ウナギなどの魚介類」を中心とした食材の新鮮さ、美味しさについて、「リーズナブル、安い」といった価格について、「親切、丁寧」などの接客について、などの理由が多く挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「座席不足による混雑のひどさ」「ゆっくり食事ができない」「口に合わなかった」「分煙されていない」などのご指摘があった。

2-3. 観光施設の満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	348	550	207	21	8	60	1,194	4.07
29年度	291	501	173	19	0	49	1,033	4.08



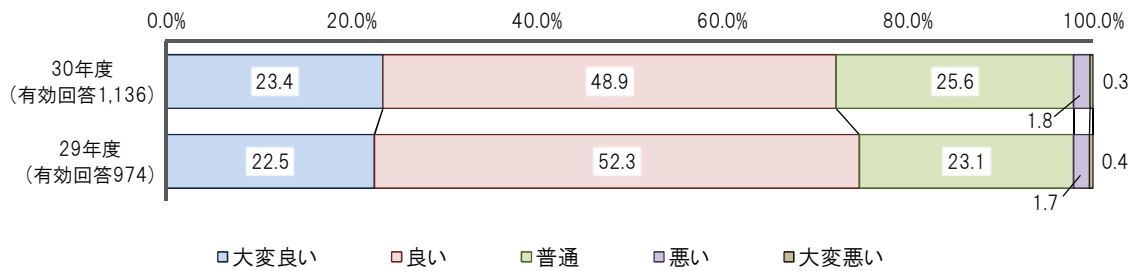
観光施設の満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計898件(79.2%)、“普通”が207件(18.3%)、“悪い”と“大変悪い”が合計29件(2.6%)となっている。平均点は前年と比べ、0.01ポイント減少の4.07点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「景色・自然」の美しさについて、「展示品・資料」の量や質について、「施設スタッフ・ボランティアスタッフ」の対応や案内についてなどの理由が多く挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「タバコの臭いが気になった」「寂しさを感じた」「接遇が良くない」などのご指摘があった。

2-4. 観光施設の美化の満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	266	555	291	21	3	58	1,194	3.93
29年度	219	509	225	17	4	59	1,033	3.95



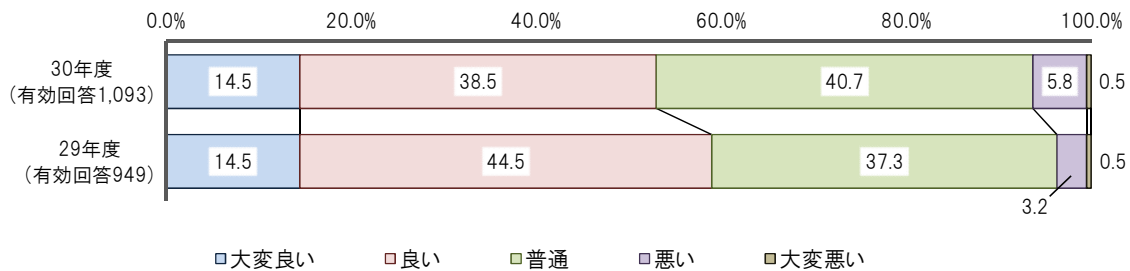
観光施設の美化の満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計821件(72.3%)、“普通”の回答が291件(25.6%)、“悪い”と“大変悪い”が合計24件(2.1%)となっている。平均点は前年と比べ、0.02ポイント減少の3.93点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「手入れ・掃除が行き届いていた」「ゴミ一つ落ちていなかった」などの理由が多く挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「建物や施設の老朽化」「樹木の手入れ不足による景観の悪化」などのご指摘があった。

2-5. 公衆トイレの快適性についての満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	158	421	445	63	6	101	1,194	3.61
29年度	138	422	354	30	5	84	1,033	3.69



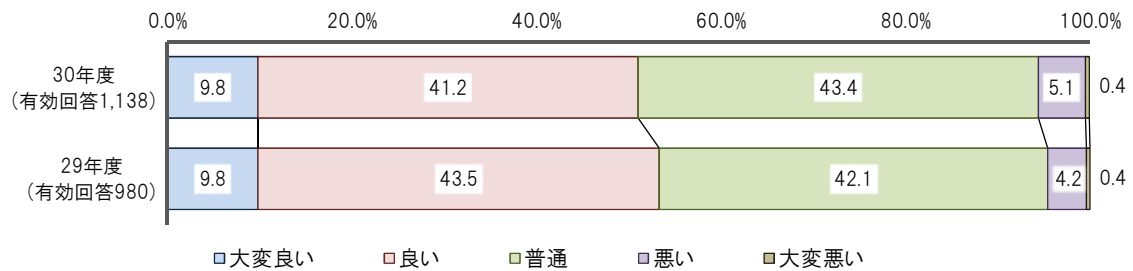
公衆トイレの快適性についての満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計 579 件 (53.0%)、“普通”が 445 件 (40.7%)、“悪い”と“大変悪い”が合計 69 件 (6.3%)となっている。平均点は前年と比べ、0.08 ポイント減少の 3.61 点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「よく清掃されて、快適に利用できた」「シャワートイレが増えている」「花が活けられている」「子ども用シートやおむつ替えシートを備え付けてある」などの理由が挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「和式トイレが多い（洋式トイレが少ない）」「数が少ない」「老朽化」などのご指摘があった。

2-6. 案内標識の満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	112	469	494	58	5	56	1,194	3.55
29年度	96	426	413	41	4	53	1,033	3.58



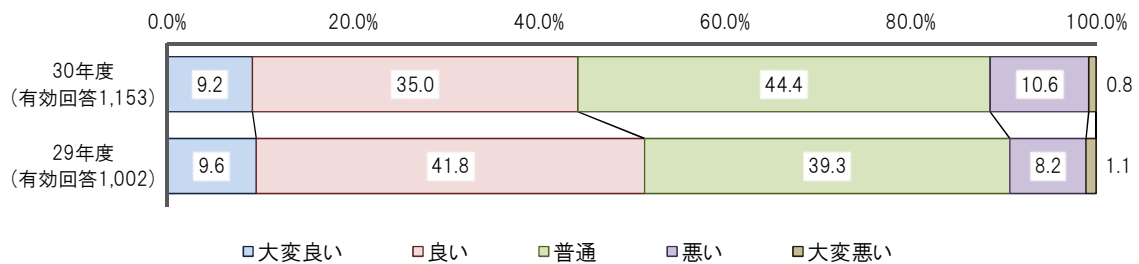
案内標識の満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計581件(51.0%)、“普通”が494件(43.4%)、“悪い”と“大変悪い”が合計63件(5.5%)となっている。平均点は前年と比べ、0.03ポイント減少の3.55点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「見やすい、分かりやすい」「迷わずたどり着けた」「交差点のアルファベット表示が便利」などの理由が挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「標識がない、少ない」「かなり大まかな案内で分かりにくい」「標識とカーナビが違う方向を指し示して困惑した」などのご指摘があった。

2-7. 高知の道の満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	106	404	512	122	9	41	1,194	3.41
29年度	96	419	394	82	11	31	1,033	3.51



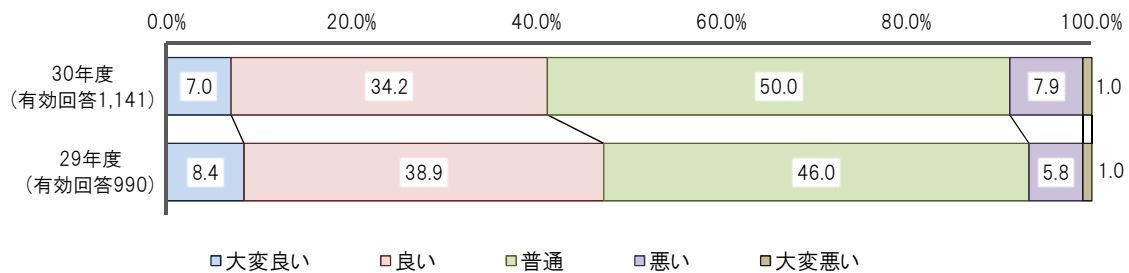
高知の道の満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計510件(44.2%)、“普通”が512件(44.4%)、“悪い”と“大変悪い”が合計131件(11.4%)となっている。平均点は前年と比べ、0.10ポイント減少の3.41点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様は、「道幅が広い」「信号が少ない」「渋滞が少ない」「景色・景観が良い」「新しい道路の整備が進んでいる」などの理由が挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「舗装状態が悪い」「山間部の道路が狭い」「路面電車の軌道沿いは運転しにくい」「高速道路が少なく、移動に時間がかかる」などのご指摘があった。

2-8. 交通マナーの満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	80	390	570	90	11	53	1,194	3.38
29年度	83	385	455	57	10	43	1,033	3.48



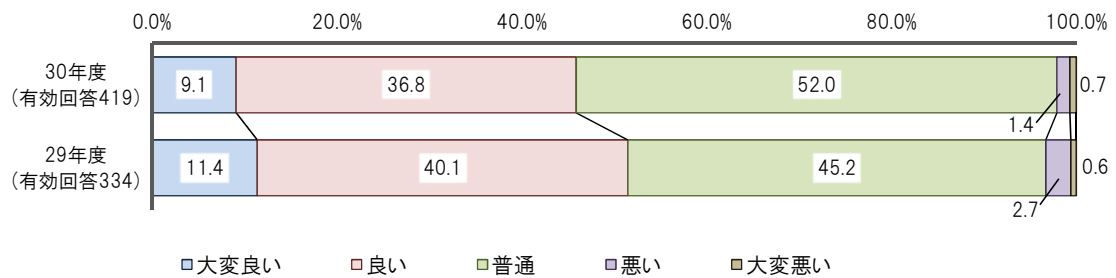
交通マナーの満足度では、“大変良い”と“良い”の回答が合計470件(41.2%)、“普通”が570件(50.0%)、“悪い”と“大変悪い”が合計101件(8.9%)となっている。平均点は前年と比べ、0.10ポイント減少の3.38点となっている。

“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「道の譲り合いがあった」「全体的に良いと感じる」「安全運転をしている」などの理由が挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「割り込みが多い」「方向指示器を出さない、出すのが遅い」「信号無視、一旦停止の無視」「無理な追い越しが多い」などのご指摘があった。

2-9. タクシーの接客マナーの満足度

	大変良い	良い	普通	悪い	大変悪い	未回答	合計	平均
30年度	38	154	218	6	3	775	1,194	3.52
29年度	38	134	151	9	2	699	1,033	3.59



タクシーの接客マナーでは、“大変良い”と“良い”の回答が合計192件(45.9%)、“普通”が218件(52.0%)、“悪い”と“大変悪い”が合計9件(2.1%)となっている。平均点は前年と比べ、0.07ポイント減少の3.52点となっている。

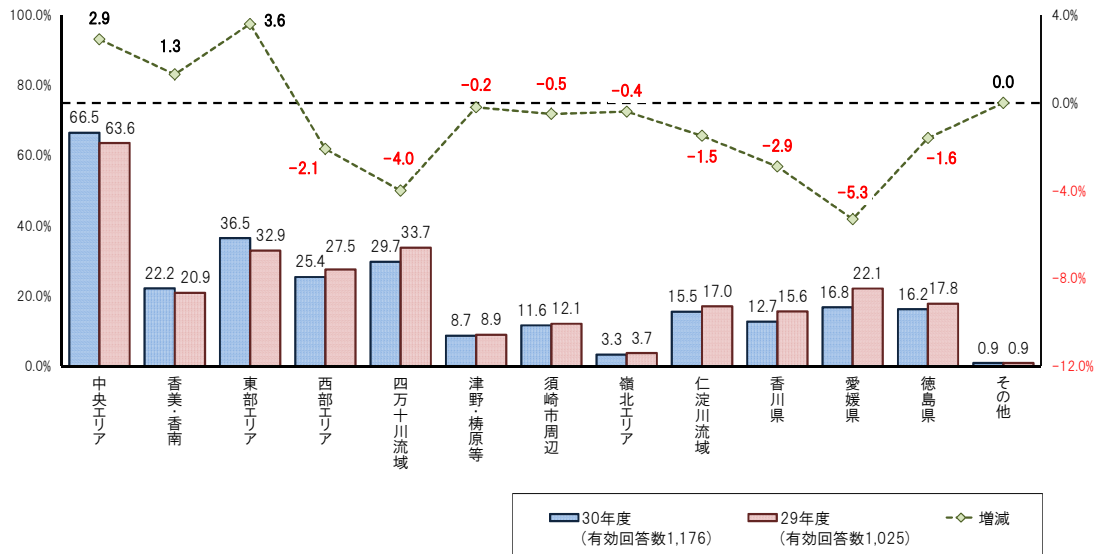
“大変良い”や“良い”と回答したお客様からは、「観光・地元の案内をしてくれた」「土佐弁が良かった」「気遣い、サービスがあった」などの理由が挙げられている。

一方で“悪い”や“大変悪い”と回答したお客様からは、「愛想がない」「近距離の利用で不機嫌になられた」などのご指摘があった。

3-1. お客様が訪れた地域

	中央エリア	香美・香南	東部エリア	西部エリア	四万十川流域	津野・橋原等	須崎市周辺	嶺北エリア	仁淀川流域	香川県	愛媛県	徳島県	その他	未回答
30年度	782	261	429	299	349	102	137	39	182	149	198	190	10	18
29年度	652	214	337	282	345	91	124	38	174	160	227	182	9	8

(複数回答あり)



お客様が訪れた地域は、「中央エリア」が782件(66.5%)と最も多く、次いで「東部エリア」が429件(36.5%)、「四万十川流域」が349件(29.7%)、「西部エリア」が299件(25.4%)、「香美・香南」が261件(22.2%)となっている。

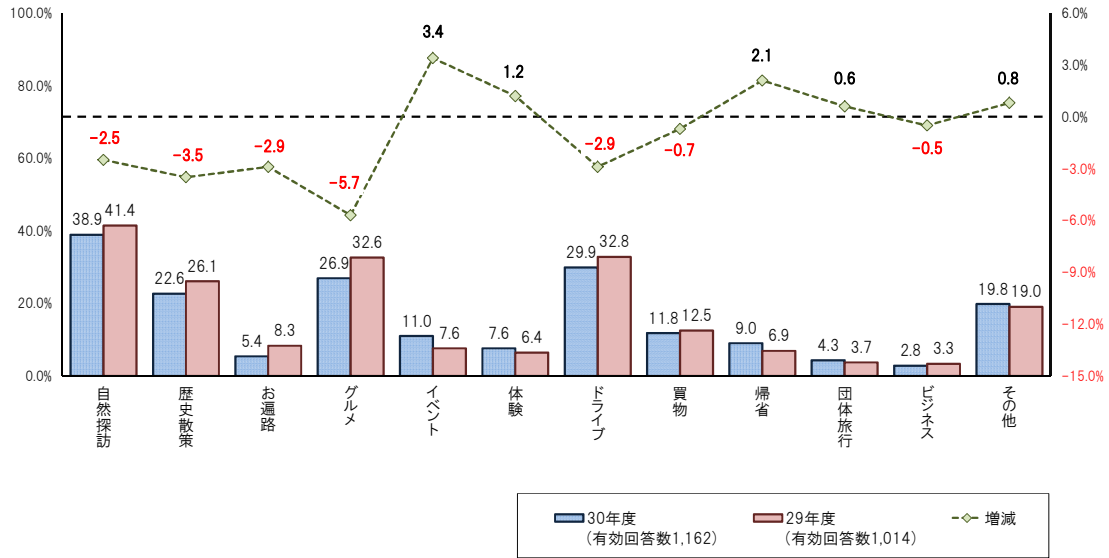
前年と比べ、「東部エリア」が3.6ポイント、「中央エリア」が2.9ポイント増加、「四万十川流域」が4.0ポイント、「西部エリア」が2.1ポイント減少などとなっている。

四国他3県は前年度と比べ、愛媛県が198件(16.8%)の5.3ポイント減少、徳島県が190件(16.2%)の1.6ポイント減少、香川県が149件(12.7%)の2.9ポイント減少となっている。

3-2. 旅行の目的

	自然探訪	歴史散策	お遍路	グルメ	イベント	体験	ドライブ	買物	帰省	団体旅行	ビジネス	その他	未回答
30年度	452	263	63	312	128	88	347	137	105	50	32	230	32
29年度	420	265	84	331	77	65	333	127	70	38	33	193	19

(複数回答あり)

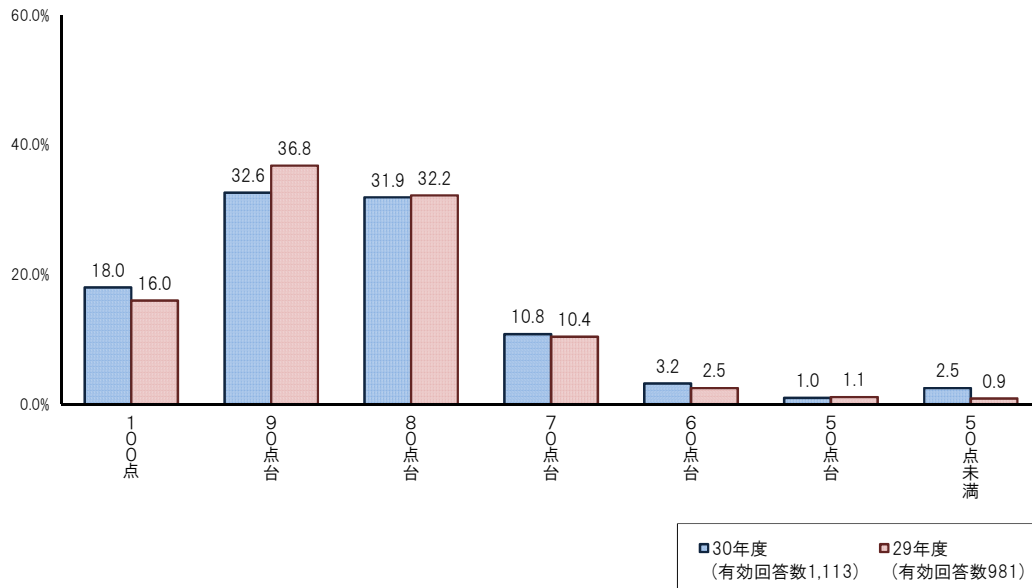


旅行の目的は、「自然探訪」が452件（38.9%）と最も多く、次いで「ドライブ」が347件（29.9%）、「グルメ」が312件（26.9%）、「歴史散策」が263件（22.6%）と続いている。

前年と比べ、「イベント」が3.4ポイント、「帰省」が2.1ポイント増加、「グルメ」が5.7ポイント、「歴史散策」が3.5ポイント減少などとなっている。

3-3. 旅行の満足度点数

	100点	90点台	80点台	70点台	60点台	50点台	50点未満	未回答	合計	平均点数
30年度	200	363	355	120	36	11	28	81	1,194	85.0
29年度	157	361	316	102	25	11	9	51	1,032	85.9



旅行の満足度の点数は、90点台が363件(32.6%)と最も多く、次いで80点台が355件(31.9%)、100点が200件(18.0%)、70点台が120件(10.8%)となっており、その他は10%以下となっている。

前年と比べ、100点が2.0ポイント、50点未満が1.6ポイント増加、90点台が4.2ポイント、80点台が0.3ポイント減少などとなっており、平均点は0.9ポイント減少の85.0点となっている。

高評価をしたお客様の中には、「食・グルメ」「自然の豊かさ・美しさ」「地元の人々とのふれあい、印象の良さ」「観光施設の魅力」などについて、好意的な意見が多くあった。

<観光施設>

- 5年前にも来ましたが、新しい施設が増えていて、もっと活性化してくれればよいなと思いました。
- 足摺岬や竜串で魚を見たり、自然を見たり、子どもも楽しかったようです。ホテルで天体観測ができたのも良かったです。また、色んな場所で芋ケンピの試食ができたのも良かったです。
- アンパンマンミュージアムの帰りに、のいち動物公園の看板を偶然見つけて、たまたま立ち寄ったところ、広くてキレイで大満足でした。後ほどネットで調べてみると、全国二位ⁱとのことで納得です。
- 維新博スタンプラリーをしました。アクトランドの絵金のところへ入り、解説もお願いしました。大変良かったです。
- 絵金が贗作で追放されたことなどを、スタッフさんに説明いただいて良く分かりました。ありがとうございました。
- お城近くの日曜市がにぎやかで楽しかったです。他府県の市と違い、商品の並べ方がきれいで驚きました。
- 桂浜水族館へ行きました。館内の展示物や触れ合いなど、工夫されていて楽しかったです。また訪れたいです。
- 去年も来て、四万十川の沈下橋が気に入って、今年も来ました。若ければ橋の上から飛び込みたい気分です。
- 県立高知城歴史博物館では、戊辰戦争の歴史について新政府側だけでなく、幕府・東北の諸藩からの見方も展示してあり、フェアだと感じました。
- 県立坂本龍馬記念館はきれいで、広々としていて良かった。ガイドがあればさらに良いと思います。
- 子どもが龍河洞にまた行きたいと言っています。博物館も小ぢんまりと、いい雰囲気でした。ずっと自然のままに残ってほしい観光地でした。
- 子どもを連れて、のいち動物公園へ初めて行きました。たくさんのトイレや授乳室はママにとって助かりますし、とても楽しめました。
- 今回初めてモネの庭へ行きました。四季折々それぞれに素晴らしいのでは、と想像できたので今後も是非行きたいと思いました。
- ジオパークは初めて訪れたが、子どもも大人と一緒に楽しめました。
- 四万十川や足摺岬、竜串海岸の自然がとても良かったです。足摺に泊まりましたが、星がとてもきれいでした。
- とさてらすで出会ったおもてなし海援隊の中岡慎太郎さん。とても明るく親切な方でした。施設自体も駅前のもとしては広く、他にはないスポットです。
- とにかく高知城の美しさに目を奪われました。城内もきれいにしており、とても良かったです。ただ、入口付近にピンクのちょうちんが並んでいる様子には違和感がありました。

ⁱトリップアドバイザー「旅好きが選ぶ！動物園ランキング2018」

- 土日だったので帯屋町の土曜夜市が面白かったです。リニューアルした坂本龍馬記念館、スマホで土佐弁解説が聞けた高知城歴史博物館も良かったです。
- 仁淀ブルーを見たくて訪れました。とても美しい自然に癒されました。
- 春のモネの庭は花盛りで感動でした。秋は物静かな紅葉の庭、それもありかと思いますが、やっぱり春の方が満足感があります。
- 道の駅、海の駅に地域ごとの特色があって好感が持てます。自宅近くにあれば、毎日でも立寄りたいと思うような施設です。
- 道の駅なかとさに初めて行きました。食事処、パン屋、ケーキ屋など洗練されたグルメがあり、とても満足しました。ますますファンになりました。
- 道の駅やすは安くて新鮮な野菜や果物を置いていて、お気に入りです。モネの庭では個人ガイドをお願いできれば良いと思います。
- 道の駅や松葉川温泉では、木材をふんだんに使用しており、香りも良く、やさしい気持ちになり落ち着きます。
- 龍河洞がいろんなイベントをしているとは知らなかったのが楽しかったです。龍馬パスポートのために行きましたが、思った以上に面白かったので、また行きたいと思います。
- 龍河洞の体験コースがとても良かったです。案内してくださったスタッフの方、その他のスタッフの方、皆さんが優しかったです。
- △ 3ヶ所の道の駅（すくも、大月、めじかの里）のゴミが気になります。ジョン万次郎資料館はいいですね。今後も充実を期待しています。
- △ 6月28日に高知城歴史博物館に行きましたが、3階までであるのに展示はたった2部屋で、ガイドブックに載っている兜も見られず書物ばかりでがっかりでした。ひろめ市場は自由に座ってよいと書いてあるのに、お店の人に「うちで何か買わないとダメ」と言われました。
- △ 安芸タイガース球場に来る人は多いが、ほぼグッズ販売のみで地元にお金が落ちないのではないのでしょうか。キャンプ地周辺で、高知の食が味わえる店がありません。
- △ 岩崎弥太郎生家へ行きましたが、資料館たるものがなかった。三菱は東京拠点かもしれないが、高知から始まったのだから、もっと資料が欲しいと思いました。
- △ 高知城と高知城歴史博物館の入館料は逆で良い。貴重な現存天守は大切にしてほしい。浦戸城を破壊してしまったのは残念。
- △ 高知城光の祭、料金は払っているのに入場制限で天守に入れずショックでした。
- △ 照明が暗い施設が多く、高齢のため文字が見えづらかったです。照明を明るくする、文字を大きくするなどの工夫が必要だと思います。
- △ 資料館が少ないと感じました。龍馬がメインすぎる印象があるので、岡田以蔵や武市半平太、後藤象二郎など、他の偉人の資料館もあれば良いと思いました。
- △ 土佐犬センターがなくなったそうですね。残念。何かほかに代わりになるものはないのでしょうか。また、土佐のサンゴはもう少し上手にアピールしたほうが良いですよ。
- △ にこ淵は県が補助、指導して他県のように安全で恒久的な観光名所として一年を通して訪ねられるようにしてほしい。

- △ 西島園芸団地は、もっと果物や野菜が前面に出て売られているのかと思っていたので期待外れでした。たまたま猛暑のせいで品薄だったのでしょうか。
- △ ひろめ市場がいつも混雑しているの、他にも楽しめるところがあればいいなと思いました。オリックスのキャンプ見学もしましたが、宮崎県のように頑張ってもらいたいです。
- △ ひろめ市場の座席は取りにくい。オープンテラス、立ち飲み席などを増やせばいいと思います。魅力的な県なので、龍馬・カツオ以外のPRもあればいいと思います。
- △ 牧野植物園と同じように、となると目的も違うでしょうし、景観を損ねるかもしれませんが、北川村「モネの庭」マルモッタンにも植物の名前が表示されるか、分かる方法があれば有難いです。
- △ 道の駅などに地元のを置いてほしかった。期待していた海産物や野菜がなかった。
- △ 道の駅にバイクの駐輪場がないところがあるので、整備をしてもらいたい。
- △ 室戸世界ジオパークセンターは17時閉館で入れなかったが、ゴールデンウィークは延長開館してほしかった。むろと廃校水族館はオープンしたばかりで、道の駅にも知名度が低いようです。
- △ むろと廃校水族館に行ったのですが、魚のエサやりタイムとかエサやり体験などができれば楽しいだろうなと思いました。また行きたいと思います。
- △ 龍河洞へ向かう道が狭く、周辺のお店は廃墟のように見えます。駐車場にする、道の駅のようにするなどの対策はどうでしょうか。
- △ 高知県立坂本龍馬記念館から桂浜へ車で向かう際、案内標識がなかったために逆方向（種崎方面）へ引き返してしまいました。牧野植物園の中のイベント料金（1,000円）は入園料を上回る設定で高すぎると感じます。
- ◇ ジョン万次郎資料館の1階資料室で、昔のフィルムを放映していますが、そのフィルムに日本語訳をつけて、イスを置いておけばもっと良くなりますよ。
- ◇ 日曜市へ12時過ぎに行ったところ、朝8時頃と比べて半分以上が閉められていたのがとても残念でした。野菜をたくさん買って帰るつもりだったので、朝に買えばよかったと後悔しました。

<交通>

- 以前より標識などが分かりやすくなったと思います。アンケートの際に観光アプリのことを聞いたので、今度来るときには利用したいです。何回来ても良い所です。
- 高速道路ができて、すごく便利になりました。もう少し時間に余裕ができたなら、主人とゆっくりお遍路参りに出掛けたいと思っています。
- 高知は度々訪れていますが、公共交通機関がイマイチで、自動車利用が中心となります。年々、高速道路など道が良くなり、充実してきているように思います。
- 野島タクシー、平和ハイヤーを利用しました。接客対応がとても良かったですね。ごめん・なはり線の便数が少ないのが残念です。

- 日頃見慣れない路面電車に乗ることができて良かった。海に癒されました。
- 龍馬パスポートを利用し、高知市内を中心に巡りました。ほぼ路面電車で移動が可能で便利です。一日乗車券の割引もありがたかったです。
- △ 30回以上、高知を訪れています。旅行者にとって訪れやすくなっています。LCC（格安航空会社）があればもっといいかもしれません。
- △ 新しく整備された道路もありますが、カーナビが道幅の狭い旧道を案内した際に気付くことができる案内・標識があれば良いのと思います。
- △ 馬路村へ行きましたが、山道が狭くて運転が怖かったです。標識ももう少しあると安心できます。
- △ 大分から車で行きましたが、フェリー代がもう少し安いと行きやすいと思います。3年前は高知市を中心に行きました。コースは私が決めましたが、家内はとても喜んでくれました。
- △ 大阪から室戸岬は遠すぎます。さらに高知市内まで行くのも遠い。もう少し行きやすい方法、フェリー他があれば、もっと出かけられるのと思いました。
- △ 大月の宿から檜西海岸へ行く際、案内看板があまり目立っていなかったのが迷いました。もう少し大きくしても良いのになと思います。
- △ 街路灯が増えるとより良いと思います。それから道路の整備もぜひ進めてください。食べ物は全て美味しく、自然もキレイでした。楽しめたのでまた行きたいです。
- △ 各地にレンタカー会社があると助かると感じました。子どもがいるので、チャイルドシート付きの車を借りられるレンタカー会社が最寄りになくて、高知駅前まで借りに行かなくてはなりません。
- △ 桂浜、北川村「モネの庭」マルモッタンが良かったです。室戸岬方面からモネの庭への右折案内板に少し戸惑いました。もう少し手前があると分かりやすいと思います。
- △ 車で移動すれば便利かもしれないが、高齢化社会になってきているのに公共交通事情が悪いと感じます。奈半利駅から北川村「モネの庭」マルモッタンなども一例ですが、時間と費用を要します。
- △ 車遍路をしています。5巡目ですが、各札所の進入路が狭く、急坂で、生活道路にズカズカ入っていくようで申し訳なく感じます。行政も本気で観光客誘致を図ってみてはどうでしょうか。
- △ 高知駅でICOCA（JR西日本発行のICカード乗車券）が利用できれば良いと思います。駅前がきれいです、周辺での買い物もしやすいのですが、パーキングの場所が分かりにくかったです。
- △ 交通手段（バス、電車など）の使い勝手がもう少し良いと嬉しいです。待ち時間が長いので、便数を増やしてほしいと感じました。
- △ 交通費が高すぎます。どこへ行くにもアクセスが悪く、時間のロスが多いために行くことを諦めた場所がたくさんあります。
- △ 路面電車停留所の行き先が、いざ乗り場に行かないと分からないことに困りました。歩道にも路面電車の路線図を書いた看板があればよいと思いました。
- △ 四万十川（江川崎から）のレンタサイクルについて、電動自転車などの選択肢が広がると良いなと思いました。

- △ 通勤時間帯には難しいのかもしれませんが、とさでん交通桂浜線内でMY遊バスの乗車券を販売していれば助かります。できれば全線で販売してくださると便利に思います。
- △ 電車・バス等での行き方（乗換等）をもう少し分かりやすくしてほしい。今度は間違えずに乗れそうです。
- △ 道路の標示矢印やラインが消えている箇所を整備してほしいです。
- △ とても良い気分転換になったので、また行きたいです。九州から高知へ行けるフェリーが再開すれば、と思います。週末だけでもあれば、もっと気軽に行けるのですが。
- △ 春野総合運動公園へ行くバスの便数が少なかったです。車で行く人が多数なのかもしれませんが、県外や酒を飲む人等のために臨時バスを運行してほしいです。
- △ 歩道のアスファルトの目が粗い。これは高知に限らず四国全域でも言えることです。しかも傾斜がきつい。また、信号機に地名がないので、場所を把握できません。
- △ 毎週のように春野総合運動公園を利用していますが、スポーツイベントが重なると通路に停車している車が多くなり、キープレフトで通行できなくなります。そのためカーブなどでは正面衝突しそうになることが度々あって危険を感じます。
- △ 牧野植物園へ行く際は友人に送ってもらったので、帰りは市内までMY遊バスを使用しました。複数回乗ることを前提にしている料金設定だとは思いますが、1回しか利用しない場合は割高に感じるので1回券を作ってほしいと思いました。
- △ 夜に三翠園から高知城まで歩いたのですが、街灯がないところがあり足元が危険でした。
- △ 奈半利からの交通が不便です。車の運転免許を夫婦ともに持っていない場合に困ります。ガイドタクシーを利用すれば楽ですが、料金が少々高いこと、決められたコースしか回れないことが難点です。自由に自分たちでコース設定ができるのであれば良いですね。
- ◇ 自家用車でなく、公共の電車で行くと不便ですが、JRの手軽で、おトクなタクシー観光「駅から観タクン」が良かったです。窪川駅出発プラン、海洋堂と四万十川沈下橋を見ました。この企画は続けてほしいです。
- ◇ 土佐くろしお鉄道が楽しかったです。ピンバッジも良いですが、カンバッジも楽しいのではないのでしょうか。駅員さんが親切でした。窓はもう少し美しくしてほしいと思いました。
- ◇ 路面電車の線路上を車が走行可能だと後で知りました。松山市の軌道上は車が走行できませんので、意外な感じがしました。

<食>

- 居酒屋・食事処では量が少なかったのですが、清水サバの刺身などは味がよく分かりませんでした。スーパーや道の駅で食材を購入し、民宿で調理して味わいましたが大満足でした。
- アイスが全体的に美味しかったので、もっと推してもいいと思います。
- 海の幸がすごく美味しかった。新鮮な魚、カツオに満足しました。また、食べに行こうと思っています。

- 美味しいカツオ最高でした。また来年も高知に来て西武ライオンズのキャンプを見たいと思います。
- カツオの塩タタキが本当に美味しかったです。生臭さがまったくなく、いくらでも食べられそうでした。他の料理もお酒も良かった。お酒は甘口もあればもっといいですね。
- かんきつ類がたくさんあって、お土産ができました。
- 高知の醤油は東京のものと違って美味しかったです。もっと広めていっても良いのではと思います。
- 高知は観光施設や郷土のグルメが他県に比べても非常に多いのが魅力的です。また、各施設に観光パンフレットが多く設置されていて助かります。
- 皿鉢料理は美しい盛り付けで、また高知のカツオは驚くほど美味でした。
- 道路沿いに農家の方が小さな小屋で販売している野菜、果物が安くて助かりました。
- 土佐の一本釣りカツオのタタキが絶品でした。薫焼きの本物は違いますね。お店の方も親切でした。
- 初めてひろめ市場で食事をしましたが、魚屋さんのカツオのタタキやくじらの竜田揚げなど、とても美味しかったです。また行きます。
- 文旦が好きなので、産直などでお得に買えて良かったです。道の駅大月のきびなごスナック、スナップエンドウが美味しかったです。
- 道の駅で買物をするので、食材・野菜などが多くて楽しめます。
- 夜の街の賑わい、魅力的なお店が多すぎて、いつも悩ましいです。大都市にはない個人経営のいい店がたくさんあって羨ましいです。道の駅の質も素晴らしいと感じます。
- 旅行と言えば食。その食が充実していて、ひろめ市場と商店街などで街中にうまく集約化させていることに感激しました。観光行政がんばってください。
- △ 7月に旅行に行きました。これまで何度も高知へ行きましたが、それまで行ったことのない東部エリアへ行きました。素晴らしい景色で非日常を味わえましたが、もう少し所々に食事処（パン屋、カフェなど）があると良いなと思いました。道の駅は少し寂しい印象を持ちました。
- △ おちゃくり caféのようなオシャレなカフェが四万十川沿いに、もっとたくさんあると嬉しいです。定休日は月曜日じゃないほうがいいと思います。
- △ 観光施設が少ないです。その分、自然を大切に考えていると思いますが、名所周辺にはオシャレなカフェなどがあればいいと思いました。若い人の集客もあるかと思いません。夏に仁淀川へ行きましたが、飲食店が少ないと感じました。
- △ どこに行ってもカツオのタタキ。他にもグルメがほしいです。
- △ 日曜市で買ったピーナッツが中国産でガッカリした。土地のものを売ってほしい。
- △ 夜食を食べられる場所（お酒なし）の情報、地元のお土産物の情報をもっと欲しかったです。
- ◇ ご当地グルメが美味しく、豊富にあるのが嬉しいです。今回は宿毛市内で宿泊しましたが、夜に利用できる飲食店が少ないことは困りました。

<情報・PR>

- 愛知から高知は遠いですが、龍馬パスポートというキャンペーンはとても魅力的で、また何とか来たいと思えるものでした。期限があえて長いことも良いです。
- おむつ替えや授乳室の設置・案内が分かりやすく良かったです。小さな子どもも楽しんでいました。
- 開催中の志国高知幕末維新博の地域会場を巡回しながら、周辺の観光を楽しんでいます。龍馬パスポートとあわせてリピーターの獲得に効果があると思います。
- 各地の名所や食べ物などが分かりやすくまとめられたパンフレットが多いのが良いです。龍馬パスポートをもらうまでの申請手続きが分かりにくいです。
- 高知県の観光フリーペーパーは本当に情報量や写真など、読み応えがあって嬉しいです。
- 高知県は観光に力を入れていて、スタンプラリーをすることによってランクを上げ、割引などを設ける龍馬パスポートは、リピーターを増やす素晴らしい施策だと思います。
- △ 足摺岬が意外と良かった。ジョン万次郎を大河ドラマでという運動をしていましたが、ぜひ大河と限らずにドラマ化してほしいですね。その他、高知県出身の有名人を志士以外でもアピールしてほしいと思います。
- △ 有川浩さんの小説を何冊か読んで興味を持ちました。もっと読者にアピールする表示やガイドブックがあれば良いかもしれません。
- △ 色んなスタンプラリー、特典がありすぎて分かりにくい。記念スタンプを置いているところが少なく、ハガキに捺して投函できなかったのは残念でした。すごく広いことが分かったので、また行きます。
- △ インターネットで宿泊先を探した際、民宿の情報が分かりにくかったです。
- △ 高知県の公式ガイドブックに「ごめん・なはり線フリーきっぷ」の情報を載せてほしいと思います。「安芸・室戸フリーきっぷ」を購入して損をしてしまいました。
- △ 高知は自然（海・山・川）があり、それがとても美しい。仁淀川がとても美しくて驚きました。仁淀ブルーをもっと広告しても良いと思います。安居溪谷に行こうとしましたが、到着まで2キロのところまで工事のため通行止め。何かしらの事前告知があると良かったと思います。
- △ 高知は道路が基本的にきれいで、食べ物は美味しい。クラフトや小さい子でも参加できる体験施設の全体的なパンフレットなどがあれば嬉しいです。
- △ 子どもたちが自然の中で体験をととても楽しみました。人も温かく良い思い出がいっぱいできました。アクティビティの情報がまとまってネットで見られると良いと思います。
- △ ゴルフ場にも積極的に観光案内パンフレット等を置いてほしい。
- △ ジオパークにはとても興味があります。土佐清水のジオパーク構想は面白いと思いますが、天然記念物化石漣痕の説明板などが無く見落としてしまい残念でした。もう少し宣伝があれば良いのではと思います。
- △ 四国は楽しかったのですが、もっと目玉があると良いなと思いました。知らないだけかもしれないですが、もっとPRして盛り上げてください。

- △ 四国へ旅行したのは初めてで、正直なところこれほど水が美しい場所だとは知りませんでした。仁淀川の透明度などもっとPRが必要です。また飲料水として可能な名水があれば知りたいです。
- △ 自然と美味しい食事と大満足な旅行となりました。見どころはいっぱいあるので、もっとアピールして、さらに魅力的な高知県にしてください。
- △ 土佐弁のイントネーションはいいですね。県外から楽しみに行くのに、再度立寄っても龍馬パスポートのスタンプを押してくれないのは不満です。二回目以降は買い物をしなくなってしまうです。
- △ 南海トラフ巨大地震への備えを、観光客向けにも情報発信してほしい。
- △ 南国市の長尾鶏センター、大豊の日本一の大杉は今回初めて行きましたが、もっと宣伝すべきだと思います。
- △ 何度も来ていますが、あまり変わらないのが良いですね。市販されている観光情報誌は同じような内容ばかりなので、高知エリアごとの情報誌等があればHPなどで広告して欲しい。
- △ 日本のジオパークがTV番組「ブラタモリ」のおかげか人気が出ています。高知の素晴らしい自然を、高速道路のサービスエリアにある道路MAPなどでどンドンアピールしてください。夏休みの宿題にもいいと思います。
- △ 春野総合運動公園内に各駐車場から会場までの案内標示が欲しかったです。
- △ フリーのガイドブックを見ていると、アクティビティのシーズンが書かれていたのですが、ちょっと分かりにくいような気がしました。
- △ プロスポーツキャンプの「いつ」「どこで」「どのチーム」等の情報をもっとほしいです。また移動手段や駐車場などの情報も不足しています。
- △ 道の駅にドライブコースの紹介があればいいと思います。楽しく旅をするには、何か新しい発見やリーズナブルに買い物ができたりすることが大切だと思います。
- △ 梶原町の中心部、自然散策、四国カルストを含む広域のマップが1つにまとまったパンフレットがあると便利だと思います。
- △ 龍馬パスポートの入手手続き場所が限られていて、入手前にいろいろと立寄ったので損をした気分になりました。高知入りしたらすぐに手に入れられると嬉しいです。
- △ 龍馬パスポートは継続してほしいです。城めぐりのQRコード撮りも楽しかった。城めぐり運営部と話し合って、第二段も実施すれば観光する人が増えると思います。
- △ 四万十川のカヌー川下りとサイクリングを体験。案外簡単にできたので、もっと「簡単に四万十川カヌーで、大自然を満喫しよう」とPRしてほしい。
- △ 車で来る人ばかりではないので、日曜市の場所などが駅の地図にあればなお良いと思います。高知城下から城への順路があれば良いと思います。

<おもてなし>

- 愛媛県東予からのバスツアーで、初めて高知市中央卸売市場を訪れました。到着時に母がお手洗いを借りたいと言ったら、市場の若い女性に快く案内していただき大変助かりました。

- 行く先々で高知県の人々の温かい心遣いや笑顔、親切心が大変嬉しかったです。
- お遍路さんを受け入れる地域ならではの、四国はどこを訪れても地元の方が親切に対応して下さり、ありがたかったです。次回は牧野植物園で一日ゆっくりしたいと思います。
- 温泉に入っている時に、地元の方々が高知のことを話して下さり、とてもフレンドリーな県という印象を持ちました。
- 空港も龍河洞も気持ち良く接客してもらいました。高知の自然も海も好きなので、維持してください。
- 高知県全般的に良かったです。違う季節にもう一度四万十川へ行きたいと思います。中村駅前観光協会の方がとても親切でした。宿泊施設も良かったです。
- 高知城ではボランティアの方から声をかけていただきガイドを受けましたが、とても詳細がわかりやすく良かったです。龍馬パスポートのスタンプ押印を施設側からも声をかけていただけると忘れにくかった。
- 高知城でボランティアされている方が気さくに話しかけてくださいました。コインロッカーが無料で利用できる点も良いと思います。
- 高知の人は時間に追われていない感じがして、親切だった。バスの運転手さんやボランティアガイドの方がとても親切に教えてくださいました。
- 困っていることに気付いてくれて、手を貸して下さることが多く、親しみやすい土地で、また行きたいと思いました。
- 今回、仕事で初めて高知に来ましたが、ホテル、コンビニ、タクシーの人たちが声をかけてくれました。ぜひ、ゆっくり観光に来てみたいと思いました。
- 魚が美味しかった。トイレはかなりきれいでした。おもてなしトイレという呼称も良いと思います。
- 桜や岬、四国八十八ヶ所など何度も高知に来ましたが、アンケートへシャワートイレ化について書いたことがあります。今回、それが実現されていたので嬉しかったです。
- 四万十方面へは今回初めて訪れましたが、道の駅のトイレがどこも綺麗だったのが驚きで、嬉しかったです。
- 宿泊施設の方が親切でした。行って見たかった県、高知でしたが、大満足できました。水族館の人、動物園の人、人も優しい方々でした。
- 台風19号、20号が気がかりでしたが、カヌー体験も無事にできて良かったと思います。予定変更せざるを得ないこともありましたが、施設の方々のお気遣いのおかげで楽しい旅になりました。
- 天狗荘での星空観察会がとても分かりやすく、楽しい時間でした。道路の道案内も丁寧で親切でした。
- 東北の山形から初めて高知県に行きました。野菜、果物、かつお、美味しいものが沢山あり満足でした。日曜市は地元の新鮮な野菜もですが、店主のみなさんの会話と笑顔が強く印象に残っています。
- 通りすがりの地元の方が声をかけて下さったり、お土産屋さんでは閉店間際に行ったにもかかわらず丁寧に対応していただきました。今回は娘がお付き合っている男性のご両親に会いに来たのですが、高知県の雰囲気や人柄は好きです。

- 土佐弁がとても心地よかった。もっともっと土佐弁を聞きたかった。
- 人の対応にとても好感を持っています。方言での対応が本当は嬉しいです。
- ホテルがすごく良くて、地魚も食べられて、ホテルマンのサービスもすごく良くて楽しい旅になりました。また絶対に行きたいです。
- みなさん明るくて感じの良い方が多かったのですが、特に宿毛が良かったです。道の駅すくもでも、とても気持ち良く買い物ができました。
- よさこい踊りを見て、企業が見物客に冷えた麦茶を配っていたことが忘れられません。他県ではこのような例を見たことがありません。
- 設備やスタッフさんの対応に、子ども連れの家族が快適に過ごせるような配慮が多くあり、ありがたかったです。また行きたいと思える場所です。ありがとうございました。
- △ 1月2日に乗ったバスが五台山の辺りで一時間動かなくなって、予定が大分狂いました。混雑の度合いが分かれば利用しなかったと思います。チームラボの高知城イベントに参加しましたが、スタッフさんがあまり親切ではなかったのが残念です。
- △ 赤ちゃん連れに優しい施設づくりをしていただけたらと思います。
- △ オリックスバファローズの秋季キャンプを見に行きました。球場のトイレをきれいにしてほしいと思います。また、遠方からバスを乗り継いできた方はシャトルバスがあれば良いのに、と話していました。
- △ かなり洋式トイレ化が進んでいるとは思いますが、高齢になると足が悪くなる人がかなり多いので、今後も継続した取組をぜひお願いします。
- △ 公共施設や観光地で、和式トイレの設置率が高い気がします。もう少し洋式が多いほうが良いと思います。
- △ 高知県の方々には親切な人が多いため、そうではない不親切な対応をされると非常に悪目立ちします。
- △ 小さい子どもが2人います。県外にいて年に数回、里帰りしています。年々良くなるはなっていますが、他県と比べると授乳室の数やおむつ替えの場所（男性トイレになかったり）が不足しているように感じます。おもてなし日本一を目指すならば、やはり子どもたちに優しい県になってほしいと感じます。
- △ トイレの汚さがイメージを悪化させていると思います。それ以外、接客などは他県より優れていると感じます。ひろめ市場のタバコも分煙にすると良いと思います。
- △ 日曜市でエコバッグ（安いもの）をところどころで売ると良いと思います。また、買ったものを預かってくれるところがあると良いです。毎回、宿泊しているホテルへ置きに戻るのも大変です。
- △ ひろめ市場の受動喫煙には非常に残念な思いです。あれでは非喫煙者は入場できません。高知市文化プラザの吹き抜け空間にも灰皿があり、受動喫煙の被害を受けました。観光客を増やしたいのであれば、まず禁煙化が必要だと思います。
- △ 道の駅のネット環境が整っていないのでしょうか。愛媛では完備されていました。高知城の駐車場が日曜日に解放されていて助かりました。
- △ 洋式トイレが十分に普及していない点と、温水洗浄便座（シャワートイレ）が公共の建物でも普及していない点が都市部（首都圏、関西）と異なります。

- △ 龍馬パスポートを提示して特典を受けようとしたところ、係の方は知らなかったようでパンフレットを見て確認していました。接客の際に「いらっしゃいませ」の挨拶が少ないように感じます。
- △ 旅行当日はとても暑かったのですが、観光地に涼めるスポットや熱中症対策がとても少ないと思いました。桂浜の砂浜が歩けなくなってとても残念でした。

<マナー>

- 高校生が自転車に乗る際にヘルメットを着用していることに感心しました。他では見られません。
- 高知県ナンバーのドライバーは道の譲り合いをしてくれて、とてもスムーズに運転することができました。
- △ 運転マナーが悪いと思います。特にタクシーの乱暴な運転が気になりました。
- △ 叶崎の展望台に猫がたくさんいて、猫嫌いの私はがっかりでした。エサも置いてありました。
- △ 高知の人はみな親切ですが、車の運転は荒いと感じました。総合的にはとても良いです。
- △ 交通マナーが悪く、ガソリン代が他県に比べて高いですね。
- △ 制限速度以下で走る方が多いと感じます。安全運転のためだとは思いますが、旅行者にとっては宿に着く時刻が遅れて困っています。

<その他>

- 11月3日の中土佐トライアスロンに参加しました。海は穏やかで、ランの時に商店街の人の応援もあり、走りやすかったです。温泉も大満足。来年も参加します。
- JR安和駅が大変良かったです。海の青さに東京より帰省中の叔父が喜びました。カツオのタタキにも大満足でした。
- 色んなイベントが多く、楽しみがたくさんあるので、高知はいつ来ても飽きることはありません。
- 絵金祭りに行きましたが、地域ぐるみで盛り上げを図っていて好印象です。
- 活気があり、近いことに改めて気付いたので度々行きたいと思われました。人が良く、美味しいものが揃っているので、ゆくゆくは高知に住みたいと思うほどです。
- 高知県には3回ほど来ています。まだ室戸方面には行っていないので次こそは。食事はいつもおいしく、また独自の文化があって、とても楽しみにしています。
- 高知県への出張はいつも楽しみです。どこの自治体へ行っても、とても楽しいです。今回は高知県を横断するので、満喫しようと思います。
- 高知市中心部のアーケード商店街は活気があり、今度もっとゆっくり歩いて散策したいと思います。
- 高知出身の偉人、銅像の多さに驚きました。行く先々の観光地で出会いました。高知出身の偉人特集のようなページ、観光案内などに載っているのでしょうか。

- 高知の県を挙げての観光の取り組みが、嫌味もなく心地よいのでリピートになっています。歴史、自然、グルメと、いつ来ても楽しめる高知が大好きです。
- 四国の道の駅を利用した車中泊の旅行をしました。高知の道の駅はどれも気持ちの良いものでした。ありがとうございました。
- 自然が豊かで、町の人はいい人が多く、高知が大好きになりました。自然の中で遊んでリフレッシュできました。来年も必ず来ます。食べ物も美味しかった。
- タイムスリップしたかのように、私たちの幼い頃を感じられる物や人柄などに触れることができました。是非、この状況を長く保ってほしいと思います。
- 手結港可動橋には新鮮な驚きがありました。高知市以外にも、もっと食事処があれば、より楽しみも増えるのではないかと思います。九州からまた来たいと思いました。
- 土佐清水市の防災と自然をテーマに訪れました。中でも大岐海岸の海岸林の立派さと竜串海岸が印象的です。ジオガイド、観光ガイドの育成にぜひご尽力ください。
- とさでんの路面電車がいい味を出していました。日曜市も活気がありました。
- 仁淀川リパークルーズでラフティング体験をしました。料金以上に家族全員楽しむことができました。また高知へ行きたいです。
- 毎回釣りだけのために徳島や室戸に来ています。アンケートの際にお勧めスポットとして教えてもらった、むろと廃校水族館へ早速行ってきました。釣り以外で室戸を楽しむことができ、本当に感謝しています。大自然がいっぱい高知は良いところです。
- 道の駅でレンタサイクルを借りて、仁淀川沿いを巡りました。旧道だと車が少なく、すごく走りやすく景色も最高でした。また来たいと思います。
- 見るもの、食べるもの、人と触れ合うこと。皆やさしくて、心穏やかに旅することができて良かったです。私は特にお土産を買うことが楽しみでした。
- 室戸市に滞在しましたが、町の方々がとても親切でした。町の魚屋やパン屋、ガイドブックに掲載されていないような地元のお店がとても良く、住みやすい温かい町だと思います。
- 梶原は有名な観光施設は少ないですが、独自のデザインのホテル・図書館に魅了されて連泊しました。温泉も満喫し、ゆっくり過ごすことができました。
- よさこいアンコールはいい企画です。迫力がありました。この時期によさこい踊りが見られるとは思っていなかったのが嬉しかったです。
- 路面電車、道の広さ、市場の雰囲気などが、以前住んでいたボストンに似ていて嬉しくなりました。今度はゆっくりと観光で、また行きたいです。
- △ 歩き遍路が途中で休憩できる場所がほしい。海との触れ合いができる場所もあるといい。
- △ 主に道の駅めぐりで出かけることが多いです。感心するのは、どの施設もトイレがきれいなことで、店員さんも親切です。特産物のレシピや保存法などを添付してあったらすごく良いのに、と感じました。
- △ 柏島は思ったよりも人が多くて、海には魚が少なかったです。駐車場と着替える場所が欲しいと思いました。
- △ 観光施設のポイントがそれぞれ離れすぎているので、移動が大変です。参加型の地産イベントもあれば良いと思います。

- △ 高知城のチームラボイベントは、あれだけの大人数を入場制限なく、天守に上げてしまうと建物が傷んでしまうのではないかと心配になりました。対策が少し必要ではないでしょうか。
- △ 高知龍馬空港内にお土産物売り場を見つけられず、全体的に少し寂しい印象を受けました。到着の記念になるような写真撮影スポットがあっても良いかなと感じました。
- △ 宿泊施設に連泊プランがあれば良いと思います。
- △ チームラボ 高知城 光の祭を見に行っただのですが、入場してからのトイレの場所が分かりにくく、靴脱ぎ場から先（天守閣）はトイレがないという表示。付近にもトイレはなく、我慢を強いられる行列でした。
- △ 南国ICから室戸岬へ向かう道中は、コンビニ等が少なく感じました。ガソリンスタンドはセルフ店が多く、利用した経験がないために不安を覚えました。
- △ 年に二回（春・秋）行くのが楽しみになって20年以上になります。道の駅の開設など、春野方面に力を入れてください。桂浜から横浜三里、須崎へのルートが面白くなるとう良い。
- △ 初めての高知でした。どこもきれいで整っているのに、淋しい気がしました。もっとアピールして若者の女子を呼べたらいいのと思いました。
- △ はりまや橋のアーケードの床が汚れすぎていますが、気にならない県民性なのでしょうか。全体的に旧態依然としている印象ですが、予算の問題なのでしょうか。
- △ 春野球場でプレシーズンマッチを観戦しました。毎年楽しみにしていますので、来年も必ず誘致をお願いします。
- △ 見るところが少ない。阪神タイガースの安芸キャンプをもっとアピールして高知全体のイベントにしてはどうですか。
- △ むろと廃校水族館の周辺に食事処、土産物店があると便利だと思います。とくに夏場はとても暑いので、一休みできたら助かります。
- △ 野球やサッカーのプロチームがせっかく高知でキャンプをしてくれているので、高速道路のインターチェンジ付近や、街の中心部などでチームフラッグを掲げるなど、もっと歓迎ムードで盛り上げてほしいと思います。
- △ ライオンズのB班、A班ともに見学に行きました。A班の時は球団との相談も必要かもしれませんが、物販があってもいいと思います。
- △ 全員の集合写真が撮りたいので、写真スタンドがたくさんあると嬉しい。
- ◇ 足摺岬周辺に観光客が少ないことに驚きました。足摺海洋館、足摺海底館、食事処等がガラガラでした。その分、待つことなく遊ぶことができ良かったです。
- ◇ 一日中雨が降っていたため、予定を変更して旅行を楽しみました。もっと雨でも楽しめる場所があればと思います。
- ◇ 入野海岸で開催されているTシャツアート展に初めて出品し、子どもと母を連れて見に行きました。昼は海遊びとTシャツ観賞、吹きガラス工房で体験。夜はホテルで宿泊と食事と大変満足しました。
- ◇ 遅咲きのヒマワリを見てから、ずっと行って見たかった沈下橋、四万十川を見ることができて大満足です。また来たいなと感じる大自然でした。こういった取り組みで観光しやすくなっていけば嬉しいです。

- ◇ 研修で高知に来るのに併せて、木のカバンを買いに馬路村へ行きました。工場も見学させていただき、とても嬉しかったです。
- ◇ 今度はよさこい祭りを見に行きたいと思います。高知県を旅すると元気をもらえます。
- ◇ 四万十市の中村周辺にはトンボ王国くらいしか観光施設がなく、四万十川の遊覧がもし雨で中止になると時間を持て余すことになったと思います。
- ◇ 社会人になった娘は東京から、母である私は福岡から、高知龍馬空港で落ちあい、レンタカーで出発した旅でした。想像以上に楽しめて、また訪ねたい場所になりました。食事が良いし、外国旅行のように日常から離れた気持ちになり、リフレッシュできました。植物好きにはたまらない県だと思いますので、そこをぜひアピールされるとよいかと思います。
- ◇ 中央エリアは、西部エリアとまた雰囲気が違って、何度行っても楽しめます。この雰囲気の違いこそ、高知の特色なのかもしれませんね。
- ◇ 乳幼児連れで行ける場所が、アンパンマンミュージアムと桂浜水族館くらいしか浮かびません。毎回日帰りですが、他にも色々あれば宿泊で遊びに来たいなと思います。
- ◇ 仁淀川の流域全体が素晴らしい釣り場なのに、友鮎（おとり）を置いているところが少なくもったいない気がします。四万十川より仁淀川の鮎のほうが美味しいです。
- ◇ 春野総合運動公園のプロ野球プレシーズンマッチは、観戦無料で助かります。座席前後の間隔がもう少し広いといいですね。高知のお土産は色々あって楽しいです。
- ◇ 毎年楽しみにして高知へ行きますが、全く飽きることがありません。道路も走りやすく快適ですが、気軽に泊まれるビジネスホテルが少ない印象があります。
- ◇ もう今年で10年、アルビレックス新潟のキャンプに来ています。ホテルには毎年10泊ほどし、大変満足しております。行きつけのお店もたくさんできました。
- ◇ 宿の窓から夜空の星が大変美しく、ハッキリ見えました。オリオン座、カシオペア座、北斗七星等々。川・海・溪谷に加え、夜空の星にも感動しました。
- ◇ 東部エリアの安芸市周辺にリーズナブルな宿泊施設がもっと多くあれば、何度も足を運びたいです。海も山も大好きです。

V おもてなしの宿アンケート

● 概 要

40 の宿泊施設を訪問し「おもてなしの宿アンケートはがき」を配布・設置した。

この報告書は平成 30 年 3 月から平成 31 年 2 月に返信された観光客からの声を集計したものである。

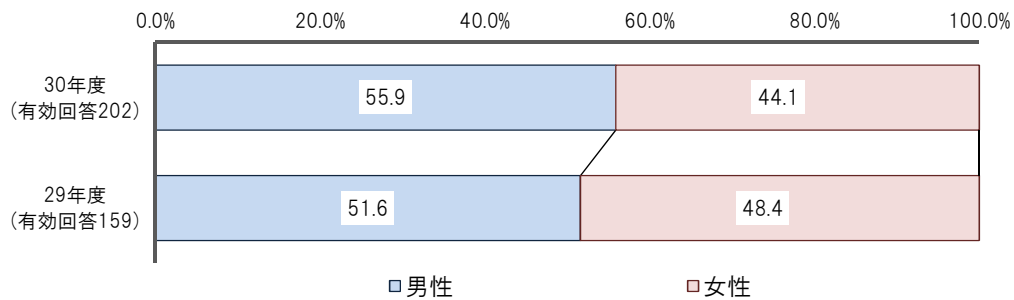
返信総数	30 年度	207 通	(春 49 件、夏 34 件、秋 76 件、冬 48 件)
	29 年度	163 通	(春 36 件、夏 49 件、秋 38 件、冬 40 件)

図中の構成比は、未回答を除いた有効回答数を母数として算出し、小数点 2 位を四捨五入しているため、択一設問の合計が 100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は構成比を合計すると 100%以上になる場合がある。また、未回答の数はグラフには含まない。

1. 「おもてなしの宿」回答者

1-1. 男女別割合

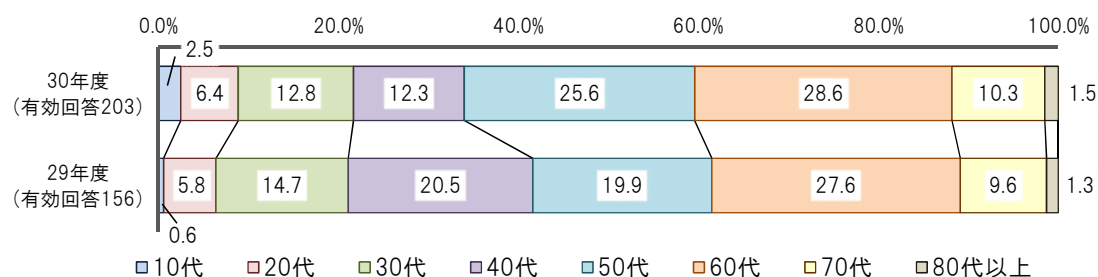
	男性	女性	未回答	合計
30年度	113	89	5	207
29年度	82	77	4	163



返信された「おもてなしの宿」アンケートの男女別割合は、男性 113 件(55.9%)、女性 89 件(44.1%)と前年度と同じく男性の割合が多くなっている。前年と比べると、男性の割合が 4.3 ポイント増加となっている。

1-2. 年代別割合

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	未回答	合計
30年度	5	13	26	25	52	58	21	3	4	207
29年度	1	9	23	32	31	43	15	2	7	163

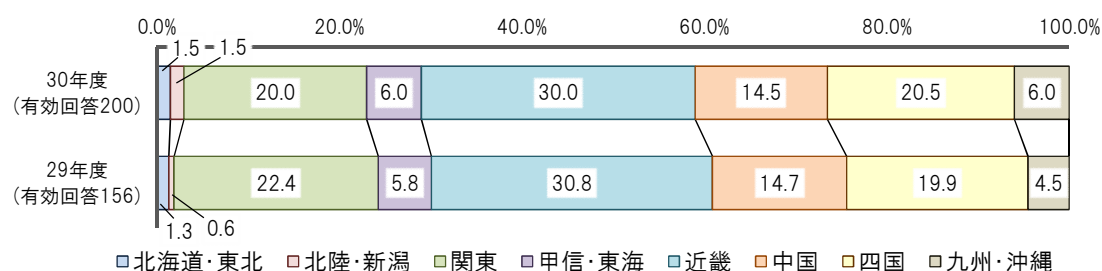


年代別割合は、60代が58件(28.6%)で最も多く、次いで50代が52件(25.6%)、30代が26件(12.8%)、40代が25件(12.3%)、70代が21件(10.3%)と続き、それ以外の年代は10%以下となっている。

前年度と比べ、50代が5.7ポイント、10代が1.9ポイントの増加、40代が8.2ポイント、30代が1.9ポイントの減少などとなっている。

1-3. 出発地

	北海道・東北	北陸・新潟	関東	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	未回答	合計
30年度	3	3	40	12	60	29	41	12	7	207
29年度	2	1	35	9	48	23	31	7	7	163

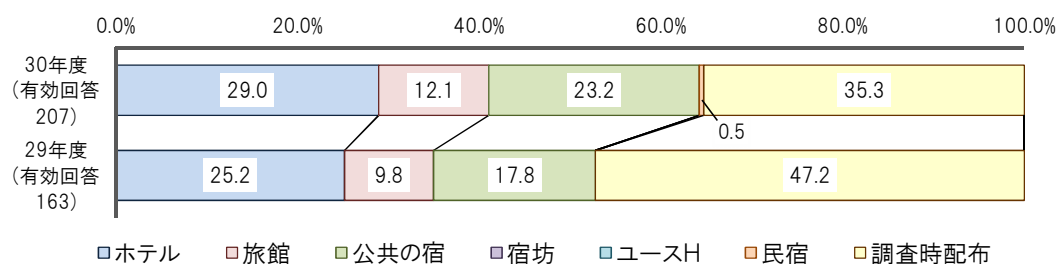


出発地ブロックは近畿が60件(30.0%)で最も多く、次いで四国が41件(20.5%)、関東が40件(20.0%)、中国が29件(14.5%)と続き、それ以外のブロックは10%以下となっている。

前年度と比べ、北陸・新潟が0.9ポイント、四国が0.6ポイントの増加、関東が2.4ポイント、近畿が0.8ポイントの減少などとなっている。

1-4. 返信された封筒の設置箇所

	ホテル	旅館	公共の宿	宿坊	ユースH	民宿	調査時配布	不明	合計
30年度	60	25	48	0	0	1	73	0	207
29年度	41	16	29	0	0	0	77	0	163

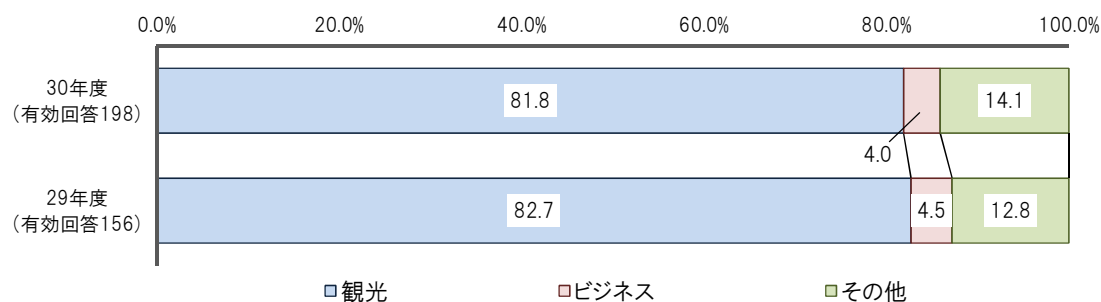


アンケートが返信された設置箇所は、調査時配布が73件(35.3%)で最も多く、次いでホテルが60件(29.0%)、公共の宿が48件(23.2%)、旅館が25件(12.1%)、民宿が1件(0.5%)と続いている。

前年度と比べると、公共の宿が5.4ポイント、ホテルが3.8ポイントの増加、調査時配布が11.9ポイントの減少などとなっている。

1-5. 旅行の目的

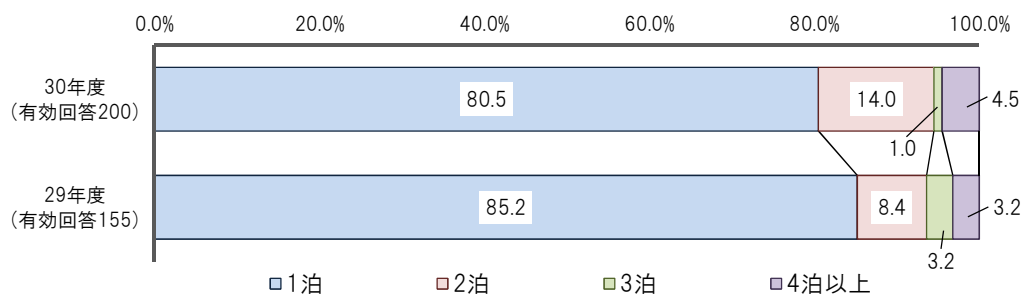
	観光	ビジネス	その他	未回答	合計
30年度	162	8	28	9	207
29年度	129	7	20	7	163



旅行の目的は、観光が162件(81.8%)で最も多く、その他が28件(14.1%)、ビジネスが8件(4.0%)となっている。その他の内容としては「遍路」「温泉」「プロスポーツキャンプ見学」「休養」などがあつた。前年度と比べ、その他が1.3ポイント増加、観光が0.9ポイント、ビジネスが0.5ポイントの減少となっている。

1-6. 宿泊日数

	1泊	2泊	3泊	4泊以上	未回答	合計	平均宿泊数
30年度	161	28	2	9	7	207	1.35
29年度	132	13	5	5	8	163	1.28



宿泊日数は、1泊が大半を占め161件(80.5%)で最も多く、次いで2泊が28件(14.0%)、それ以外は10%以下となっている。

前年度と比べ、2泊が5.6ポイント、4泊以上が1.3ポイントの増加、1泊が4.7ポイント、3泊が2.2ポイントの減少となっている。平均宿泊数は1.35泊と前年度と比べ0.07泊増加となっている。

2. 「おもてなしの宿」満足度

*平均点数について

大変満足=5、満足=4、やや満足=3、やや不満=2、不満=1 として算出している。
5点満点で点数が高いほど、満足度が高くなる。

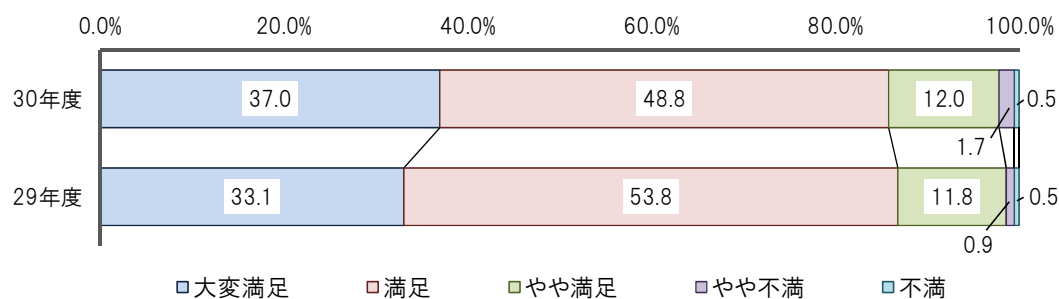
2-1. 予約係・フロント係のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
対応	72	101	24	4	2	4	207	4.17	30年度 4.20 29年度 4.18
挨拶	73	98	30	3	1	2	207	4.17	
言葉づかい	80	94	26	4	1	2	207	4.21	
身だしなみ	78	106	18	3	0	2	207	4.26	

予約係・フロント係のサービスについては、全ての設問で平均が4点台となっている。
全体平均は4.20点で、前年度と比べ0.02ポイント増加となっている。

良いご意見としては、「迅速で丁寧な対応」「笑顔で明るい表情」「親しみやすい雰囲気」
「質問への丁寧な回答」などに関する記述が多かった。

反面、不満の声として「挨拶がない」「予約と違う内容での案内」「表情や対応が固い」
などのご指摘があった。



(注：設問全てで各評価の回答数を合計し、構成比を算出したグラフ)

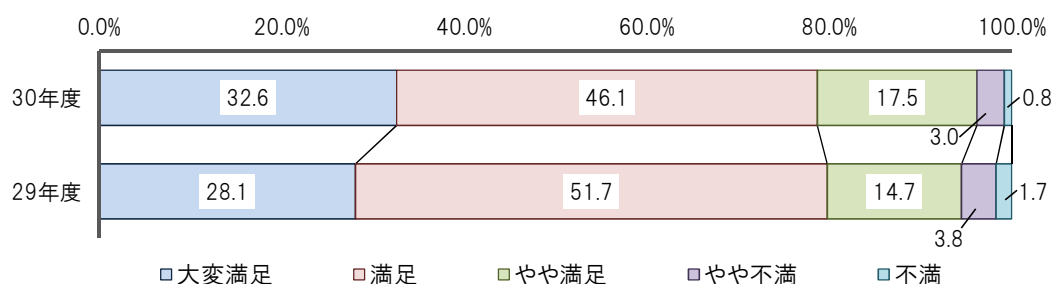
2-2. 客室係のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
館内説明	39	75	33	8	3	49	207	3.88	30年度 4.07 29年度 4.01
挨拶	54	74	27	2	1	49	207	4.13	
言葉づかい	57	72	25	4	0	49	207	4.15	
身だしなみ	59	75	22	2	0	49	207	4.21	
気配り	48	68	31	8	2	50	207	3.97	

客室係のサービスについては、「館内説明」と「気配り」の設問で“やや不満”と“不満”の回答が多く、平均が3点台となっている。全体平均は4.07点で、前年度より0.06ポイント増加となっている。

良いご意見としては、「元気が良く、明るい雰囲気」「方言を使った楽しい案内」「細やかな案内」などに関する記述が多かった。

不満の声としては、「事務的な対応」「最低限の説明」「気配りを感じなかった」などのご指摘があった。



(注：設問全てで各評価の回答数を合計し、構成比を算出したグラフ)

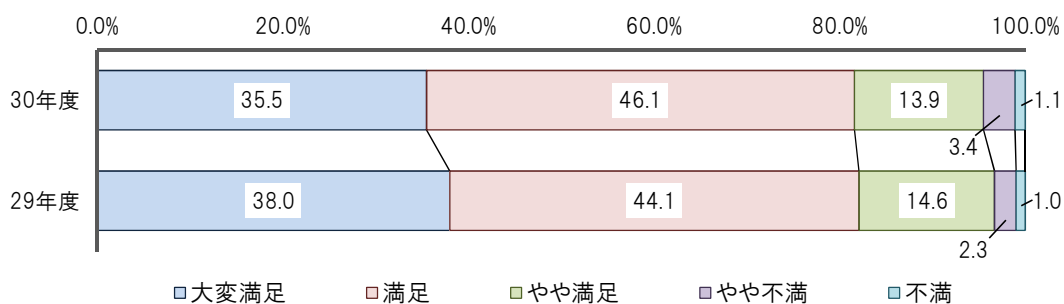
2-3. レストラン・食堂系のサービスについて

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均
対応	65	90	19	8	2	23	207	4.13	30年度 4.12 29年度 4.16
挨拶	63	83	28	9	1	23	207	4.08	
言葉づかい	64	86	30	4	0	23	207	4.14	
身だしなみ	66	92	20	4	1	24	207	4.19	
気配り	68	72	31	6	6	24	207	4.04	

レストラン・食堂系のサービスについては、「対応」「挨拶」「気配り」の設間で“やや不満”と“不満”の回答が多くなっているが、全ての設間で平均が4点台となっている。全体平均は4.12点で、前年度より0.04ポイント減少となっている。

良いご意見としては、「サーブのタイミングが良い」「迅速な対応」「料理について丁寧な説明があった」「リクエストに応じてもらえた」などがあった。

その反面で、「食器を片付けるタイミングが早い」「受付で待たされた」「スタッフの人数が不足している」などのご指摘があった。



(注：設問全てで各評価の回答数を合計し、構成比を算出したグラフ)

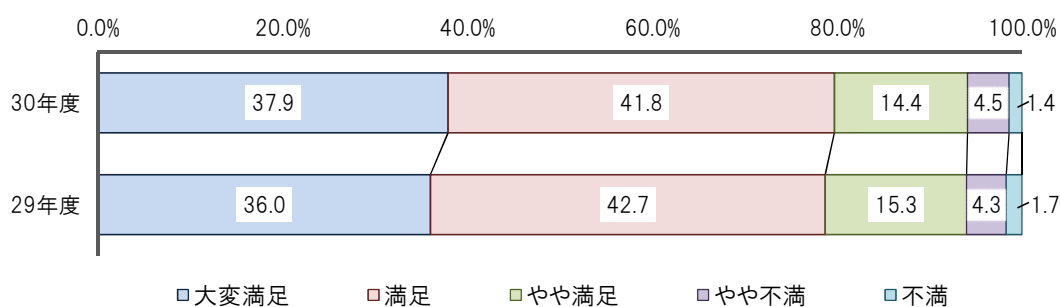
2-4. 施設について

	大変満足	満足	やや満足	やや不満	不満	未回答	合計	平均点数	全体平均	
雰囲気	69	95	30	8	2	3	207	4.08	30年度 4.10	
館内表示	61	85	41	10	3	7	207	3.96		
分煙	79	84	29	6	2	7	207	4.16		
客室の清掃	77	85	30	10	2	3	207	4.10		
食堂の清掃	70	88	24	5	0	20	207	4.19		
サービス	83	78	27	8	6	5	207	4.11		
食事の量	77	69	30	8	0	23	207	4.17		29年度 4.07
食事のお味	75	80	24	5	0	23	207	4.22		
料理の説明	54	66	27	16	7	37	207	3.85		
休息	89	84	25	6	2	1	207	4.22		
音・臭い	79	84	22	14	6	2	207	4.05		

施設について、高評価だった項目は4.22点の「食事のお味」「休息」、4.19点の「食堂の清掃」などで、厳しい評価となった設問は3.85点の「料理の説明」、3.96点の「館内表示」となっている。全体平均は4.10点で、前年度より0.03ポイント増加となっている。

良いご意見としては、「静かで落ち着いた」「全体的に清掃が行き届いている」「料理が美味しかった」などがあつた。

その反面で、「隣室からの音、エアコンの動作音などが気になった」「大浴場までの案内表示が不足気味」「シャワートイレではない」「建物の老朽化が目立つ」「部屋や廊下の臭いが気になった」などのご指摘があつた。



(注：設問全てで各評価の回答数を合計し、構成比を算出したグラフ)

2-5. お気づきの点・ご意見の抜きだし

(評価できる点=○・改善を望む点や要望など=△・その他=◇)

<接客・対応>

- 調度品は細部にまで心配りされていて、設備も美しかった。2階廊下に、小説足摺岬の書があったが、作者名に誤りがあった（正しくは田宮虎彦）。車を運転しないシルバー層にむけて、土佐清水バスセンターから有料で（乗合でも可）送迎してもらえたら嬉しい。リピーターが増えると思う。
- 星空観察がとても分かりやすく楽しい時間だった。落ち着いた雰囲気ゆったりした気持ちで過ごせた。季節を変えて、繰り返し利用したい。
- 予約なしでの宿泊で、時間的に遅くお願いをしたので食事の準備が大変だったと思います。それでも受け入れてくださり、感謝しております。
- 夕食時、スタッフの動きが大変良かった。気配り、心配りが良く伝わってきました。常に笑顔を絶やすことなく、ハッキリ丁寧な言葉遣いでのお持ちのいい接客態度でした。また、感じたのは料理を出すタイミングの良さです。最近は大抵、団体客の場合は大広間を使い、一品ごと出来上がるたびに端の席から配膳していきます。当然ですが、食事の進み具合は人それぞれで、目の前の料理には関係なく、置き場所がなければ料理の入った器を寄せてでも置いていきます。こちらのお宿は違いました。お客一人ひとりについて、ある程度食事の進み具合を見計らってから次の料理を出していました。当然、スタッフには手間のかかることではありますが、客としては気持ち良く食事ができました。おもてなしの宿は、経営規模、創業年数には関係なく同じはず。永く続いている宿には、それなりの理由があるのですね。
- 売店の女性の人が土佐弁を話してくれて、「ああ高知に来たなあ」と良い思い出ができました。売店の種類やレイアウトをかえると、もっと良いのではと思います。
- 客室もお料理も大変満足でした。売店の方のお気遣いも素晴らしく、部屋でワインを飲みたくて購入した際にグラスと氷の手配をしてくださって楽しむことができました。
- 地図で方向を調べかけた際に、観光案内や道案内を丁寧にいただきました。ビュッフェは高知の地場産品を使ったもので大変楽しめ、かき氷のサービスなどお心遣いがありがたいと思いました。
- いつも利用させていただいているお宿なので親しみがありません。よく親切にさせていただいて、接客がとても良いと感じています。利用する時期がいつも夏場なので、お部屋に冷蔵庫があると助かります。
- 施設の古さを補う、接客などにおもてなし感が感じられるお宿で、立地場所も含めてまた行きたくなる場所でした。BS放送が見られることには驚きました。
- フロント係の方などにとても丁寧に対応していただきました。提携パーキングを事前に分かるようにしていただければ良かったと思います。
- 1泊2日でしたが、とても快適に過ごすことができ、高知の観光が良いものとなりました。徒歩圏内にある食事処の紹介も良かったと思います。次回もぜひ利用したいと思いました。
- このホテルはお風呂の良さで決めました。着くまでは長くかかって寒かったですが、最高の露天風呂でした。ホテルは外観が古く、さほど良くありませんが、千代紙で貼り紙したりと、とても工夫が感じられて、古さの割に行き届いた掃除に感心しました。従業員さんの一生懸命さが伝わり、とても良かったです。

- 出迎いの看板がいいですね。村を挙げて来村を感謝されているかのようで、おばあちゃんのところへ帰ってきた感じでホッとしました。案内のイラストにもとても癒されます。自宅へ帰ると来村感謝状も届いていました。また行ってみたい秘境です。
- 所々に古キズがありましたが、それも物を大事にするという心で良いと思います。海側の大木は少し切らせてもらえたら、更に美しい海が見えるのですが、色々のご事情もあるのでしょうか。
- こちらのホテルは本当に良かったです。みんな揃って感じが良かったです。子どもへの気配りも良く、ぬりえを準備してくれたり、ごはんやジュースをサービスしてくれたり、お料理も説明してくれて本当にすごく満足しました。
- 連泊だったので、初日は部屋の清掃やタオルの交換は不要、バスタブ掃除だけお願いしていましたが、ユニットバス全体をきれいにしてくださって、お風呂場に吊るしてあったホテルのパジャマも新しいものに替えてくださっていました。宿泊する側の気持ちに立ったサービスの行き届いた、宿泊していてとても気持ちの良いホテルだと思いました。
- 接客に関しては、今まで泊まったホテルの中で一番良かったです。スタッフ全員が心地よい対応で親切。質問しても「分からない」と言われることはありませんでした。
- 10年以上、国民宿舎を利用していなかったのですが、部屋でゆっくりでき、清潔でしたし、夕・朝食のどちらも満足と、このお値段で大満足でした。また他のところも利用してみようと思いを改めました。皆さん感じが良く、土佐の方の温かみを感じられました。
- △ コストパフォーマンスは十分満足でした。接客サービスについては、スタッフにより差がありましたので、笑顔と親切対応の徹底が必要だと感じました。
- △ フロントの若い男性スタッフの中には、笑顔を見せるのが苦手な方がいるようです。客室が少し狭いように思えます。
- △ 言葉遣いは丁寧ですが、せっかく高知に来たので方言でのサービスを検討していただくようお願いします。
- △ おもてなしの宿に遠く、忙しいためかバタバタしている印象です。格上の宿泊施設での研修などを考えてみてはどうでしょうか。高知の魅力が出ていないと思います。
- ◇ 到着が少し遅くなってしまい、結果的に食事は最後の客となりましたが、その割に食事を運ぶ時間や出てくる間が長く、こちらから声をかけることが何度もあり、少ない客数の時間でも1名はフロアに気を配ってほしかったと思います。フロントの方は対応も早く、気さくにお話ができ、客室係の方は接する時間は少ないものの丁寧な対応をしていただきました。

<食事>

- 団体ツアー旅行でしたので、細かいところは分かりませんが、全体的に良かったと思います。夕食、朝食ともにお食事が良かったです。露天風呂はありませんでしたが、お湯は結構楽しめました。
- 朝食を利用しましたが、リーズナブルで美味しかったです。お腹いっぱいいただきました。
- カツオを食べに来ましたが、大変美味しく、ボリュームも多くて満足できました。
- 地元高知の食材を使用した朝食ビュッフェは、高知のビジネスホテルの中でも一番美味しく、宿泊する決め手になります。
- 地元の食材がたくさんあって嬉しかったです。もっと野菜があってもいいと思います。特にナスが美味しかったです。

- 地元の食材を利用した食事、ゆず入りのソフトクリームも大変美味しかったです。
- 朝食の質の高さなど、すごく良いホテルでした。建物は古めでしたが、スタッフの方が良かったと思います。
- とてもリラックスできる宿で、また機会があれば泊まりに来たいと思います。食事も美味しかったです。朝食チョイスは初めてで迷いましたが、変わった方法で気に入りました。
- 柚子ミルクが朝にぴったりで美味しかった。果汁をお土産物売りにたくさん置いてあるので、その飲み方もぜひ添えてみてはいかがでしょうか。
- とても良かったです。次もぜひ泊まりたいと思っています。シャンプー類がオーガニックでとても良かったです。バイキングが日によって変わり、連泊でも食事がとても楽しみでした。
- △ 食事は料金相応だと思いますが、朝食はもう少し加えてほしいと思いました。高知の人はのんびり、ゆったりしておられていいですね。

<施設>

- 館内の雰囲気良く、特にライブラリーラウンジが落ち着けて良かったです。当日はウォーキングの帰りだったので、マッサージ器があったのも良かったです。1階の部屋だったが、3階から階段なので、高齢の方などは少しつらいかもしれない。夜は星がきれいでした。
- 清潔感があり、気持ち良く宿泊できました。コインランドリーを利用する機会がありましたが、設置の場所と台数を一考いただけると尚良いかと思います。
- マップや案内板も充実していて、広い部屋でくつろげて楽しい旅の思い出となるホテルでした。今回はホテル観賞遊覧船を楽しみに来ましたが、屋形船も初めてのことで思い出となりました。次回はカヌー体験をしたいと思います。
- 部屋からのロケーションが最高でした。
- 全体的にホテル内もきれいで、立地もよく、また利用したいホテルの一つになりました。
- 広々とした部屋で、アクセスも良く、特に気になる点もありませんでした。部屋ではリラックスできましたので満足しています。
- 館内の雰囲気、料理の内容、特に露天風呂の眺望は最高でした。リピーターになりたいと思いました。
- 料金の安さ、立地、駐車場など満足です。ウェルカムドリンクが2泊分用意されていて嬉しかったです。サービス品の紅茶も種類がたくさんあって嬉しかったです。
- 自然豊かな場所で、自然と共生している雰囲気で良かったです。
- 館内禁煙なのが清々しいです。特に良いのは、ホテルなのに大きな内風呂と露天風呂などがあること。そしてモーニングバイキングもとても良いです。泊るだけならばリーズナブルだと思います。
- △ 全体的に非常に満足でしたが、唯一、ユニットバスの湯船の排水が非常に遅いのが気になりました。
- △ 足の悪い方には、エレベーターがないので不向きだと思いました。身体に不自由のない私たちには、温泉付きの大変良い宿だと思います。今度は食事付きで泊まってみたいです。販売されていた文旦がおいしかったです。露天風呂があればもっともっと良かったです。

- △ 館内が古いことが残念。少しリニューアルされたらまた行きたいと思います。
- △ 部屋からの景観も良く、かなりくつろげました。ただ、ビーチからの帰り道は、徒歩だと坂がきつく感じました。客室にWi-Fiを完備してほしいです。
- △ 客室に網戸を付けた方が良いと思います。虫が入ってきました。
- △ 壁が薄いのか、隣室の話し声がよく聞こえました。
- △ 客室からの眺めは素晴らしかったが、臭いが気になります。
- △ 大浴場の洗い場が3人分しかないため、大渋滞になっています。洗い場、シャワーは増やした方が良いと思います。朝食付きでしたが、前日に外で食べ過ぎて残念ながら朝食が食べられませんでした。高知は美味しいもの・店が多いので、ホテルで食べる機会はほぼなくなります。
- ◇ タラソテラピーが気持ちの良い宿でした。日焼け止めとハンドクリームがあれば良いなと思いました。事前にアナウンスしていただければ準備ができると思います。2泊3日とても良い宿でした。ありがとうございました。

<その他>

- 料金、ロケーションともに、こちらのホテルは友人に勧められると思いました。
- △ ランドリー無料は助かりますが、洗濯が終わっているのに取りに来ない時は困ります。予約制にして洗濯が済んだら部屋に電話をする、もう一台増やすなど、何か対策をしてほしいと思います。
- △ 色々旅行をしていますが、金額とサービスを考えても今回は非常に残念な印象でした。食後にお土産を見ていたところ、フロントの電話が鳴りっぱなしなのに誰も対応していませんでした。今回の意見をきっかけに改善していただければと思います。
- △ 朝食の焼き魚が冷えていました。館内のスリッパが、ビニールがはがれていたりで壊れていました。新品に換えてはいかかでしょうか。
- △ ゴキブリの死骸が洗面台の足元にあったので、フロントに連絡して食事中に掃除していただきました。古いのは仕方ありませんが、せっかく風景のいい場所にあるのに残念です。食事は美味しかったです。
- △ 以前から高知ではこちらのホテルを利用していました。今回、久しぶりの高知で迷わずこちらを選びましたが、フロントも立地も朝食も良かったのに、シャンプーとコンディショナーの品質がひどいです。使うそばから髪がバリバリになりました。容器を買わせて、シャンプー・コンディショナーを小売りするのはいかがなものでしょうか。これにはガッカリしました。
- △ 全体的に十分満足しましたが、宿泊者に対して駐車料金（500円）を徴収するのはいかがなものかと思いました。
- △ お風呂付のお部屋でしたが、あまりの古さに言葉が出ませんでした。補修もされておらず、壁は錆びてカビも生えている状態でした。おもてなしには程遠いと感じます。
- △ 風呂まで遠いという情報は知っていたが、途中の休息所での冷たいお茶がなくなっていたり、露天風呂まで体に巻くバスタオルがなくなっていたり、サービス面が少し残念でした。
- △ ポットなどの備品は古びた印象を受けました。アメニティグッズもおしゃれなものの方が良いと思います。

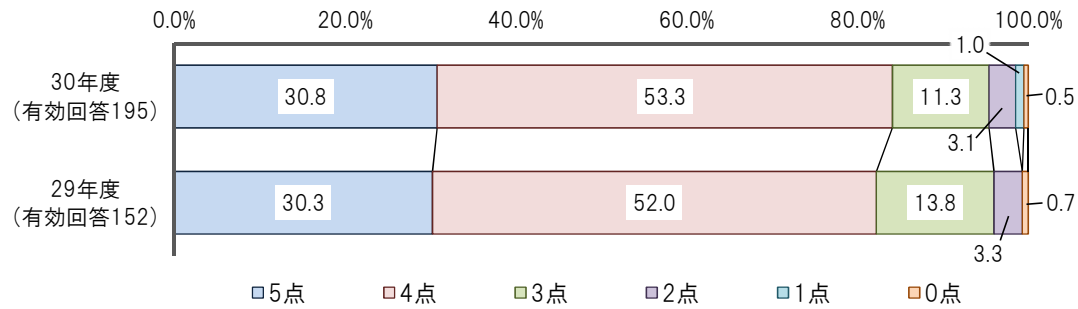
- △ サラダ等にあらかじめドレッシングがかかった状態で供されると、手間は省けるかもしれませんが、好みの味でない場合は残念な気になります。客室のバルコニーからの景色は良いのですが、隣室のバルコニーから丸見えのため落ち着きません。掛布団がやや重たく感じました。海が見えているのに、なかなか近づけないことも勿体ないと思います。
- △ 風呂のロッカーが狭かったのが気になりました。部屋の鍵が2つあれば、もっとお湯にゆっくり入れたと思うので残念です。
- △ 浴場の洗面台に簡単に掃除ができる道具があれば、髪を乾かした後に自分で片付けることができるのと思いました。
- △ シングルルームを利用させていただきましたが、広さに驚きました。駅からすぐの場所と分かっていたのですが、暗くなってしまうとホテルの方角が分からず、タクシーを利用してしまいました。空気清浄機があると良いと思います。部屋に湯呑セット、湯沸しがありました。持参したドリップコーヒーを飲むには小さく感じました。
- △ 客室の清掃に少し不満がありました。
- △ いいお部屋でリラックスできましたが、二人で宿泊なのに冷蔵庫にはペットボトルの水が1本だけ入っていました。お菓子の賞味期限が切れていました。
- △ 全体的にゆっくりできて満足しています。要望としては駐車場は自由に行き来できればと思ったくらいです。車に忘れ物をしたのですが、取りに行きづらかった。車で旅をしている者にとっては、車も部屋の一つみたいなものなのです。
- △ ホテル内にジムがあるようだったが、もう少し宿泊者が使いやすいような工夫をしていただきたいと思います。
- △ ホテルが広く、夕食会場へ行くのに迷ってしまいました。
- △ 駐車場が広く、良かったです。アメニティでボディウォッシュ用のスポンジがあるのもっと良いかもしれません。朝食のコーヒーは部屋でも飲めるように紙コップ等が用意されていると嬉しいです。
- ◇ クーポンを利用したのでリーズナブルに宿泊できました。若い女性の従業員さんが多く、気分は良かったのですが、地元の方は雇用されているのかなと少し疑問を感じました。
- ◇ 古いながらも清潔な宿で、ロケーションも良く嬉しい驚きでした。料理も土佐の料理(単にカツオのタタキというだけではなく)を楽しめました。お風呂も気持ち良かったです。ただ、本当に悪いわけではなかったのですが、スタッフの対応や心遣いがサービス業にしては行き届いていないのでは、という印象で残念でした。高知市内に住んでいる者ですが、楽しい一晩を過ごせました。ありがとうございました。
- ◇ 施設がきれいで、食事内容も良く、特に清水サバは大変良かったです。部屋のトイレはシャワートイレでしたが、共用スペースがそうでなかったこと以外は大変満足です。
- ◇ 外国の方(アジア)と食事処を分けてくださったのはありがたかったです。外国の方の団体さんとの入浴は行きづらかったです。
- ◇ 設備は少し古く感じましたが、お部屋で不便がないよという気遣いは感じられました。エアコンで過ごすのが前提なのはわかりますが、エアコンを切って就寝する人には毛布などが一枚あると嬉しかったです。朝食は品数が多く、特にご当地料理がたくさんあって嬉しかったです。それにとっても美味しかったです。部屋まで持っていけるコーヒーも美味しく良かったです。次回、こちらに来る時も利用したいホテルです。本当は満点にしたかったのですが、毛布がなかったので少しだけ下げました。朝食は5点満点で10点をつけたいほどで、サービスも素晴らしかったです。

2-6. その他

その他 1. 当該施設を5点満点で評価していただくとすれば何点いただけますか？

(4.5点などの整数ではない回答は小数点以下を切り捨て)

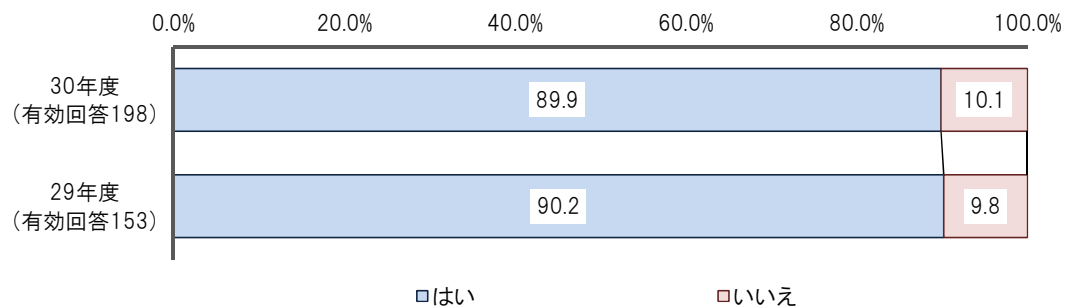
	5点	4点	3点	2点	1点	0点	未回答	合計	平均
30年度	60	104	22	6	2	1	12	207	4.08
29年度	46	79	21	5	0	1	11	163	4.07



当該施設の評価は、平均 4.08 点と、前年度と比べ 0.01 点増加となっている。“5点”と“4点”の評価は合計で 84.1%となっている。

その他 2. 機会があれば当宿泊施設を再度ご利用いただけますか？

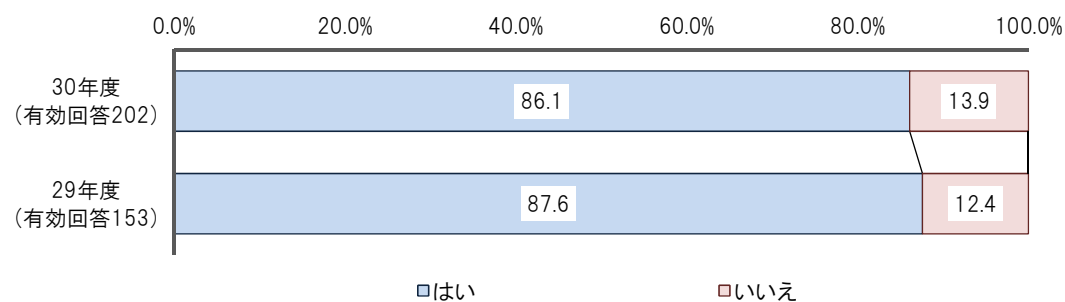
	はい	いいえ	未回答	合計
30年度	178	20	9	207
29年度	138	15	10	163



再度ご利用して頂けるお客様が 89.9%と、前年度と比べ 0.3 ポイント減少となっている。“いいえ”を選んだお客様は「スタッフの対応にかなり不満を感じた」「施設の老朽化が目立つ」「料理の内容に納得できなかった」などのご意見があった。

その他 3. 当宿泊施設をお知り合いにご紹介していただけますか？

	はい	いいえ	未回答	合計
30年度	174	28	5	207
29年度	134	19	10	163



お知り合いにご紹介して頂けるお客様が86.1%と、前年度と比べ1.5ポイント減少となっている。「再度ご利用」の設問で“いいえ”と回答した20組のうち19組が、この設問でも“いいえ”と回答している。

再度利用はするが、紹介はしないと回答されたお客様からは、「ベッドの寝心地がイマイチだった」「大浴場の洗い場が狭い」といったご指摘が寄せられている。

その他 4. 同クラスのおすすめできる宿泊施設

岩手県	大沢温泉	山形県	上杉の御湯 御殿守
群馬県	四万温泉ひなたみ館	神奈川県	ホテルJALシティ関内 横浜
富山県	宇奈月温泉杉の湯	石川県	ホテルアローレ
石川県	葉渡莉	福井県	センチュリオンホテル リゾート&スパテクノポート福井
長野県	泡の湯旅館	静岡県	ホテルクエスト清水
愛知県	小牧勤労センター	滋賀県	琵琶湖ホテル
兵庫県	休暇村 竹野海岸	兵庫県	海月館グループ
兵庫県	ホテルニューアワジ	兵庫県	南淡路ロイヤルホテル
和歌山県	南紀勝浦温泉 万清楼	鳥取県	境港 夕凧の湯 御宿 野乃
島根県	いこいの村しまね	島根県	松江ユニバーサルホテル
広島県	Hotel Flex	広島県	きのえ温泉 ホテル清風館
広島県	休暇村吾妻山ロッジ	山口県	湯本観光ホテル西京
山口県	一の俣溪谷観光ホテル	徳島県	かんぼの宿 徳島
徳島県	ルネッサンスリゾート ナルト	徳島県	祖谷溪温泉ホテル秘境の湯
香川県	ホテルレオマの森	香川県	湯元さめき瀬戸大橋温泉 せとうちそう
愛媛県	道後温泉 ふなや	愛媛県	プレミアイン松山
愛媛県	ホテルNo.1松山	愛媛県	大和屋別荘
愛媛県	道後プリンスホテル	高知県	足摺テルメ
高知県	アバン宿毛	高知県	オーベルジュ土佐山
高知県	高知パレスホテル	高知県	四万十の宿
高知県	新ロイヤルホテル四万十	高知県	土佐御苑
高知県	ブライトパークホテル	高知県	リゾートホテル海辺の果樹園
福岡県	ホテルエクレール博多	長崎県	雲仙宮崎旅館
大分県	山荘 四季庵		

以上、47 件がおすすめできる宿泊施設としてあがっている。

VI プロスポーツキャンプ等調査

1. 調査の概要

1-1 はじめに

本調査は、平成30年秋季から平成31年春季にかけて、県内各所で行われたプロスポーツチームのキャンプ、プレシーズンマッチ等、プロゴルフのツアートーナメントに訪れた観戦客の動向を調査し、その結果を集計、分析することを目的としている。

調査精度の均一化を図るため、調査員（2～4名）による対面聞き取り方式でアンケート調査を実施。あわせて1グループにつき、調査対象者を1名（1回答）とするよう徹底している。

1-2 調査スケジュール

季節	スポーツ種別	調査区分	調査日	サンプル数
秋季	野球	オリックスバファローズ秋季キャンプ	11/10	100
	野球	阪神タイガース秋季キャンプ	11/10	100
	ゴルフ	カシオワールドオープン	11/24	200
春季	野球	阪神タイガース春季キャンプ	2/2	100
	野球	埼玉西武ライオンズ(B班)春季キャンプ	2/10・11・16	100
	野球	埼玉西武ライオンズ(A班)春季キャンプ	2/20・21	200
	野球	ハンファ・イーグルス春季キャンプ	2/16・17・23	14
	サッカー	カターレ富山春季キャンプ	2/9・10・16・17	24
	サッカー	アルビレックス新潟春季キャンプ	2/23	83
	サッカー	カマタマーレ讃岐春季キャンプ	2/23	59
	サッカー	ブラウブリッツ秋田春季キャンプ	2/9・10・11・16	18
	野球	プロ野球プレシーズンマッチ	2/23・24	404
	ゴルフ	ヨコハマタイヤPRGRレディス	3/16	200
				1,602

1-3 調査結果の見方

(1) 図表に記入している構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。また、複数回答の設問は構成比を合計すると100%以上になる。

(2) 図表中、及び本文中の調査区分は以下の通り、簡素化して表記している。

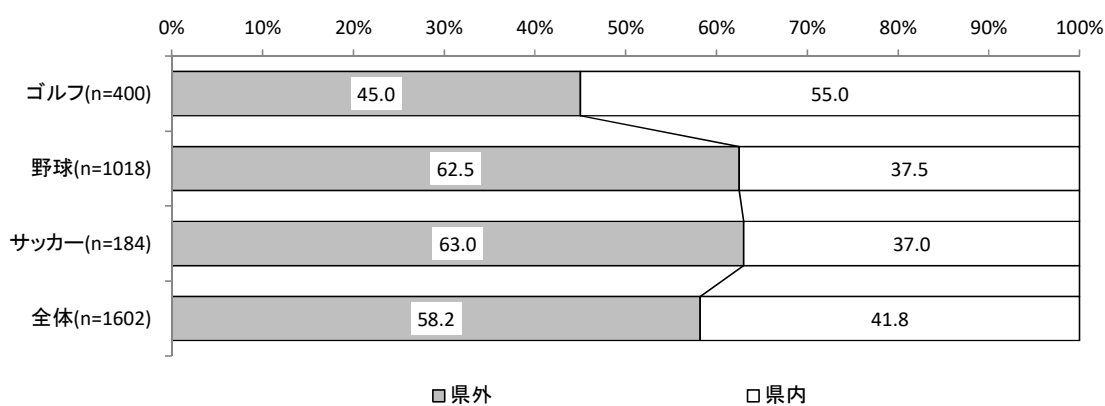
① 阪神タイガース秋季キャンプ	:タイガース秋季
② オリックスバファローズ秋季キャンプ	:オリックス秋季
③ カシオワールドオープン	:カシオ
④ 阪神タイガース春季キャンプ	:タイガース春季
⑤ 埼玉西武ライオンズ(B班)春季キャンプ	:ライオンズ(B班)春季
⑥ 埼玉西武ライオンズ(A班)春季キャンプ	:ライオンズ(A班)春季
⑦ ハンファ・イーグルス春季キャンプ	:ハンファ
⑧ カターレ富山春季キャンプ	:カターレ
⑨ アルビレックス新潟春季キャンプ	:アルビレックス
⑩ カマタマーレ讃岐春季キャンプ	:カマタマーレ
⑪ ブラウブリッツ秋田春季キャンプ	:ブラウブリッツ
⑫ プロ野球プレシーズンマッチ	:野球プレシーズン
⑬ ヨコハマタイヤ PRGR レディス	:PRGR レディス

(3) 集計の調査対象者は県内旅行者を含んでいるが、集計項目により特定の調査対象者だけを集計している場合がある。この場合は、図表名に除外した調査対象者を記載している。

1-4 アンケート結果の特徴

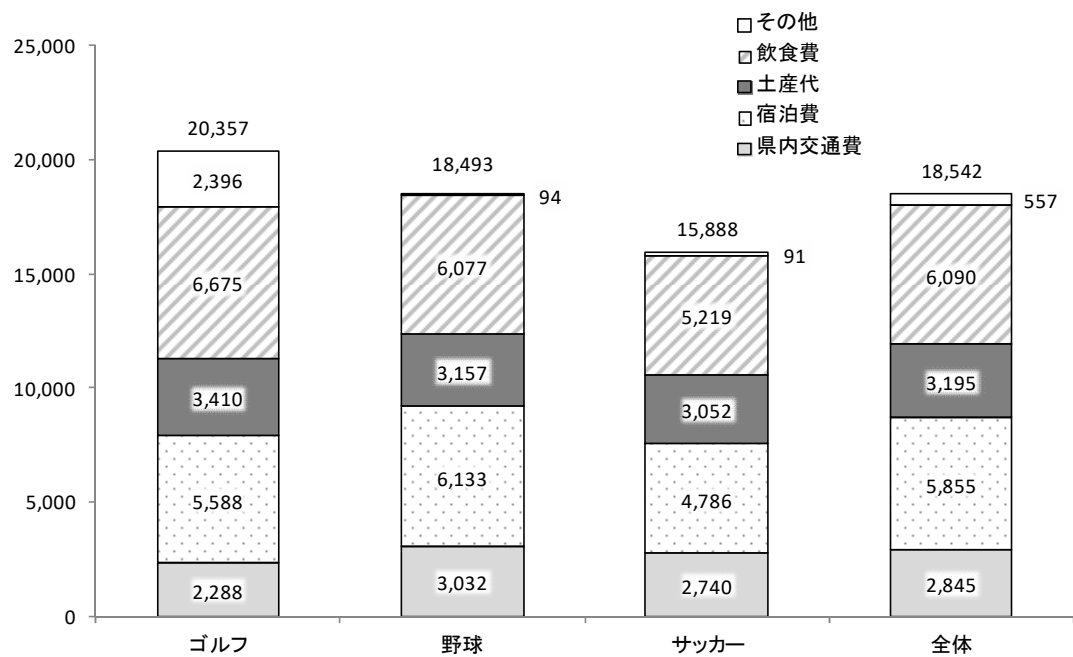
● スポーツ種別でみた県外客割合と県内消費額

(参考1) スポーツ種別県外客・県内客割合 (%)



野球とサッカーは県外客が60%以上を占め、ゴルフはやや県内客が多くなっている(参考1)。

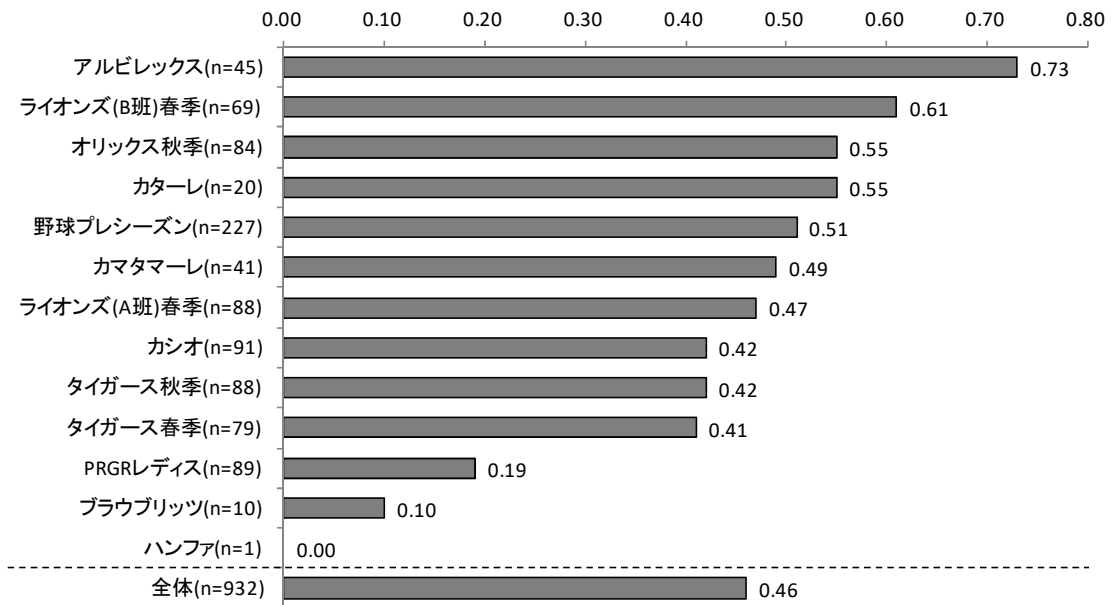
(参考2) 県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



県内平均消費額をスポーツ種別にみると、ゴルフが20,357円で最も高く、次いで野球が18,493円、サッカーが15,888円となっている(参考2)。

● 立寄観光スポット平均件数

(参考3) 立寄観光スポット平均件数 (件) ※県内客を除く



県外客の立寄観光スポット平均件数は0.46件となっている。調査区分別にみると、アルビレックスが0.73件で最も多くなっており、ブラウブリッツが0.10件で最も少なくなっている。

※ハンファは県外客サンプルが1件で、立寄をしなかったため比較から除外(参考3)。

● 主なご意見・ご感想

(公共交通機関、会場までのアクセスについて)

- 週末だけでも球場と主要アクセスを結ぶシャトルバスを出してほしい。(オリックス秋季・香川県・20歳代男性)
- バスの路線図などわかりやすいチラシが高知駅などにあればと思った。(オリックス秋季・奈良県・20歳代男性)
- バスの支払い方法が現金だけなのが不便に感じた。ICカードが使えるようにしてほしい。(オリックス秋季・広島県・20歳代男性)
- バスの便数が少ないので不便。(アルビレックス・神奈川県・50歳代女性)
- 駅からの直行バスがあれば良いと思う。(野球プレシーズン・岡山県・40歳代男性)

(会場周辺の誘導案内、整備等について)

- 駐車場や練習場を見つけるのに、案内板が運転していたら見づらく、分かりづらい。(アルビレックス・愛媛県・30歳代女性)
- 去年は家族で観戦に訪れたのですが、障害者用の駐車スペースが見つからなくて苦労したことが強く印象に残っている。(野球プレシーズン・高知県・40歳代男性)
- 駐車場がいくつかあるが、球場ならこの駐車場が近いなどの案内板が入口にあるといい。(ライオンズ (B 班) 春季・大阪府・50歳代男性)

(ファンサービス、PR等について)

- 南国 I C から安芸までの間で、食事や買い物ができるスポットがあればと思う。夕方までキャンプを見ていると南国の道の駅は閉店してしまう。(タイガース秋季・岡山県・50歳代男性)
- 子どもが少年野球をやっているキャンプを近くで見ることができて良かった。また野球教室など開いてくれたら尚良い。(オリックス秋季・香川県・30歳代男性)
- 子どもと来た為、小さい子どもにも楽しめるよう子ども向けにもジャンケン大会のようなイベントを開いてほしい。(カシオ・高知県・30歳代女性)
- 鍋焼きラーメンなど、県内各地のご当地グルメが集結すると面白そう。(カシオ・香川県・50歳代男性)
- キャンプ地の周辺の土産物屋、食事処の情報がほしい。特に練習を見た後、帰り道の遅い時間帯でも営業しているお店が分かれば有難い。(タイガース春季・兵庫県・20歳未満女性)
- 県内でのPRが足りていないように思う。アルビレックスの高知キャンプの情報も新潟の人の方が知っている。(アルビレックス・高知県・40歳代男性)

(その他、感想など)

- 阪神も試合を市内でやってほしい。買うものがないので、お金を落とすものがない。バッグとかファンが欲しくなるようなグッズでもあればいいのと思う。(ライオンズ (B 班) 春季・高知県・60歳代男性)
- サッカーとプロ野球の両方が見られるので春野はとて素晴らしいです。(ライオンズ (B 班) 春季・徳島県・40歳代男性)
- 空港にユニフォームを飾るとかそういう工夫があれば。(カターレ・富山県・50歳代女性)
- 黒潮リーグをまた開催してほしい。毎年経済効果が出ると思う。(ライオンズ (A 班) 春季・愛媛県・40歳代男性)

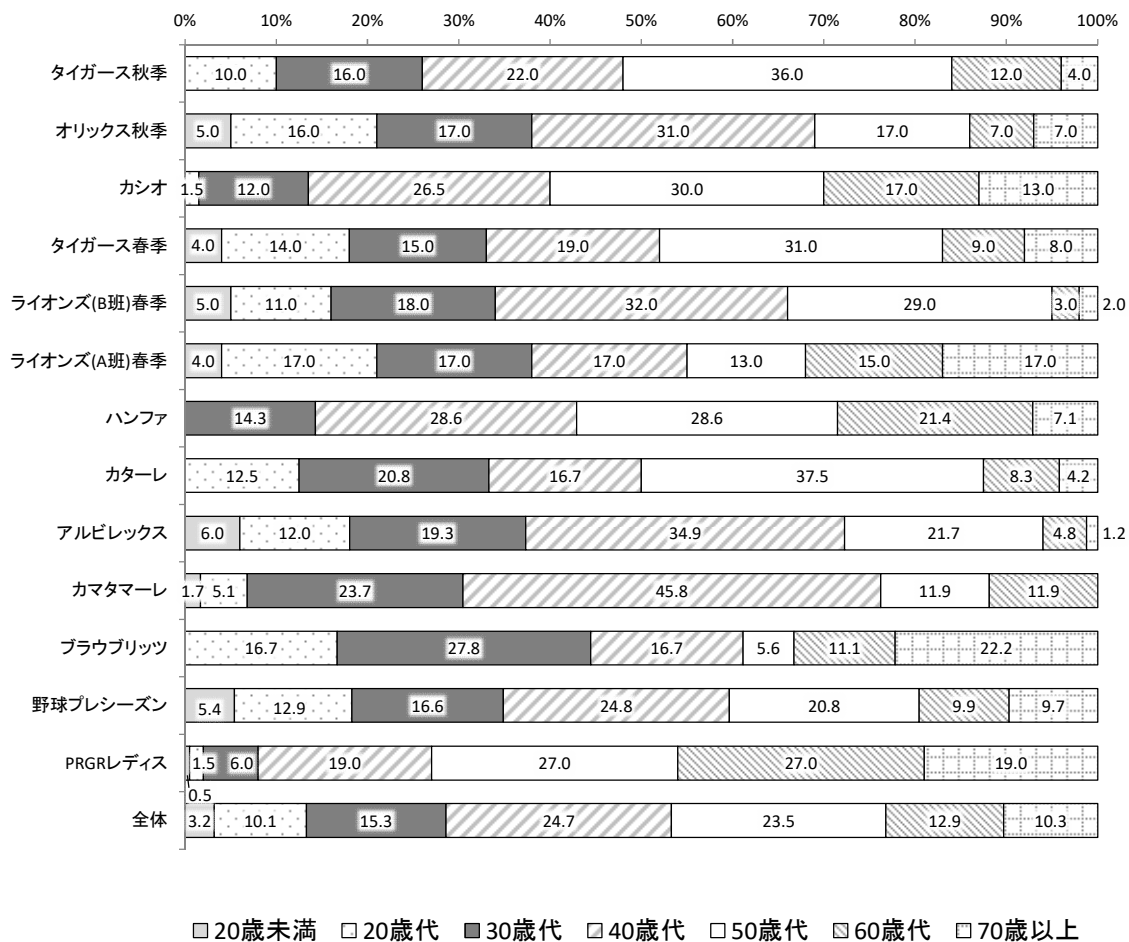
2. 年代

2-1 年代割合

(表 2-1) 観戦者年代割合 (上段：件 下段：%)

	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上	合計
タイガース秋季	0	10	16	22	36	12	4	100
	0.0	10.0	16.0	22.0	36.0	12.0	4.0	100.0
オリックス秋季	5	16	17	31	17	7	7	100
	5.0	16.0	17.0	31.0	17.0	7.0	7.0	100.0
カシオ	0	3	24	53	60	34	26	200
	0.0	1.5	12.0	26.5	30.0	17.0	13.0	100.0
タイガース春季	4	14	15	19	31	9	8	100
	4.0	14.0	15.0	19.0	31.0	9.0	8.0	100.0
ライオンズ(B班)春季	5	11	18	32	29	3	2	100
	5.0	11.0	18.0	32.0	29.0	3.0	2.0	100.0
ライオンズ(A班)春季	8	34	34	34	26	30	34	200
	4.0	17.0	17.0	17.0	13.0	15.0	17.0	100.0
ハンファ	0	0	2	4	4	3	1	14
	0.0	0.0	14.3	28.6	28.6	21.4	7.1	100.0
カターレ	0	3	5	4	9	2	1	24
	0.0	12.5	20.8	16.7	37.5	8.3	4.2	100.0
アルビレックス	5	10	16	29	18	4	1	83
	6.0	12.0	19.3	34.9	21.7	4.8	1.2	100.0
カマタマーレ	1	3	14	27	7	7	0	59
	1.7	5.1	23.7	45.8	11.9	11.9	0.0	100.0
ブラウブリッツ	0	3	5	3	1	2	4	18
	0.0	16.7	27.8	16.7	5.6	11.1	22.2	100.0
野球プレシーズン	22	52	67	100	84	40	39	404
	5.4	12.9	16.6	24.8	20.8	9.9	9.7	100.0
PRGRレディス	1	3	12	38	54	54	38	200
	0.5	1.5	6.0	19.0	27.0	27.0	19.0	100.0
全体	51	162	245	396	376	207	165	1,602
	3.2	10.1	15.3	24.7	23.5	12.9	10.3	100.0

(図 2-2) 観戦者年代割合 (%)



全体の年代をみると、「40歳代」の割合が24.7%で最も多くなっており、次いで「50歳代」が23.5%、「30歳代」が15.3%、「60歳代」が12.9%と続いている。

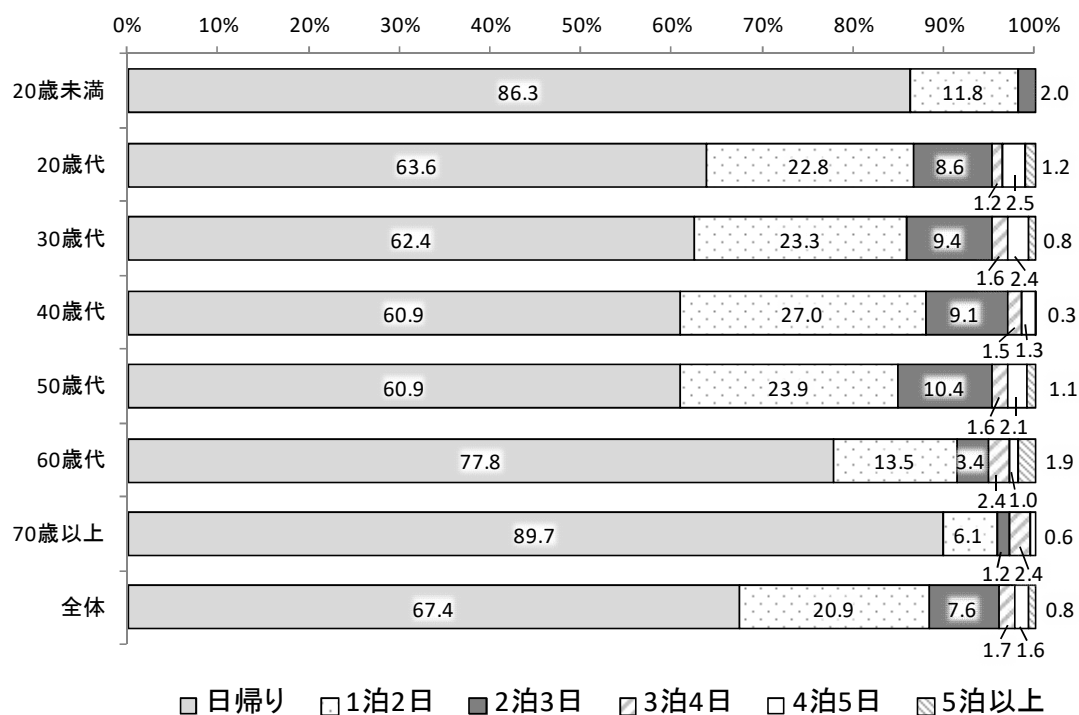
調査区分ごとにみると、ゴルフは40歳代以上の年代が多く、PRGRレディスで92%、カンオで86.5%となっている。30歳代以下は、サッカーのブラウブリッツで44.5%、野球のオリックス秋季とライオンズ(A班)春季で38.0%と多くなっている。

2-2 年代別旅行日数

(表 2-3)年代別旅行日数割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
20歳未満	44	6	1	0	0	0	51
	86.3	11.8	2.0	0.0	0.0	0.0	100.0
20歳代	103	37	14	2	4	2	162
	63.6	22.8	8.6	1.2	2.5	1.2	100.0
30歳代	153	57	23	4	6	2	245
	62.4	23.3	9.4	1.6	2.4	0.8	100.0
40歳代	241	107	36	6	5	1	396
	60.9	27.0	9.1	1.5	1.3	0.3	100.0
50歳代	229	90	39	6	8	4	376
	60.9	23.9	10.4	1.6	2.1	1.1	100.0
60歳代	161	28	7	5	2	4	207
	77.8	13.5	3.4	2.4	1.0	1.9	100.0
70歳以上	148	10	2	4	1	0	165
	89.7	6.1	1.2	2.4	0.6	0.0	100.0
全体	1079	335	122	27	26	13	1,602
	67.4	20.9	7.6	1.7	1.6	0.8	100.0

(図 2-4) 年代別旅行日数割合 (%)



全体の旅行日数は、「日帰り」の割合が 67.4%で最も多くなっており、次いで「1泊2日」が 20.9%、「2泊3日」が 7.6%と続いている。

年代別にみると、20歳未満と70歳以上で「日帰り」の割合が80%を超え、他の年代に比べて宿泊の割合が低くなっている。

2-3 年代別旅行形態割合

(表 2-5) 年代別旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
20歳未満	5	2	19	4	18	0	0	3	0	51
	9.8	3.9	37.3	7.8	35.3	0.0	0.0	5.9	0.0	100.0
20歳代	45	8	23	16	67	2	0	0	1	162
	27.8	4.9	14.2	9.9	41.4	1.2	0.0	0.0	0.6	100.0
30歳代	72	43	56	12	56	5	1	0	0	245
	29.4	17.6	22.9	4.9	22.9	2.0	0.4	0.0	0.0	100.0
40歳代	112	88	89	24	67	11	2	2	1	396
	28.3	22.2	22.5	6.1	16.9	2.8	0.5	0.5	0.3	100.0
50歳代	117	129	44	23	50	10	0	1	2	376
	31.1	34.3	11.7	6.1	13.3	2.7	0.0	0.3	0.5	100.0
60歳代	69	81	21	11	20	3	0	0	2	207
	33.3	39.1	10.1	5.3	9.7	1.4	0.0	0.0	1.0	100.0
70歳以上	72	44	13	12	23	1	0	0	0	165
	43.6	26.7	7.9	7.3	13.9	0.6	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	492	395	265	102	301	32	3	6	6	1,602
	30.7	24.7	16.5	6.4	18.8	2.0	0.2	0.4	0.4	100.0

全体の旅行形態割合は、「1人」の割合が30.7%で最も多くなっており、次いで「夫婦」が24.7%、「友人・知人」が18.8%、「子供連れ家族」が16.5%と続いている。

年代別にみると、20歳未満は「子供連れ家族」や「友人・知人」、20歳代は「友人・知人」や「1人」、30歳代は「1人」や「子供連れ家族」や「友人・知人」、40歳代は「1人」や「子供連れ家族」、50歳代と60歳代は「夫婦」や「1人」、70歳以上は「1人」や「夫婦」が多くなっている。

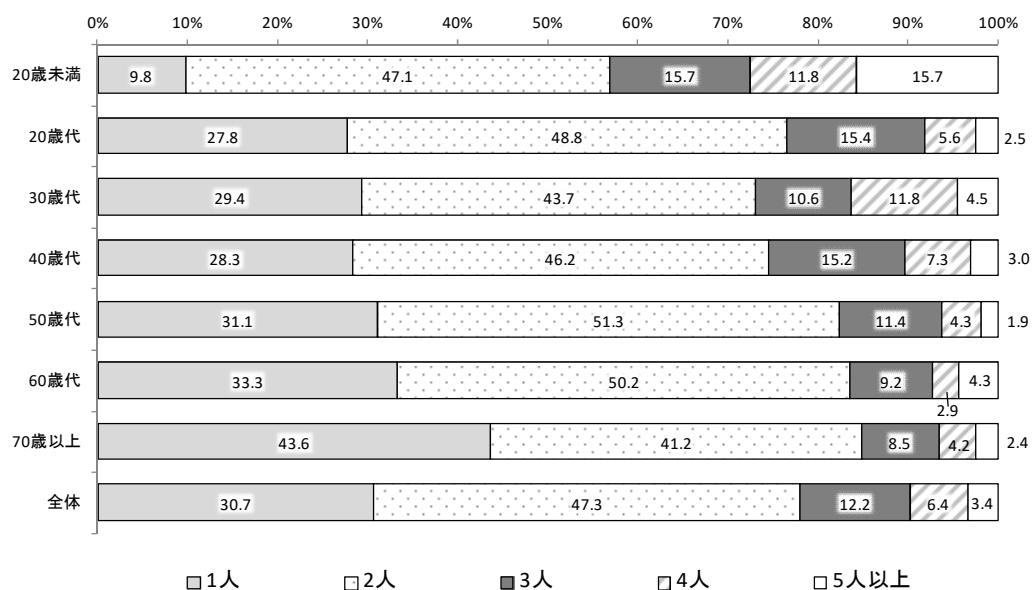
旅行形態別にみると、「1人」は70歳以上で、「夫婦」は60歳代で、「子供連れ家族」は20歳未満で、「友人・知人」は20歳代で最も多くなっている。

2-4 年代別同行者数割合

(表 2-6) 年代別同行者数割合 (上段：件 下段：%)

	1人	2人	3人	4人	5人以上	合計	平均人数
20歳未満	5	24	8	6	8	51	3.1
	9.8	47.1	15.7	11.8	15.7	100.0	
20歳代	45	79	25	9	4	162	2.1
	27.8	48.8	15.4	5.6	2.5	100.0	
30歳代	72	107	26	29	11	245	2.2
	29.4	43.7	10.6	11.8	4.5	100.0	
40歳代	112	183	60	29	12	396	2.3
	28.3	46.2	15.2	7.3	3.0	100.0	
50歳代	117	193	43	16	7	376	2.1
	31.1	51.3	11.4	4.3	1.9	100.0	
60歳代	69	104	19	6	9	207	2.0
	33.3	50.2	9.2	2.9	4.3	100.0	
70歳以上	72	68	14	7	4	165	1.8
	43.6	41.2	8.5	4.2	2.4	100.0	
全体	492	758	195	102	55	1,602	2.2
	30.7	47.3	12.2	6.4	3.4	100.0	

(図 2-7) 年代別同行者数割合 (%)



全体の同行者数をみると、「2人」の割合が47.3%で最も多くなっており、次いで、「1人」が30.7%、「3人」が12.2%、「4人」が6.4%、「5人以上」が3.4%となっている。

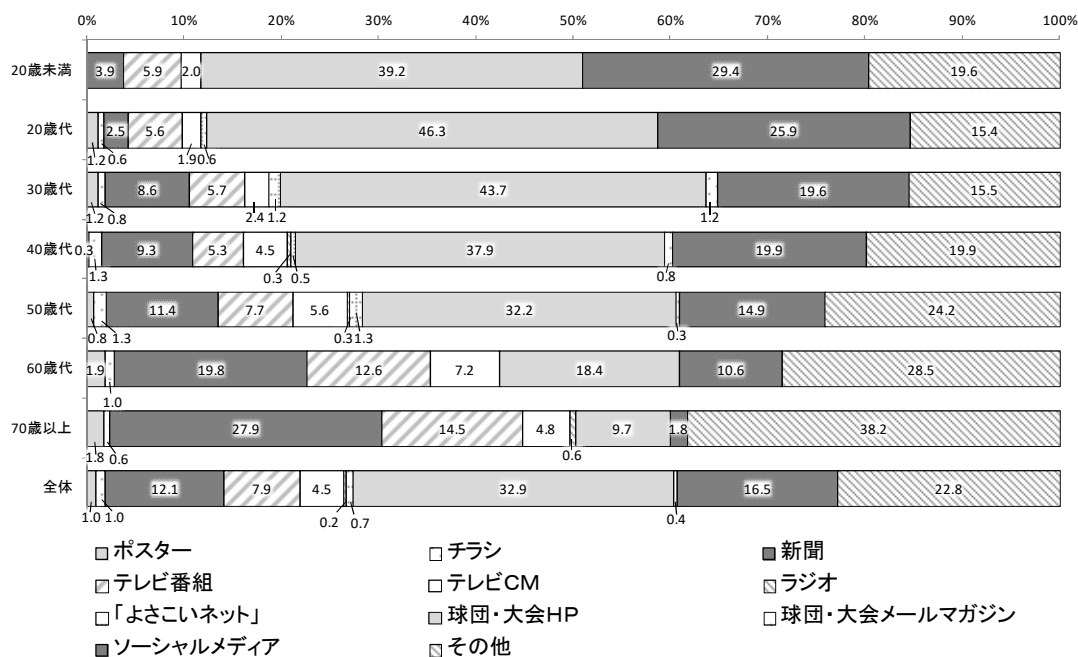
年代別にみると、70歳以上で「1人」の割合が最も多く、その他の年代では「2人」の割合が最も多くなっている。

2-5 年代別情報源割合

(表 2-8) 年代別情報源割合 (上段：件 下段：%)

	ポスター	チラシ	新聞	テレビ番組	テレビCM	ラジオ	よさこい ネット	球団・ 大会HP	球団・大会 メール マガジン	ソーシャル メディア (Twitter、 Facebook)	その他	合計
20歳未満	0	0	2	3	1	0	0	20	0	15	10	51
	0.0	0.0	3.9	5.9	2.0	0.0	0.0	39.2	0.0	29.4	19.6	100.0
20歳代	2	1	4	9	3	0	1	75	0	42	25	162
	1.2	0.6	2.5	5.6	1.9	0.0	0.6	46.3	0.0	25.9	15.4	100.0
30歳代	3	2	21	14	6	0	3	107	3	48	38	245
	1.2	0.8	8.6	5.7	2.4	0.0	1.2	43.7	1.2	19.6	15.5	100.0
40歳代	1	5	37	21	18	1	2	150	3	79	79	396
	0.3	1.3	9.3	5.3	4.5	0.3	0.5	37.9	0.8	19.9	19.9	100.0
50歳代	3	5	43	29	21	1	5	121	1	56	91	376
	0.8	1.3	11.4	7.7	5.6	0.3	1.3	32.2	0.3	14.9	24.2	100.0
60歳代	4	2	41	26	15	0	0	38	0	22	59	207
	1.9	1.0	19.8	12.6	7.2	0.0	0.0	18.4	0.0	10.6	28.5	100.0
70歳以上	3	1	46	24	8	1	0	16	0	3	63	165
	1.8	0.6	27.9	14.5	4.8	0.6	0.0	9.7	0.0	1.8	38.2	100.0
全体	16	16	194	126	72	3	11	527	7	265	365	1,602
	1.0	1.0	12.1	7.9	4.5	0.2	0.7	32.9	0.4	16.5	22.8	100.0

(図 2-9) 年代別情報源割合 (%)



※「よさこいネット」…高知県観光コンベンション協会が運営する観光情報発信サイト

全体の情報源を見ると、「球団・大会HP」の割合が32.9%と最も多くなっており、次いで「その他」が22.8%、「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」が16.5%と続いている。

年代別にみると、20歳未満から50歳代は「球団・大会HP」の割合が、60歳代、70歳以上は「その他」が最も多くなっている。また、「新聞」や「テレビ番組」の割合は、年代が高くなるにつれ多くなる傾向があり、「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」は、年代が低くなるにつれ多くなる傾向がある。

また、「よさこいネット」、「球団・大会HP」、「球団・大会メールマガジン」、「ソーシャルメディア（Twitter、Facebook）」を合わせた割合は、20歳未満で68.6%、20歳代で72.8%、30歳代で65.7%、40歳代で59.1%、50歳代で48.7%と若い年代でインターネットの利用が多くなっている。

その他の情報源の具体的な回答として、「毎年恒例の事なので知っている」、「家族や友人から誘われた」などが多く、そのほかゴルフでは「勤務先で知った」、サッカーでは「他の競技を見に来た際に偶然やっていた」などが挙げられている。

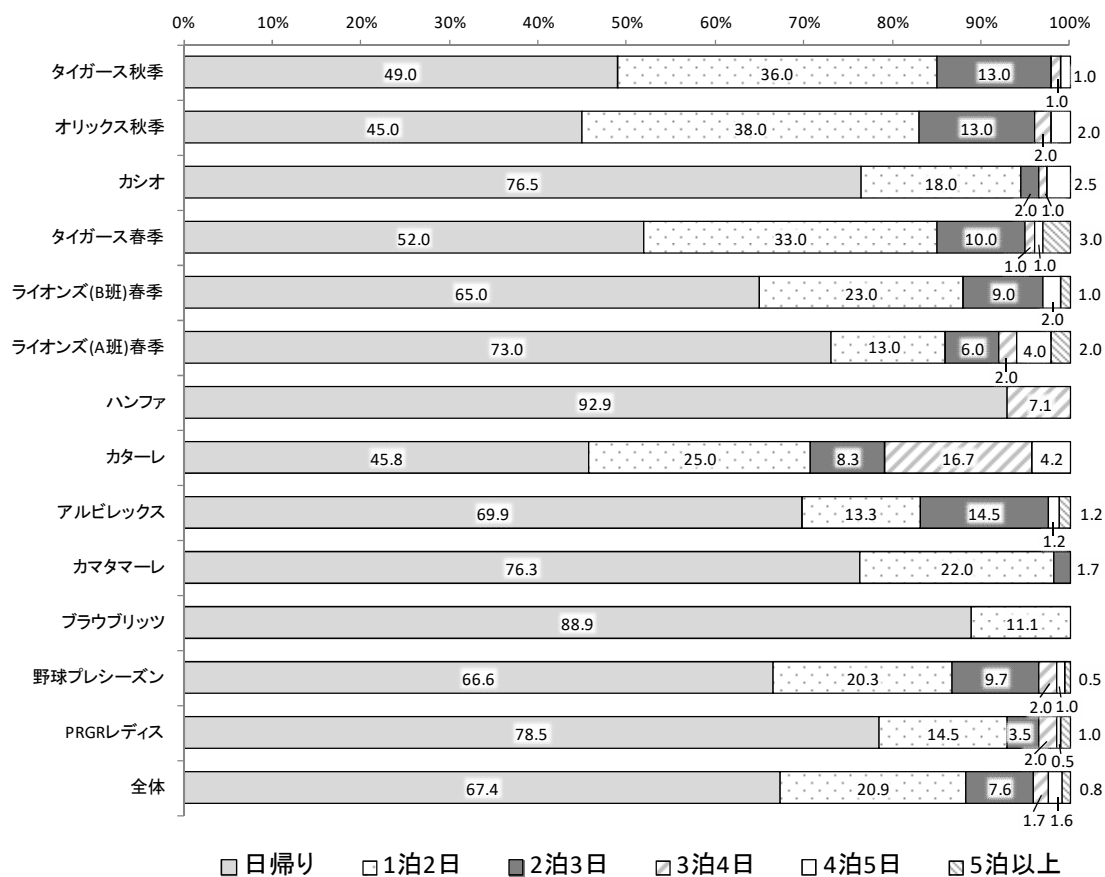
3. 日帰り客と宿泊客

3-1 日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-1) 日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
タイガース秋季	49	36	13	1	1	0	100
	49.0	36.0	13.0	1.0	1.0	0.0	100.0
オリックス秋季	45	38	13	2	2	0	100
	45.0	38.0	13.0	2.0	2.0	0.0	100.0
カシオ	153	36	4	2	5	0	200
	76.5	18.0	2.0	1.0	2.5	0.0	100.0
タイガース春季	52	33	10	1	1	3	100
	52.0	33.0	10.0	1.0	1.0	3.0	100.0
ライオンズ(B班)春季	65	23	9	0	2	1	100
	65.0	23.0	9.0	0.0	2.0	1.0	100.0
ライオンズ(A班)春季	146	26	12	4	8	4	200
	73.0	13.0	6.0	2.0	4.0	2.0	100.0
ハンファ	13	0	0	1	0	0	14
	92.9	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	100.0
カターレ	11	6	2	4	1	0	24
	45.8	25.0	8.3	16.7	4.2	0.0	100.0
アルビレックス	58	11	12	0	1	1	83
	69.9	13.3	14.5	0.0	1.2	1.2	100.0
カマタマーレ	45	13	1	0	0	0	59
	76.3	22.0	1.7	0.0	0.0	0.0	100.0
ブラウブリッツ	16	2	0	0	0	0	18
	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	269	82	39	8	4	2	404
	66.6	20.3	9.7	2.0	1.0	0.5	100.0
PRGRレディス	157	29	7	4	1	2	200
	78.5	14.5	3.5	2.0	0.5	1.0	100.0
全体	1079	335	122	27	26	13	1,602
	67.4	20.9	7.6	1.7	1.6	0.8	100.0

(図 3-2) 日帰り客と宿泊客の割合 (%)



全体の日帰り客と宿泊客を見ると、日帰り客の割合が 67.4%、宿泊客が 32.6%となっている。

調査区分別にみると、宿泊客の割合は、オリックス秋季が 55.0%で最も多く、次いでカターレが 54.2%、タイガース秋季が 51.0%と続いている。

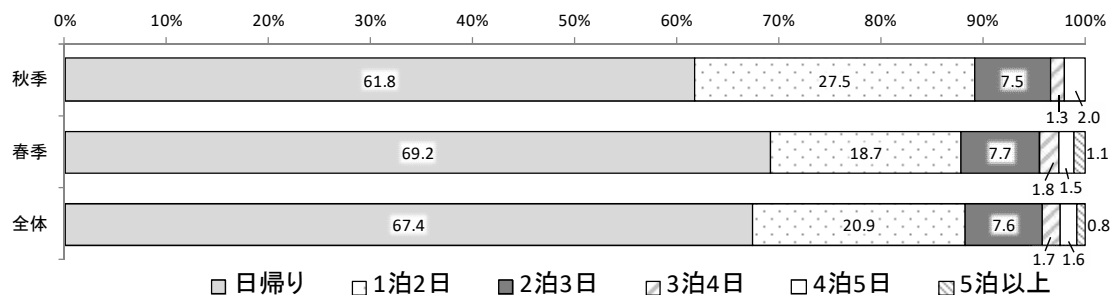
また、2泊3日以上の割合は、カターレが 29.2%で最も多く、次いでオリックス秋季が 17.0%、アルビレックスが 16.9%と続いている。

3-2 季節別日帰り客と宿泊客の割合

(表 3-3) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
秋季	247	110	30	5	8	0	400
	61.8	27.5	7.5	1.3	2.0	0.0	100.0
春季	832	225	92	22	18	13	1,202
	69.2	18.7	7.7	1.8	1.5	1.1	100.0
全体	1079	335	122	27	26	13	1,602
	67.4	20.9	7.6	1.7	1.6	0.8	100.0

(図 3-4) 季節別日帰り客と宿泊客の割合 (%)



季節別に日帰り客と宿泊客の割合をみると、宿泊客は秋季が 38.3%、春季が 30.8%となっており、秋季の方が多くなっている。

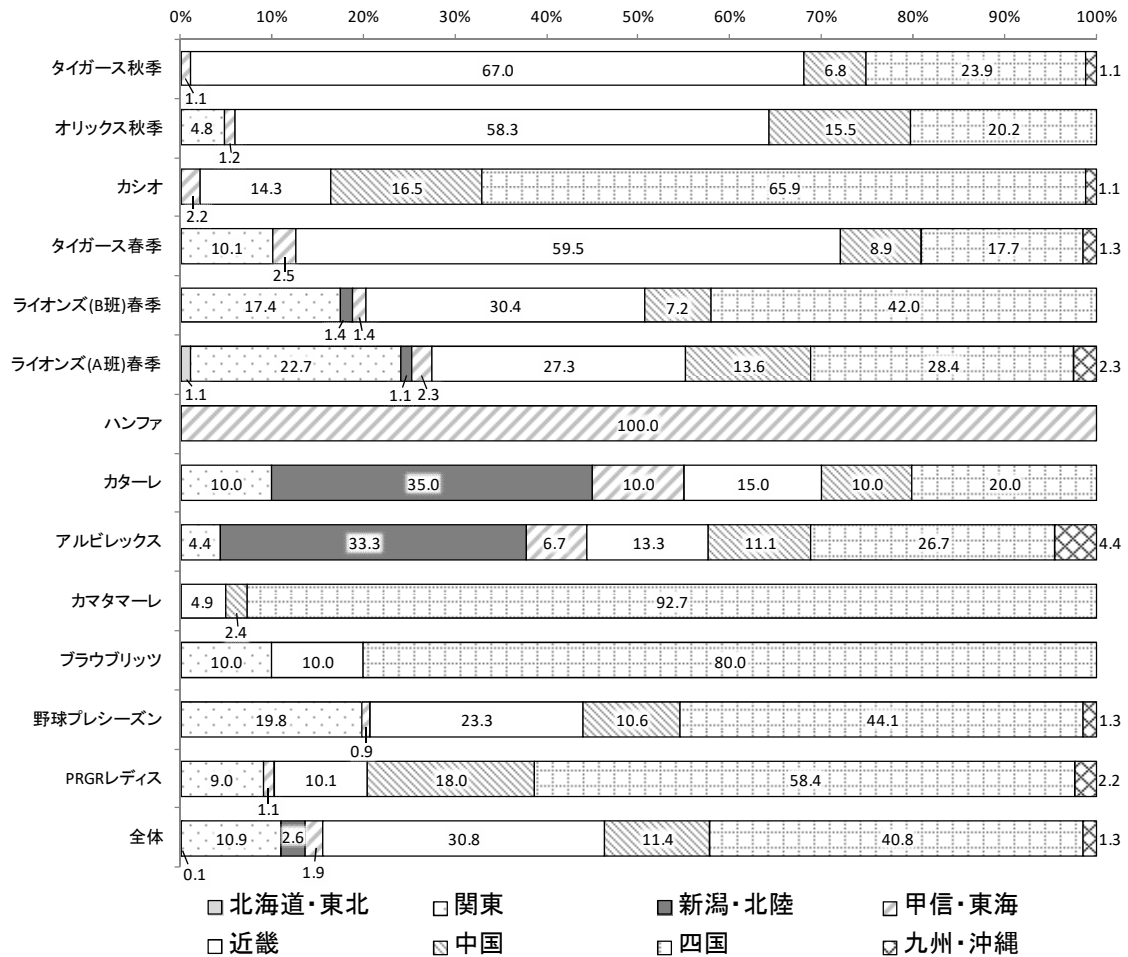
4. 出発地

4-1 出発地ブロック割合

(表 4-1) 出発地ブロック割合 (上段：件 下段：%) ※県内客を除く

	北海道・東北	関東	新潟・北陸	甲信・東海	近畿	中国	四国	九州・沖縄	海外	合計
タイガース秋季	0	0	0	1	59	6	21	1	0	88
	0.0	0.0	0.0	1.1	67.0	6.8	23.9	1.1	0.0	100.0
オリックス秋季	0	4	0	1	49	13	17	0	0	84
	0.0	4.8	0.0	1.2	58.3	15.5	20.2	0.0	0.0	100.0
カシオ	0	0	0	2	13	15	60	1	0	91
	0.0	0.0	0.0	2.2	14.3	16.5	65.9	1.1	0.0	100.0
タイガース春季	0	8	0	2	47	7	14	1	0	79
	0.0	10.1	0.0	2.5	59.5	8.9	17.7	1.3	0.0	100.0
ライオンズ(B班)春季	0	12	1	1	21	5	29	0	0	69
	0.0	17.4	1.4	1.4	30.4	7.2	42.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ(A班)春季	1	20	1	2	24	12	25	2	1	88
	1.1	22.7	1.1	2.3	27.3	13.6	28.4	2.3	1.1	100.0
ハンファ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
カタール	0	2	7	2	3	2	4	0	0	20
	0.0	10.0	35.0	10.0	15.0	10.0	20.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	0	2	15	3	6	5	12	2	0	45
	0.0	4.4	33.3	6.7	13.3	11.1	26.7	4.4	0.0	100.0
カマタマーレ	0	0	0	0	2	1	38	0	0	41
	0.0	0.0	0.0	0.0	4.9	2.4	92.7	0.0	0.0	100.0
ブラウブリッツ	0	1	0	0	1	0	8	0	0	10
	0.0	10.0	0.0	0.0	10.0	0.0	80.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	0	45	0	2	53	24	100	3	0	227
	0.0	19.8	0.0	0.9	23.3	10.6	44.1	1.3	0.0	100.0
PRGRレディス	0	8	0	1	9	16	52	2	1	89
	0.0	9.0	0.0	1.1	10.1	18.0	58.4	2.2	1.1	100.0
全体	1	102	24	18	287	106	380	12	2	932
	0.1	10.9	2.6	1.9	30.8	11.4	40.8	1.3	0.2	100.0

(図 4-2) 出発地ブロック割合 (%) ※県内客・海外客を除く



県内客を除いた全体の発地ブロック割合は、四国が40.8%で最も多くなっており、次いで近畿が30.8%、中国が11.4%と続いている。

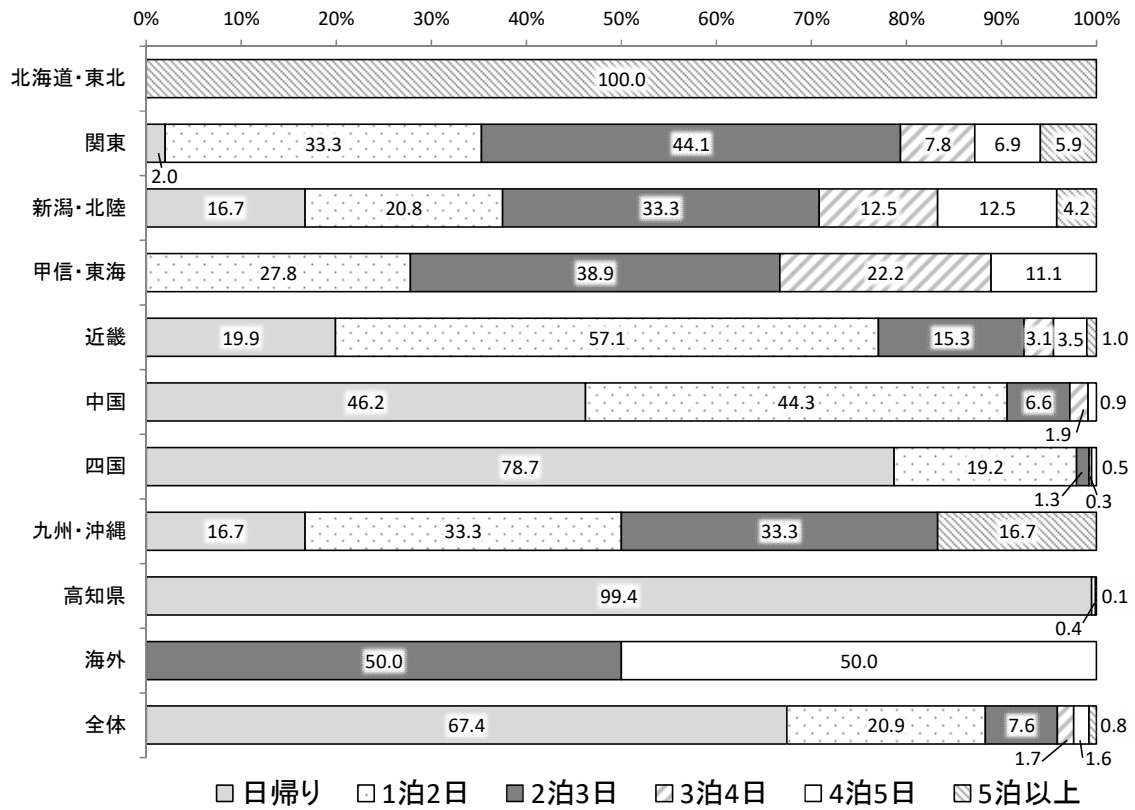
出発地別の主な傾向を見ると、四国の割合は、カマタマーレが92.7%で最も多くなっており、次いでブラウブリッツが80.0%、カシオが65.9%と続いている。近畿はタイガース秋季が67.0%で最も多く、次いでタイガース春季が59.5%、オリックス秋季が58.3%と続いている。中国はPRGRレディスが18.0%で最も多く、次いでカシオが16.5%、オリックス秋季が15.5%と続いている。

4-2 出発地ブロック別県内旅行日数割合

(表 4-3) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (上段：件 下段：%)

	日帰り	1泊2日	2泊3日	3泊4日	4泊5日	5泊以上	合計
北海道・東北	0	0	0	0	0	1	1
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
関東	2	34	45	8	7	6	102
	2.0	33.3	44.1	7.8	6.9	5.9	100.0
新潟・北陸	4	5	8	3	3	1	24
	16.7	20.8	33.3	12.5	12.5	4.2	100.0
甲信・東海	0	5	7	4	2	0	18
	0.0	27.8	38.9	22.2	11.1	0.0	100.0
近畿	57	164	44	9	10	3	287
	19.9	57.1	15.3	3.1	3.5	1.0	100.0
中国	49	47	7	2	1	0	106
	46.2	44.3	6.6	1.9	0.9	0.0	100.0
四国	299	73	5	1	2	0	380
	78.7	19.2	1.3	0.3	0.5	0.0	100.0
九州・沖縄	2	4	4	0	0	2	12
	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	16.7	100.0
高知県	666	3	1	0	0	0	670
	99.4	0.4	0.1	0.0	0.0	0.0	100.0
海外	0	0	1	0	1	0	2
	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	100.0
全体	1079	335	122	27	26	13	1,602
	67.4	20.9	7.6	1.7	1.6	0.8	100.0

(図 4-4) 出発地ブロック別県内旅行日数割合 (%)



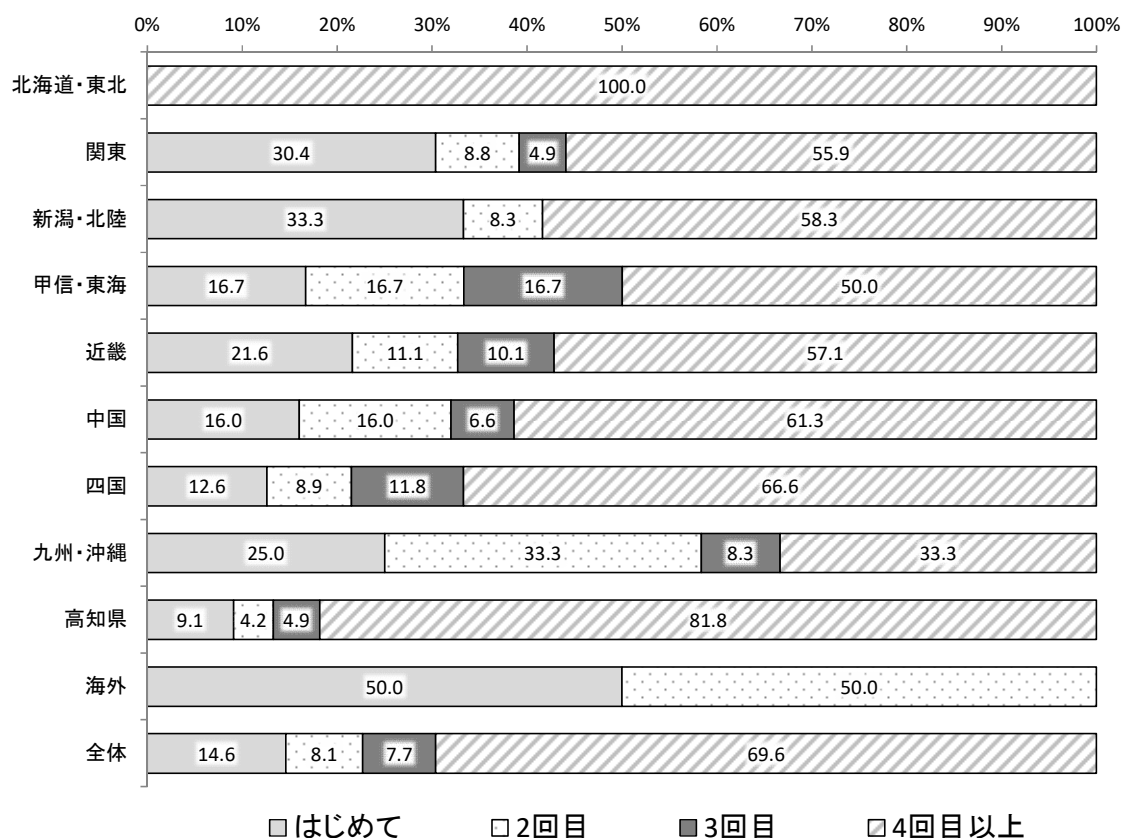
入込割合の多い発地ブロック別 (P125 : 表 4-1) に県内旅行日数を見ると、四国は「日帰り」の割合が 78.7% で最も多くなっており、次いで「1泊2日」が 19.2%、「2泊3日」が 1.3% と続いている。近畿は「1泊2日」が 57.1% で最も多く、次いで「日帰り」が 19.9%、「2泊3日」が 15.3% と続いている。中国は「日帰り」が 46.2% で最も多く、次いで「1泊2日」が 44.3%、「2泊3日」が 6.6% と続いている。

4-3 出発地ブロック別観戦回数割合

(表 4-5) 出発地ブロック別観戦回数割合 (上段：件 下段：%)

	はじめて	2回目	3回目	4回目以上	合計
北海道・東北	0	0	0	1	1
	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
関東	31	9	5	57	102
	30.4	8.8	4.9	55.9	100.0
新潟・北陸	8	2	0	14	24
	33.3	8.3	0.0	58.3	100.0
甲信・東海	3	3	3	9	18
	16.7	16.7	16.7	50.0	100.0
近畿	62	32	29	164	287
	21.6	11.1	10.1	57.1	100.0
中国	17	17	7	65	106
	16.0	16.0	6.6	61.3	100.0
四国	48	34	45	253	380
	12.6	8.9	11.8	66.6	100.0
九州・沖縄	3	4	1	4	12
	25.0	33.3	8.3	33.3	100.0
高知県	61	28	33	548	670
	9.1	4.2	4.9	81.8	100.0
海外	1	1	0	0	2
	50.0	50.0	0.0	0.0	100.0
全体	234	130	123	1115	1,602
	14.6	8.1	7.7	69.6	100.0

(図 4-6) 出発地ブロック別観戦回数割合 (%)



全体の観戦回数をみると、「4回目以上」の割合が69.6%で半数を超えており、次いで「はじめて」が14.6%、「2回目」が8.1%、「3回目」が7.7%と続いている。

入込割合の多い発地ブロック別 (P125: 表 4-1) に観戦回数をみると、四国は「4回目以上」の割合が66.6%で最も多くなっており、次いで「はじめて」が12.6%、「3回目」が11.8%と続いている。近畿は「4回目以上」が57.1%で最も多く、次いで「はじめて」が21.6%、「2回目」が11.1%と続き、中国は「4回以上」が61.3%で最も多く、次いで「はじめて」と「2回目」が16.0%、「3回目」が6.6%と続いている。

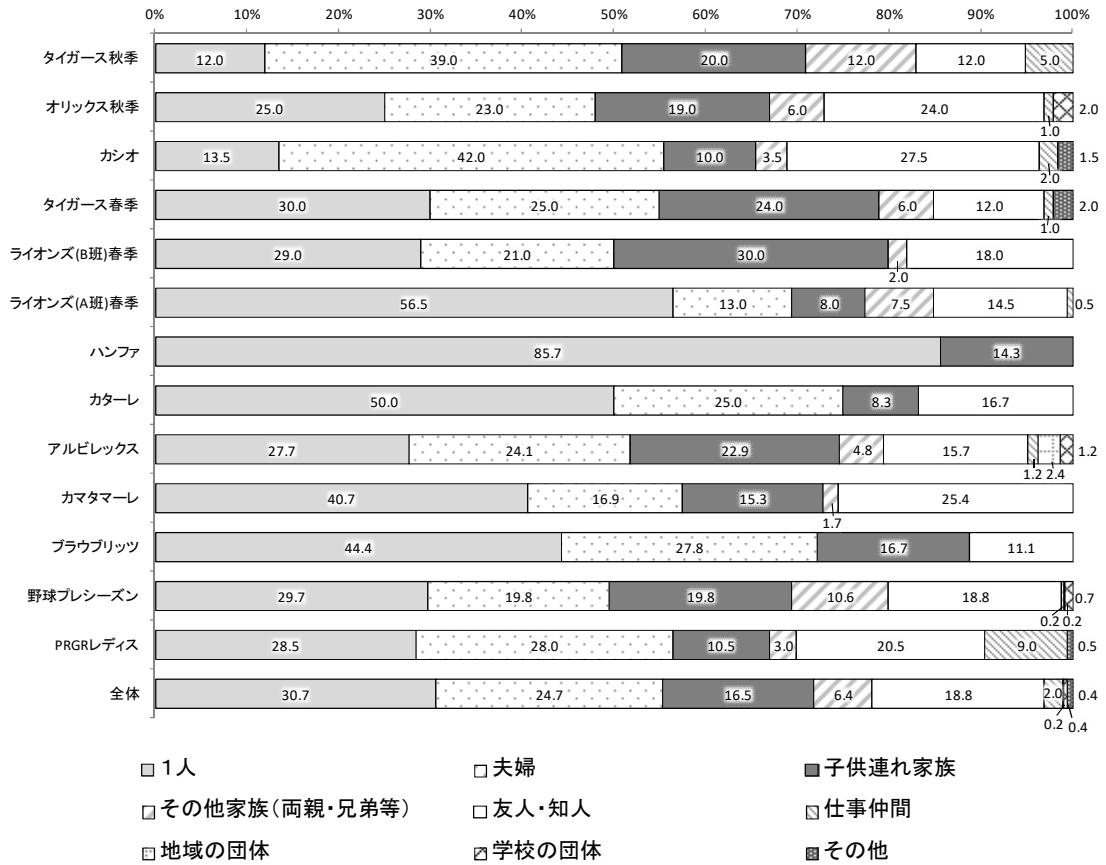
5. 旅行形態

5-1 旅行形態割合

(表 5-1)旅行形態割合 (上段：件 下段：%)

	1人	夫婦	子供連れ 家族	その他家族	友人・知人	仕事仲間	地域の団体	学校の団体	その他	合計
タイガース秋季	12	39	20	12	12	5	0	0	0	100
	12.0	39.0	20.0	12.0	12.0	5.0	0.0	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	25	23	19	6	24	1	0	2	0	100
	25.0	23.0	19.0	6.0	24.0	1.0	0.0	2.0	0.0	100.0
カンオ	27	84	20	7	55	4	0	0	3	200
	13.5	42.0	10.0	3.5	27.5	2.0	0.0	0.0	1.5	100.0
タイガース春季	30	25	24	6	12	1	0	0	2	100
	30.0	25.0	24.0	6.0	12.0	1.0	0.0	0.0	2.0	100.0
ライオンズ(B班)春季	29	21	30	2	18	0	0	0	0	100
	29.0	21.0	30.0	2.0	18.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ(A班)春季	113	26	16	15	29	1	0	0	0	200
	56.5	13.0	8.0	7.5	14.5	0.5	0.0	0.0	0.0	100.0
ハンファ	12	0	2	0	0	0	0	0	0	14
	85.7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
カターレ	12	6	2	0	4	0	0	0	0	24
	50.0	25.0	8.3	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	23	20	19	4	13	1	2	1	0	83
	27.7	24.1	22.9	4.8	15.7	1.2	2.4	1.2	0.0	100.0
カマタマーレ	24	10	9	1	15	0	0	0	0	59
	40.7	16.9	15.3	1.7	25.4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ブラウブリッツ	8	5	3	0	2	0	0	0	0	18
	44.4	27.8	16.7	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	120	80	80	43	76	1	1	3	0	404
	29.7	19.8	19.8	10.6	18.8	0.2	0.2	0.7	0.0	100.0
PRGRレディス	57	56	21	6	41	18	0	0	1	200
	28.5	28.0	10.5	3.0	20.5	9.0	0.0	0.0	0.5	100.0
全体	492	395	265	102	301	32	3	6	6	1602
	30.7	24.7	16.5	6.4	18.8	2.0	0.2	0.4	0.4	100.0

(図 5-2)旅行形態割合 (%)



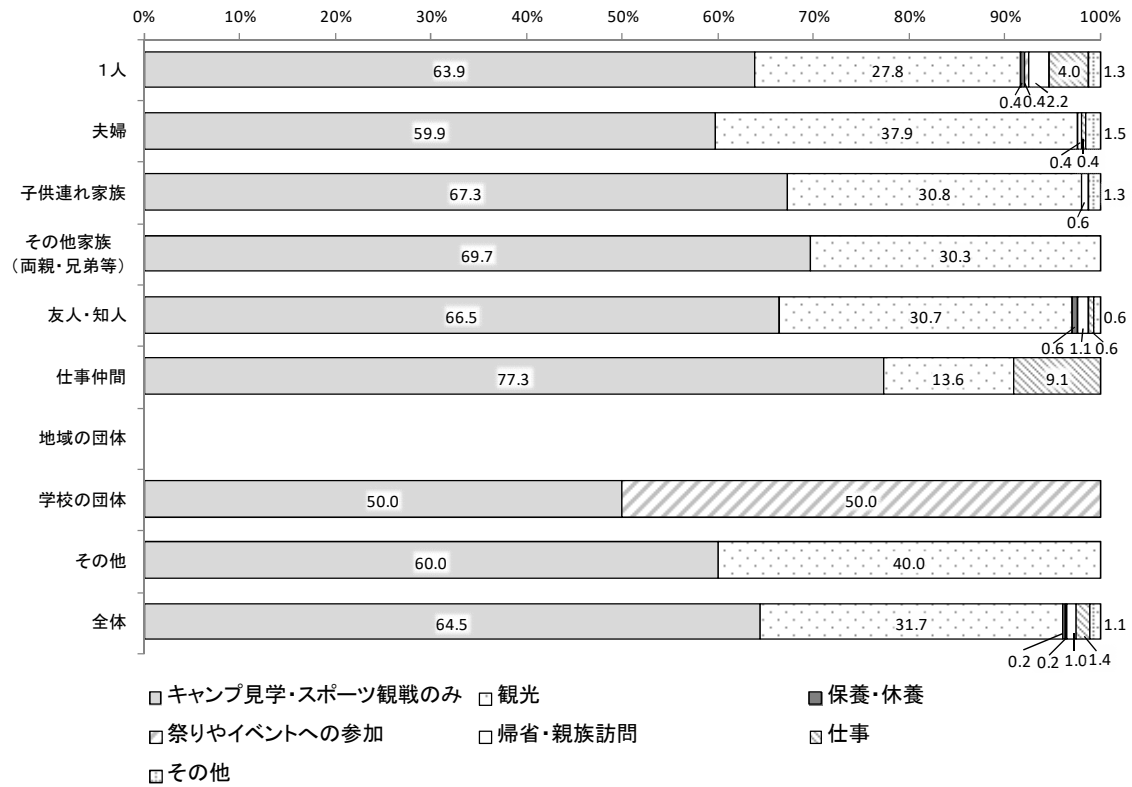
旅行形態の項目ごとに最も割合が多くなった調査区分をみると、「1人」はハンファ、「夫婦」と「友人・知人」はカシオ、「子供連れ家族」はライオンズ(B班)春季となっている。

5-2 旅行形態別来県目的割合

(表 5-3)旅行形態別来県目的割合（上段：件 下段：％） ※県内客を除く

	スポーツ 観戦のみ	観光	保養・休養	祭りや イベント	帰省・ 親族訪問	仕事	その他	合計
1人	145	63	1	1	5	9	3	227
	63.9	27.8	0.4	0.4	2.2	4.0	1.3	100.0
夫婦	163	103	0	0	1	1	4	272
	59.9	37.9	0.0	0.0	0.4	0.4	1.5	100.0
子供連れ家族	107	49	0	0	1	0	2	159
	67.3	30.8	0.0	0.0	0.6	0.0	1.3	100.0
その他家族	46	20	0	0	0	0	0	66
	69.7	30.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
友人・知人	119	55	1	0	2	1	1	179
	66.5	30.7	0.6	0.0	1.1	0.6	0.6	100.0
仕事仲間	17	3	0	0	0	2	0	22
	77.3	13.6	0.0	0.0	0.0	9.1	0.0	100.0
地域の団体	0	0	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
学校の団体	1	0	0	1	0	0	0	2
	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0
その他	3	2	0	0	0	0	0	5
	60.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	601	295	2	2	9	13	10	932
	64.5	31.7	0.2	0.2	1.0	1.4	1.1	100.0

(図 5-4) 旅行形態別来県目的割合 (%) ※県内客を除く



全体の来県目的割合は、「キャンプ見学・スポーツ観戦のみ」が64.5%で大半を占め、次いで「観光」が31.7%となっており、他の項目は少数となっている。

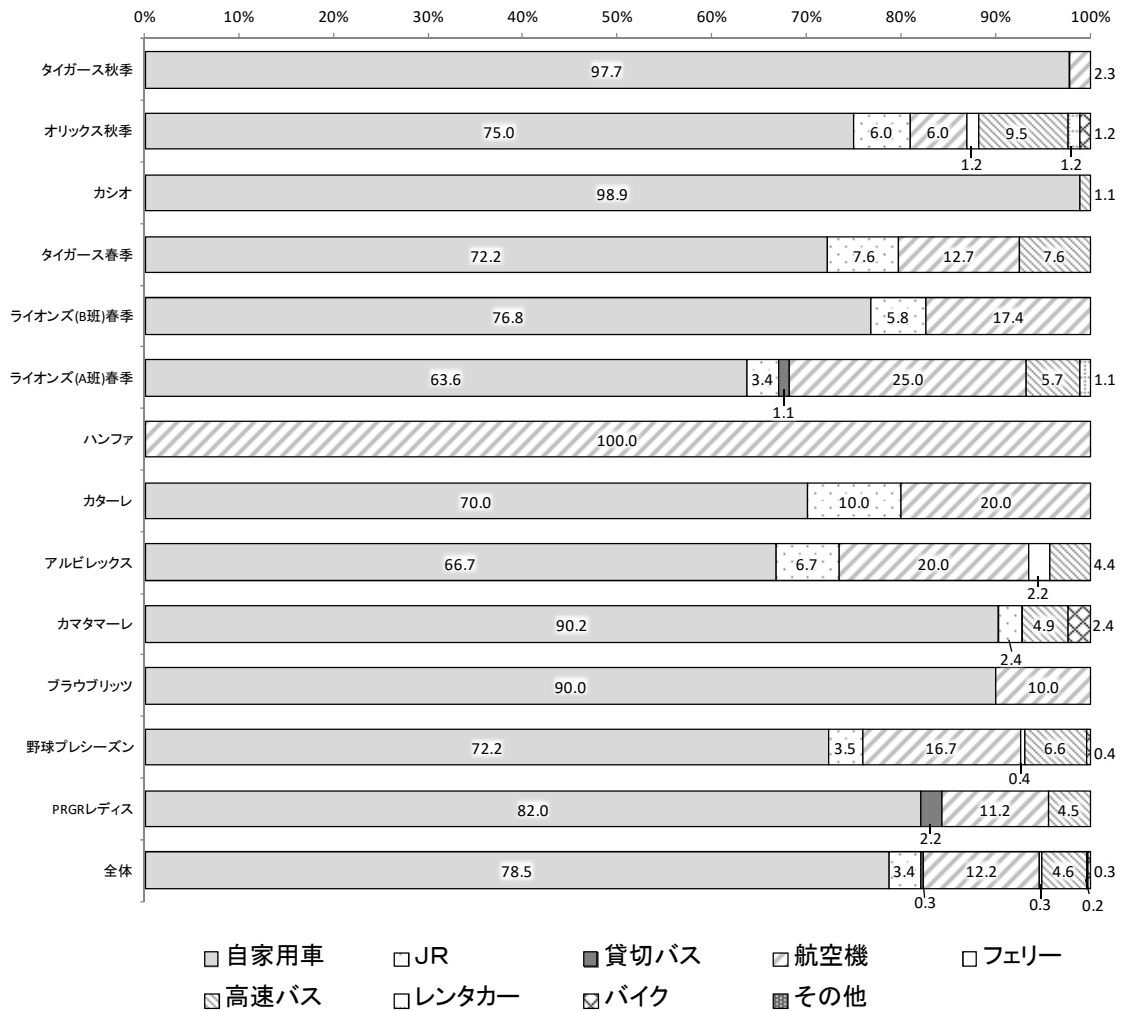
6. 入込利用交通機関

6-1 入込利用交通機関割合

(表 6-1)入込利用交通機関割合（上段：件 下段：％） ※県内客を除く

	自家用車	JR	貸切バス	航空機	フェリー	高速バス	レンタカー	バイク	その他	合計
タイガース秋季	86	0	0	2	0	0	0	0	0	88
	97.7	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
オリックス秋季	63	5	0	5	1	8	1	1	0	84
	75.0	6.0	0.0	6.0	1.2	9.5	1.2	1.2	0.0	100.0
カンオ	90	0	0	0	0	1	0	0	0	91
	98.9	0.0	0.0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	100.0
タイガース春季	57	6	0	10	0	6	0	0	0	79
	72.2	7.6	0.0	12.7	0.0	7.6	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ(B班)春季	53	4	0	12	0	0	0	0	0	69
	76.8	5.8	0.0	17.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ライオンズ(A班)春季	56	3	1	22	0	5	1	0	0	88
	63.6	3.4	1.1	25.0	0.0	5.7	1.1	0.0	0.0	100.0
ハンファ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
カタール	14	2	0	4	0	0	0	0	0	20
	70.0	10.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
アルビレックス	30	3	0	9	1	2	0	0	0	45
	66.7	6.7	0.0	20.0	2.2	4.4	0.0	0.0	0.0	100.0
カマタマーレ	37	1	0	0	0	2	0	1	0	41
	90.2	2.4	0.0	0.0	0.0	4.9	0.0	2.4	0.0	100.0
ブラウブリッツ	9	0	0	1	0	0	0	0	0	10
	90.0	0.0	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
野球プレシーズン	164	8	0	38	1	15	0	1	0	227.0
	72.2	3.5	0.0	16.7	0.4	6.6	0.0	0.4	0.0	100.0
PRGRレディス	73	0	2	10	0	4	0	0	0	89
	82.0	0.0	2.2	11.2	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	100.0
全体	732	32	3	114	3	43	2	3	0	932
	78.5	3.4	0.3	12.2	0.3	4.6	0.2	0.3	0.0	100.0

(図 6-2) 入込利用交通機関割合 (%) ※県内容を除く



全体の入込利用交通機関を見ると、「自家用車」の割合が78.5%で大半を占めており、次いで「航空機」が12.2%、「高速バス」が4.6%、「JR」が3.4%と続いている。

7. 県内消費額

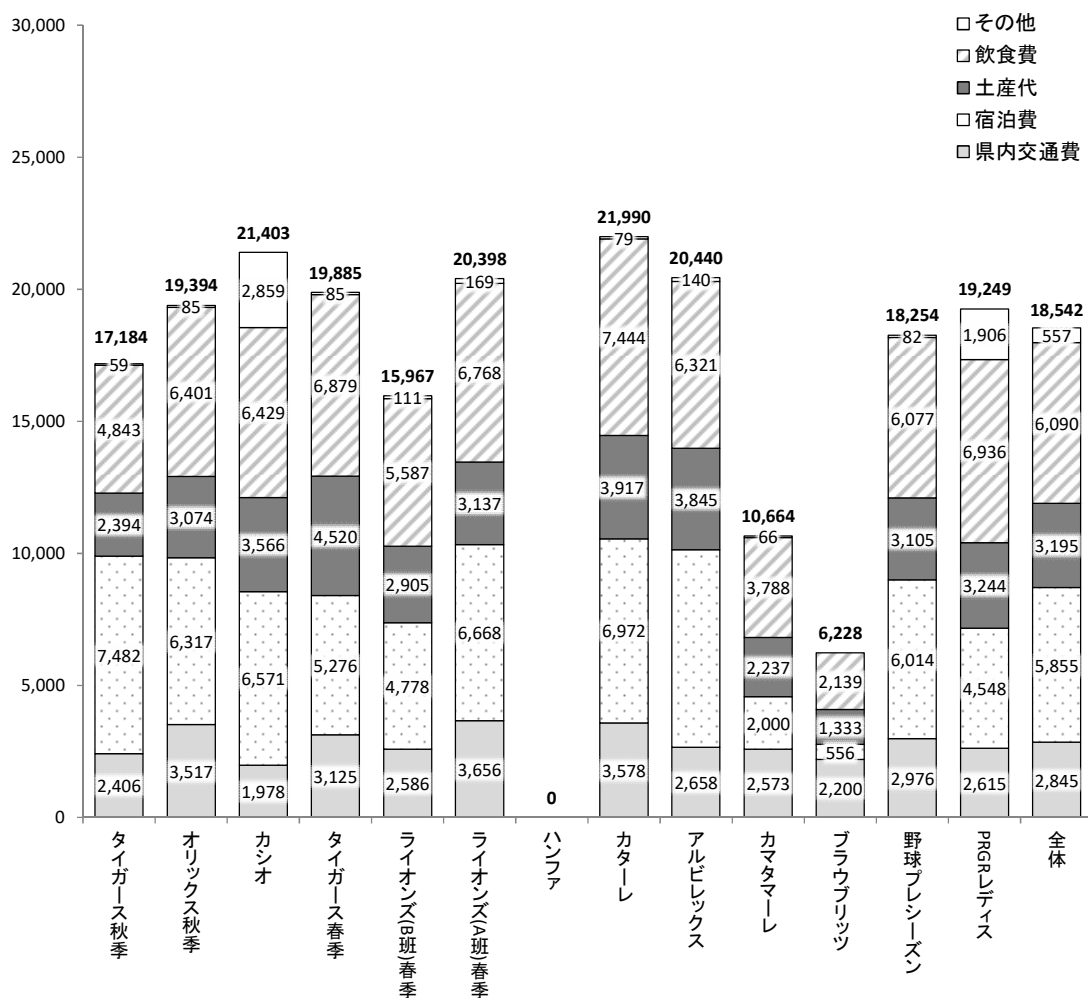
7-1 県内消費額

(表 7-1) 県内平均消費額・同割合（上段：円 下段：％）

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
タイガース秋季	2,406	7,482	2,394	4,843	59	17,184
	14.0	43.5	13.9	28.2	0.3	100.0
オリックス秋季	3,517	6,317	3,074	6,401	85	19,394
	18.1	32.6	15.9	33.0	0.4	100.0
カシオ	1,978	6,571	3,566	6,429	2,859	21,403
	9.2	30.7	16.7	30.0	13.4	100.0
タイガース春季	3,125	5,276	4,520	6,879	85	19,885
	15.7	26.5	22.7	34.6	0.4	100.0
ライオンズ(B班)春季	2,586	4,778	2,905	5,587	111	15,967
	16.2	29.9	18.2	35.0	0.7	100.0
ライオンズ(A班)春季	3,656	6,668	3,137	6,768	169	20,398
	17.9	32.7	15.4	33.2	0.8	100.0
ハンファ	0	0	0	0	0	0
	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
カターレ	3,578	6,972	3,917	7,444	79	21,990
	16.3	31.7	17.8	33.9	0.4	100.0
アルビレックス	2,658	7,476	3,845	6,321	140	20,440
	13.0	36.6	18.8	30.9	0.7	100.0
カマタマーレ	2,573	2,000	2,237	3,788	66	10,664
	24.1	18.8	21.0	35.5	0.6	100.0
ブラウブリッツ	2,200	556	1,333	2,139	0	6,228
	35.3	8.9	21.4	34.3	0.0	100.0
野球プレシーズン	2,976	6,014	3,105	6,077	82	18,254
	16.3	32.9	17.0	33.3	0.4	100.0
PRGRレディス	2,615	4,548	3,244	6,936	1,906	19,249
	13.6	23.6	16.9	36.0	9.9	100.0
全体	2,845	5,855	3,195	6,090	557	18,542
	15.3	31.6	17.2	32.8	3.0	100.0

(図 7-2) 県内平均消費額 (円) ※県内客、及び県外パック利用客を除く



全体の県内平均消費額は18,542円となり、費目別では県内交通費2,845円(15.3%)、宿泊費5,855円(31.6%)、土産代3,195円(17.2%)、飲食費6,090円(32.8%)、その他557円(3.0%)となっている。

調査区分別にみた県内平均消費額は、カターレが21,990円で最も高くなっており、次いでカシオが21,403円、アルビレックスが20,440円と続いている。その一方で、ブラウブリッツが6,228円で最も低くなっている。※ハンファは県外パック利用客のため比較から除外。

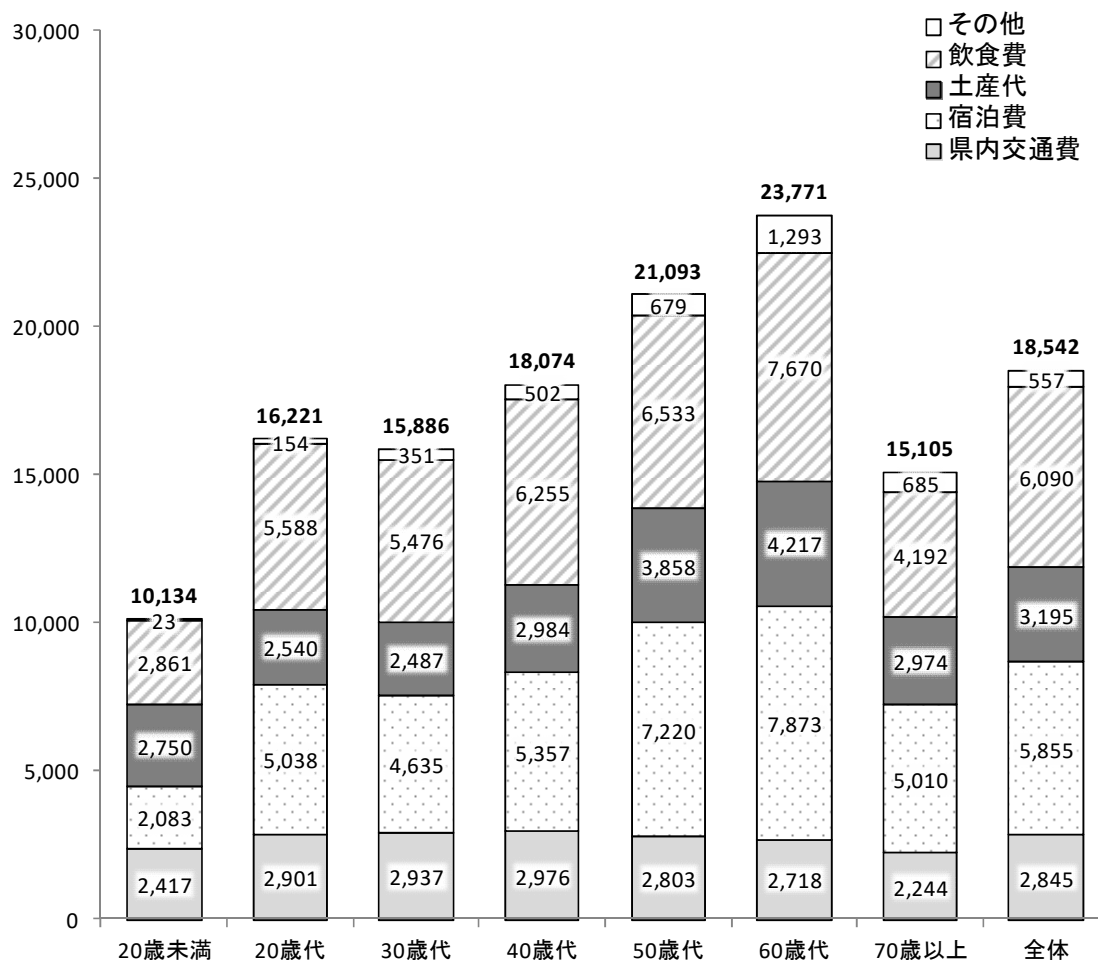
7-2 年代別県内消費額

(表 7-3)年代別県内平均消費額・同割合（上段：円 下段：％）

※県内客、及び県外パック利用客を除く

	県内交通費	宿泊費	土産代	飲食費	その他	合計
20歳未満	2,417	2,083	2,750	2,861	23	10,134
	23.9	20.6	27.1	28.2	0.2	100.0
20歳代	2,901	5,038	2,540	5,588	154	16,221
	17.9	31.1	15.7	34.4	0.9	100.0
30歳代	2,937	4,635	2,487	5,476	351	15,886
	18.5	29.2	15.7	34.5	2.2	100.0
40歳代	2,976	5,357	2,984	6,255	502	18,074
	16.5	29.6	16.5	34.6	2.8	100.0
50歳代	2,803	7,220	3,858	6,533	679	21,093
	13.3	34.2	18.3	31.0	3.2	100.0
60歳代	2,718	7,873	4,217	7,670	1,293	23,771
	11.4	33.1	17.7	32.3	5.4	100.0
70歳以上	2,244	5,010	2,974	4,192	685	15,105
	14.9	33.2	19.7	27.8	4.5	100.0
全体	2,845	5,855	3,195	6,090	557	18,542
	15.3	31.6	17.2	32.8	3.0	100.0

(図 7-4) 年代別県内平均消費額 (円) ※県内容、及び県外パック利用客を除く



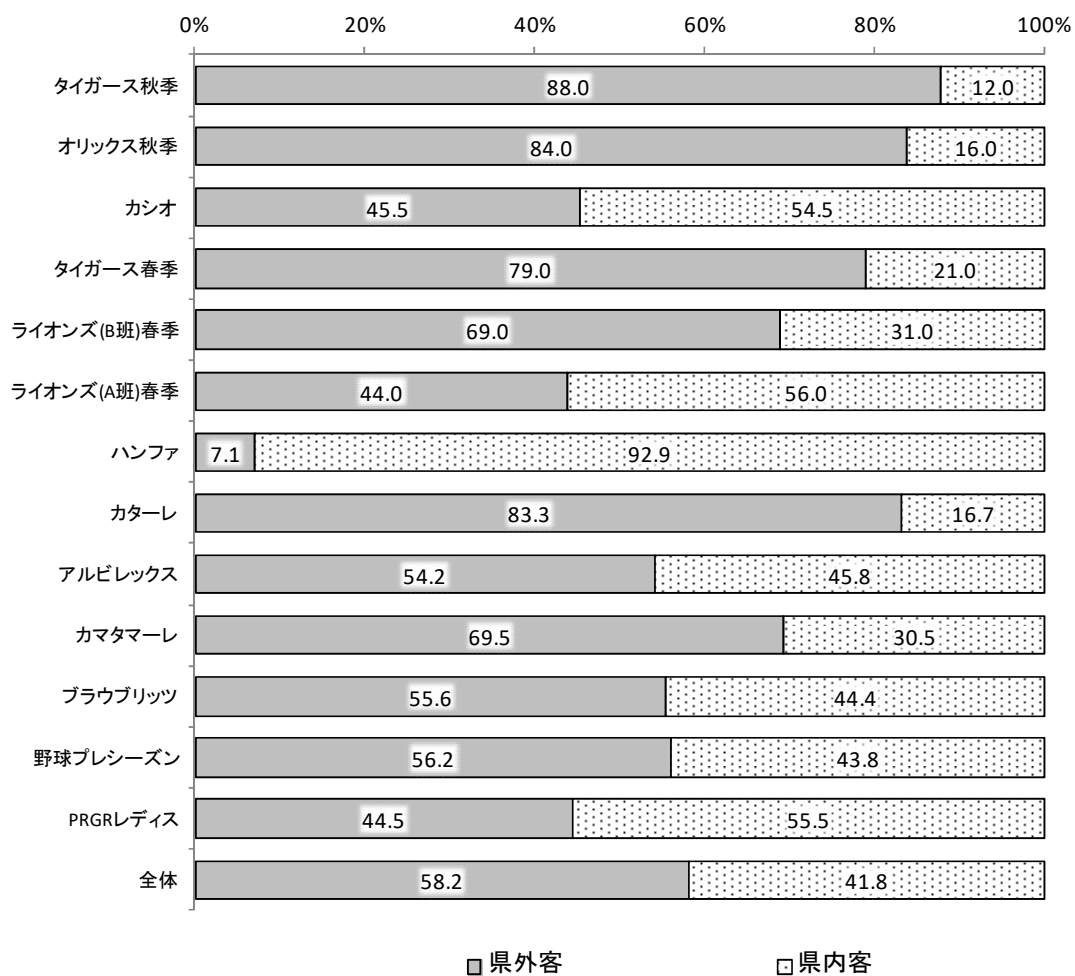
年代別にみた県内平均消費額は、60歳代が23,771円で最も高くなっており、次いで50歳代が21,093円、40歳代が18,074円と続いている一方で、20歳未満が10,134円で最も低くなっている。

費目別に最も高くなった年代と平均額をみると、県内交通費は40歳代で2,976円、県内交通費以外の費目別では全て60歳代が高くなっており、宿泊費は7,873円、土産代は4,217円、飲食費は7,670円、その他は1,293円となっている。

8. 県内客・県外客

8-1 県内客・県外客割合

(図 8-1) 県内客・県外客割合 (%)



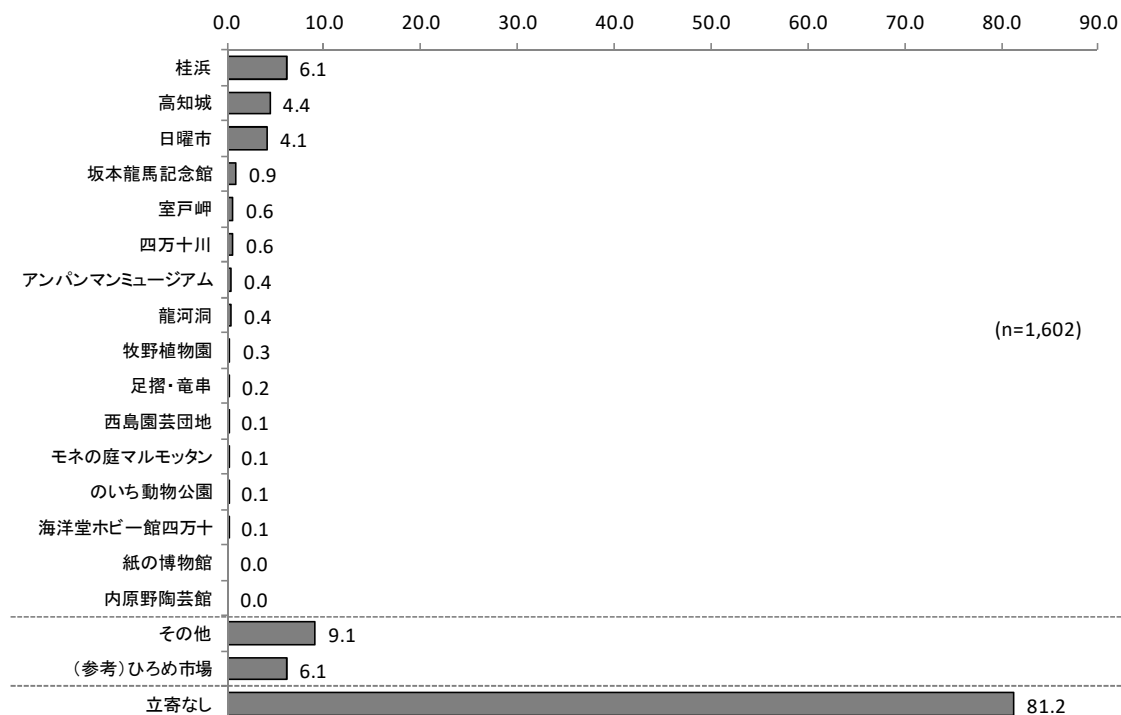
全体の県内客・県外客を見ると、県外客の割合が58.2%、県内客が41.8%と、県外客が多くなっている。

県外客が多くなった調査区分を見ると、タイガース秋季が88.0%と最も多く、次いでオリックス秋季が84.0%、カターレが83.3%と続いている。

9. 立寄観光スポット

9-1 立寄観光スポット割合

(図 9-1) 立寄観光スポット割合 (%)



注) 複数回答あり。

立寄観光スポットは、スポーツ観戦のみの「立寄なし」の割合が81.2%と大半を占めている。立ち寄った（立ち寄る予定）と回答された観光スポットでは、桂浜と（その他として挙げられた）ひろめ市場が6.1%で最も多く、次いで高知城が4.4%、日曜市が4.1%と続いている。

その他の観光スポットの具体的な回答として、先述のひろめ市場98件のほかに、はりまや橋と寺・神社と仁淀川が6件、ヤ・シィパークが5件、道の駅とむろと廃校水族館の4件などが挙げられている。

VII 観光動態調査ルート分析

1. はじめに

- 報告書について

この報告書は平成30年度に行われた観光統計調査のデータを基に、旅行者が立ち寄った県内市町村の割合を発地別、年齢別、旅行形態別、旅行目的別に作成した（P144：2.立寄り市町村割合）。また、それらを参考にして周遊性の特に高いルートを抽出、分析した（P152：3.周遊ルート分析）ものである。

- 調査地点について

高知県内の観光地（10地点：室戸岬、モネの庭、アンパンマンミュージアム、龍河洞、高知城、桂浜、土佐和紙工芸村、黒潮本陣、四万十川、足摺岬）でアンケート調査を実施している。

- 発地ブロックについて

- 旅行者の居住都道府県を地域ブロック単位でまとめ、発地ブロックと表している。
各発地ブロックは以下の通りである。

北海道・東北 : 北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東 : 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
北陸・新潟 : 新潟県、富山県、石川県、福井県
甲信・東海 : 山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県
近畿 : 三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国 : 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国 : 徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄 : 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県
海外 : すべての海外旅行者

2. 立寄市町村割合

● 集計方法について

- 立寄市町村割合では、調査時に旅行者から回答のあった「訪問した(する予定の)観光地」のうち、観光入込客統計に関する共通基準を満たした地点を、市町村地域別に集計した。

※観光入込客統計に関する共通基準

- 非日常利用が多いと判断される地点であること。
 - 観光入込客数が適切に把握できる地点であること。
 - 前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込数5千人以上であること。
- すべての割合データ(%表記)は、小数点以下2位で四捨五入した数値を使用している。
そのため、合計が100%にならない場合がある。
 - 立寄市町村の16地域は以下の通りである。

01 東洋・室戸	: 東洋町、室戸市
02 奈半利・田野等	: 奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村
03 安芸・芸西	: 安芸市、芸西村
04 香南	: 香南市
05 南国・香美	: 南国市、香美市
06 本山・大豊等	: 本山町、大豊町、土佐町、大川村
07 高知	: 高知市
08 いの	: いの町
09 土佐・日高	: 土佐市、日高村
10 佐川・越知等	: 佐川町、越知町、仁淀川町
11 須崎・中土佐	: 須崎市、中土佐町
12 梶原・津野	: 梶原町、津野町
13 四万十町	: 四万十町
14 黒潮・四万十市	: 黒潮町、四万十市
15 宿毛・三原	: 宿毛市、三原村
16 土佐清水・大月	: 土佐清水市、大月町

● 調査結果の概要

立寄観光地の延べ件数（P146-147）は、8,608件となり、前年度の8,768件から1.8ポイントの減少となっている。県内16地域の立寄数は、「高知」が35.1%と最も多く、次いで「南国・香美」が13.3%、「黒潮・四万十市」が9.3%、「東洋・室戸」が8.6%、「土佐清水・大月」が8.2%と続いている。この上位5地域で全体の74.5%を占めている。

発地ブロック別（P146-147）をみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっているが、2番目に多い地域は、北陸・新潟が「黒潮・四万十市」と「土佐清水・大月」、北海道・東北、甲信・東海、九州・沖縄などが「黒潮・四万十市」、その他のブロックが「南国・香美」と、発地ブロックにより傾向が分かれた。平均立寄数は、北海道・東北が3.3件と最も多く、四国が1.7件と最も少なくなっている。

年代別（P148）をみると、すべての年代で「高知」が最も多くなっており、若い年代ほど集中度が高くなっている。また、10代から40代は「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、40代が2.3件と最も多く、10代が1.9件と最も少なくなっている。

旅行形態別（P149）をみると、すべての旅行形態で「高知」が最も多くなっている。次いで、「一人」は「東洋・室戸」が、そのほかの旅行形態は「南国・香美」が2番目に多くなっている。平均立寄数は、「団体」が2.4件と最も多く、「一人」が2.0件と最も少なくなっている。

旅行目的別（P150）をみると、「買い物」で「黒潮・四万十市」、「神仏霊場」で「土佐清水・大月」、そのほかの旅行目的で「高知」が最も多くなっている。平均立寄数は、「名所旧跡」、「自然見物」、「食べ物」が2.4件と最も多く、「買い物」が1.5件と最も少なくなっている。

2-1. 発地別立寄市町村割合

(表 2-1) 発地別立寄市町村割合 (件) [発地ブロック別]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)	
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月				
北海道・東北 (n=37)	9	1	4	1	11		60	1		1				2	16	1	14	121	1.4	3.3
関東 (n=345)	55	40	4	7	101	1	576	32	2	5	28	11	4	99	3	72	1,040	12.1	3.0	
北陸・新潟 (n=20)	6				3	2	25							1	9	1	9	56	0.7	2.8
甲信・東海 (n=123)	22	9	2	4	32	2	180	5		1	4	4	6	41	4	36	352	4.1	2.9	
近畿 (n=710)	155	81	15	42	217	4	904	56	1	11	66	14	40	170	16	196	1,988	23.1	2.8	
中国 (n=318)	52	46	4	10	103	1	325	24		1	38	6	11	57	7	82	767	8.9	2.4	
四国 (n=2,338)	427	418	38	91	648	6	793	382		9	410	9	86	373	28	267	3,985	46.3	1.7	
九州・沖縄 (n=103)	16	9	1	1	24		145	6			5	2	5	34	4	32	284	3.3	2.8	
海外 (n=6)		1			2		10							1		1	15	0.2	2.5	
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2	

(表 2-2) 発地別立寄市町村割合 (%) [発地ブロック別]

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)	
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月				
北海道・東北 (n=37)	7.4	0.8	3.3	0.8	9.1		49.8	0.8		0.8				1.7	13.2	0.8	11.6	121	1.4	3.3
関東 (n=345)	5.3	3.8	0.4	0.7	9.7	0.1	55.4	3.1	0.2	0.5	2.7	1.1	0.4	9.5	0.3	6.9	1,040	12.1	3.0	
北陸・新潟 (n=20)	10.7				5.4	3.6	44.6							1.8	16.1	1.8	16.1	56	0.7	2.8
甲信・東海 (n=123)	6.3	2.6	0.6	1.1	9.1	0.6	51.1	1.4		0.3	1.1	1.1	1.7	11.6	1.1	10.2	352	4.1	2.9	
近畿 (n=710)	7.8	4.1	0.8	2.1	10.9	0.2	45.5	2.8	0.1	0.6	3.3	0.7	2.0	8.6	0.8	9.9	1,988	23.1	2.8	
中国 (n=318)	6.8	6.0	0.5	1.3	13.4	0.1	42.4	3.1		0.1	5.0	0.8	1.4	7.4	0.9	10.7	767	8.9	2.4	
四国 (n=2,338)	10.7	10.5	1.0	2.3	16.3	0.2	19.9	9.6		0.2	10.3	0.2	2.2	9.4	0.7	6.7	3,985	46.3	1.7	
九州・沖縄 (n=103)	5.6	3.2	0.4	0.4	8.5		51.1	2.1			1.8	0.7	1.8	12.0	1.4	11.3	284	3.3	2.8	
海外 (n=6)		7.0			13.3		66.7							6.7		6.7	15	0.2	2.5	
全体 (n=4,000)	8.6	6.7	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9	0.0	0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2	8,608	100.0	2.2	

※ 白抜き はブロックで1位、太字 は同2位

(表 2-3) 発地別立寄市町村割合 (%) [四国]

	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月
徳島県 (n=187)	21.3	12.9	1.5	1.5	16.1		27.5	2.0			5.7	0.5	0.7	4.2	0.2	5.9
香川県 (n=336)	7.9	11.4	1.1	3.2	17.2	0.3	33.4	3.9		0.1	5.9	0.1	1.7	5.9	0.8	6.9
愛媛県 (n=472)	7.7	7.7	0.6	2.5	15.7	0.1	24.1	9.5		0.2	7.5	0.4	2.2	10.5	1.3	10.1
高知県 (n=1,343)	11.1	11.1	0.9	2.0	16.3	0.2	11.2	13.3		0.3	14.3	0.1	2.6	11.2	0.4	5.1
四国 (n=2,338)	10.7	10.5	1.0	2.3	16.3	0.2	19.9	9.6		0.2	10.3	0.2	2.2	9.4	0.7	6.7

・立寄観光地の延べ件数

すべての旅行者が立寄った観光地は全体で8,608件となっている。発地ブロック別にみると、“四国”が3,985件(46.3%)と最も多く、次いで、“近畿”が1,988件(23.1%)、“関東”が1,040件(12.1%)、“中国”が767件(8.9%)と続いている。

平均立寄数は、“北海道・東北”が3.3件と最も多く、次いで、“関東”が3.0件、“甲信・東海”が2.9件と続いており、“四国”が1.7件と最も少なくなっている。

・上位を占めた立寄市町村

立寄った観光地の市町村をみると、「高知」が3,018件(35.1%)と最も多く、次いで「南国・香美」が1,141件(13.3%)、「黒潮・四万十市」が800件(9.3%)、「東洋・室戸」が742件(8.6%)、「土佐清水・大月」が709件(8.2%)と続いている。

・発地ブロックごとの立寄市町村の傾向

立寄った観光地の市町村を発地ブロック別でみると、すべてのブロックで「高知」が最も多くなっている。2番目に多くなった市町村は、“北陸・新潟”が「黒潮・四万十市」と「土佐清水・大月」、「北海道・東北」、「甲信・東海」、「九州・沖縄」が「黒潮・四万十市」、その他の発地ブロックが「南国・香美」となっている。

なお、“県内旅行者”は「南国・香美」、「須崎・中土佐」、「いの」、「高知」、「黒潮・四万十市」などが多くなっている(P146:表2-3)。

2-2. 年代別立寄市町村割合

(表 2-4) 年代別立寄市町村割合 (件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=44)	6	4	3	2	11		35	2			7			8	1	6	85	1.0	1.9
20代 (n=530)	70	50	7	23	198	3	456	42		5	66	13	19	94	3	78	1,127	13.1	2.1
30代 (n=829)	112	92	12	30	357	4	709	104	2	7	88	10	18	136	6	108	1,795	20.9	2.2
40代 (n=875)	158	124	14	46	242	3	751	102		6	112	6	39	179	15	180	1,977	23.0	2.3
50代 (n=865)	192	136	18	29	181	2	687	124	1	7	133	7	30	188	14	165	1,914	22.2	2.2
60代以上 (n=857)	204	199	14	26	152	4	380	132		3	145	10	49	195	25	172	1,710	19.9	2.0
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-5) 年代別立寄市町村割合 (%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
10代 (n=44)	7.1	4.7	3.5	2.4	12.9		41.2	2.4			8.2			9.4	1.2	7.1			
20代 (n=530)	6.2	4.4	0.6	2.0	17.6	0.3	40.5	3.7		0.4	5.9	1.2	1.7	8.3	0.3	6.9			
30代 (n=829)	6.2	5.1	0.7	1.7	19.9	0.2	39.5	5.8	0.1	0.4	4.9	0.6	1.0	7.6	0.3	6.0			
40代 (n=875)	8.0	6.3	0.7	2.3	12.2	0.2	38.0	5.2		0.3	5.7	0.3	2.0	9.1	0.8	9.1			
50代 (n=865)	10.0	7.1	0.9	1.5	9.5	0.1	35.9	6.5	0.1	0.4	6.9	0.4	1.6	9.8	0.7	8.6			
60代以上 (n=857)	11.9	11.6	0.8	1.5	8.9	0.2	22.2	7.7		0.2	8.5	0.6	2.9	11.4	1.5	10.1			
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9	0.0	0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2			

※ **白抜き** は年代で 1 位、**太字** は同 2 位

・立寄観光地の延べ件数

年代別に立寄った観光地をみると、40代が1,977件(23.0%)と最も多く、次いで、50代が1,914件(22.2%)、30代が1,795件(20.9%)、60代以上が1,710件(19.9%)、20代が1,127件(13.1%)、10代が85件(1.0%)と続いている。

平均立寄数は、40代が2.3件と最も多く、次いで30代と50代が2.2件、20代が2.1件、60代以上が2.0件、10代が1.9件と続いている。

・年代ごとの立寄市町村の傾向

すべての年代で「高知」が最も多く、年代が低くなるにつれて、占める割合が多くなっている。次いで、10代から40代までは「南国・香美」が、50代と60代以上は「東洋・室戸」が多くなっている。

- 10代:「安芸・芸西」、「香南」、「高知」で年代別の1位となっている。
- 20代:「梶原・津野」などで年代別の1位、「高知」と「南国・香美」で年代別の2位となっている。
- 30代:「南国・香美」で年代別の1位となっている。
- 40代:「香南」、「土佐清水・大月」などで年代別の2位となっている。
- 50代:「東洋・室戸」、「いの」などで年代別の2位となっている。
- 60代以上:「東洋・室戸」、「奈半利・田野等」、「黒潮・四万十市」、「土佐清水・大月」などで年代別の1位となっている。

2-3. 旅行形態別立寄市町村割合

(表 2-6)旅行形態別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,674)	474	431	42	116	880	8	1,988	330	1	17	350	23	102	526	41	470	5,799	67.4	2.2
友人・知人 (n=627)	102	88	15	17	154	1	592	61	1	8	104	12	21	126	7	96	1,405	16.3	2.2
団体 (n=38)	4	10	1		13		56	2			1			3		2	92	1.1	2.4
その他 (n=51)	4	5		3	19		44	8	1		10			6	1	5	106	1.2	2.1
一人 (n=610)	158	71	10	20	75	7	338	105		3	86	11	32	139	15	136	1,206	14.0	2.0
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-7)旅行形態別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
家族 (n=2,674)	8.2	7.4	0.7	2.0	15.2	0.1	34.3	5.7		0.3	6.0	0.4	1.8	9.1	0.7	8.1			
友人・知人 (n=627)	7.3	6.3	1.1	1.2	11.0	0.1	42.1	4.3	0.1	0.6	7.4	0.9	1.5	9.0	0.5	6.8			
団体 (n=38)	4.3	10.9	1.1		14.1		60.9	2.2			1.1			3.3		2.2			
その他 (n=51)	3.8	4.7		2.8	17.9		41.5	7.5	0.9		9.4			5.7	0.9	4.7			
一人 (n=610)	13.1	5.9	0.8	1.7	6.2	0.6	28.0	8.7		0.2	7.1	0.9	2.7	11.5	1.2	11.3			
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9		0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2			

※ 白抜き は旅行形態で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行形態別に立寄った観光地をみると、“家族”が5,799件(67.4%)と最も多く、次いで、“友人・知人”が1,405件(16.3%)、“一人”が1,206件(14.0%)、“その他”が106件(1.2%)、“団体”が92件(1.1%)と続いている。

平均立寄数は、“団体”が2.4件と最も多く、次いで、“家族”と“友人・知人”が2.2件、“その他”が2.1件、“一人”が2.0件と続いている。

・旅行形態ごとの立寄市町村の傾向

すべての旅行形態で「高知」が最も多く、次いで、“一人”が「東洋・室戸」、そのほかの旅行形態が「南国・香美」と続いている。

- 家族:「香南」、「奈半利・田野等」、「南国・香美」で全体平均を上回っている。
- 友人・知人:「高知」、「須崎・中土佐」などで全体平均を上回っている一方で、「南国・香美」、「いの」、「土佐清水・大月」、「東洋・室戸」などで全体平均を下回っている。
- 団体:「高知」が半数以上を占めており、立寄市町村が限られている。
- その他:「南国・香美」、「須崎・中土佐」などで旅行形態別の1位となっている。
- 一人:「東洋・室戸」、「土佐清水・大月」、「黒潮・四万十市」、「いの」などで旅行形態別の1位となっている一方で、「高知」、「南国・香美」などで最も少なくなっている。

2-4. 旅行目的別立寄市町村割合

(表 2-8)旅行目的別立寄市町村割合(件)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	合計 (件)	割合 (%)	平均 立寄数 (件)
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=726)	161	279	24	35	156	7	453	97	2	8	38	18	25	172	9	229	1,713	19.9	2.4
休養 (n=198)	34	31		4	37	2	150	22		1	70	2	13	34	2	32	434	5.0	2.2
祭り (n=79)	6	7	2	6	32		36	16			3			7	1	10	126	1.5	1.6
アウトドア (n=107)	27	2	2	4	12	1	42	29		4	14	2	3	37	1	33	213	2.5	2.0
スポーツ (n=11)	1				2		10	1						2		4	20	0.2	1.8
食べ物 (n=624)	67	46	6	13	153		720	60		5	202	4	31	119	2	72	1,500	17.4	2.4
神仏霊場 (n=128)	53	19	1	12	22		34	2	1		10	1	31	6	35	72	299	3.5	2.3
買い物 (n=262)	74	13	2	1	14	1	47	76			62		5	80	1	7	383	4.4	1.5
名所旧跡 (n=863)	141	126	16	47	473	1	980	40		3	35	7	13	103	4	106	2,095	24.3	2.4
なんとなく (n=484)	96	41	6	15	124	3	213	101		1	59	8	15	91	3	79	855	9.9	1.8
観光・その他 (n=41)	8	2	1	1	7	1	22	4		1	4	1		14		8	74	0.9	1.8
帰省・仕事 (n=407)	60	36	6	18	96		258	44		5	48	3	17	124	6	56	777	9.0	1.9
その他 (n=70)	14	3	2		13		53	14			6		2	11		1	119	1.4	1.7
全体 (n=4,000)	742	605	68	156	1,141	16	3,018	506	3	28	551	46	155	800	64	709	8,608	100.0	2.2

(表 2-9)旅行目的別立寄市町村割合(%)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16			
	東洋 室戸	奈半利 田野等	安芸 芸西	香南	南国 香美	本山 大豊等	高知	いの	土佐 日高	佐川 越知等	須崎 中土佐	梶原 津野	四万 十町	黒潮 四万 十市	宿毛 三原	土佐 清水 大月			
自然見物 (n=726)	9.4	16.3	1.4	2.0	9.1	0.4	26.4	5.7	0.1	0.5	2.2	1.1	1.5	10.0	0.5	13.4			
休養 (n=198)	7.8	7.1		0.9	8.5	0.5	34.6	5.1		0.2	16.1	0.5	3.0	7.8	0.5	7.4			
祭り (n=79)	4.8	5.6	1.6	4.8	25.4		28.6	12.7			2.4			5.6	0.8	7.9			
アウトドア (n=107)	12.7	0.9	0.9	1.9	5.6	0.5	19.7	13.6		1.9	6.6	0.9	1.4	17.4	0.5	15.5			
スポーツ (n=11)	5.0				10.0		50.0	5.0						10.0		20.0			
食べ物 (n=624)	4.5	3.1	0.4	0.9	10.2		48.0	4.0		0.3	13.5	0.3	2.1	7.9	0.1	4.8			
神仏霊場 (n=128)	17.7	6.4	0.3	4.0	7.4		11.4	0.7	0.3		3.3	0.3	10.4	2.0	11.7	24.1			
買い物 (n=262)	19.3	3.4	0.5	0.3	3.7	0.3	12.3	19.8			16.2		1.3	20.9	0.3	1.8			
名所旧跡 (n=863)	6.7	6.0	0.8	2.2	22.6	0.0	46.8	1.9		0.1	1.7	0.3	0.6	4.9	0.2	5.1			
なんとなく (n=484)	11.2	4.8	0.7	1.8	14.5	0.4	24.9	11.8		0.1	6.9	0.9	1.8	10.6	0.4	9.2			
観光・その他 (n=41)	10.8	2.7	1.4	1.4	9.5	1.4	29.7	5.4		1.4	5.4	1.4		18.9		10.8			
帰省・仕事 (n=407)	7.7	4.6	0.8	2.3	12.4		33.2	5.7		0.6	6.2	0.4	2.2	16.0	0.8	7.2			
その他 (n=70)	11.8	2.5	1.7		10.9		44.5	11.8			5.0		1.7	9.2		0.8			
全体 (n=4,000)	8.6	7.0	0.8	1.8	13.3	0.2	35.1	5.9	0.0	0.3	6.4	0.5	1.8	9.3	0.7	8.2			

※ 白抜き は旅行目的で1位、太字 は同2位

・立寄観光地の延べ件数

旅行目的別に立寄った観光地をみると、“名所旧跡”が2,095件(24.3%)と最も多く、次いで、“自然見物”が1,713件(19.9%)、“食べ物”が1,500件(17.4%)、“なんとなく”が855件(9.9%)、“帰省・仕事”が777件(9.0%)と続いている。

平均立寄数は、“名所旧跡”、“自然見物”、“食べ物”が2.4件と最も多く、次いで、“神仏霊場”が2.3件、“休養”が2.2件、“アウトドア”が2.0件と続いている。

・旅行目的ごとの立寄市町村の傾向

大半の旅行目的で「高知」が最も多い割合を占めているが、“神仏霊場”は「土佐清水・大月」、「買い物」は「黒潮・四万十市」が最も多くなっている。

次いで、“名所旧跡”や“なんとなく”などは「南国・香美」が、自然見物”は「奈半利・田野等」が、“食べ物”と“休養”は「須崎・中土佐」が、“買い物”などは「いの」が、“帰省・仕事”や“アウトドア”などは「黒潮・四万十市」が、“神仏霊場”などは「東洋・室戸」が多くなっている。

- **名所旧跡**：「南国・香美」で旅行目的別の2位となっており、「高知」で全体平均を大きく上回っている。その一方で、「須崎・中土佐」や「黒潮・四万十市」などで全体平均を下回っている。
- **自然見物**：「奈半利・田野等」で旅行目的別の1位となっており、「土佐清水・大月」などで全体平均を上回っている。その一方で、「高知」、「須崎・中土佐」、「南国・香美」などで全体平均を下回っている。
- **食べ物**：「須崎・中土佐」で旅行目的別の2位となっており、「高知」と「須崎・中土佐」で全体平均を大きく上回っている。その一方で、「東洋・室戸」や「奈半利・田野等」などで全体平均を下回っている。
- **なんとなく**：「いの」や「東洋・室戸」などで全体平均を上回っている一方で、「高知」や「奈半利・田野等」などで全体平均を下回っている。
- **帰省・仕事**：「黒潮・四万十市」などで全体平均を上回っている。
- **買い物**：「いの」、「黒潮・四万十市」、「東洋・室戸」、「須崎・中土佐」で旅行目的別の1位となっている。その一方で、「高知」や「南国・香美」などで全体平均を大きく下回っている。
- **休養**：「須崎・中土佐」や「四万十町」などで旅行目的別の2位となっている。
- **神仏霊場**：「土佐清水・大月」、「宿毛・三原」、「四万十町」などで旅行目的別の1位となっており、「東洋・室戸」で2位となっている。その一方で、「高知」や「黒潮・四万十市」などで全体平均を大きく下回っている。
- **アウトドア**：「佐川・越知等」で旅行目的別の1位、「いの」で2位となっているほか、「黒潮・四万十市」や「土佐清水・大月」で全体平均を大きく上回っている。その一方で、「高知」や「南国・香美」などで全体平均を大きく下回っている。

3. 周遊ルート分析

- 報告内容について

この項目では、平成30年観光統計調査で得られた、「訪問した（する予定の）観光地」データを基に、旅行者（発地ブロック別、旅行形態別）がどのような順序でどの県内地域を観光したか、その周遊性の高いルートを分析している。

- 集計方法について

- ・ 「訪問した（する予定の）観光地」を下記の周遊7エリアで集計し、傾向の似通ったルートを抽出している。
- ・ 周遊ルートの傾向をより分かりやすくするため、訪問した周遊エリアで連続したデータは省略している。
※例 「高知市」 - 「高知市」 - 「東部」の場合、「高知市」 - 「東部」として集計。
- ・ 発地ブロック別分析では、北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外の5ブロックからは入込が少数のため、この5ブロックを合計し、“その他”として集計している。
- ・ 県内旅行者の周遊ルートは居住地や調査地等の影響を強く受けているため、全体および四国ブロックから除外し、単独で集計している。

- 周遊7エリア

東部 : 東洋町、室戸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、安芸市、芸西村、馬路村
物部川 : 香南市、南国市、香美市
高知市 : 高知市
仁淀川 : いの町、土佐市、日高村、佐川町、越知町、仁淀川町
高幡 : 須崎市、中土佐町、梶原町、津野町、四万十町
幡多 : 四万十市、黒潮町、宿毛市、三原村、土佐清水市、大月町
嶺北 : 本山町、大豊町、土佐町、大川村

● 調査結果の概要

県外旅行者全体の周遊ルート（P154）は、「高知市」のみが16.2%と最も多く、上位4位までを単一エリアで観光を終える周遊ルートが占めている。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

発地別での傾向

- **四国**：「幡多」のみと「東部」のみが多く、「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで最も少ない。（P156-157）
- **近畿**：「高知市」のみ、他エリアと「高知市」を組み合わせた周遊ルートが多くを占めている。（P158-159）
- **中国**：「高知市」と県東部の「物部川」や「東部」を組み合わせた周遊ルートが多く、「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで四国に次いで少ない。（P160-161）
- **関東**：「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで2番目に多い。「幡多」を含む周遊ルートも多い。（P162-163）
- **その他ブロック**：「高知市」のみが占める割合は県外ブロックで最も多い。「幡多」や「物部川」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートも多い。（P164-165）
- **高知県**：「東部」のみが最も多く、単一エリアで観光を終える周遊ルートで9割以上を占めている。（P166-167）

旅行形態別での傾向

- **家族**：単一エリアで観光を終える周遊ルートが大半を占め、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「高知市」と県東部の「東部」、「物部川」を組み合わせた周遊ルートも少ない。（P168-169）
- **友人・知人**：単一エリアで観光を終えるルートが半分以上を占め、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートも多い。（P170-171）
- **団体**：「高知市」のみが旅行形態別で最も多く、他エリアへの移動を伴う周遊ルートでも、「高知市」を含む周遊ルートが大半を占めている。（P172-173）
- **一人**：単一エリアで観光を終えるルートが上位6位を占め、特に「幡多」のみ、「東部」のみといった「高知市」以外のエリアが多い。他エリアへの移動を伴う周遊ルートでは、「幡多」と他エリアを組み合わせた周遊ルートが多い。（P174-175）

3-1. 発地別周遊ルート

3-1-1. 県外旅行者全体

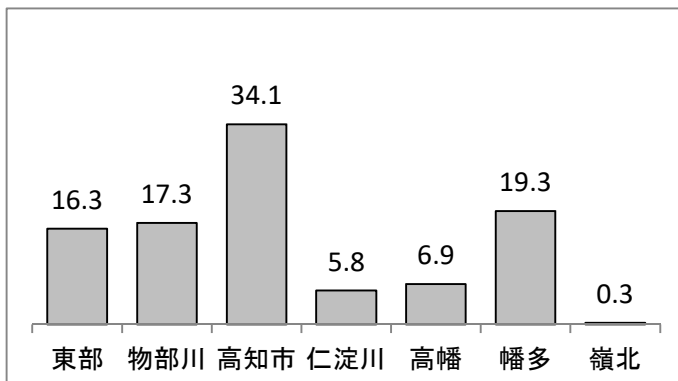
(表 3-1) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [県外全体]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					430	16.2%
幡多					331	12.5%
東部					220	8.3%
物部川					203	7.6%
物部川	→	高知市			150	5.6%
高知市	→	物部川			136	5.1%
東部	→	高知市			92	3.5%
幡多	→	高知市			83	3.1%
高幡					82	3.1%
高知市	→	東部			80	3.0%

県外旅行者 2,657 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 16.2% と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.5%、「東部」のみが 8.3%、「物部川」のみが 7.6% と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 4 位までを占めている。

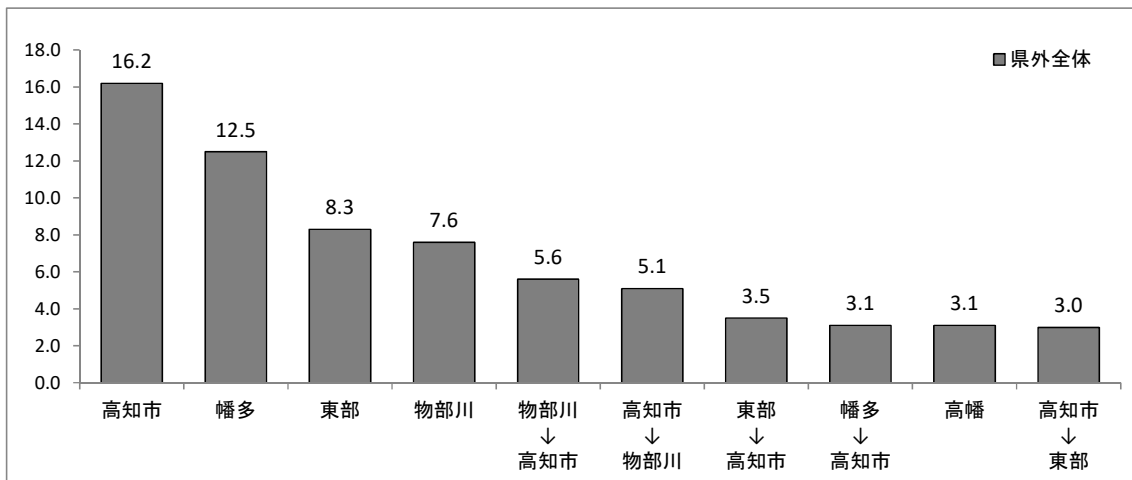
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 5.6% と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 5.1%、「東部→高知市」が 3.5%、「幡多→高知市」が 3.1% と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-1) 周遊ルート of 玄関口 (%) [県外全体]



旅行中に最初に立ち寄ったエリアは、「高知市」が 34.1% と最も多く、次いで「幡多」が 19.3%、「物部川」が 17.3%、「東部」が 16.3%、「高幡」が 6.9%、「仁淀川」が 5.8%、「嶺北」が 0.3% と続いている。

(図 3-2) 周遊ルート上位 10 位 (%) [県外全体]



3-1-2. 四国

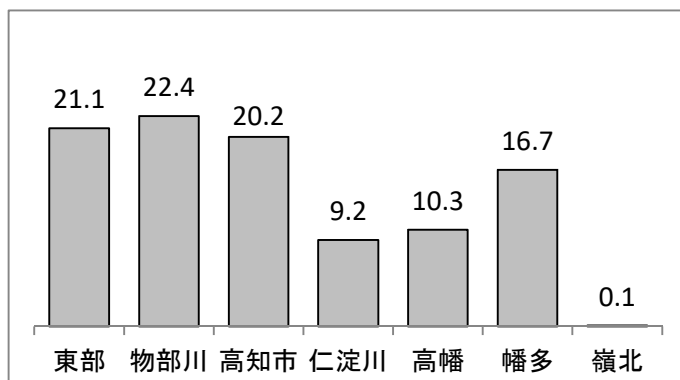
(表 3-2)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [四国 3 県]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
幡多	142	14.3%
東部	141	14.2%
物部川	126	12.7%
高知市	103	10.4%
高幡	58	5.8%
物部川 → 高知市	57	5.7%
仁淀川	43	4.3%
高知市 → 物部川	40	4.0%
東部 → 高知市	30	3.0%
仁淀川 → 高知市	29	2.9%

高知県をのぞく四国 3 県の旅行者 995 組の周遊ルートを見ると、「幡多」のみで観光を終える割合が 14.3%と最も多く、次いで、「東部」のみが 14.2%、「物部川」のみが 12.7%、「高知市」のみが 10.4%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 5 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 5.7%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.0%、「東部→高知市」が 3.0%、「仁淀川→高知市」が 2.9%と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

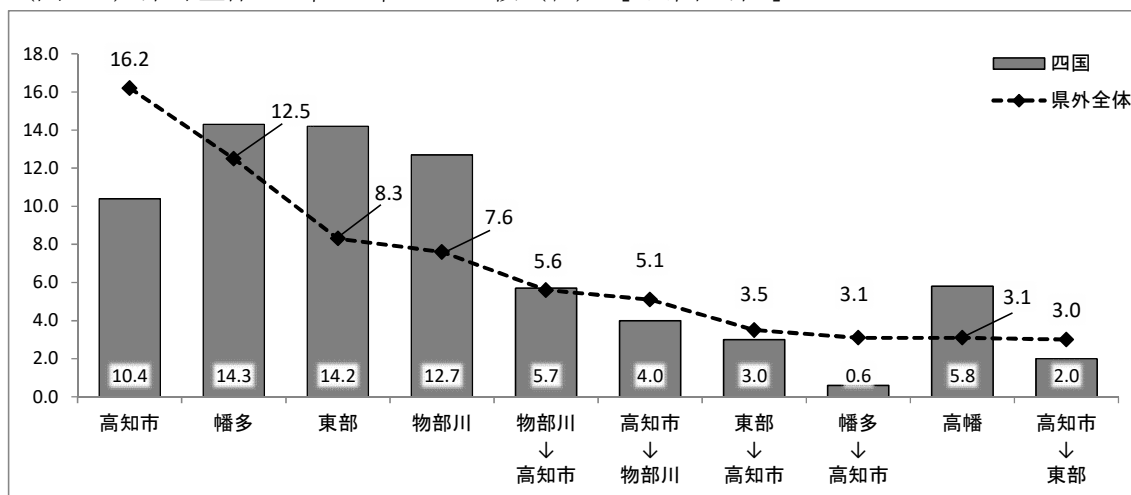
(図 3-3) 周遊ルートの玄関口 (%) [四国 3 県]



旅行中に最初に立ち寄った周遊エリアは、「物部川」が 22.4%と最も多く、次いで、「東部」が 21.1%、「高知市」が 20.2%、「幡多」が 16.7%、「高幡」が 10.3%、「仁淀川」が 9.2%、「嶺北」が 0.1%と続いている。

なお、「物部川」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-4) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [四国 3 県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って多くなっている。その一方で、「高知市」のみ、「高知市」からいずれかのエリアに移動する周遊ルート、「幡多→高知市」が少なくなっている。

3-1-3. 近畿

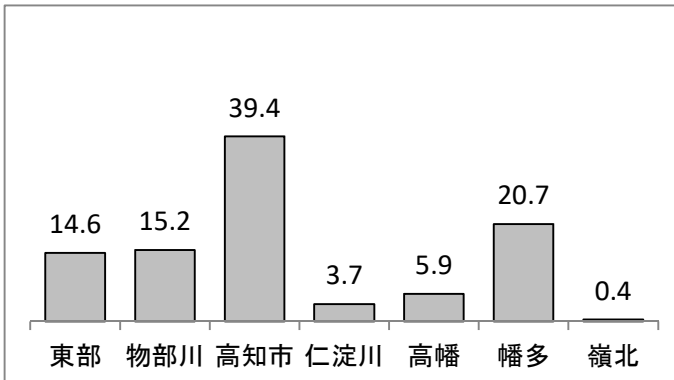
(表 3-3)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [近畿]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	122	17.2%
幡多	86	12.1%
高知市 → 物部川	41	5.8%
物部川 → 高知市	40	5.6%
東部	37	5.2%
物部川	35	4.9%
幡多 → 高知市	29	4.1%
東部 → 高知市	28	3.9%
高知市 → 東部	28	3.9%
高知市 → 幡多	21	3.0%

近畿ブロックの旅行者 710 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 17.2%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.1%、「高知市→物部川」が 5.8%、「物部川→高知市」が 5.6%と続いている。

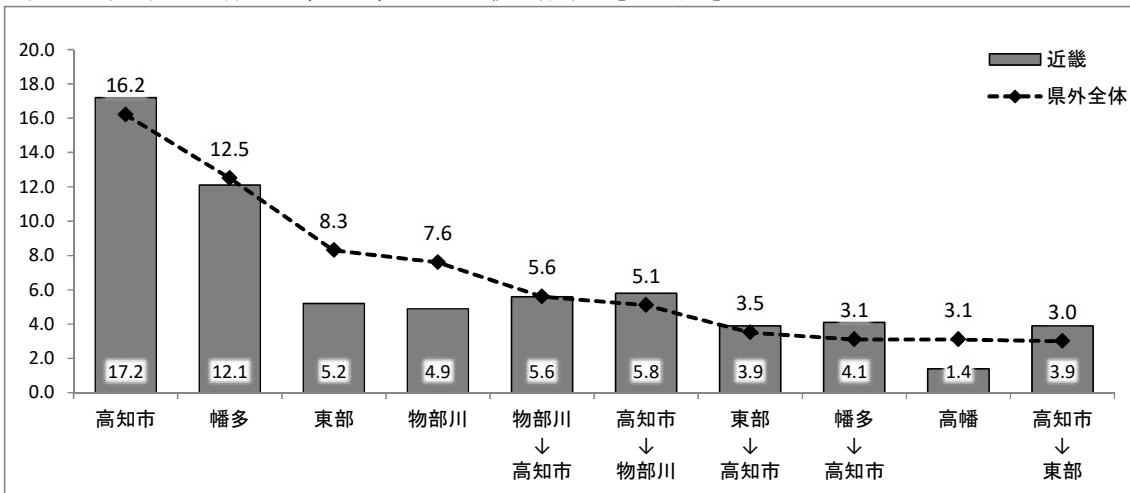
他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」が 5.8%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」が 5.6%、「幡多→高知市」が 4.1%、「東部→高知市」が 3.9%と続いております、「高知市」と「物部川」、「幡多」、「東部」の各エリアを組み合わせた周遊ルートが上位を占めている。

(図 3-5)周遊ルート of 玄関口 (%) [近畿]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 39.4%と最も多く、次いで、「幡多」が 20.7%、「物部川」が 15.2%、「東部」が 14.6%、「高幡」が 5.9%、「仁淀川」が 3.7%、「嶺北」が 0.4%と続いている。

(図 3-6) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [近畿]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが目立って少なくなっている。

3-1-4. 中国

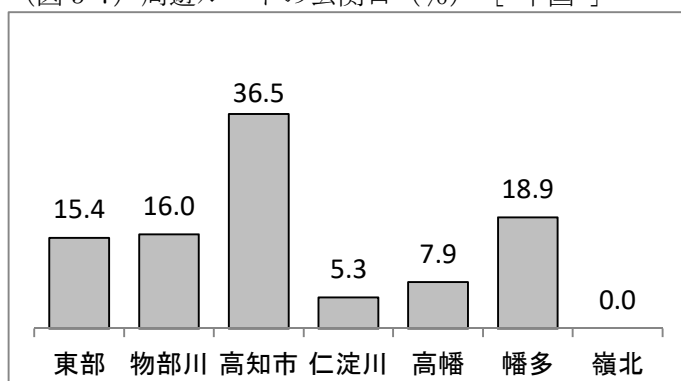
(表 3-4)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [中国]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					47	14.8%
幡多					42	13.2%
高知市	→	物部川			31	9.7%
東部					25	7.9%
物部川	→	高知市			23	7.2%
物部川					16	5.0%
高知市	→	東部			16	5.0%
東部	→	高知市			13	4.1%
高幡					10	3.1%
高知市	→	幡多			9	2.8%

中国ブロックの旅行者 318 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 14.8%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 13.2%、「高知市→物部川」が 9.7%、「東部」のみが 7.9%と続いている。

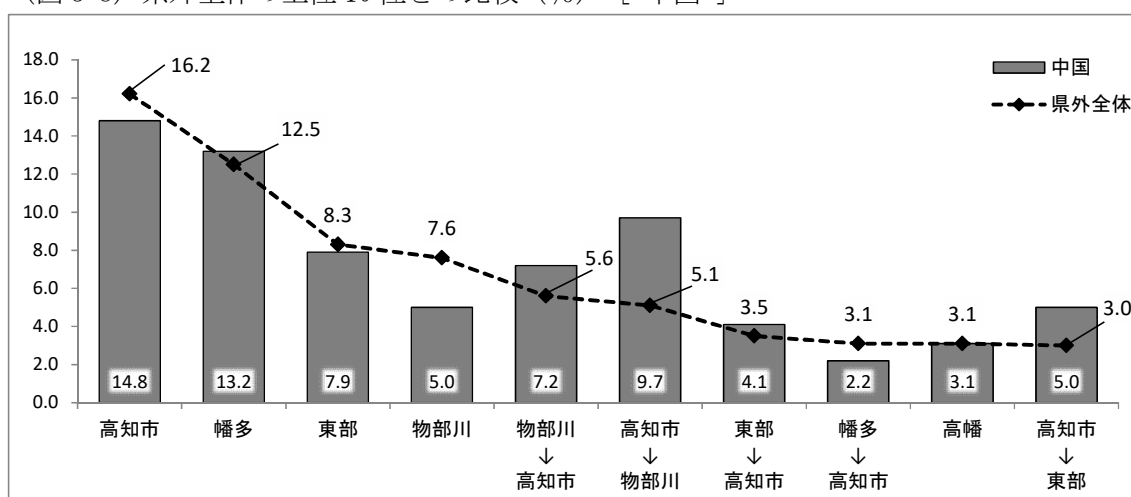
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→物部川」が 9.7%と最も多く、次いで、「物部川→高知市」が 7.2%、「高知市→東部」が 5.0%、「東部→高知市」が 4.1%と続いており、「高知市」と県東部のエリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

(図 3-7) 周遊ルート of 玄関口 (%) [中国]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 36.5% と最も多く、次いで、「幡多」が 18.9%、「物部川」が 16.0%、「東部」が 15.4%、「高幡」が 7.9%、「仁淀川」が 5.3% と続いている。

(図 3-8) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [中国]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「物部川」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートと、「高知市→東部」が目立って多くなっている。その一方で、「高知市」のみと「物部川」のみが目立って少なくなっている。

3-1-5. 関東

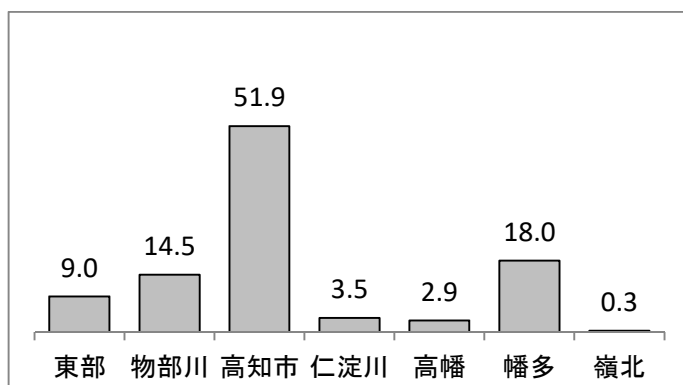
(表 3-5)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [関東]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					85	24.6%
幡多					25	7.2%
幡多	→	高知市			22	6.4%
高知市	→	幡多			19	5.5%
物部川					18	5.2%
物部川	→	高知市			17	4.9%
高知市	→	東部			12	3.5%
高知市	→	物部川			10	2.9%
高知市	→	仁淀川			10	2.9%
東部	→	高知市			9	2.6%

関東ブロックの旅行者 345 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 24.6%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 7.2%、「幡多→高知市」が 6.4%、「高知市→幡多」が 5.5%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「幡多→高知市」が 6.4%と最も多く、次いで、「高知市→幡多」が 5.5%、「物部川→高知市」が 4.9%、「高知市→東部」が 3.5%と続いており、「幡多」と「高知市」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

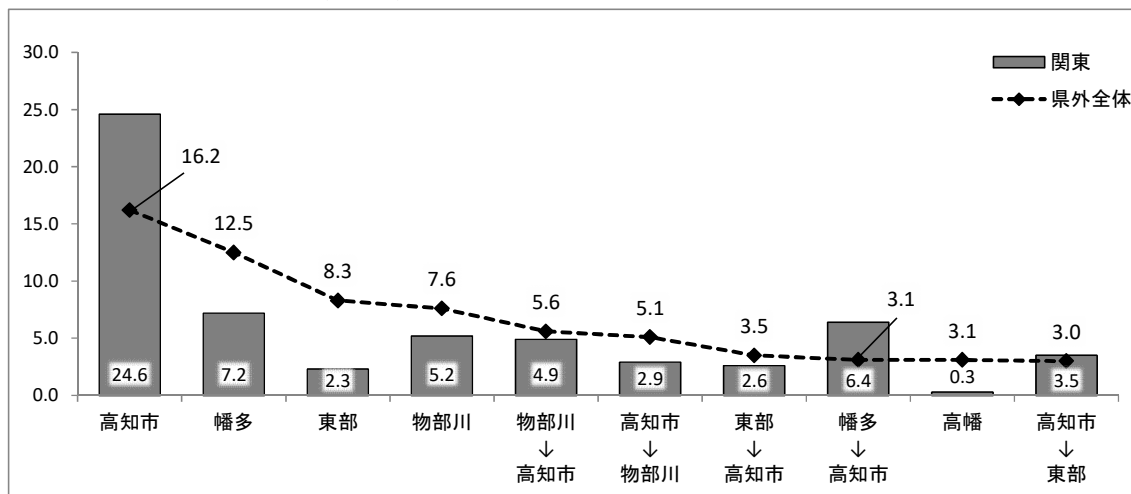
(図 3-9) 周遊ルートの玄関口 (%) [関東]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 51.9%と最も多く、次いで「幡多」が 18.0%、「物部川」が 14.5%、「東部」が 9.0%、「仁淀川」が 3.5%、「高幡」が 2.9%、「嶺北」が 0.3%と続いている。

なお、「高知市」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-10) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [関東]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートと「幡多→高知市」が県外全体を大きく上回っている。その一方で、「高知市」をのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートは目立って少なくなっている。

3-1-6. その他（北海道・東北、北陸・新潟、甲信・東海、九州・沖縄、海外）

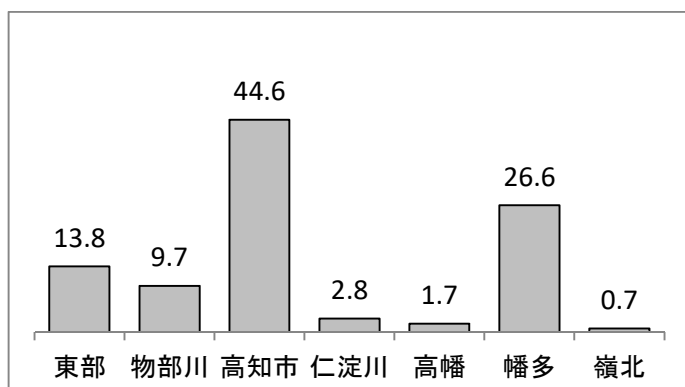
(表 3-6)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [その他]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					73	25.3%
幡多					36	12.5%
高知市	→	幡多			20	6.9%
幡多	→	高知市			19	6.6%
高知市	→	物部川			14	4.8%
物部川	→	高知市			13	4.5%
東部	→	高知市			12	4.2%
東部					9	3.1%
物部川					8	2.8%
東部	→	高知市	→	幡多	6	2.1%

その他 5 ブロックの旅行者 289 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 25.3%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.5%、「高知市→幡多」が 6.9%、「幡多→高知市」が 6.6%と続いている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高知市→幡多」が 6.9%と最も多く、次いで、「幡多→高知市」が 6.6%、「高知市→物部川」が 4.8%、「物部川→高知市」が 4.5%と続いており、「高知市」と「幡多」、「高知市」と「物部川」を組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

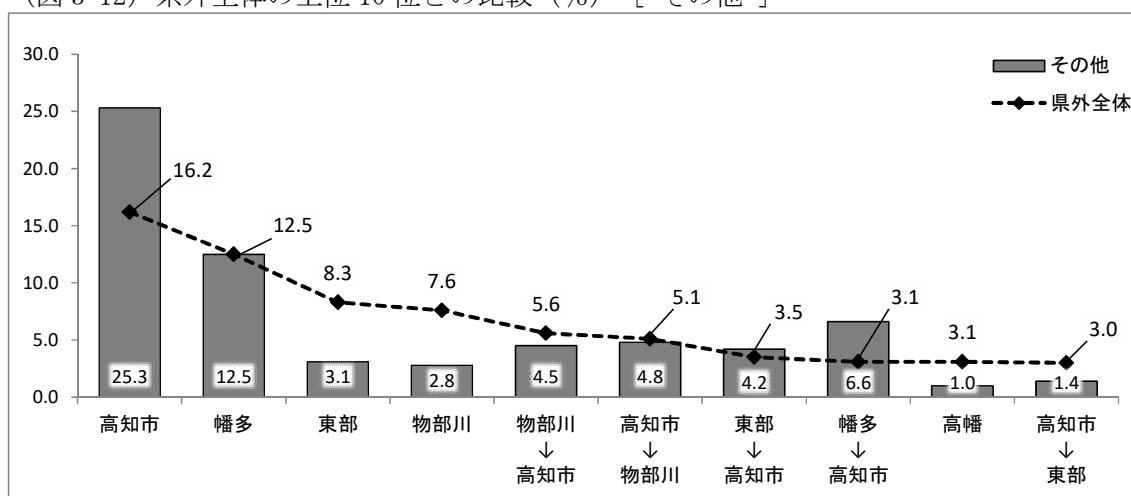
(図 3-11) 周遊ルートの玄関口 (%) [その他]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 44.6%と最も多く、次いで、「幡多」が 26.6%、「東部」が 13.8%、「物部川」が 9.7%、「仁淀川」が 2.8%、「高幡」が 1.7%、「嶺北」が 0.7%と続いている。

なお、「幡多」と「嶺北」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176: 参考 1)。

(図 3-12) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [その他]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみで観光を終える周遊ルートが県外全体を大きく上回っており、「幡多→高知市」も多くなっている。その一方で、「東部」のみ、「物部川」のみが県外全体を大きく下回っている。

3-1-7. 高知県

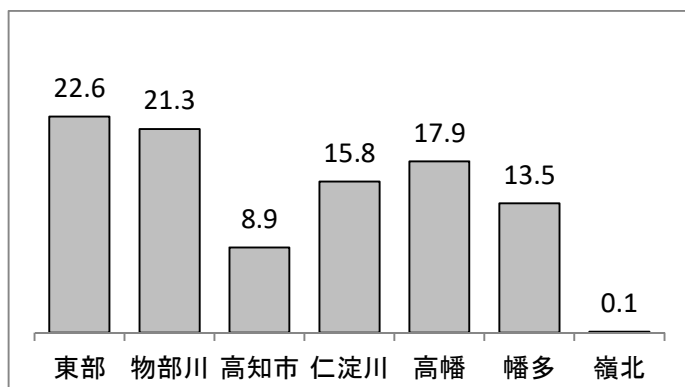
(表 3-7)周遊ルート上位 10 位 (件・%) [県内]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
東部					286	21.3%
物部川					262	19.5%
高幡					216	16.1%
仁淀川					199	14.8%
幡多					164	12.2%
高知市					108	8.0%
高幡	→	幡多			19	1.4%
幡多	→	高幡			13	1.0%
物部川	→	東部			11	0.8%
東部	→	物部川			10	0.7%

県内旅行者 1,343 組の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 21.3%と最も多く、次いで、「物部川」のみが 19.5%、「高幡」のみが 16.1%、「仁淀川」のみが 14.8%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位まで、割合では 91.9%と大半を占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡→幡多」が 1.4%と最も多く、次いで、「幡多→高幡」が 1.0%、「物部川→東部」が 0.8%、「東部→物部川」が 0.7%と続いており、隣り合ったエリアを組み合わせた周遊ルートが多いものの、その割合はいずれも非常に少なくなっている。

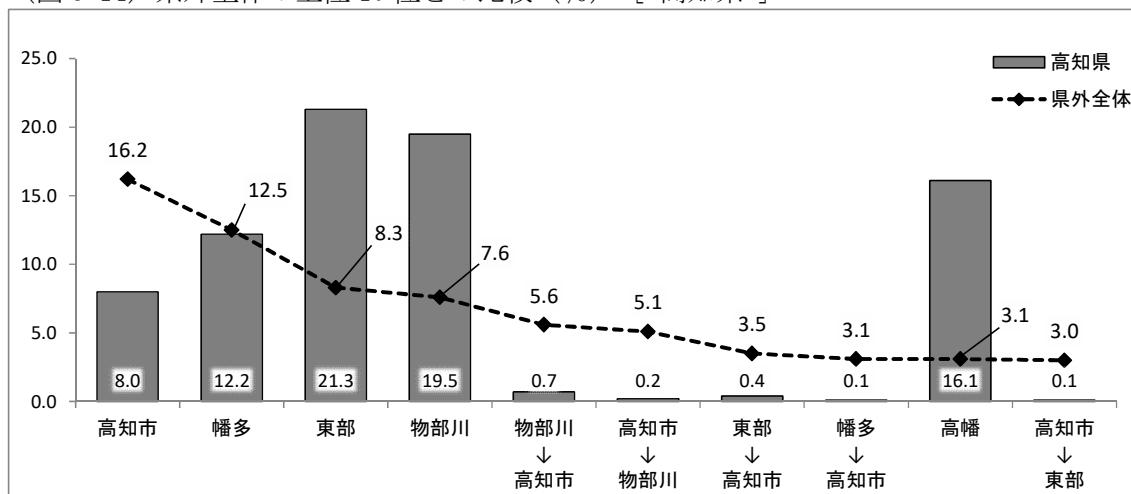
(図 3-13) 周遊ルートの玄関口 (%) [高知県]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が22.6%と最も多く、次いで、「物部川」が21.3%、「高幡」が17.9%、「仁淀川」が15.8%、「幡多」が13.5%、「高知市」が8.9%、「嶺北」が0.1%と続いている。

なお、「東部」、「仁淀川」、「高幡」の割合が発地ブロック別で最も多くなっている (P176: 参考 1)。

(図 3-14) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [高知県]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」、「高幡」の単一エリアで観光を終える周遊ルートが県外全体を大きく上回っており、その反面、「高知市」のみが大きく下回っている。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートも県外全体と比べ、目立って少なくなっている。

3-2. 旅行形態別周遊ルート

3-2-1. 家族

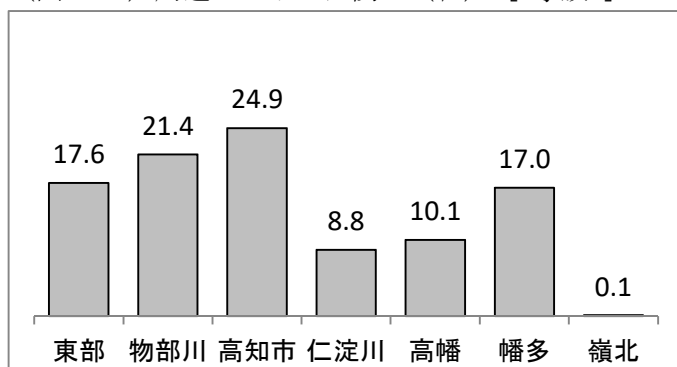
(表 3-8) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [家族]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
物部川	364	13.6%
幡多	326	12.2%
高知市	321	12.0%
東部	317	11.9%
高幡	193	7.2%
仁淀川	164	6.1%
物部川 → 高知市	123	4.6%
高知市 → 物部川	110	4.1%
東部 → 高知市	71	2.7%
高知市 → 東部	57	2.1%

家族旅行 2,674 組の周遊ルートを見ると、「物部川」のみで観光を終える割合が 13.6%と最も多く、次いで、「幡多」のみが 12.2%、「高知市」のみが 12.0%、「東部」のみが 11.9%と続いており、単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 4.6%と最も多く、次いで、「高知市→物部川」が 4.1%、「東部→高知市」が 2.7%、「高知市→東部」が 2.1%と続いており、「高知市」と県東部のエリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

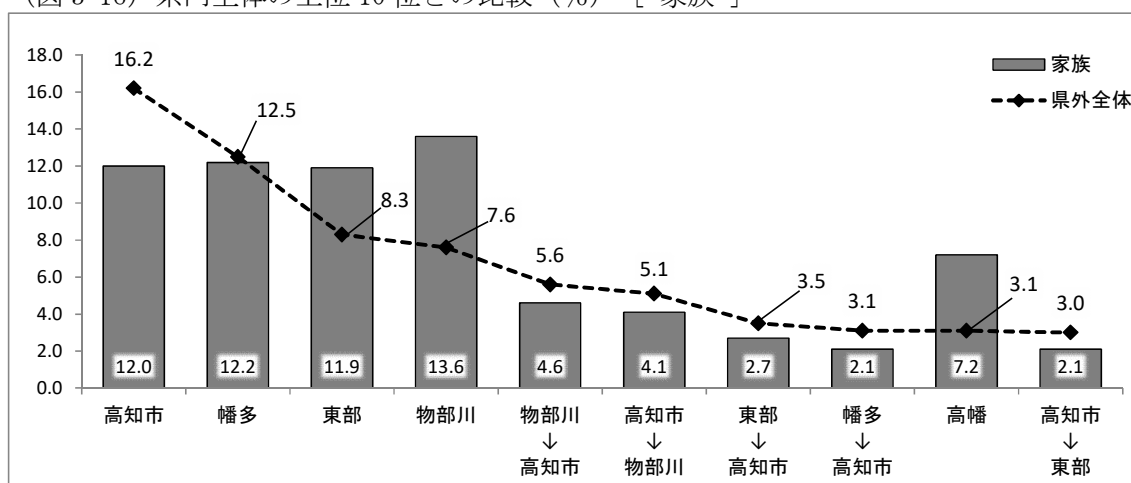
(図 3-15) 周遊ルートの玄関口 (%) [家族]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 24.9%と最も多く、次いで、「物部川」が 21.4%、「東部」が 17.6%、「幡多」が 17.0%、「高幡」が 10.1%、「仁淀川」が 8.8%、「嶺北」が 0.1%と続いている。

なお、「物部川」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-16) 県内全体の上位 10 位との比較 (%) [家族]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「物部川」、「高幡」の単一エリアで観光を終える割合が県外全体を大きく上回っている。その一方で、「高知市」のみや、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが少なくなっている。

3-2-2. 友人・知人

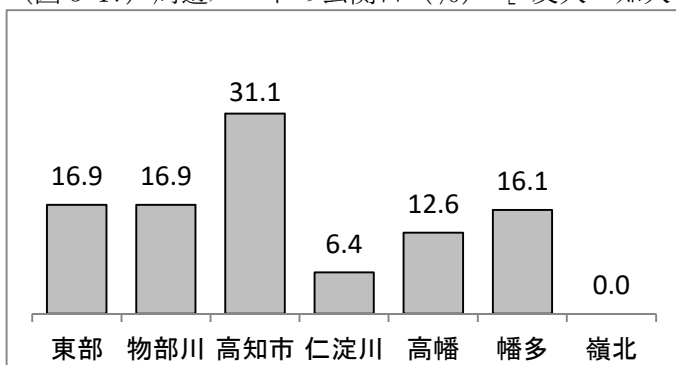
(表 3-9) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [友人・知人]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	組数	割合
高知市					107	17.1%
東部					74	11.8%
幡多					66	10.5%
物部川					60	9.6%
高幡					56	8.9%
仁淀川					24	3.8%
物部川	→	高知市			23	3.7%
高知市	→	物部川			21	3.3%
幡多	→	高知市			18	2.9%
東部	→	高知市			17	2.7%

友人・知人との旅行者 627 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 17.1%と最も多く、次いで、「東部」のみが 11.8%、「幡多」のみが 10.5%、「物部川」のみが 9.6%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 3.7%と最も多く、「高知市→物部川」が 3.3%、「幡多→高知市」が 2.9%、「東部→高知市」が 2.7%と続いており、いずれかのエリアから「高知市」へ移動する周遊ルートが多くなっている。

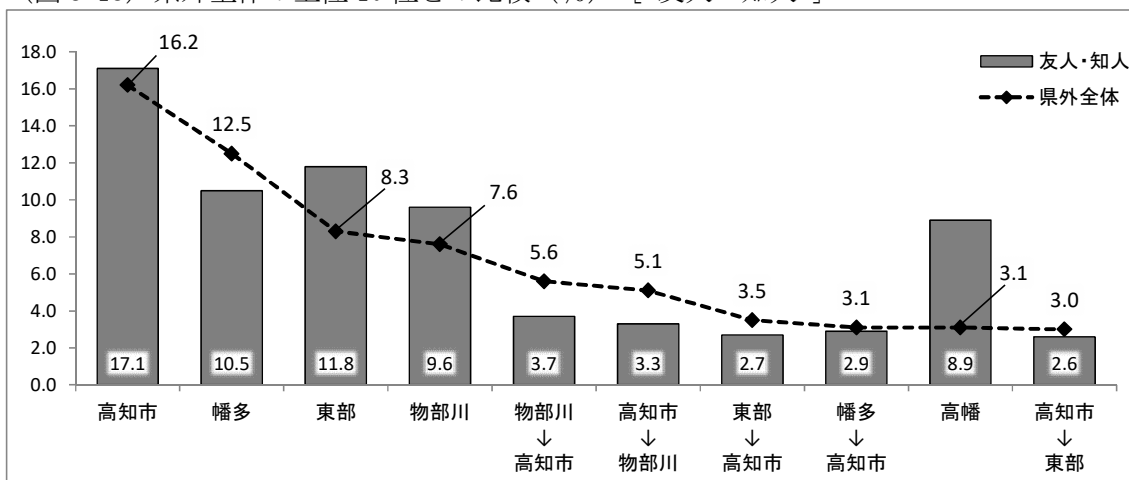
(図 3-17) 周遊ルートの玄関口 (%) [友人・知人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が 31.1% と最も多く、次いで、「東部」と「物部川」がそれぞれ 16.9%、「幡多」が 16.1%、「高幡」が 12.6%、「仁淀川」が 6.4% と続いている。

なお、「高幡」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-18) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [友人・知人]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「幡多」のみをのぞく単一エリアで観光を終える周遊ルートが県外全体を上回っている。その一方で、「幡多」のみ、「物部川」や「高知市」を組み合わせた周遊ルートが少なくなっている。

3-2-3. 団体

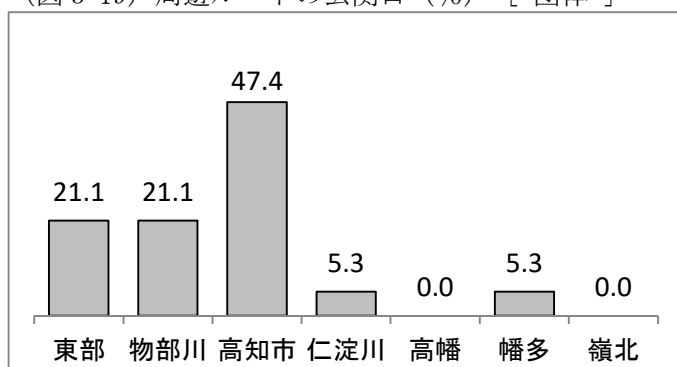
(表 3-10) 周遊ルート上位 8 位 (件・%) [団体]

周遊1 → 周遊2 → 周遊3	組数	割合
高知市	13	34.2%
東部	5	13.2%
物部川	3	7.9%
物部川 → 高知市	3	7.9%
仁淀川	2	5.3%
東部 → 高知市	2	5.3%
高知市 → 幡多	2	5.3%
(※対象多数のため略)	1	2.6%

団体旅行 38 組の周遊ルートを見ると、「高知市」のみで観光を終える割合が 34.2%と最も多く、次いで「東部」のみが 13.2%、「物部川」のみと「物部川→高知市」がそれぞれ 7.9%と続いている。

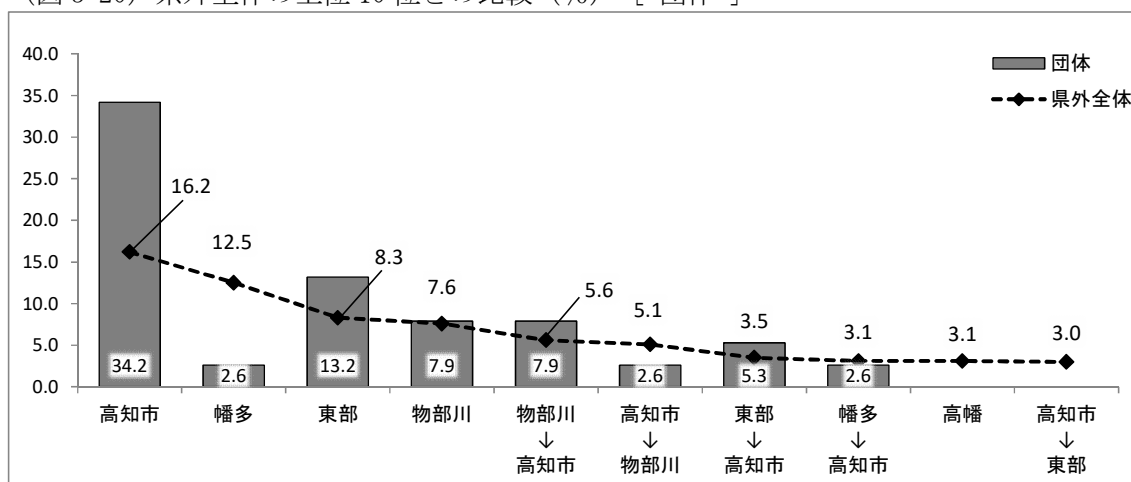
また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「物部川→高知市」が 7.9%と最も多く、次いで、「東部→高知市」と「高知市→幡多」がそれぞれ 5.3%と続いている。

(図 3-19) 周遊ルートの玄関口 (%) [団体]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「高知市」が47.4%と最も多く、次いで、「東部」と「物部川」がそれぞれ21.1%、「仁淀川」と「幡多」がそれぞれ5.3%と続いている。なお、「高知市」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考1)。

(図 3-20) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [団体]



県外全体の上位 10 位との比較をみると、「高知市」のみや「東部のみ」が目立って多くなっている。

3-2-4. 一人

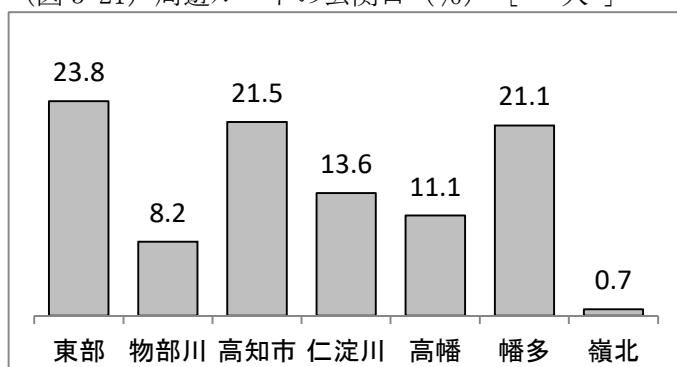
(表 3-11) 周遊ルート上位 10 位 (件・%) [一人]

周遊1	→	周遊2	→	周遊3	人数	割合
東部					105	17.2%
幡多					98	16.1%
高知市					86	14.1%
仁淀川					68	11.1%
高幡					44	7.2%
物部川					30	4.9%
高幡	→	幡多			17	2.8%
高知市	→	幡多			13	2.1%
幡多	→	高知市			10	1.6%
幡多	→	高幡			10	1.6%

一人旅の旅行者 610 人の周遊ルートを見ると、「東部」のみで観光を終える割合が 17.2% と最も多く、次いで、「幡多」のみが 16.1%、「高知市」のみが 14.1%、「仁淀川」のみが 11.1%と続いている。単一エリアで観光を終える周遊ルートが上位 6 位までを占めている。

また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートを見ると、「高幡→幡多」が 2.8%と最も多く、次いで、「高知市→幡多」が 2.1%、「幡多→高知市」と「幡多→高幡」がそれぞれ 1.6%と続いている、「幡多」と他エリアを組み合わせた周遊ルートが多くなっている。

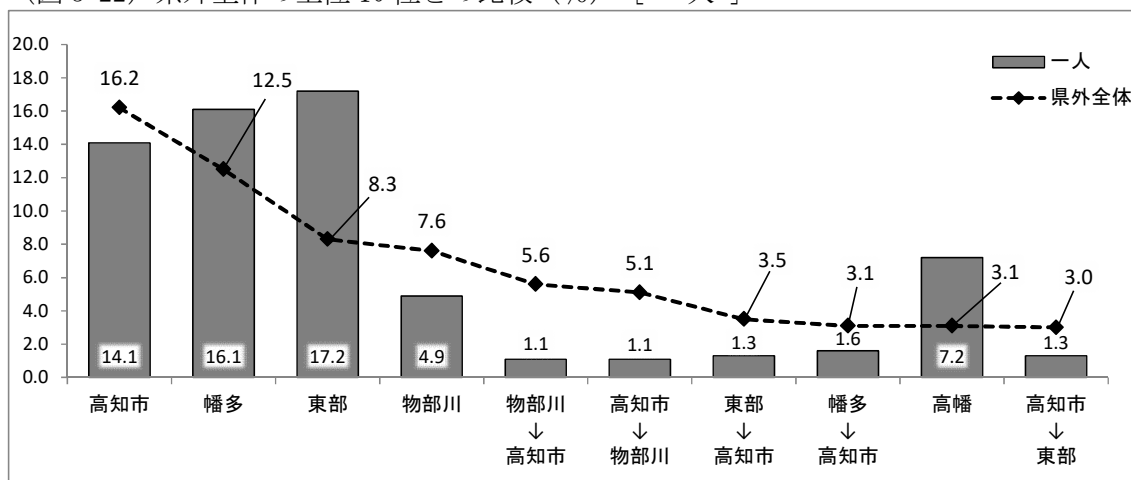
(図 3-21) 周遊ルートの玄関口 (%) [一人]



旅行中に最初に立ち寄った地域は、「東部」が 23.8%と最も多く、次いで、「高知市」が 21.5%、「幡多」が 21.1%、「仁淀川」が 13.6%、「高幡」が 11.1%、「物部川」が 8.2%、「嶺北」が 0.7%と続いている。

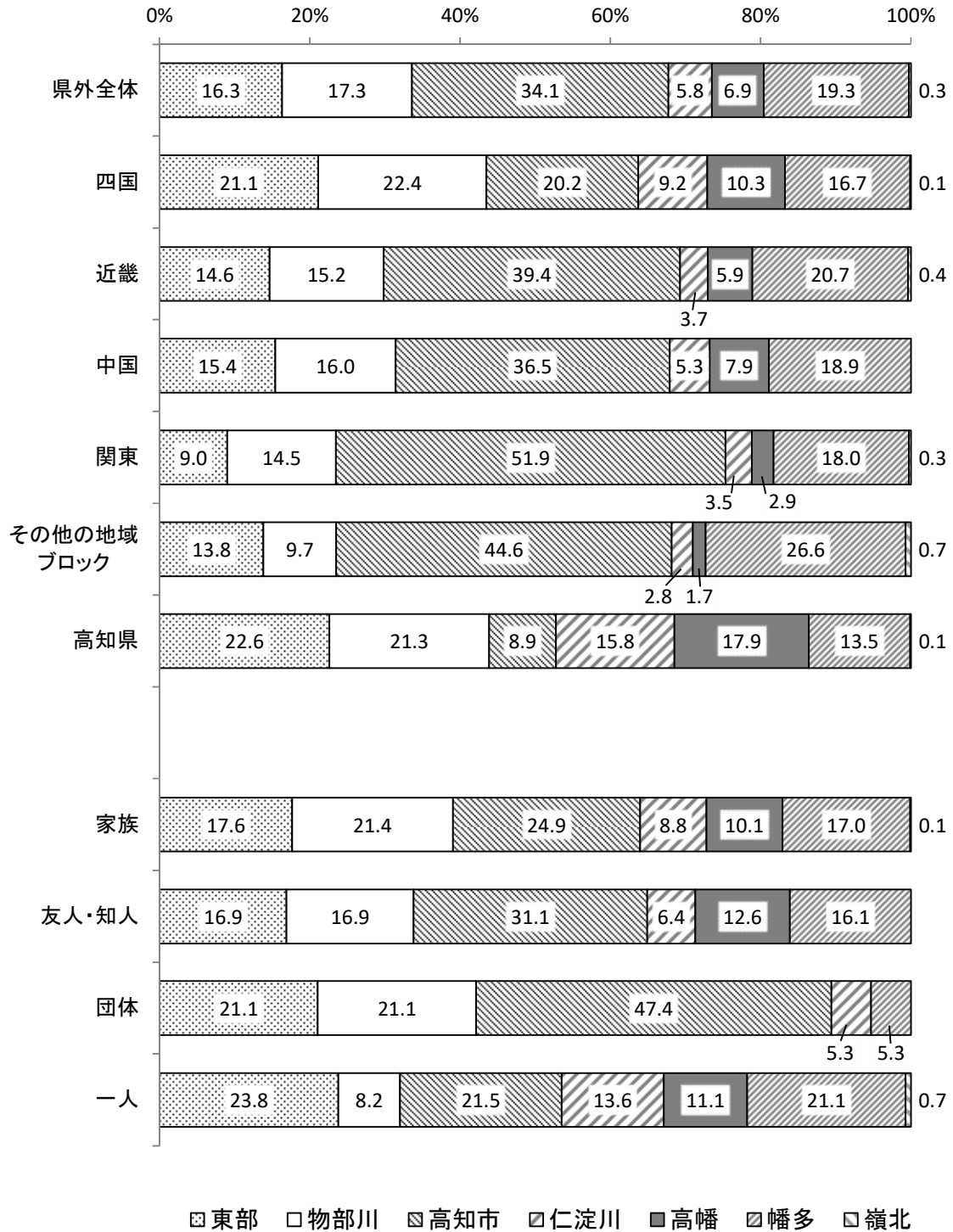
なお、「東部」、「仁淀川」、「幡多」、「嶺北」の割合が旅行形態別で最も多くなっている (P176 : 参考 1)。

(図 3-22) 県外全体の上位 10 位との比較 (%) [一人]

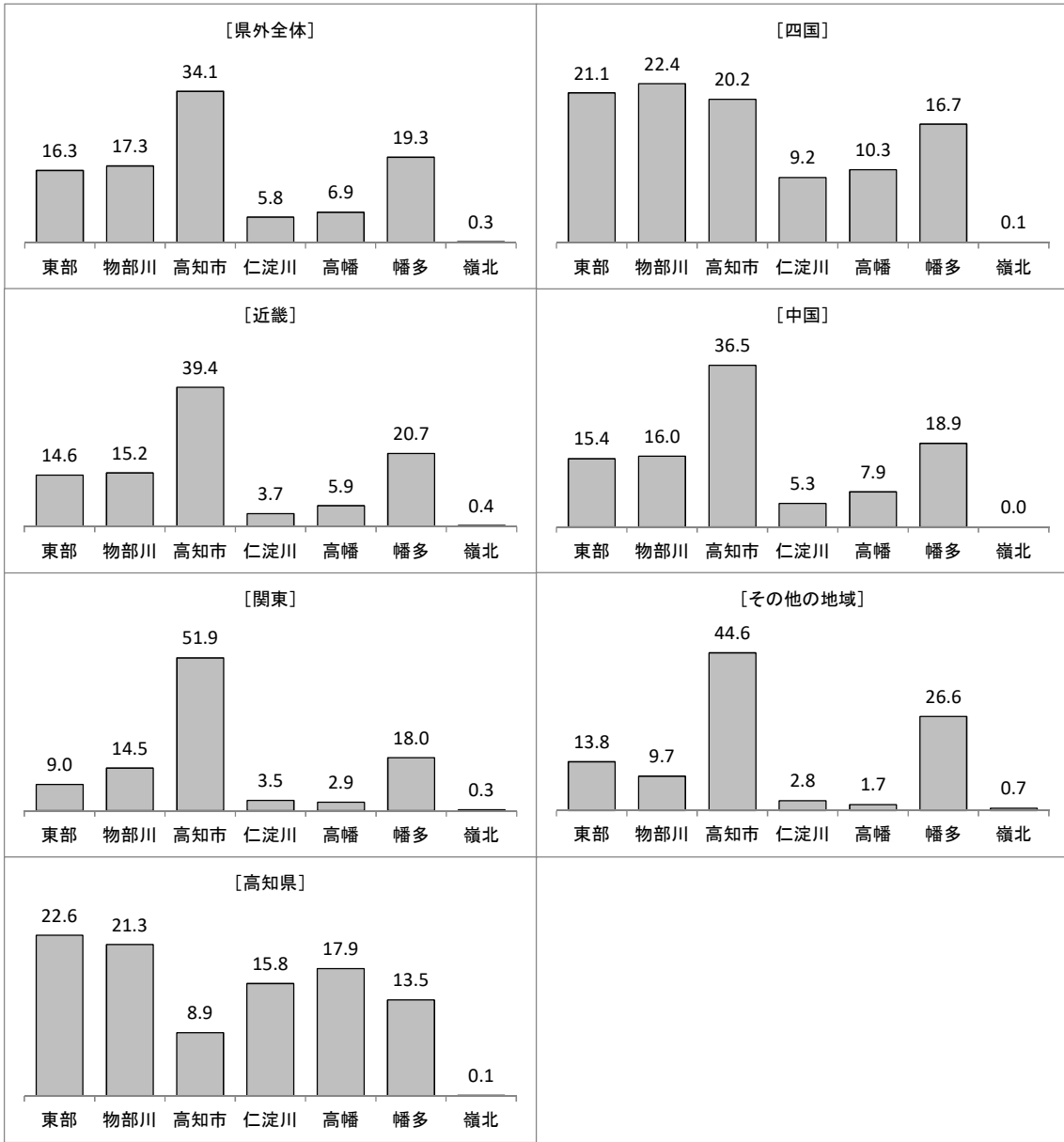


県外全体の上位 10 位との比較をみると、「東部」、「幡多」、「高幡」の単一エリアで観光を終える割合が県外全体を大きく上回っている一方で、「高知市」のみと「物部川」のみが大きく下回っており、エリアによって傾向に差が見られる。また、他エリアへの移動を伴う周遊ルートが目立って少なくなっている。

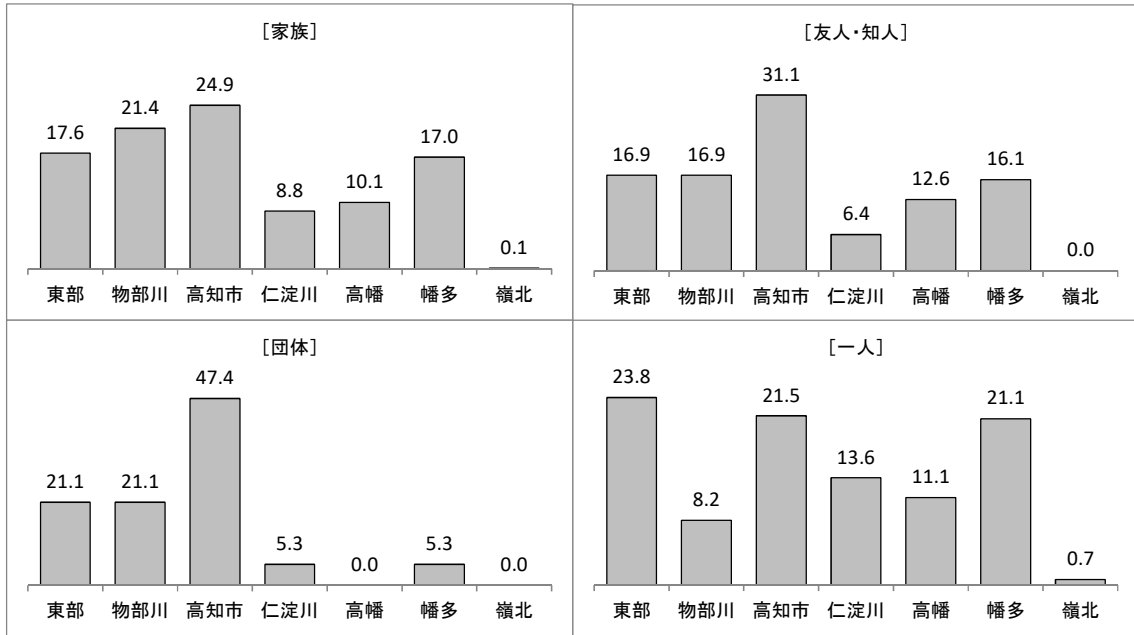
(参考 1) 発地ブロック別・周遊旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考2)発地ブロック別周遊ルート of 玄関口 (%)



(参考 3) 旅行形態別周遊ルート of 玄関口 (%)



VIII 参考資料（市町村報告分）

1 祭り・イベントの入込状況

市町村名	祭り・イベント名	平成30年開催日	平成30年入込数(単位:人)
高知市	南国土佐皿鉢祭	3/4	36,000
	高知城花回廊	4/6～4/8	52,000
	こうち春花まつり	5/3～5/5	157,500
	よさこい祭り	8/9～8/12	1,150,000
	高知市納涼花火大会	8/9	56,000
	龍馬まつり	11/18	9,000
	梅まつり	2/17～3/18	6,713
室戸市	ふるさと室戸まつり	7/15	3,500
	室戸市産業祭	10/28	3,200
	灯台まつり	11/3～4	681
安芸市	手づくり登り窯フェスタ	4/21～4/22	2,000
	安芸市納涼市民祭	8/4～8/5	20,000
南国市	南国グルメ、はしごでGO!	11/2～11/11	2,342
	土佐の食1グランプリ	3/31～4/1	9,000
	ごめんの軽トラ市	5/27	1,300
	ごめんの軽トラ市	11/4	2,000
	ごめんの軽トラ市	2/10	1,500
土佐市	宇佐大鍋まつり	5/3	3,800
	蓮池ハスまつり	7/1	1,800
	宇佐港まつり	8/11	13,000
	大綱まつり	8/18	14,000
須崎市	桑田山雪割桜	2～3月	12,000
	須崎まつり	8/3～8/5	20,000
	須崎市ドラゴンカヌー大会	8/5	1,400
	新子まつり	9/1～9/2	8,000
	海の駅・須崎の魚祭り	11/11	6,000
宿毛市	市民祭宿毛まつり	10/6～10/8(10/6は中止)	6,500
	寒蘭の里 とさ宿毛展示大会	11/10～11/11	400
	宿毛まるごと産業祭	4/29	5,000
土佐清水市	あしずり祭	8/4	45,000
	産業祭	12/1～12/2	17,532
四万十市	四万十川花紀行 菜の花まつり	3月上旬～3月下旬 (催物:3/10～4/1の土日祝日)	11,818
	四万十川花紀行 桜まつり	3月下旬～4月上旬	5,000
	納涼花火大会	8/25	50,000
	大文字送り火	8/26	400
	不破八幡宮大祭	9/15～9/16	4,000
	一條神社大祭	11/22～11/24	37,000
香南市	どろめ祭り	4/29	10,000
	絵金祭り	7/21～7/22	15,000
	冬の夏祭り	12/1～12/2	14,000
	香南市みなこい港まつり	中止(花火大会のみ8/5開催)	5,000
	手結盆踊り	8/15	5,000
	マリンフェスティバルYASU	7/15	3,000
	海辺のイルミネーション	12/1～12/30	入込数調査行っていない

市町村名	祭り・イベント名	平成30年開催日	平成30年入込数(単位:人)
香 美 市	桜まつり	3/24~4/8	10,000
	土佐山田まつり	8/5	5,000
	刃物まつり	10/20~21	20,000
	川上様夏祭り	7/27	3,500
	川上様秋祭り	11/3	2,000
	奥物部湖水祭	8/14	4,000
東 洋 町	東洋町納涼祭	7/28	2,000
奈 半 利 町	奈半利町港まつり	8/16	10,000
田 野 町	みんなの夏まつり	8/15	1,200
安 田 町	唐浜駅まつり	7/7(雨天のため中止)	0
	安田の夢まつり	8/11	1,200
	なかやま山芋まつり	12/9	2,000
芸 西 村	琴ヶ浜松原観月の宴	9/24(天候不良のため中止)	0
	芸西フェスタ	11/18	1,280
	カシオワールドオープン	11/22~11/25	11,821
	琴ヶ浜竹灯りの宵	10/13	1,822
本 山 町	もとやま花まつり	3/25~5/7	3,800
大 豊 町	福寿草まつり	2/15~3/3	1,861
土 佐 町	やまびこカーニバル	8/4	2,200
大 川 村	謝肉祭	11/3	1,500
い の 町	仁淀川紙のこいのぼり	5/3~5/5	12,000
	いの大国様春大祭	3/4	65,000
	ほのほの王国もみじまつり	11/11	入込数調査行っていない
仁 淀 川 町	秋葉まつり	2/11	10,000
	茶霧湖まつり	8/16(台風のため中止)	0
中 土 佐 町	かつお祭	5/20	17,000
	久礼八幡宮大祭	9/23~9/24	12,000
	上ノ加江黒潮ふれあい祭り	11/18	1,200
佐 川 町	さくらまつり	3/25~4/7	2,500
越 知 町	によどかあにぼる	7/28	4,000
	コスモスまつり	10/7~10/21	60,000
	ぼんぼり桜まつり	3/31	1,500
日 高 村	目高大池アジサイ祭り	6/10	30
	ひだか茂平マラソン	11/25	2,000
津 野 町	津野町ふれあい特産市	5/27	2,500
	津野町夏まつり	8/15	2,000
	津野町産業祭	11/25	2,000
四 万 十 町	台地まつり・谷干城まつり	11/10~11/11	3,000
	米・こめフェスタ	11/4	18,000
	四万十大正あゆまつり	8/19	2,509
	こいのぼりの川渡し	4/15~5/11	3,500
	「よってこい四万十」こいのぼり交流の集い	5/3	4,000
大 月 町	大月まつり	8/18	3,000
	大月町産業祭	11/3	8,000
三 原 村	清流まつり	7/15	300
	みはら祭り	8/15 (荒天により一部中止、会場変更)	800
	ヒメノボタンの里めぐり	9/8(荒天により一部中止)	50
	どぶろく祭り	11/3	3,500
黒 潮 町	とさ佐賀のもどりガツオ祭	10/13	18,000
	Tシャツアート展	5/2~5/7	30,263
	高知大方シーサイドはだしマラソン全国大会	5/3	1,440
	シーサイドギャラリー夏(花火大会他)	8/15(中止)	0

2 道の駅・朝市・市場利用状況

※朝市・市場は、地元以外からの集客が見込まれるもので、観光の対象として取り扱っているものを掲載。

(道の駅)

(単位:人)

市町村名	名称	平成30年入込数	平成29年入込数	対前年比(%)
室戸市	道の駅「キラメッセ室戸」	337,379	324,776	103.9%
安芸市	道の駅「大山」	27,542	19,469	141.5%
南国市	道の駅「南国 風良里」	329,783	346,340	95.2%
須崎市	道の駅「かわうその里すさき」	364,137	397,437	91.6%
宿毛市	道の駅「すくも(サニーサイドパーク)」	83,400	96,200	86.7%
土佐清水市	道の駅「メジカの里土佐清水」	54,037	49,371	109.5%
四万十市	道の駅 よって西土佐	185,882	187,444	99.2%
香南市	道の駅「やす」	285,717	303,801	94.0%
香美市	道の駅 美良布	138,128	156,508	88.3%
東洋町	海の駅 東洋町	176,716	184,175	96.0%
田野町	道の駅「田野駅屋」	217,423	215,661	100.8%
大豊町	道の駅「大杉」	30,886	22,271	138.7%
土佐町	道の駅「土佐さめうら」	51,284	23,501	218.2%
いの町	道の駅「木の香」	52,761	49,492	106.6%
	道の駅「633美の里」	105,988	108,860	97.4%
	道の駅「土佐和紙工芸村」	85,018	85,908	99.0%
中土佐町	道の駅 なかとさ	280,550	203,114	138.1%
梶原町	道の駅「ゆすはら(太郎川公園)」	105,814	97,677	108.3%
津野町	道の駅「布施ヶ坂」	135,526	142,553	95.1%
四万十町	道の駅「あぐり窪川」	319,889	352,070	90.9%
	道の駅「四万十大正」	10,684	10,652	100.3%
	道の駅「四万十とおわ」	90,275	127,849	70.6%
大月町	道の駅 大月	190,241	195,328	97.4%
黒潮町	道の駅「ピオスおおがた」	377,496	357,446	105.6%
	道の駅「なぶら土佐佐賀」	358,132	374,422	95.6%

(朝市・市場)

(単位:人)

市町村名	名称	平成30年入込数	平成29年入込数	対前年比(%)
高知市	日曜市	入込数調査行っていない	入込数調査行っていない	-
南国市	土曜市	9,000	12,000	75.0%
土佐市	日曜市	入込数調査行っていない	入込数調査行っていない	-
香南市	道の駅やす「やすらぎ市」	209,067	211,207	99.0%
香美市	奥物部ふるさと市	22,059	26,907	82.0%
芸西村	かっぱ市	132,536	137,061	96.7%
本山町	本山さくら市	137,729	143,004	96.3%
越知町	おち産市	90,559	91,435	99.0%
中土佐町	久礼大正町市場	148,018	177,009	83.6%
四万十町	道の駅「ふるさと市」	420	800	52.5%
大月町	ふれあい市	151,686	153,908	98.6%

3 キャンプ場・海水浴場利用状況

(キャンプ場)

(単位:人)

市町村名	名 称	平成30年入込数	平成29年入込数	対前年比(%)
室戸市	夕陽ヶ丘キャンプ場	1,585	1,282	123.6%
宿毛市	笹平キャンプ場	1,200	1,400	85.7%
	白岩岬キャンプ場	1,500	1,900	78.9%
四万十市	とまるっと	15,236	16,045	95.0%
	四万十カヌーとキャンプの里かわらっこ	6,678	5,837	114.4%
	四万十ひろば	1,117	1,474	75.8%
香南市	舞川キャンプ場	休止中	休止中	-
香美市	日ノ御子キャンプ場	1,427	865	-
	べふキャンプ場	164	346	47.4%
東洋町	白浜キャンプ場	3,120	2,168	143.9%
安田町	安田川アユおどる清流キャンプ場	2,527	2,717	93.0%
馬路村	魚梁瀬オートキャンプ場	1,142	752	151.9%
本山町	白髪山ふれあいの村休養センター	182	321	56.7%
大豊町	ゆとりすとパークおおとよ	4,100	3,474	118.0%
土佐町	さめうら森林公園	265	130	203.8%
大川村	白滝の里オートキャンプ場	131	39	335.9%
いの町	グリーンパークほどの	2,487	3,429	72.5%
中土佐町	天満宮前キャンプ場	1,370	1,204	113.8%
梶原町	太郎川公園	1,556	7,194	21.6%
四万十町	リバーパーク轟キャンプ場	229	261	87.7%
	ウェル花夢	4,618	4,574	101.0%
	ふるさと交流センター	2,589	3,167	81.7%
	三島キャンプ場	1,078	785	137.3%
大月町	大月エコロジーキャンプ場	2,607	2,834	92.0%
	檜西キャンプ場	2,700	3,200	84.4%
黒潮町	松原キャンプ場	1,557	1,624	95.9%

(海水浴場)

(単位:人)

市町村名	名 称	平成30年入込数	平成29年入込数	対前年比(%)
宿毛市	沖の島久保浦	1,200	1,400	85.7%
	沖の島うどの浜	1,500	2,000	75.0%
土佐清水市	大岐浜	14,404	15,064	95.6%
	桜浜海水浴場	2,520	2,962	85.1%
香南市	ヤ・シィパーク	339,679	345,985	98.2%
東洋町	白浜海水浴場	5,608	6,245	89.8%
四万十町	興津海水浴場	13,274	20,063	66.2%
大月町	檜西海水浴場	2,700	3,500	77.1%
黒潮町	浮津海水浴場	1,713	4,138	41.4%
	入野海水浴場	746	1,048	71.2%

4 温泉施設利用状況

※地元以外の集客が多く見込まれ、物品販売等の観光のサービスが集積しているもので、市町村から報告のあったもの。

(温泉施設)

(単位:人)

市町村名	名 称	平成30年入込数	平成29年入込数	対前年比(%)	備考
高 知 市	三翠園・水哉閣	101,161	98,470	102.7%	宿泊含む
	温泉RIO	9,688	7,773	124.6%	温泉利用のみ、 H29.3.25～H30.7.2休業
安 芸 市	温泉こまどり	4,722	4,626	102.1%	食事含む
土佐清水市	足摺テルメ	32,353	35,304	91.6%	宿泊含む
四 万 十 市	四万十いやしの里	91,493	98,935	92.5%	宿泊含む
	ホテル星羅四万十	6,696	7,426	90.2%	宿泊含む
香 美 市	夢の温泉	5,700	5,739	99.3%	宿泊含む
	べふ峡温泉	6,851	12,128	56.5%	宿泊含む
北 川 村	北川村温泉 ゆずの宿	12,585	-	-	H27.9.1からH30.6.25まで 建替のため休館
馬 路 村	馬路温泉	24,127	26,109	92.4%	宿泊含む
芸 西 村	よさこい温泉(土佐ロイヤルホテル)	112,409	111,819	100.5%	宿泊含む
い の 町	かんぼの宿伊野(仁淀川伊野温泉)	62,572	72,494	86.3%	温泉利用のみ
	木の香温泉	31,189	29,583	105.4%	温泉利用のみ
	吾北むささび温泉	31,489	36,090	87.3%	温泉利用のみ
仁 淀 川 町	中津溪谷ゆの森	29,108	30,469	95.5%	温泉利用のみ
中 土 佐 町	黒潮本陣	29,858	33,468	89.2%	温泉利用のみ
梶 原 町	雲の上の温泉	64,524	61,843	104.3%	温泉利用のみ
四 万 十 町	松葉川温泉	37,831	40,552	93.3%	温泉利用のみ